

名越ヶ谷遺跡 (No.231)

大町三丁目2354番1、6地点

## 例 言

1. 本書は鎌倉市大町三丁目2354番1、6地点に所在する、個人専用住宅の新築に先だち行われた、名越ヶ谷遺跡(県遺跡台帳No.231)の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は2011年7月22日から同年10月3日にかけて、鎌倉市教育委員会文化財課が実施した。
3. 本書使用の遺構図及び遺物実測図は調査員が分担し、原稿執筆は福田 誠が担当した。編集は福田が行った。
4. 本書に使用した遺構写真は福田が、遺物写真は須佐仁和が撮影を行った。
5. 調査の体制は以下の通りである。

### 発掘調査

主任調査員 福田 誠(鎌倉市教育委員会嘱託) 玉林美男

調 査 員 伊丹まどか 渡邊美佐子 榎岡溪音 須佐仁和 小野夏菜

作 業 員 (社)鎌倉市シルバー人材センター

### 整理作業

主任調査員 福田 誠(鎌倉市教育委員会嘱託)

調 査 員 榎岡溪音 森谷十美 佐藤千尋 須佐仁和(撮影)

6. 発掘調査資料(記録図面・写真・出土遺物)は、鎌倉市教育委員会が一括保管している。

## 本文目次

第一章 調査地点の位置と歴史的環境	4
第二章 調査の経過	6
第三章 出土した遺構と遺物	6
第1節 層序	6
第2節 遺構と遺物	8
第四章 まとめ	13

## 挿図目次

図1 調査地点位置図とグリッド設定図	5	図11 第3面まで・第3面遺構の遺物	20
図2 土層断面図	7	図12 第4面までの遺物	21
図3 第1面・第2面平面図	9	図13 第4面・第4面柱穴の遺物	22
図4 第3面・第4面平面図	11	図14 第4面土坑・溝状1の遺物	23
図5 第5面・第6面平面図	12	図15 第4面落ち込み1の遺物	24
図6 第7面と遺構断面図	15	図16 第5面までの遺物	25
図7 表採・第1面土坑1の遺物	16	図17 第5面・第5面遺構、第6面遺構の遺物	26
図8 第1面 土坑1の遺物	17	図18 第6面まで・第6面の遺物	27
図9 第2面までの遺物	18	図19 第6面井戸、土坑、柱穴の遺物	28
図10 第2面・第2面遺構の遺物	19	図20 第7面まで・第7面遺構の遺物	29

## 表目次

遺物観察表1～6	30
----------	----

## 図版目次

図版1 第1面全景	36	図版14 表採・1面土坑1の遺物	49
図版2 第1面土坑1遺物出土状況	37	図版15 第1面土坑第1・2面までの遺物	50
図版3 第2面全景	38	図版16 第2面まで・第2面・2面遺構の遺物	51
図版4 第2面遺物出土状況	39	図版17 第3面まで・第3面遺構の遺物	52
図版5 第3面全景	40	図版18 第4面までの遺物	53
図版6 第4面全景	41	図版19 第4面・第4面柱穴の遺物	54
図版7 第4面の調査	42	図版20 第4面土坑の遺物	55
図版8 第5面全景	43	図版21 第4面遺構・第5面までの遺物	56
図版9 第5面遺物出土状況	44	図版22 第5面まで・第5面の遺物	57
図版10 第6面全景	45	図版23 第5面遺構・第6面までの遺物	58
図版11 第6面の調査	46	図版24 第6面まで・第6面の遺物	59
図版12 第7面全景	47	図版25 第6面遺構の遺物	60
図版13 第7面の調査と土層断面	48	図版26 第7面まで・第7面遺構の遺物	61

## 第一章 歴史的環境と調査地点の位置

鎌倉は縄文時代前期の海進期(約5,000～6,000年前)には、海面が今より約10m近く上昇し、入り込んだ海水により鎌倉湾が形成され、現在の鶴岡八幡宮付近まで海岸線が迫っていたと考えられる。縄文時代後期の海退期(約4,000年前)よりしだいに平野部分の陸地化が進み、弥生時代(約2,000年前)にはさらに乾燥がすすみ、海岸線付近では堆積した砂によって砂丘が形成されていった。砂丘の背後(北側)にはラグーン(後背湿地)が形成され、旧市内を流れる最大の河川である滑川をはじめ二階堂川、扇川、佐助川などが流れ込んでいた。砂丘や河川によって作られた自然堤防上に、点々と人々が居住を始めたと考えられている。

奈良時代には鎌倉郡の郡衙(郡役所)が置かれ、政治経済の重要な位置を占めていたと考えられる。平安期には、源頼義が石清水八幡宮を勧請した元八幡宮、八幡太郎義家の生まれた甘縄の館、亀ヶ谷の義朝の居館等の存在が知られ、源頼朝が鎌倉に入る1180年以前から源氏相伝の地であった。

調査地点は下馬交差点から名越へ抜ける途中、名越四つ角を北方向に曲がり直線で約30m、名越ヶ谷の入口付近にあたる。

調査地点は大町三丁目 2354 番 1、6 地点に所在する。遺跡名の名越とは鎌倉の東南部一帯を指していたようで頼朝入府以前、名越は鎌倉の外であったと考えられている。鎌倉郷の東側にあった荏草郷の内にあり頼朝の入府以降、鎌倉に併合されていったものと思われる。名越ヶ谷の南には、後に整備される名越切通しを経て三浦さらに上総へ通じる幹線(旧東海道)が通り交通の要所、鎌倉の出入り口防御の要として重要な位置を果たしていたと考えられる。入り組んだ名越ヶ谷にはいくつかの支谷があり、その内の名越大谷には名越ヶ谷遺跡、山王ヶ谷には山王堂跡、釈迦堂口には北条時政邸跡と推定される遺跡が存在している。このように谷間奥には枝分かれした支谷が開け、釈迦堂の切通しを抜けると大倉から朝比奈へ抜けられる。このように重要な位置を占めていた名越は鎌倉時代初期から拓け、北条時政邸、名越北条氏の居館をはじめ多くの御家人たちが居住していたと思われる。

(福田誠)

### 参考文献

『鎌倉市史』社寺編・総説編 鎌倉市 吉川弘文館 1959年

『鎌倉事典』白井永二編 東京堂出版 1976年

『鎌倉廃寺事典』貫達人・河副武胤編有隣堂 1980年

『としよりのはなし』鎌倉市教育委員会 1971年

「名越ヶ谷遺跡」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書18(第2分冊)』鎌倉市教育委員会 2002年3月

「名越ヶ谷遺跡」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書11(第1分冊)』鎌倉市教育委員会 1995年3月

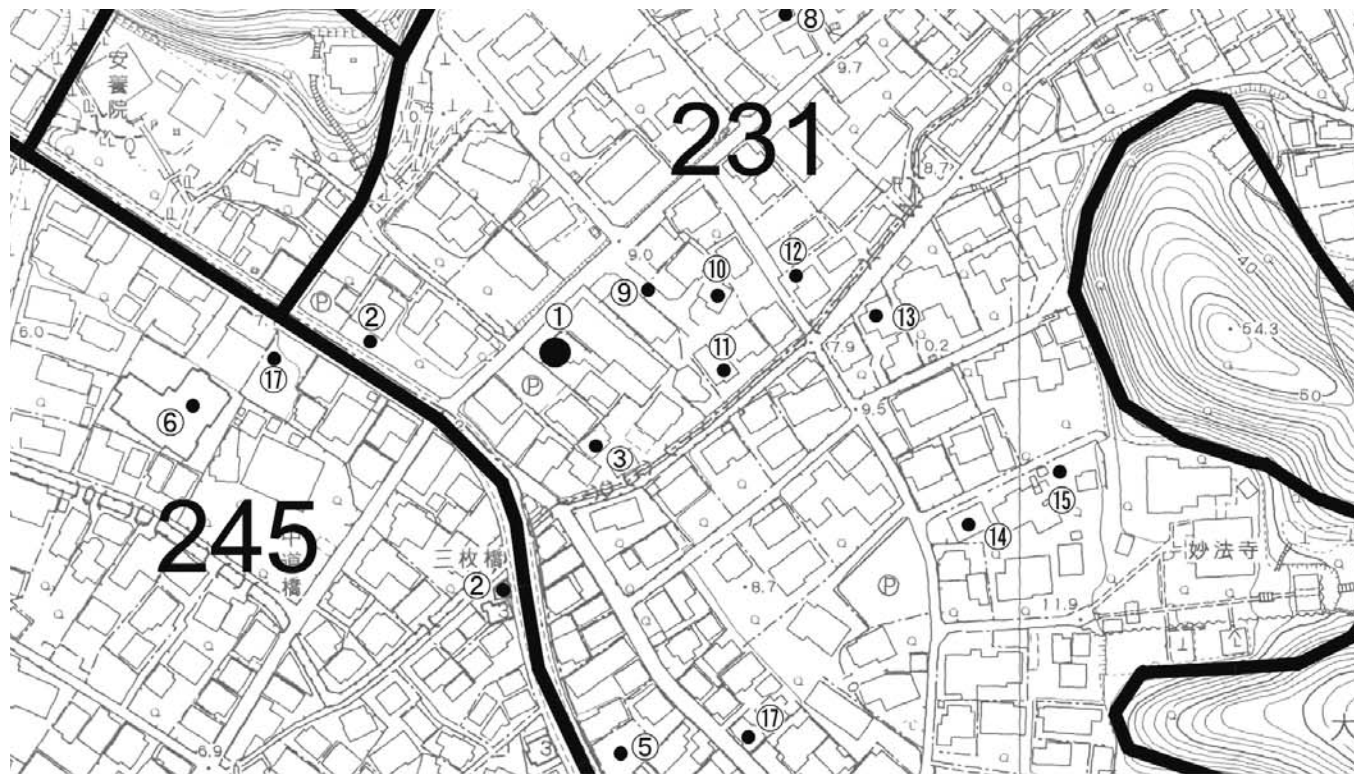
「名越ヶ谷遺跡」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書11(第1分冊)』鎌倉市教育委員会 1995年3月

「名越ヶ谷遺跡」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書16(第2分冊)』鎌倉市教育委員会 2000年3月

「名越ヶ谷遺跡」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書18(第2分冊)』鎌倉市教育委員会 2002年3月

「名越ヶ谷遺跡」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書19』鎌倉市教育委員会 2003年3月

「名越ヶ谷遺跡」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書28(第2分冊)』鎌倉市教育委員会 2012年3月



米町遺跡245

No.	地番	調査年	報告書名	刊行年
2	大町二丁目2411番2	1988.7	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書5』「大町二丁目2411番2地点」	1989.3
6	大町二丁目2338番1	1997.11	『米町遺跡発掘調査報告書』「大町二丁目2338番1地点」	1999.9
17	大町二丁目2340番10	2011.4	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書33-1』「大町二丁目2340番10地点」	2017.3

名越ヶ谷遺跡231

1	大町三丁目2354番1.6	2011.7	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書35』「大町三丁目2354番1.6地点」	2019.3
2	大町三丁目1217番1	1993.7	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書11-1』「大町三丁目1217番1地点」	1995.3
3	大町三丁目2353番2外	2007.12	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書34』「大町三丁目2353番2外地点」	2018.3
5	大町四丁目2406番1	2005.7	県埋蔵報告51	
8	大町三丁目1230番4.7.10	2006.2	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書35』「大町三丁目1230番4.7.10地点」	2019.3
9	大町三丁目2356番3	2000.8	『名越ヶ谷遺跡発掘調査報告書』「大町三丁目2356番3地点」	2001.12
10	大町三丁目2356番11	2001.1	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書19』「大町三丁目2356番11地点」	2003.3
11	大町三丁目2356番10	2001.4	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書19』「大町三丁目2356番10地点」	2003.3
12	大町三丁目1826番9	2000.8	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書18-2』「大町三丁目1826番9地点」	2002.3
13	大町四丁目1880番6外	1993.5	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書11-1』「大町四丁目1880番6外地点」	1995.3
14	大町四丁目1888番	1998.12	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書16-2』「大町四丁目1888番地点」	2000.3
15	大町四丁目1888番の一部	2007.7	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書28-2』「大町四丁目1888番の一部地点」	2012.3
17	大町四丁目2370番2の一部	2017.2	報告書作成中	

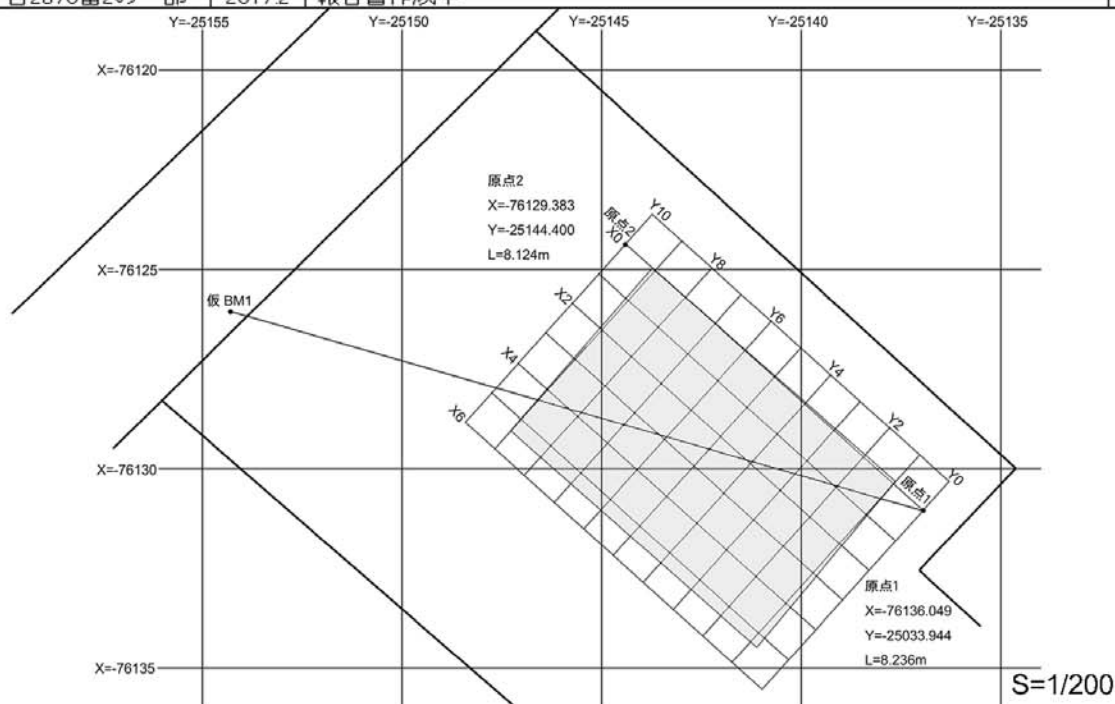


図1 調査地点位置図とグリッド設定図

## 第二章 調査の経過

遺跡は北緯35° 18' 48"、東経139° 33' 24" に位置し、グリットの基準とした原点1 (X=-76136.049 Y=-2525033.944)、原点2 (X=-76129.383 Y=-25144.400)は、市内4級基準点のB005 (X=-76510.145 Y=-24756.385)とB006 (X=-76539.416 Y=-24739.974)を基に設定したものである。調査中に使用したレベルは、大町四丁目1872番1に設置してある3級水準点(No.53229)の海拔高11.168mを移動したもので、調査地の脇に移動した仮原点の海拔高は、8.124mである。排土は、調査終了時に再び埋め戻すために周囲に山積みにした。

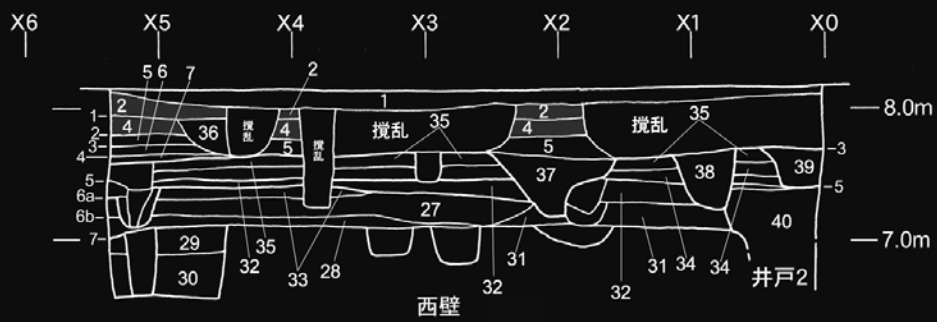
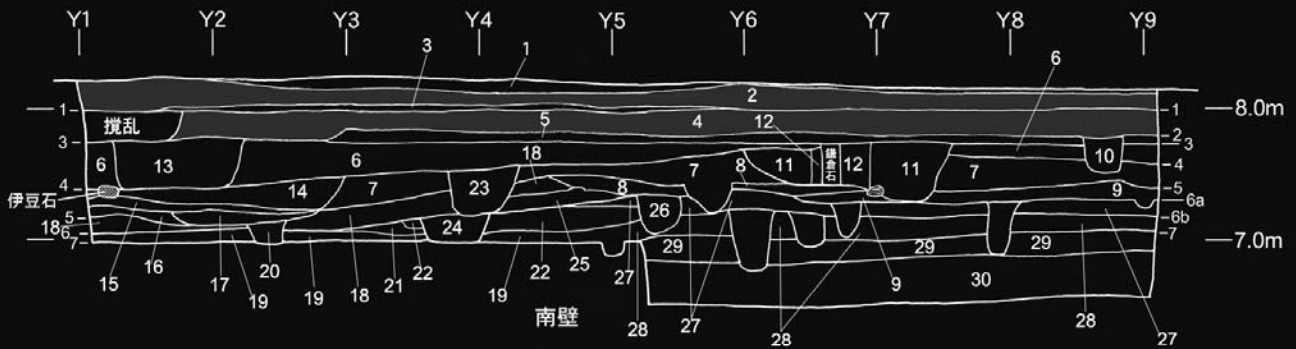
以下、簡単に2011年7月22日から10月3日まで行った調査経過を記す。

- 7月22日 調査機材の搬入と人力による表土掘削を開始。調査地点脇に仮原点を設け、調査区を設定。
- 25日 試掘坑を掘り上げ、土層断面を検討し調査予定を立てる。
- 26日 第1面面出し、精査を開始し、土坑1を検出、掘り下げる。
- 27日 第1面の全景写真、平面図作成。午後、第2面へ掘り下げ開始。切石列を確認する。
- 29日 第2面の精査、遺構掘り下げ。
- 8月1日 第3面へ掘り下げ開始。
- 3日 第3面の精査、遺構掘り下げ。
- 4日 第4面へ掘り下げ開始。全体に南から東に遺構面が傾斜する。遺構が多く検出され、薄手  
のかわらけが多く出土する傾向が見られる。  
遺構概念図を作成し順次、遺構を掘り下げる。
- 10日 第4面全景写真撮影。午後、第5面へ掘り下げを開始。
- 12日 調査区壁の土層断面図を作成する。お盆期間を含め29日まで一時作業中断。
- 30日 調査再開。
- 9月2日 第6面へ掘り下げ開始。概念図を作成する。
- 8日 井戸1の掘り下げ。井戸2のプラン確認。
- 12日 井戸2の掘り下げ。平面図作成。
- 14日 井戸の立面図、北壁土層断面図作成。第7面へ掘り下げ開始。
- 16日 遺構概念図を作成。
- 29日 トレンチ調査
- 10月3日 器材の搬出も含め、全ての調査を終了。検出した遺構と遺物の詳細は次章に譲る。

## 第三章 検出した遺構と遺物

### 第1節 層序

人力で表土を約10cm掘り下げると土丹地業面が現れ、土丹で整地された層の厚さは約20～40cm。比較的多くの近代遺物を検出した。地表面から地山と考えられる黒色粘土層までの深さは約130cm程で、この間に生活面が約6層確認された。いずれも人為的に整地された土丹混じりの茶灰色ないし灰褐色の粘質土層、砂質土層であった。遺構面は比較的平坦であるが、旧地形は遺跡の東側約50m地点を北から南に流れる逆川に向かって緩やかに傾斜しているようである。



- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 灰茶色粘質土層    | 21. 茶褐色土層    |
| 2. 丹層         | 22. 淡灰褐色砂質土層 |
| 3. 色粘質土層      | 23. 淡茶灰色砂質土層 |
| 4. 丹層         | 24. 淡茶灰色砂質土層 |
| 5. 灰色粘質土層     | 25. 暗灰色粘質土層  |
| 6. 灰色粘質土層     | 26. 茶灰色砂質土層  |
| 7. 茶灰色粘質土層    | 27. 茶褐色砂質土層  |
| 8. 灰色砂層土丹層    | 28. 茶灰色砂質土層  |
| 9. 色砂層        | 29. 淡茶灰色粘土層  |
| 10. 灰色砂と粗い土丹粒 | 30. 黒色粘土層    |
| 11. 丹層        | 31. 茶灰色砂質土層  |
| 12. 茶灰色砂質土層   | 32. 明黄灰色砂質土層 |
| 13. 茶灰色砂質土層   | 33. 暗茶灰色砂質土層 |
| 14. 灰色砂質土層    | 34. 灰色砂質     |
| 15. 灰色粘質土層    | 35. 灰褐色砂質土層  |
| 16. 灰色粘質砂質    | 36. 茶灰色砂質土層  |

## 第2節 遺構と遺物

### a. 1面の遺構と遺物 図3・7・8、図版1・2・14・15

1面は、海拔8.0mで広がる土丹層の面で、近現代建物の基礎と土坑1を検出した。

建物跡は、柱を支える束の位置の地面を40～50cmの範囲で窪め、中に細かな土丹と砕いた鎌倉石を叩き締めて基礎としていた。

**土坑1** 東西150cm、南北140cmの隅丸方形の土坑で、瓦質火鉢(図7-11～14)、猫行火(図8-28)、角焜炉(図8-27)が出土している。

瓦質火鉢(風炉)、猫行火ともに瓦質で表面には丁寧に磨きが入り、炭素を吸着させている為に表面は真っ黒である。4点の瓦質火鉢は接合できないが同一個体と見られる。角焜炉は壊されて廃棄されたようで、細片に砕けていたものを復元したものである。「三河名産製造組合新美海之助」銘が空気窓の脇に刻印されている。愛知県高浜市付近で生産されたもので、この名称が用いられているものは明治23年～43年にかけて製造されたものか。現在でも三河コンロの名で炭火焼き七輪等が名産品として生産されている。

### b. 2面の遺構と遺物 図3・9・10、図版3・4・16

2面は海拔7.8m前後で広がる黒灰色粘質土層の面で、柱穴18口、土坑11口、かわらけ溜りを検出した。柱穴には規則性が見られないことから、建物は想定できない。

**切石列** 調査地東側で、300×300cmの範囲で鎌倉石の切石列を検出した。30×45cm程の切石を挟むように20×45cm程の切石が縁を整える様に据えられることから、石畳の通路だったのかもしれないが、遺存状態が悪く詳細は不明。

**土坑2** 1面の攪乱。

**土坑3** 1面の攪乱。

**土坑4** 長径90cm、短径55cm、深さ44cm。茶灰色粘質土、細かい土丹粒とかわらけ片、炭を含む。

**土坑5** 長径125cm、短径105cm、深さ39cm。茶灰色砂質土細かい土丹粒とかわらけ片含む。糸切りかわらけ大小と常滑片口Ⅱ類出土。

**土坑6** 径55cm、深さ34cm。淡茶灰色砂質土、土丹、炭、貝殻含む。

**土坑7** 長径65cm、短径55cm、深さ5cm。茶灰色粘質土、糸切りかわらけ出土。

**土坑8** 長径55cm、短径40cm、深さ10cm。茶灰色砂質土、糸切りかわらけと鉄釘出土。

**土坑9** 1面の攪乱。

**土坑10** 1面の攪乱。

**土坑11** 長径100cm、短径40cm、深さ11cm。茶灰色砂質土。

**土坑12** 1面の攪乱。

**かわらけ溜り1** 長径75cm、短径70cm、深さ5cm。淡茶灰色粘質土、糸切りかわらけ、常滑片口Ⅱ類が出土。

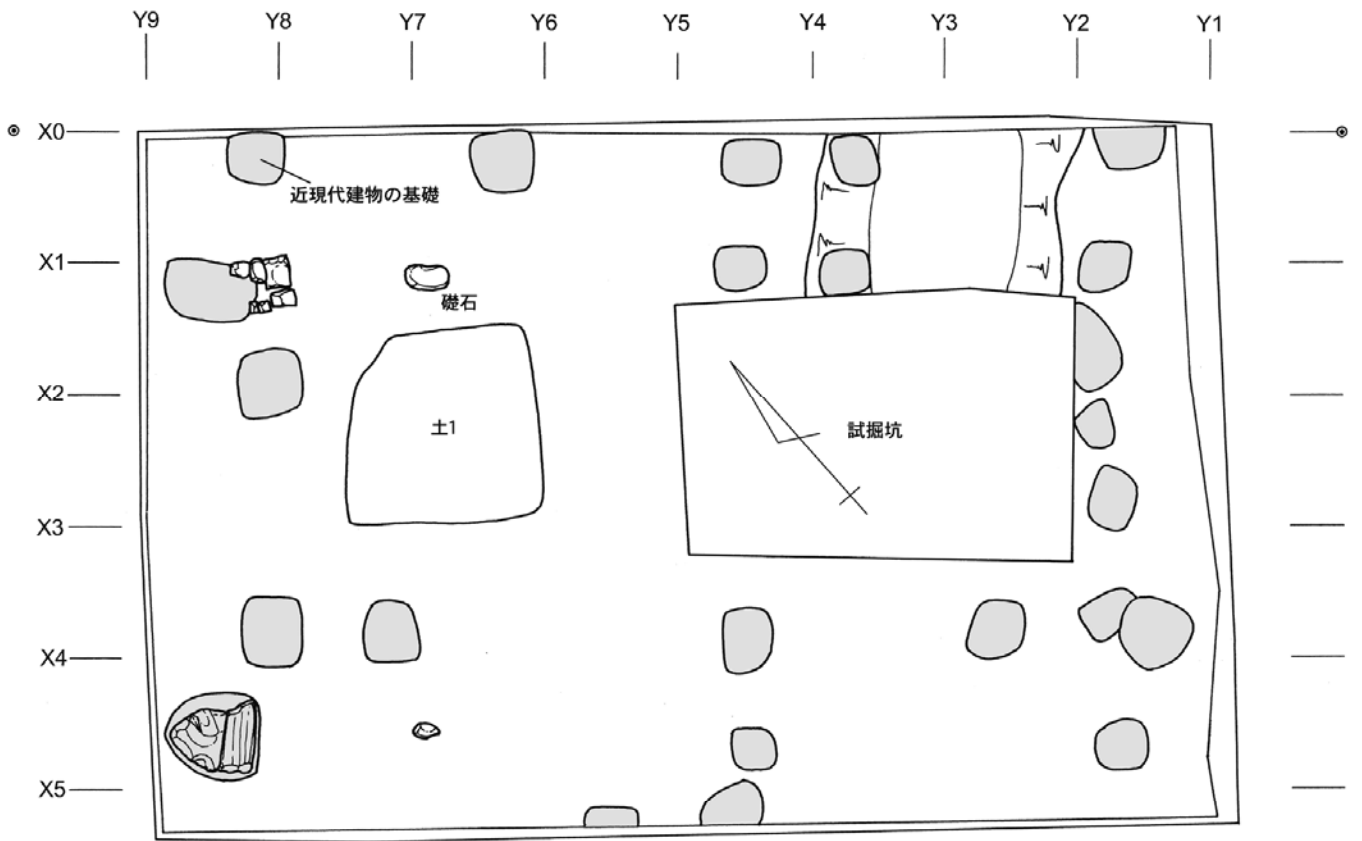
2面まで・2面・2面遺構出土の実測できた糸切り成形かわらけ(大)19個の口径/底径比を平均すると、口径1に対する底径比は0.59である。

### c. 3面の遺構と遺物 図4・11、図版5・17

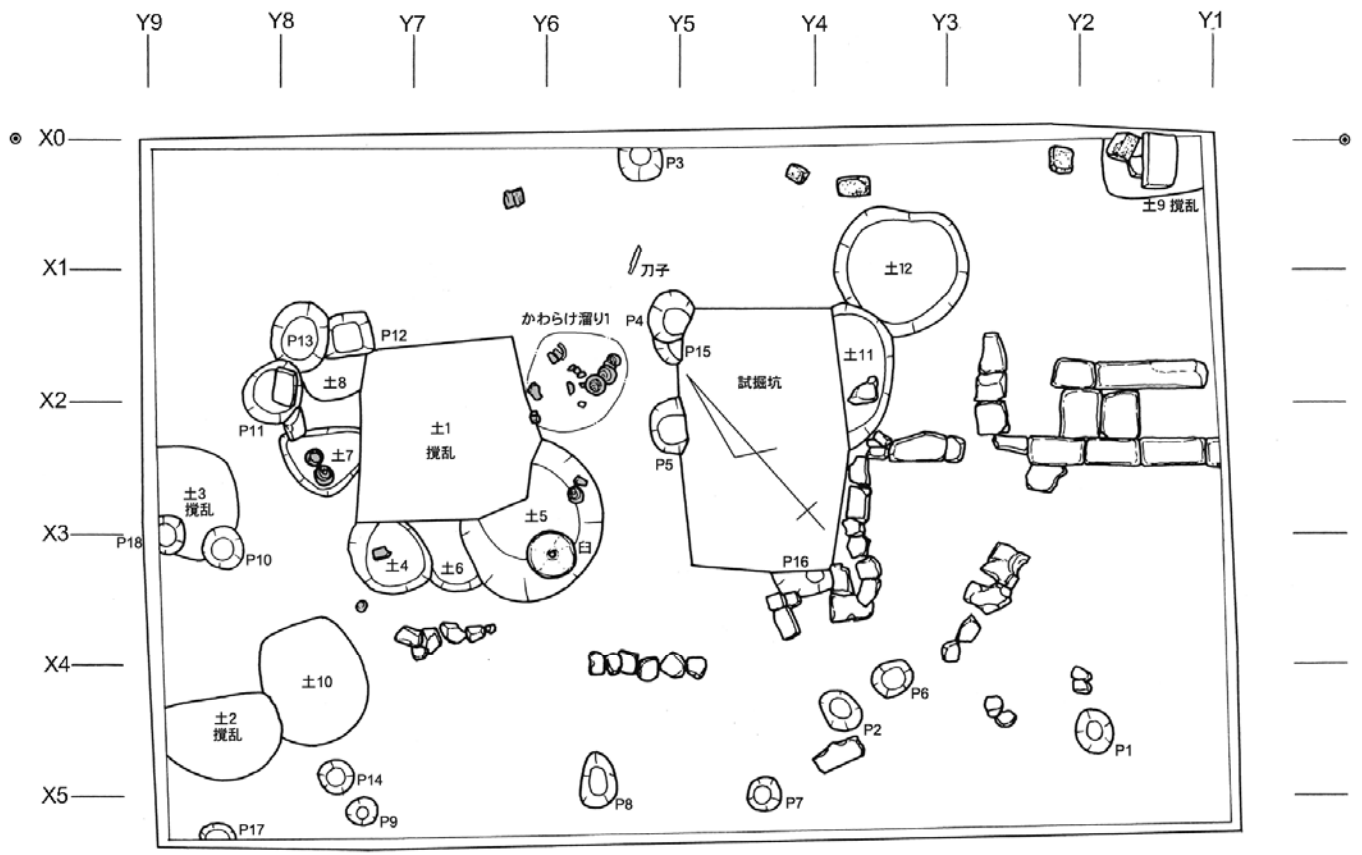
3面は、海拔7.70m前後で広がる茶灰色粘質土層の面である。柱穴16口、土坑7口を検出した。検出した柱穴に規則性は無く、建物として捉えることはできない。遺構の密度は高くない。

**柱穴19** 温石(図11-131)、柱穴23、片口鉢(図11-129)、柱穴25、青磁碗(図11-128)、柱穴44、緑釉盤(図11-130)が出土している。





1面



2面

図3 第1面・2面平面図

0 2m

土坑13 長径55cm、短径40cm、深さ22cm。灰褐色粘質土。

土坑14 長径60cm、短径45cm、深さ10cm。黒灰色粘質土、糸切りかわらけ出土。

土坑15 径48cm。灰褐色砂質土。

土坑16 長径113cm、短径90cm、深さ25cm。灰色砂質土、土丹を多く含む。

土坑17 長径50cm、短径45cm、深さ14cm。灰色砂質土、締まり無い。

土坑18 長径60cm、短径38cm、深さ10cm。灰色砂質土。

土坑27 径60cm。暗茶灰色砂質土、土丹粒、かわらけ片含む。糸切りかわらけ、常滑片口Ⅱ類、青磁碗、鉄釘出土。

3面まで・3面遺構出土の実測できた糸切り成形かわらけ(大)3個の口径/底径比を平均すると、口径1に対する底径比は0.61で2面のかわらけとほぼ同じ値である。

#### d. 4面の遺構と遺物 図4・12~15、図版4・18~21

4面は海拔7.6~7.4mの淡茶灰色粘質土層の面で、名越ヶ谷に端を発し遺跡の東側を北から南に流れ下る逆川に向かい緩やかに下がっている。柱穴42口、土坑19口と溝状遺構1と落ち込み1を検出した。検出した柱穴に規則性は無く、建物として捉えることはできないが、併せて検出した溝状遺構1と落ち込み1は調査区の東西方向にほぼ並行して確認されている。このことから、当遺跡の基準は、東側に流路がある逆川と現在、名越四角から名越ヶ谷谷奥に向う道路に影響されているものと考えられる。

柱穴38から手捏ね成形かわらけ(小)が初めて1点だけ出土。その他のかわらけはすべて糸切り成形である。糸切り成形のかわらけの口径は、大が12.0~12.9cm、小が6.8~8.7cm程である。常滑は細片ばかりだが甕、片口鉢Ⅰ類・Ⅱ類が出土している。生産年代は13世紀後半代である。

土坑1 長径134cm、短径130cm、深さ30cm。暗茶褐色砂質土、糸切りかわらけ、常滑片口Ⅱ類、鉄釘出土。

土坑20 長径138cm、短径130cm、深さ30cm。茶褐色砂質土、土丹粒、炭化物含む。常滑片口Ⅱ類、鉄釘出土。

土坑21 径88cm。茶褐色砂質土。

土坑22 径205cm、深さ37cm。茶灰色砂質土。

土坑23 径105cm、深さ68cm。暗茶灰色砂質土、糸切りかわらけ、青磁碗出土。

4面まで・4面・4面遺構出土の実測できた糸切り成形かわらけ(大)12個の口径/底径比を平均すると、口径1に対する底径比は0.64で、2と3面のかわらけの底径比より若干底部が大きくなる傾向が見られる。

#### e. 5面の遺構と遺物 図5・16・17、図版8・9・21~23

5面は海拔7.1~7.4mの茶褐色砂質土層、灰色砂層の面で、4面と同じく東側を北から南に向かい流れ下る逆川に向かって緩やかに傾斜している。柱穴19口、土坑2口を検出した。検出した柱穴に規則性は見られない。2口検出した土坑の内、土坑42は第6面で検出した井戸1の真上に位置している。井戸1が廃棄された後に残った窪みがゴミ穴として使われたものと思われる。5面から手捏ねかわらけ(小)が1点、柱穴92と土坑42から手捏ねかわらけ(小)3点の計4点出土している。併せて土坑42からは、常滑編年5型式の甕と編年6a型式の片口鉢Ⅰ類が出土している。

5面・5面遺構出土の糸切り成形かわらけ(大)10個の口径/底径比を平均すると、口径1に対する底径比は0.65で、4面のかわらけとほぼ同じ値である。

#### f. 6面の遺構と遺物 図5・18・19、図版10・11・24・25

6面は海拔7.3~7.05mの淡茶灰色粘土層の面が広がる。柱穴64口、土坑6口、井戸2を検出した。

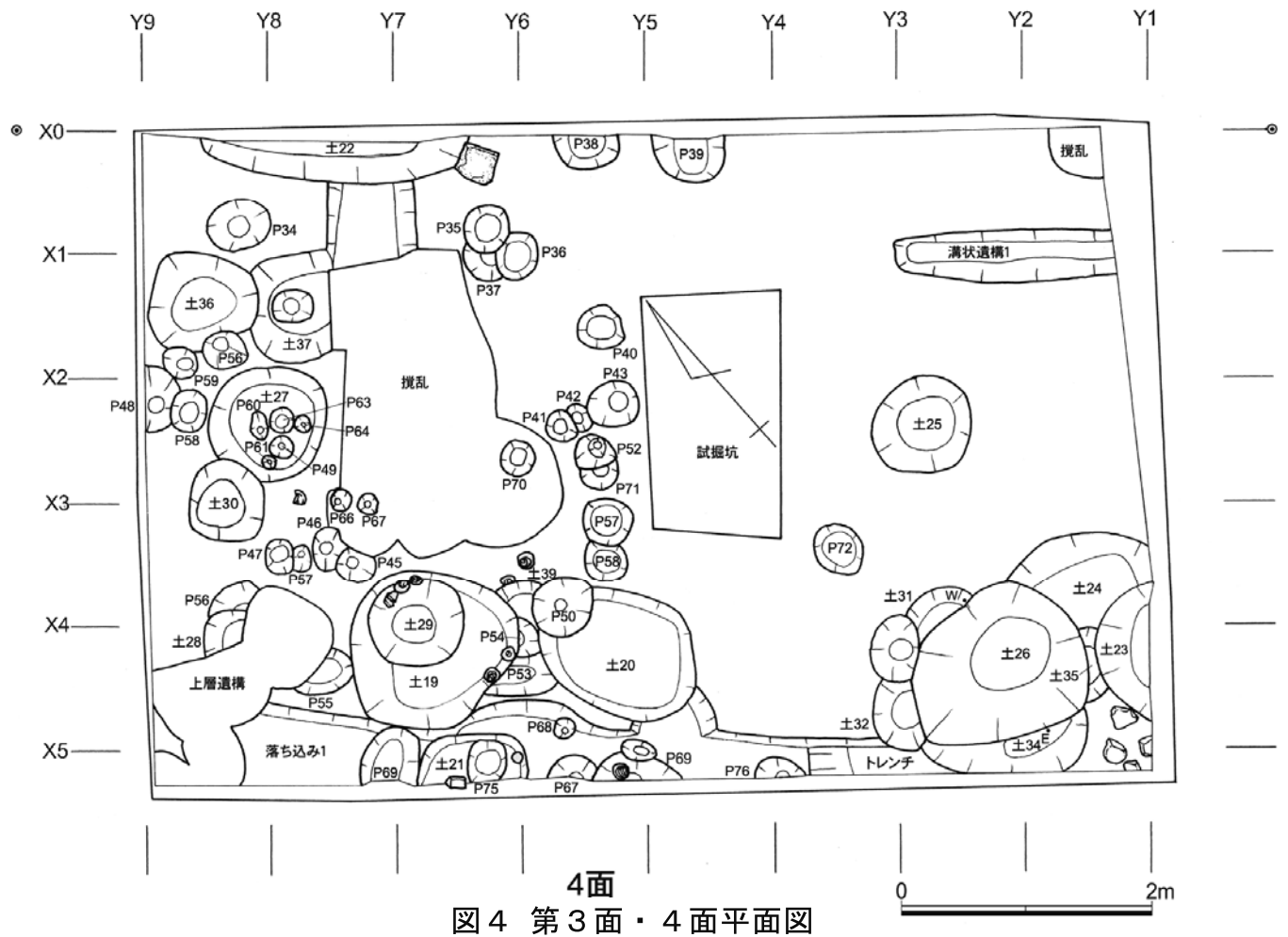
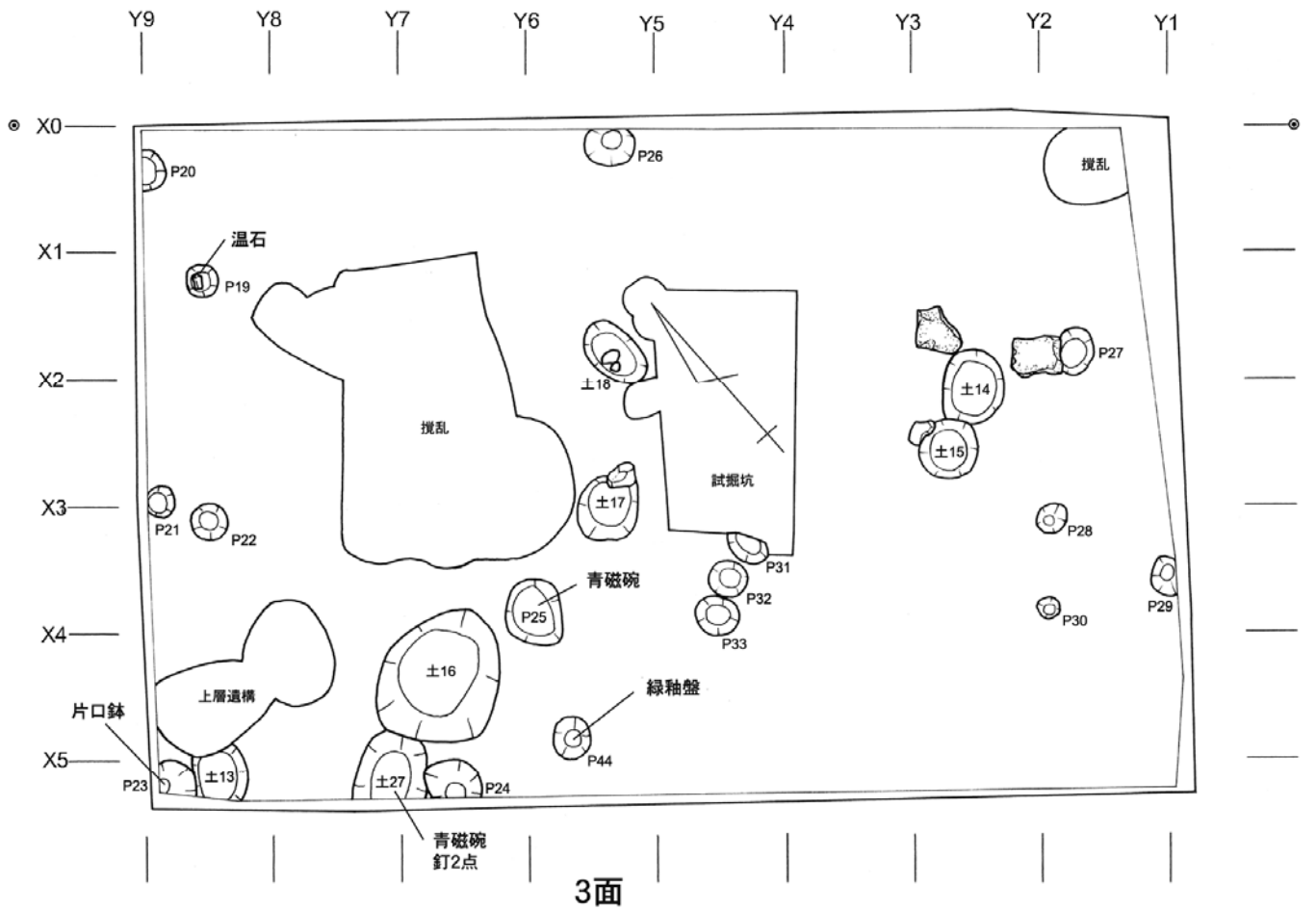
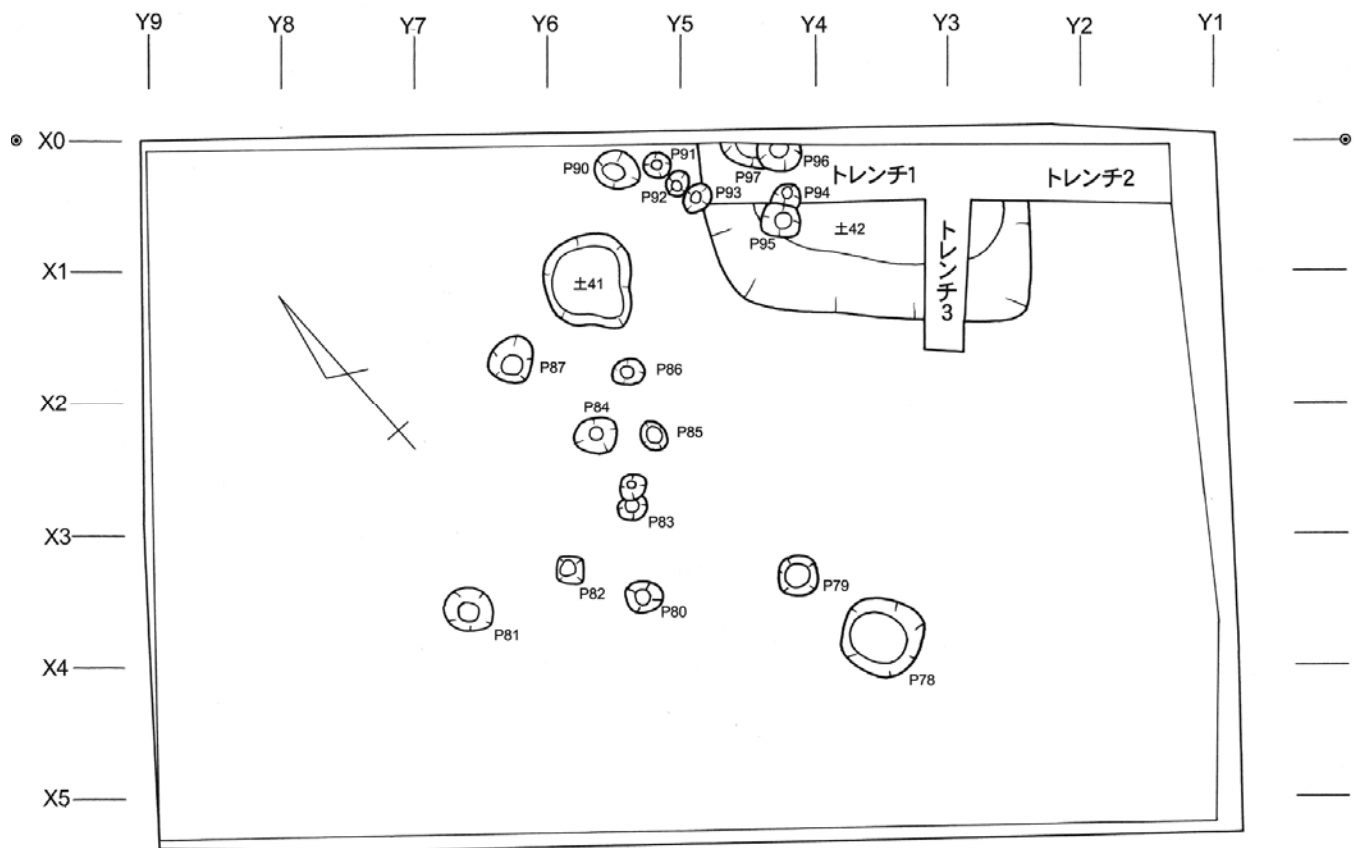
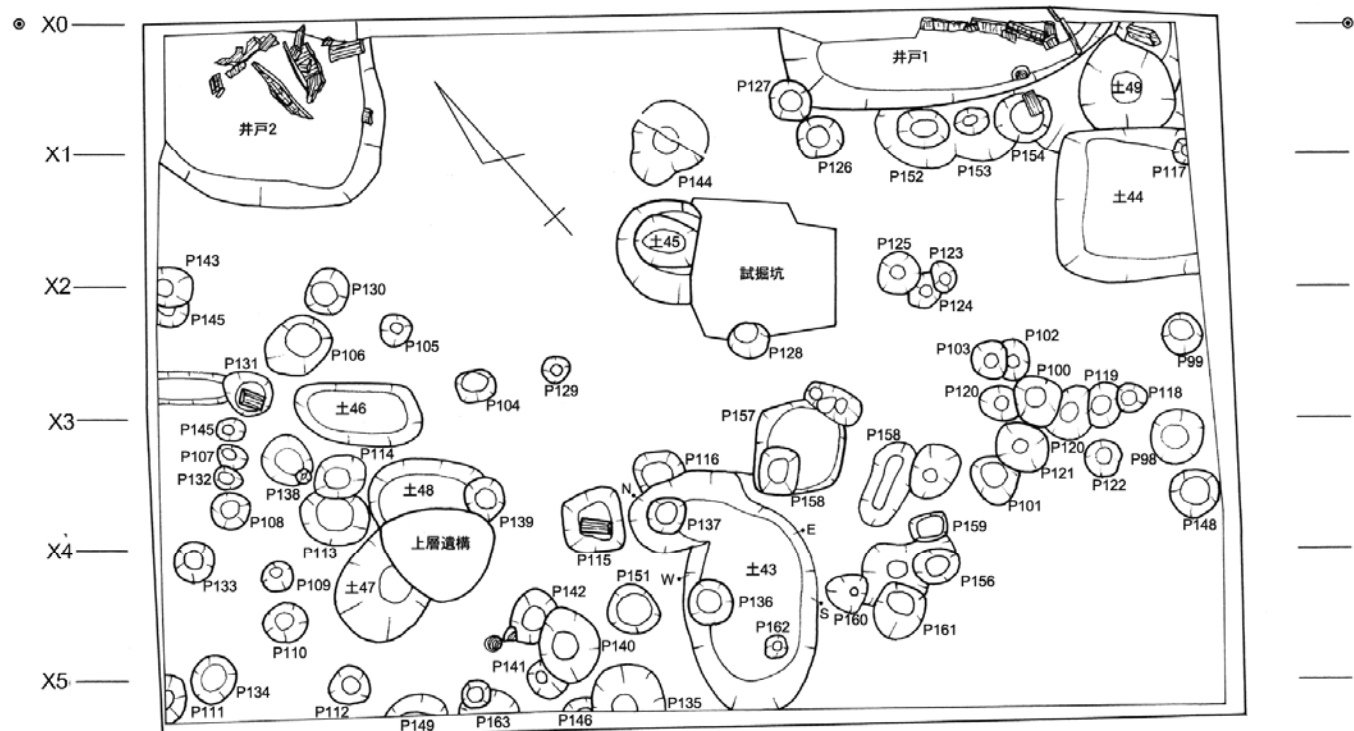


図4 第3面・4面平面図



5面



6面

図5 第5面・6面平面図



柱穴115・131・154には底面に礎板が入れられていたが、建物として確認ではきなかった。

6面まで、土坑43・47、柱穴149・156からは手捏ねかわらけ(大)2点、(小)7点の計9点が出土している。併せて出土している常滑片口鉢Ⅰ類・Ⅱ類の生産年代は13世紀後半代である。

6面まで・6面・6面遺構出土の実測できた糸切り成形かわらけ(大)15個の口径/底径比を平均すると、口径1に対する底径比は0.65で、4・5・6面のかわらけの底径比はほぼ同じである。

#### g. 7面の遺構と遺物 図6・20、図版12・13・26

7面は海拔6.95～7.05mの淡茶灰色粘質土層が広がる面で、地山と考えられる黒色粘土層の上に堆積しほぼ水平の面である。6面と同じく柱穴176・206・216・228・229の底面には礎板が入れられていたが、建物を確認できなかった。

7面までで手捏ねかわらけ(大)2点、(小)1点、柱穴168から手捏ねかわらけ(大)1点の計4点出土している。7面まで・7面遺構出土の実測できた糸切り成形かわらけ(大)6個の口径/底径比を平均すると、口径1に対する底径比は0.84で、これまでに見た各面のかわらけの底径比と比べ明らかに底部径が大きい。

## 第四章 まとめ

当遺跡から出土した遺物は、総破片数4962点であった。このうち報告できたものは491点である。破片数からではあるが、4962点の遺物の構成は、舶載品が2.33%、常滑窯製品22.52%、山茶碗0.25%、備前製品0.06%、渥美窯製品0.04%、瀬戸0.47%、手捏ねかわらけ4.64%、糸切りかわらけ63.89%、土製品1.22%、石製品0.68%、鉄製品2.08%、古代0.06%、近代0.95%、その他0.81%であった。

糸切り成形かわらけが63.89%、常滑窯製品が22.52%と実にこの二つで86.41%を占めている。手捏ね成形かわらけ(丸底)と渥美窯の製品が少なく瀬戸の製品も見られることから、この遺跡の主たる年代が13世紀後半代～14世紀代であることが推察される。

大づかみな考察になってしまうが、糸切り成形のかわらけと手捏ね成形のかわらけの出土構成と、糸切り成形のかわらけの底部形状の変化を探ってみた。

2面と3面では、糸切り成形のかわらけと手捏ね成形のかわらけの出土構成を見ると、糸切り成形のかわらけが100%、手捏ね成形のかわらけは無く糸切り成形のかわらけがすべてであった。糸切り成形のかわらけ(大)の口径/底径比を比べたところ、口径1に対する底部径が0.59～0.61で底部が約6割、底部が小さい傾向が見られる。常滑甕、捏鉢では15世紀代のものが見られる。

4面では糸切り成形のかわらけ99.98%：手捏ね成形のかわらけ0.02%で、ほぼ器壁の薄い糸切り成形のかわらけである。糸切り成形のかわらけ(大)の口径/底径比では、口径1に対し底部径は0.64である。

5面と6面では、糸切り成形のかわらけ87.26%：手捏ね成形のかわらけ12.74%で、手捏ね成形のかわらけがかわらけの12.74%を占めるようになる。糸切り成形のかわらけ(大)の口径/底径比を見ると、口径1に対する底部径が0.65と4面とほぼ同じく底部が大きくなる傾向が見られるが、4面との違いは手捏ね成形のかわらけの増加である。

7面では糸切り成形のかわらけ71.43%：手捏ね成形のかわらけ28.57%で、手捏ね成形のかわらけがかわらけ全体の約3割近くを占めるようになる。また、糸切り成形のかわらけ(大)の口径/底径比を見ると、口径1に対する底部径が0.84で、更に底部が大きくなる傾向が顕著になる。

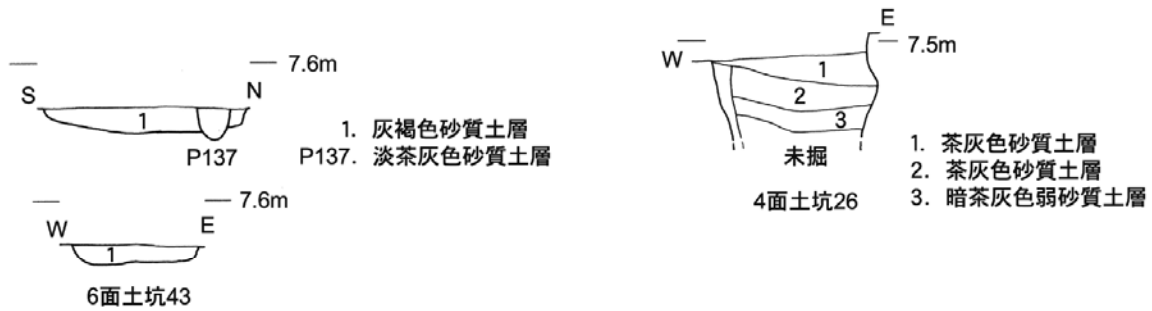
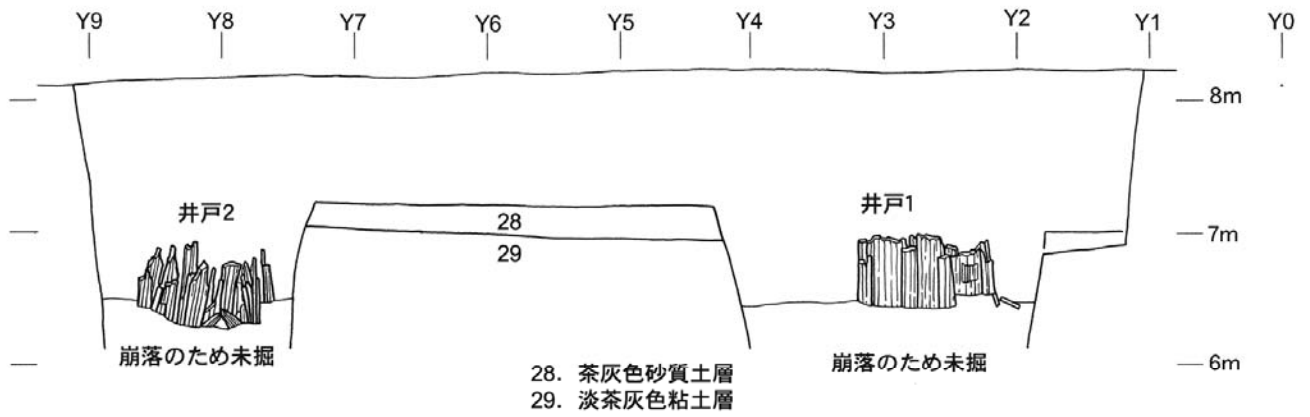
傾向として、下層に行くと手捏ね成形のかわらけの出現率が上がり、口径/底径比を見ると底部径の増大が顕著になるといえる。

比較的多く出土している常滑甕、捏鉢を見ると、常滑編年4型式から10型式までが確認された。各面で確認した一番新しい型式を挙げると、2面が10型式、3・4面が7型式、5・6・7面が6a型式であった。型式を年代で表すと、10型式が1450年～1500年、7型式が1350年～1400年、6a型式が1250年～1300年である。あくまでも生産年代で廃棄された年代ではない。

これにかわらけの要素を当てると、おおよそ2面が15世紀代、3面が14世紀後半、4面が14世紀前半、5面・6面が13世紀末、7面が13世紀後半代の年代が考えられる。

遺構では、柱穴と土坑、井戸を検出した。4面・6面・7面では多くの柱穴を検出し、6面・7面では底面に礎板が入れられた柱穴も見ることが出来たが、建物として捉えることは出来なかった。

遺跡の位置は、下ノ下馬から大町を経て名越坂へ向かう大町大路の道筋に近接した町屋の範疇に含まれると考えられるが、この遺構の検出状況から通りに面した整った表ではなく、水場として井戸を中心とした空間に掘っ立て小屋あるいは差しかけ小屋のように頻繁に建て替えるような簡便な建物とゴミ穴(トイレ遺構もあるかもしれないが)が密集する風景が広がっていたと考えられる。



井戸1・2と土坑断面

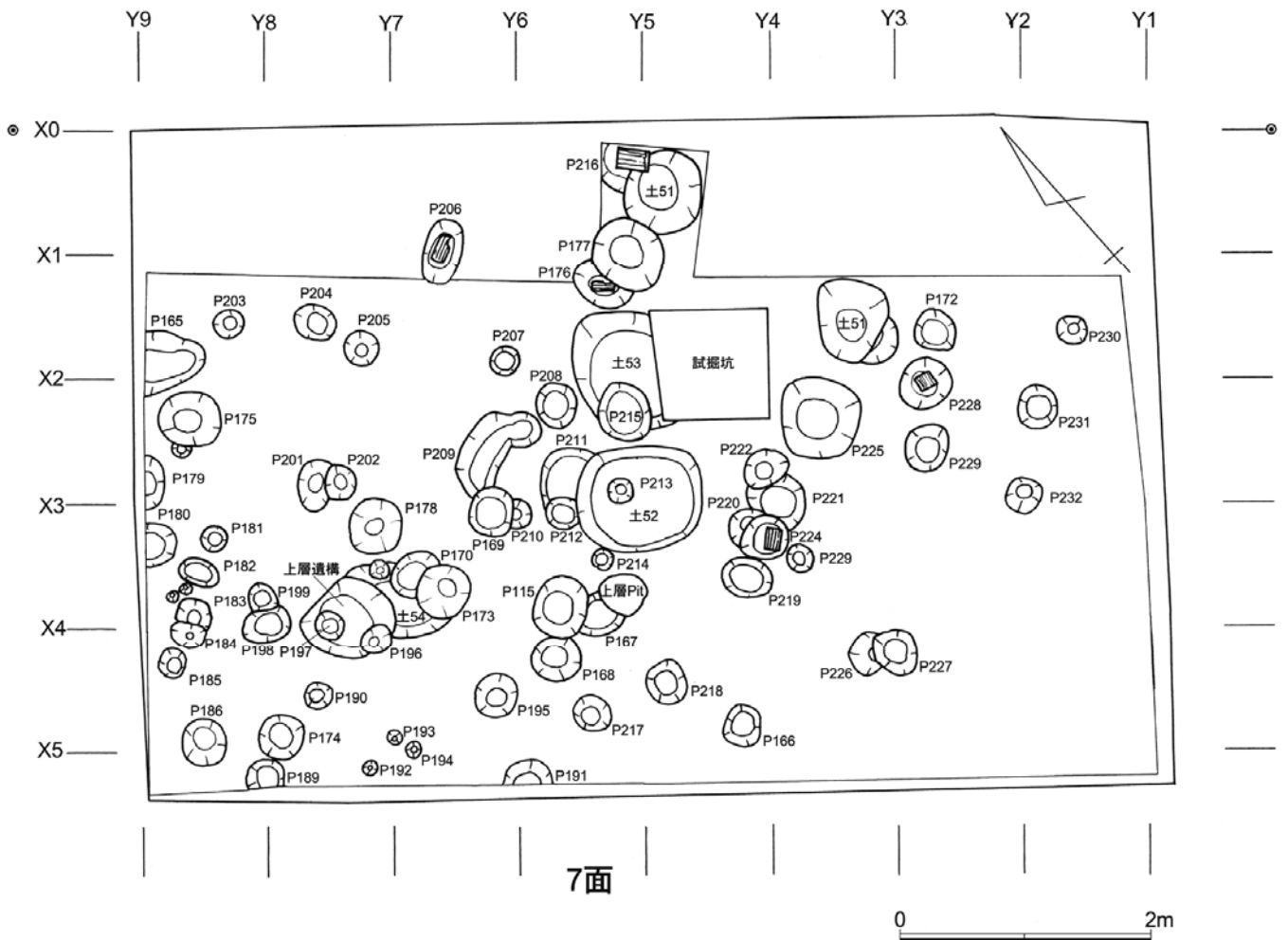


図6 第7面平面図と遺構断面図

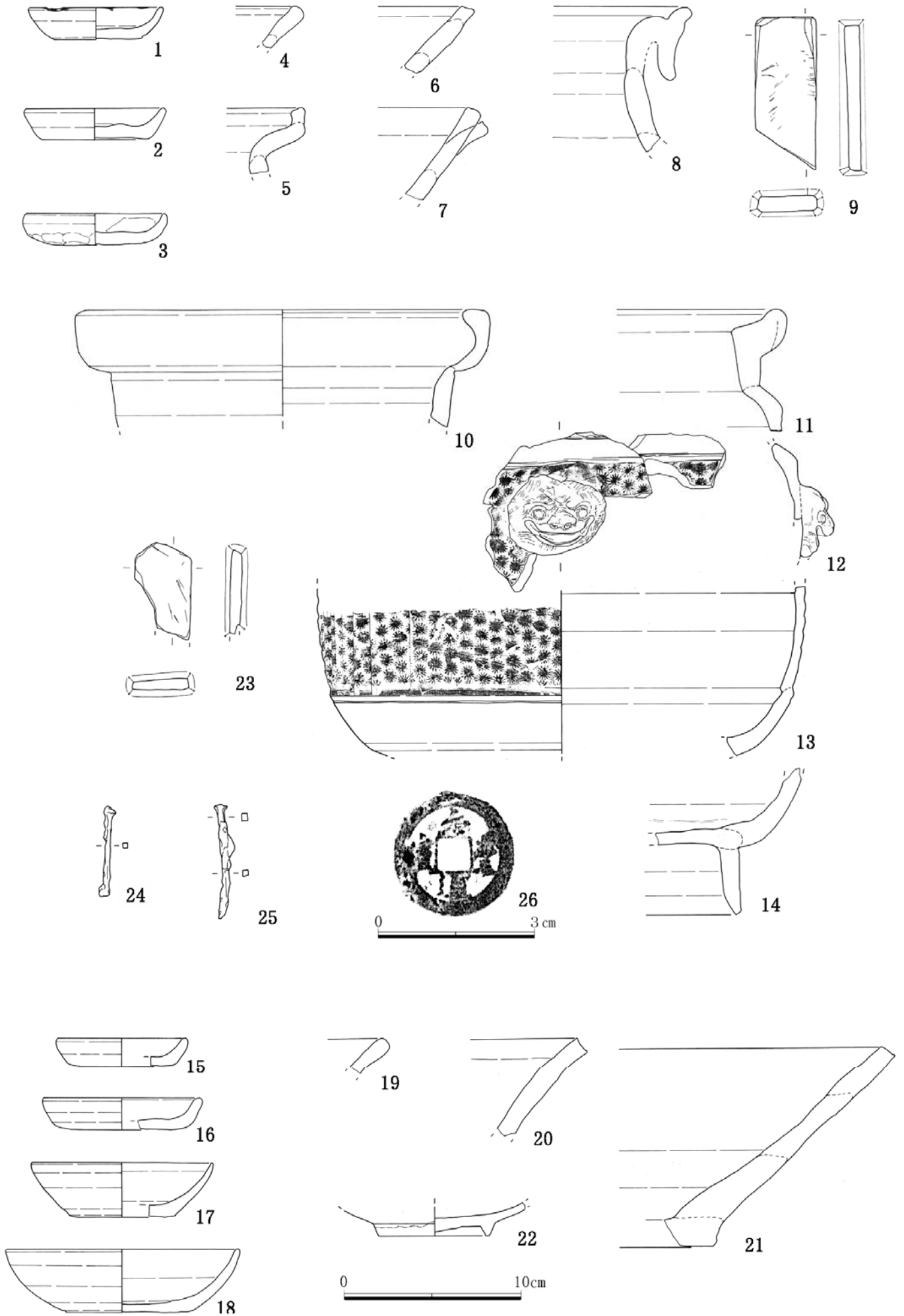
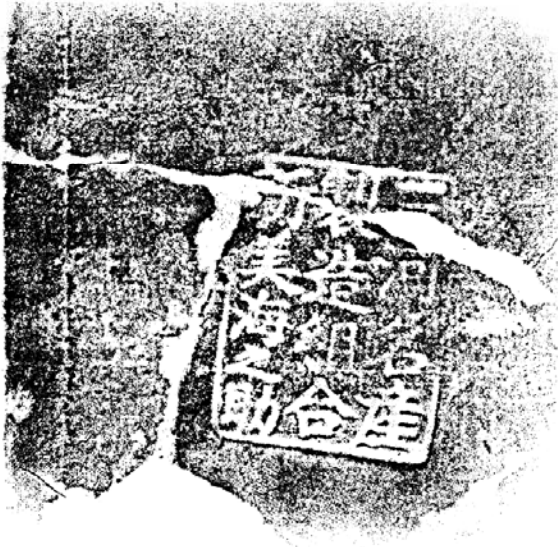
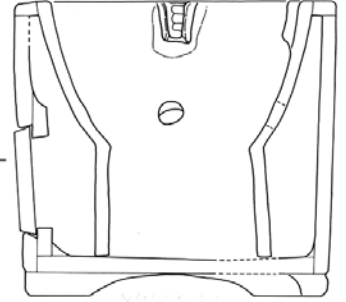
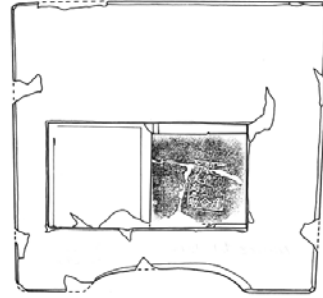
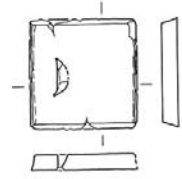
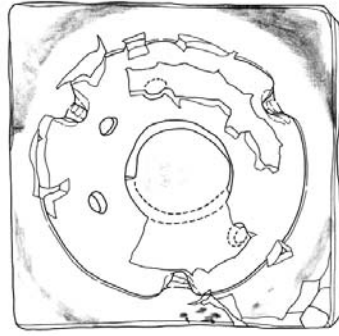


図7 表採・第1面土坑1の遺物





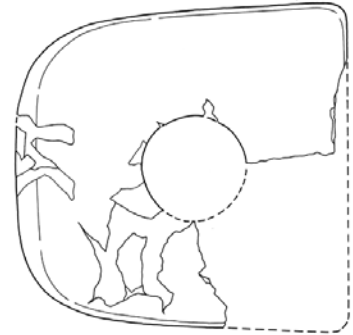
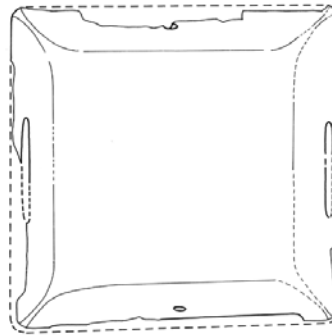
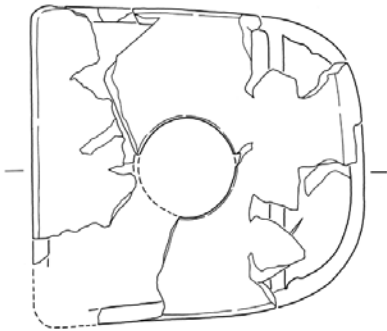
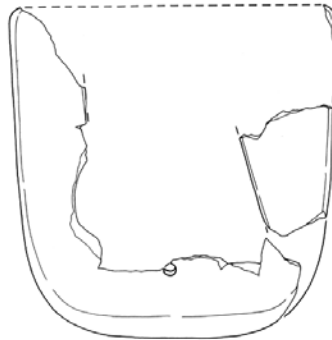
0 3 cm



角焜炉

27

0 20cm



0 20cm



猫行火

28

図8 第1面土坑の遺物

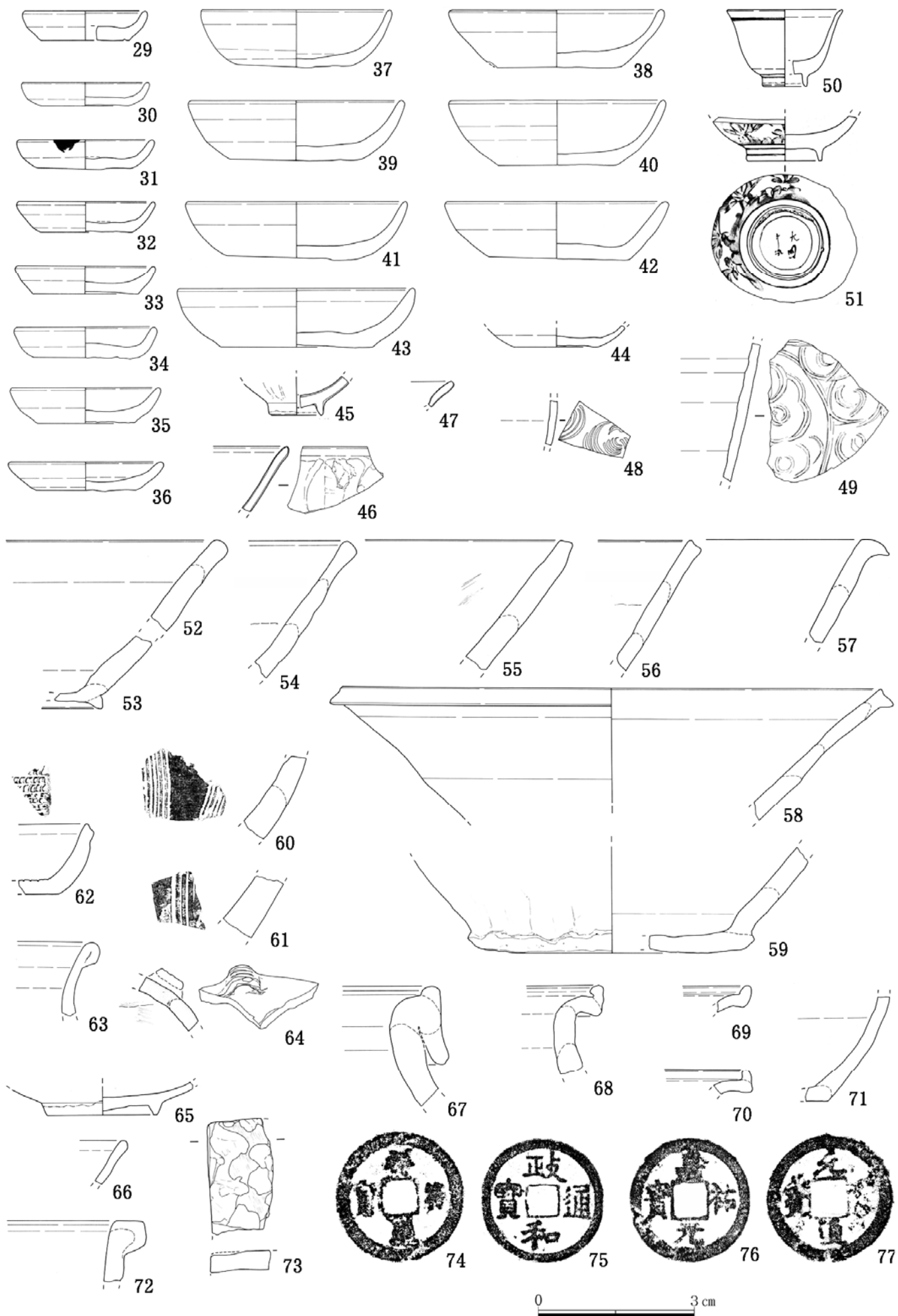


図9 第2面までの遺物

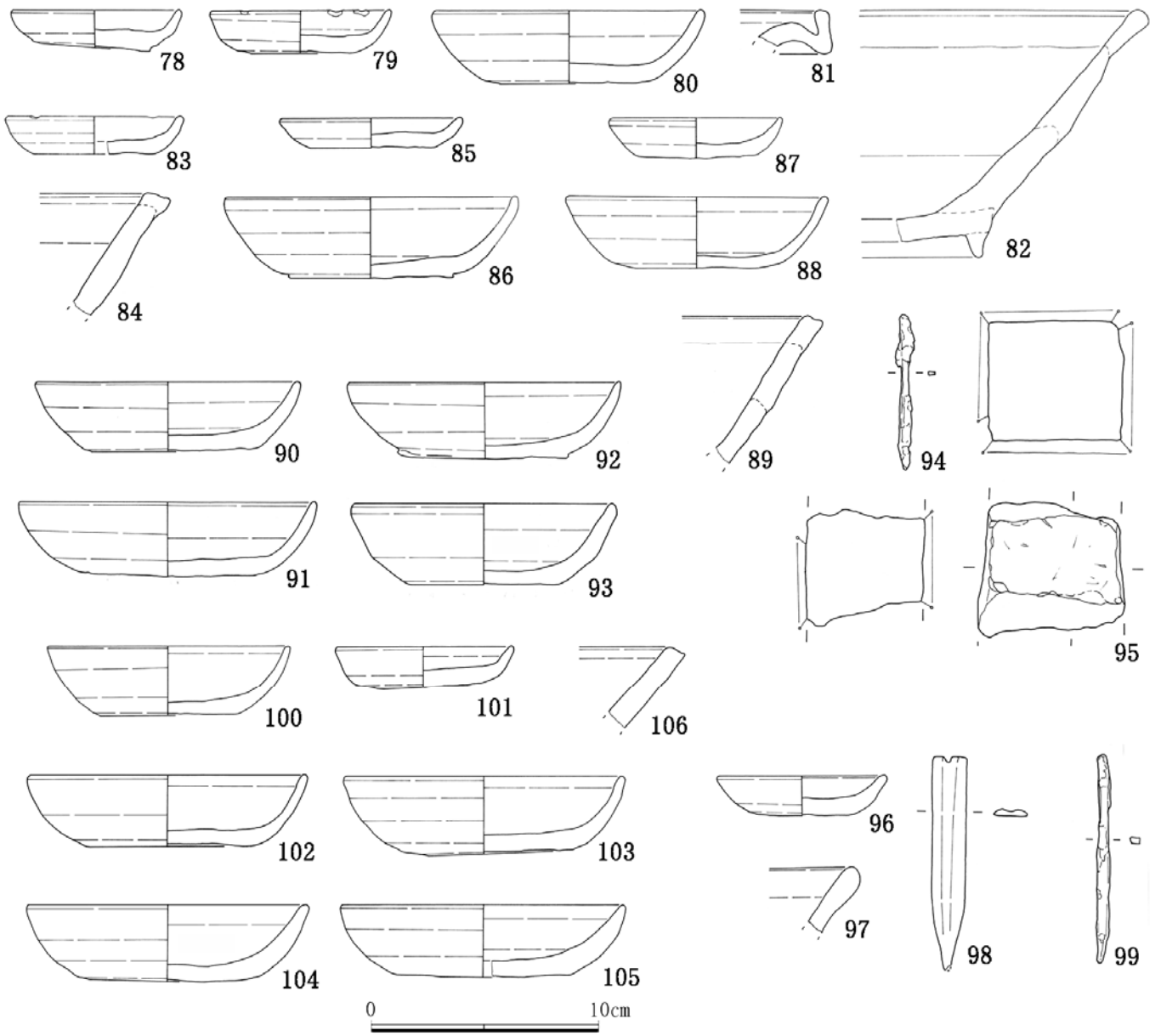


図10 第2面・第2面遺構の遺物

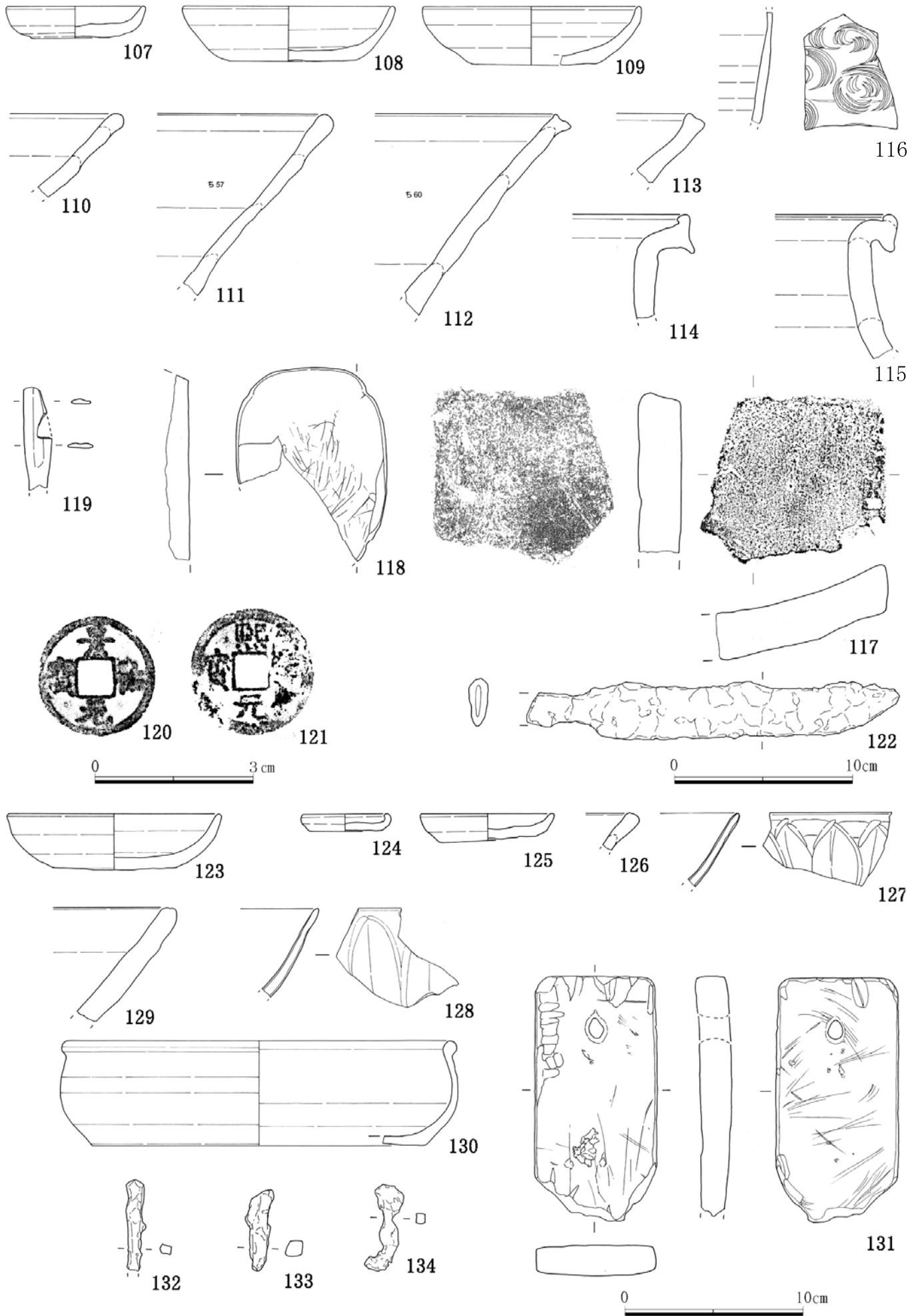


図 11 第 3 面まで・第 3 面遺構の遺物

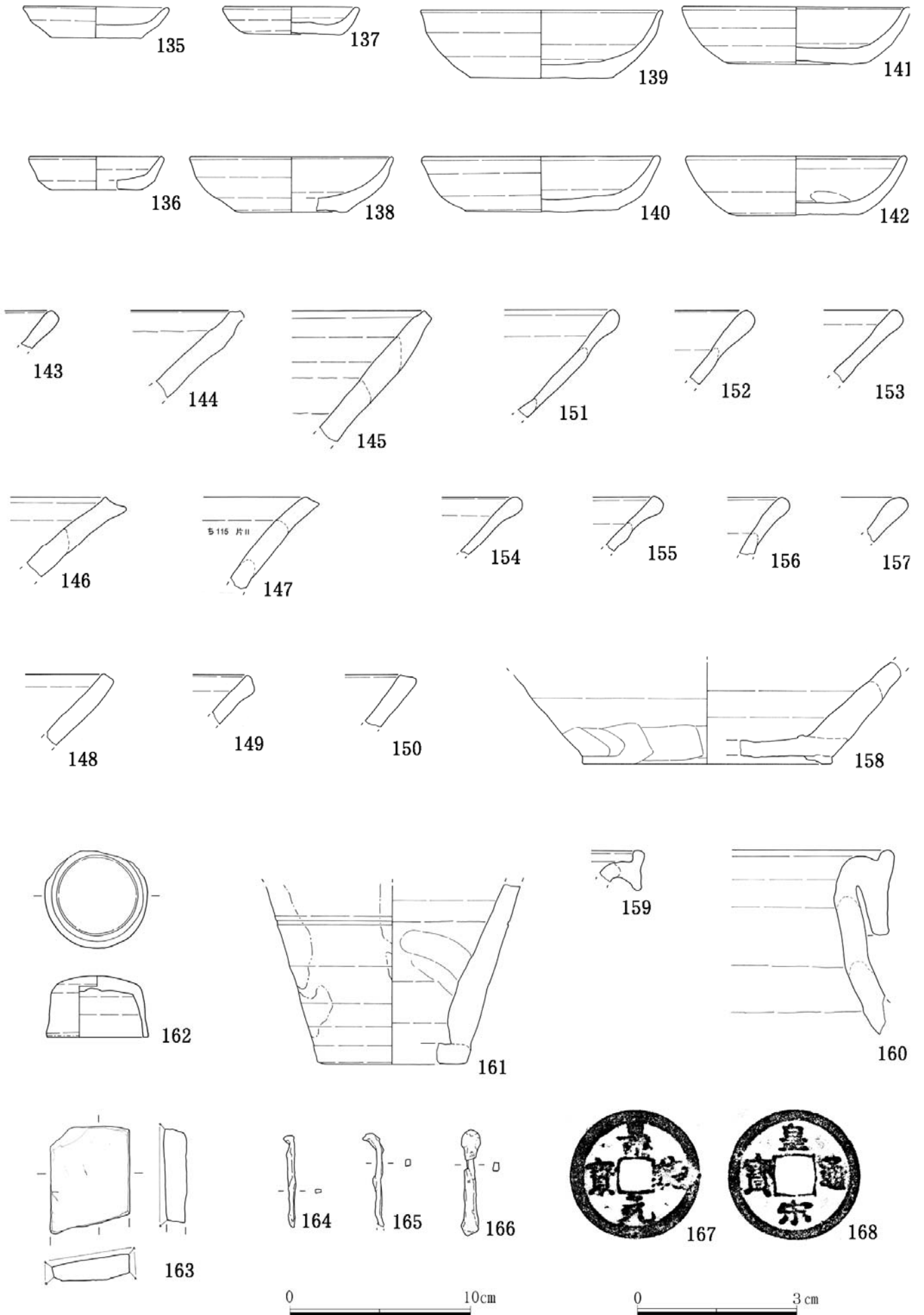


図12 第4面までの遺物

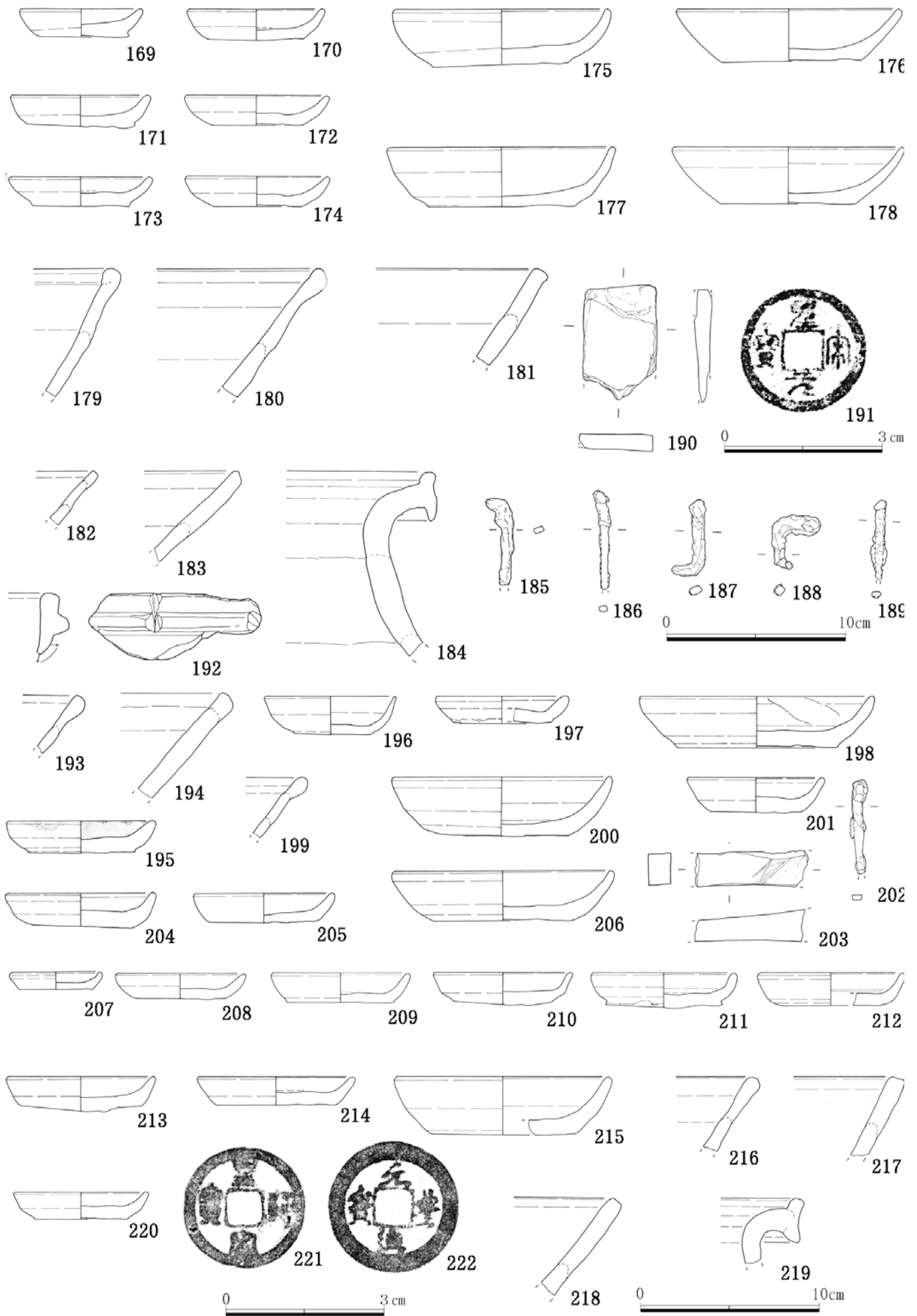


図 13 第 4 面・第 4 面柱穴の遺物

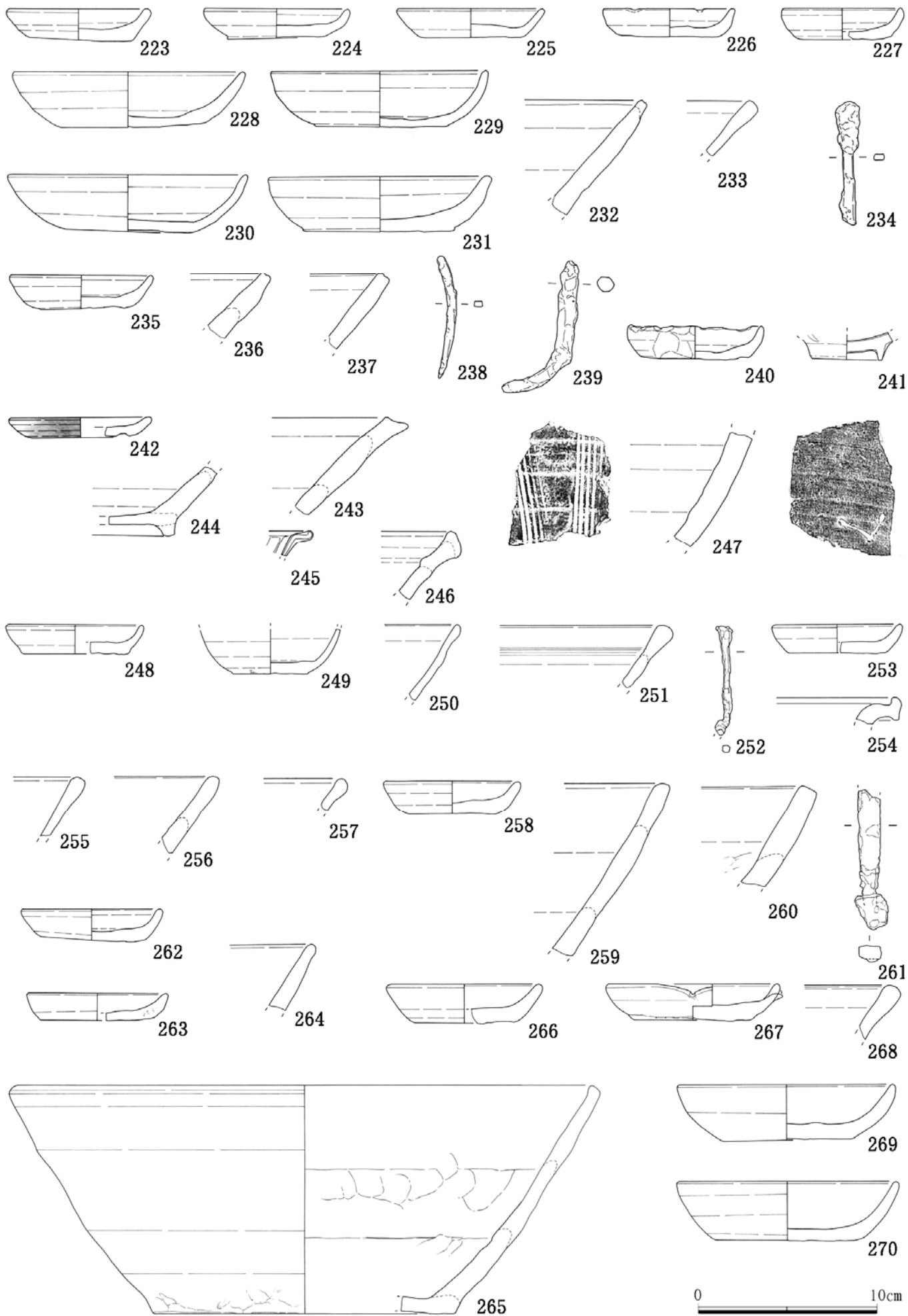


図 14 第 4 面土坑・溝状遺構 1 の遺物

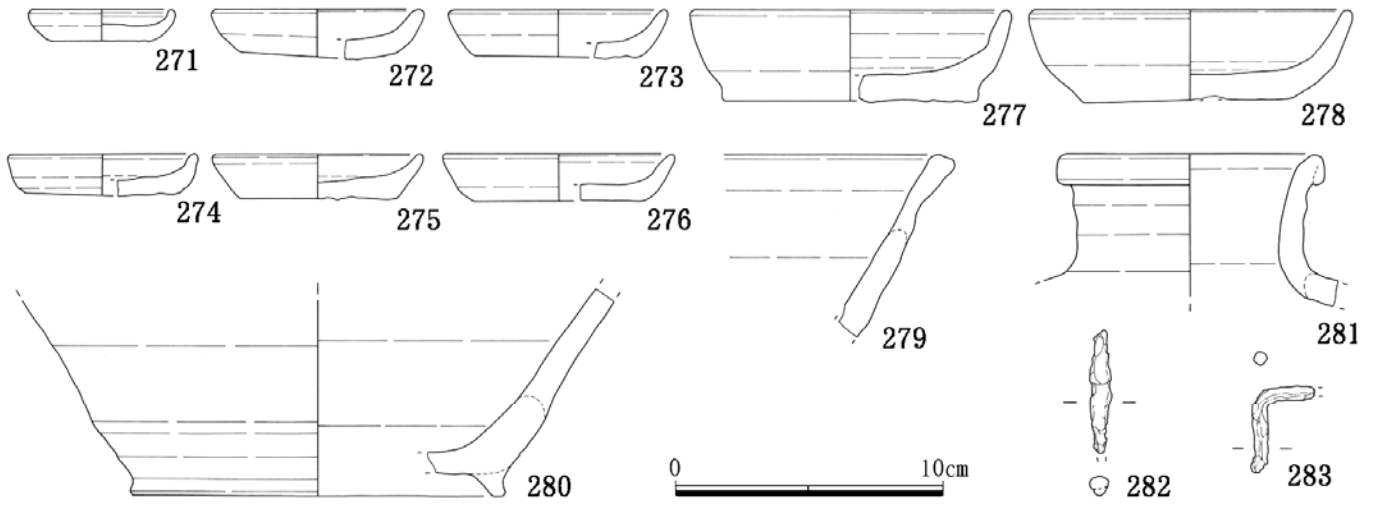


図 15 第 4 面落ち込み 1 の遺物



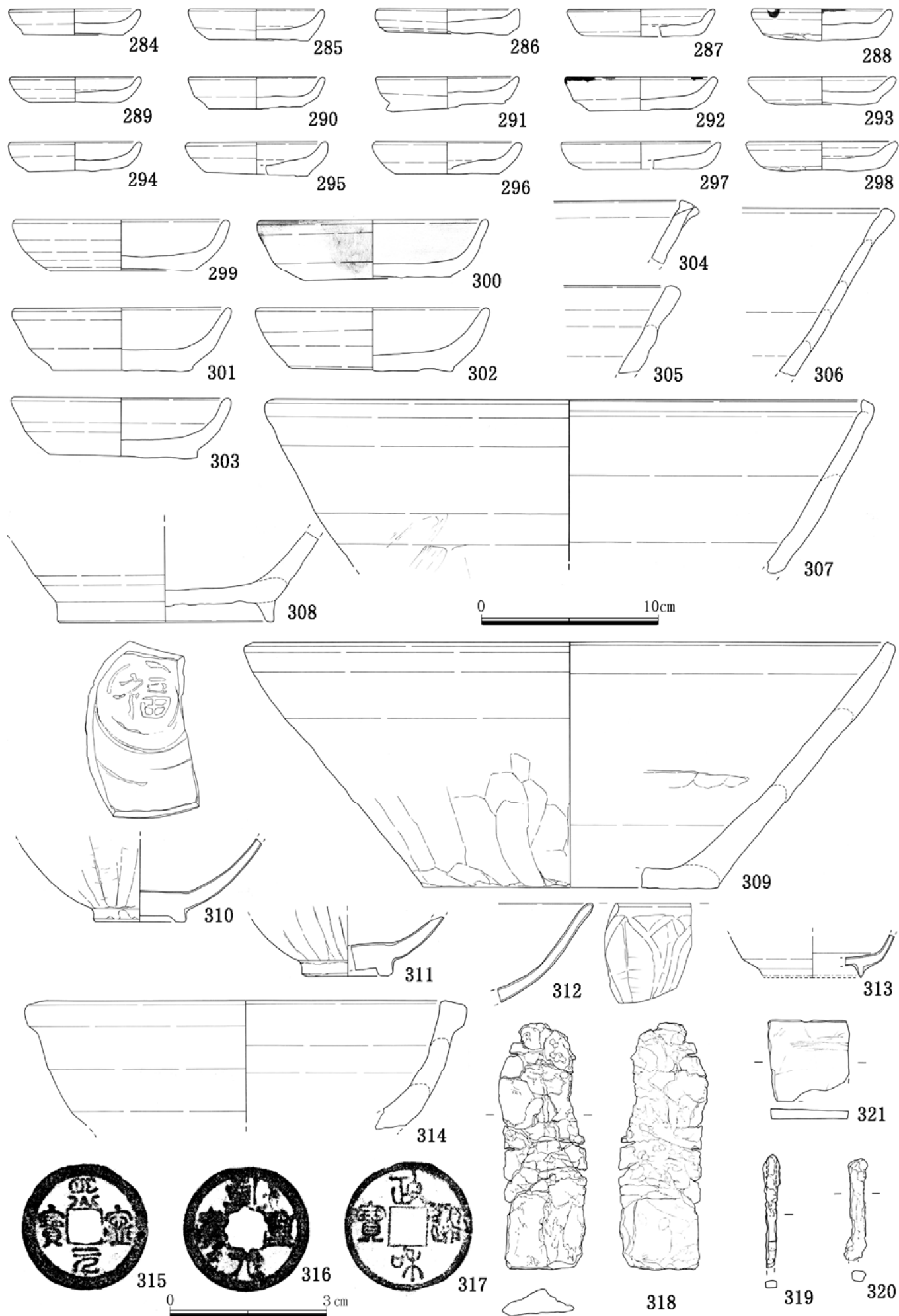


図 16 第 5 面までの遺物

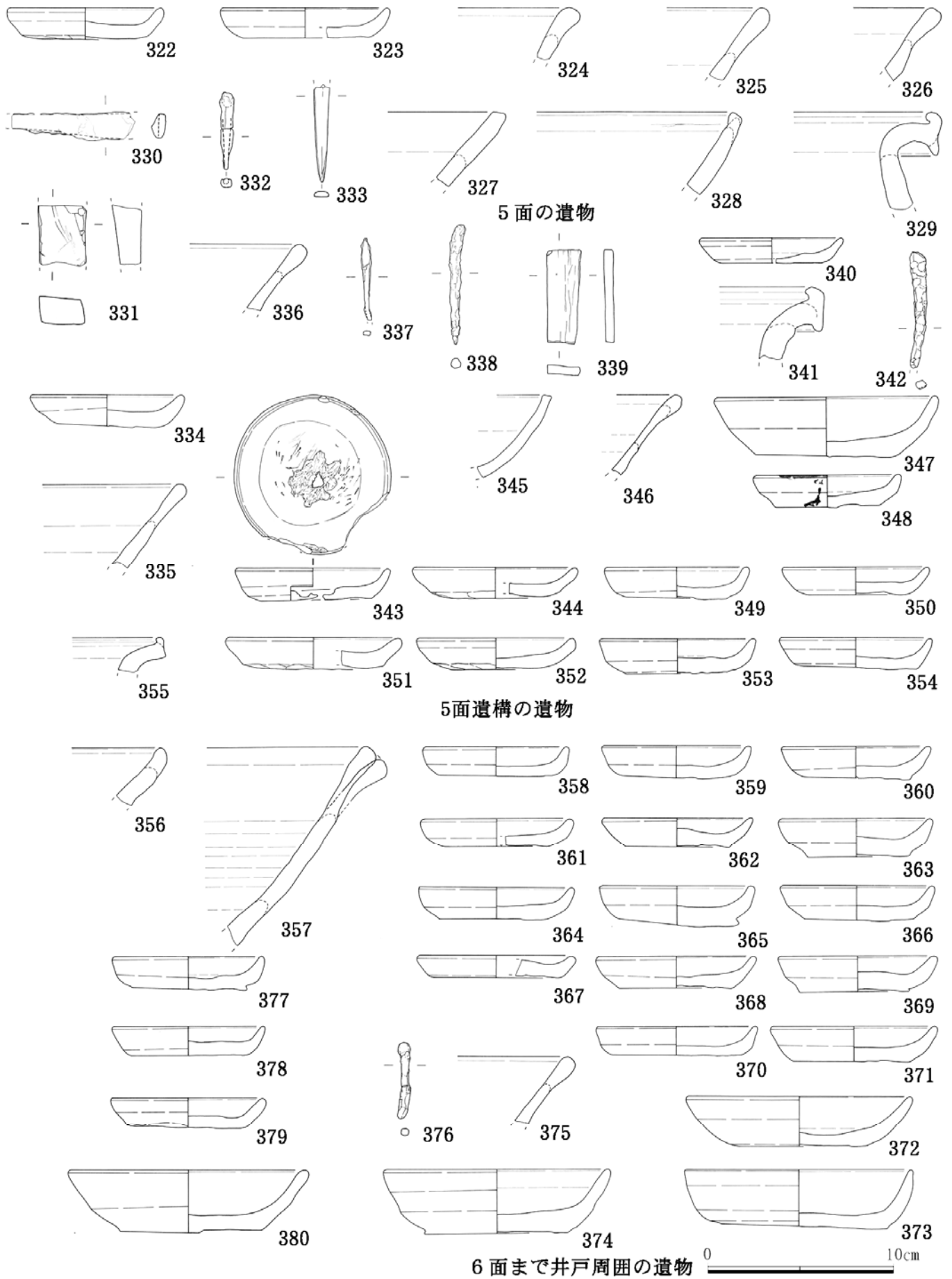


図17 第5面・第5面遺構、第6面までの遺物

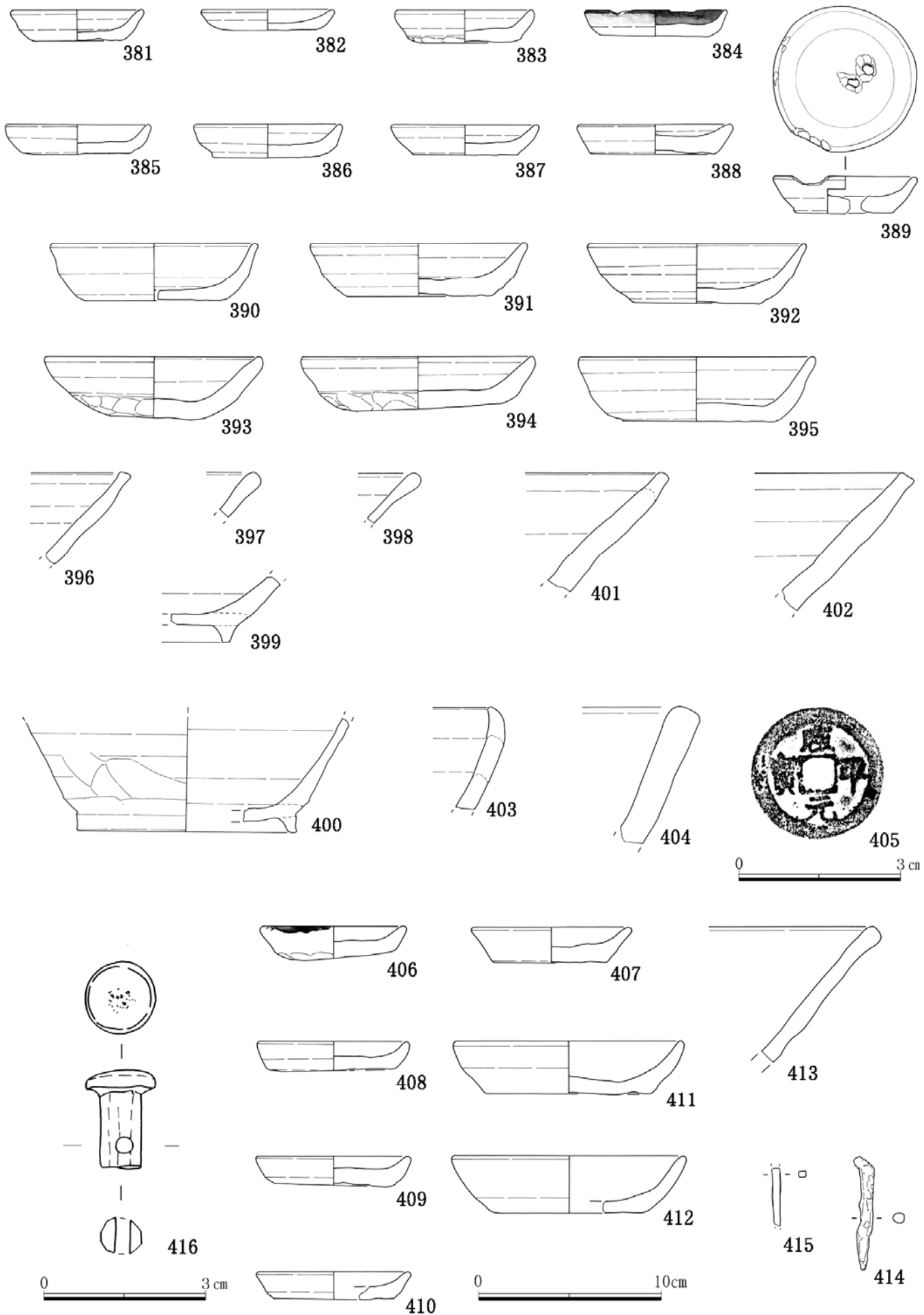


図 18 第 6 面まで・第 6 面の遺物

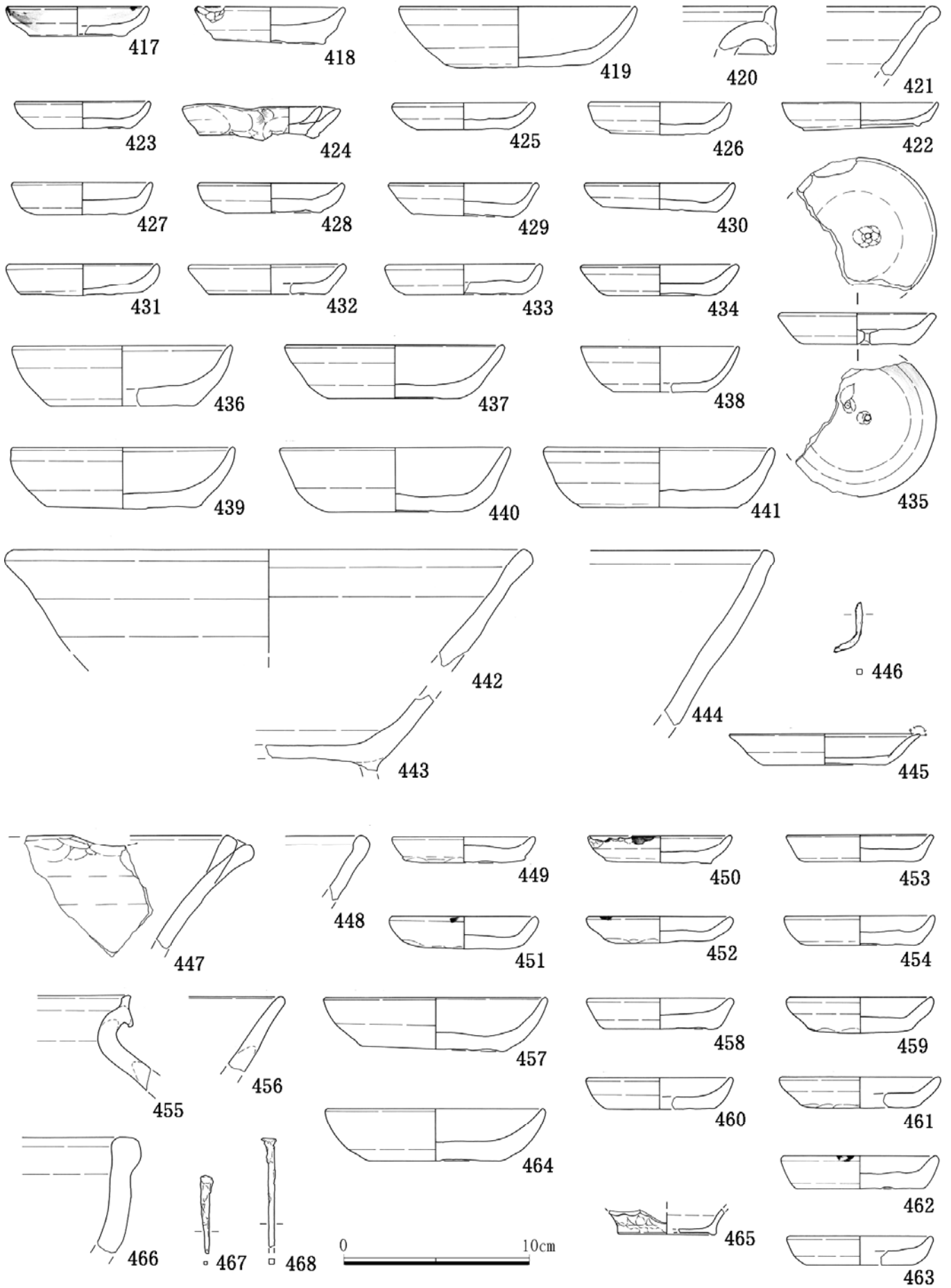


図 19 第 6 面井戸、土坑、柱穴の遺物

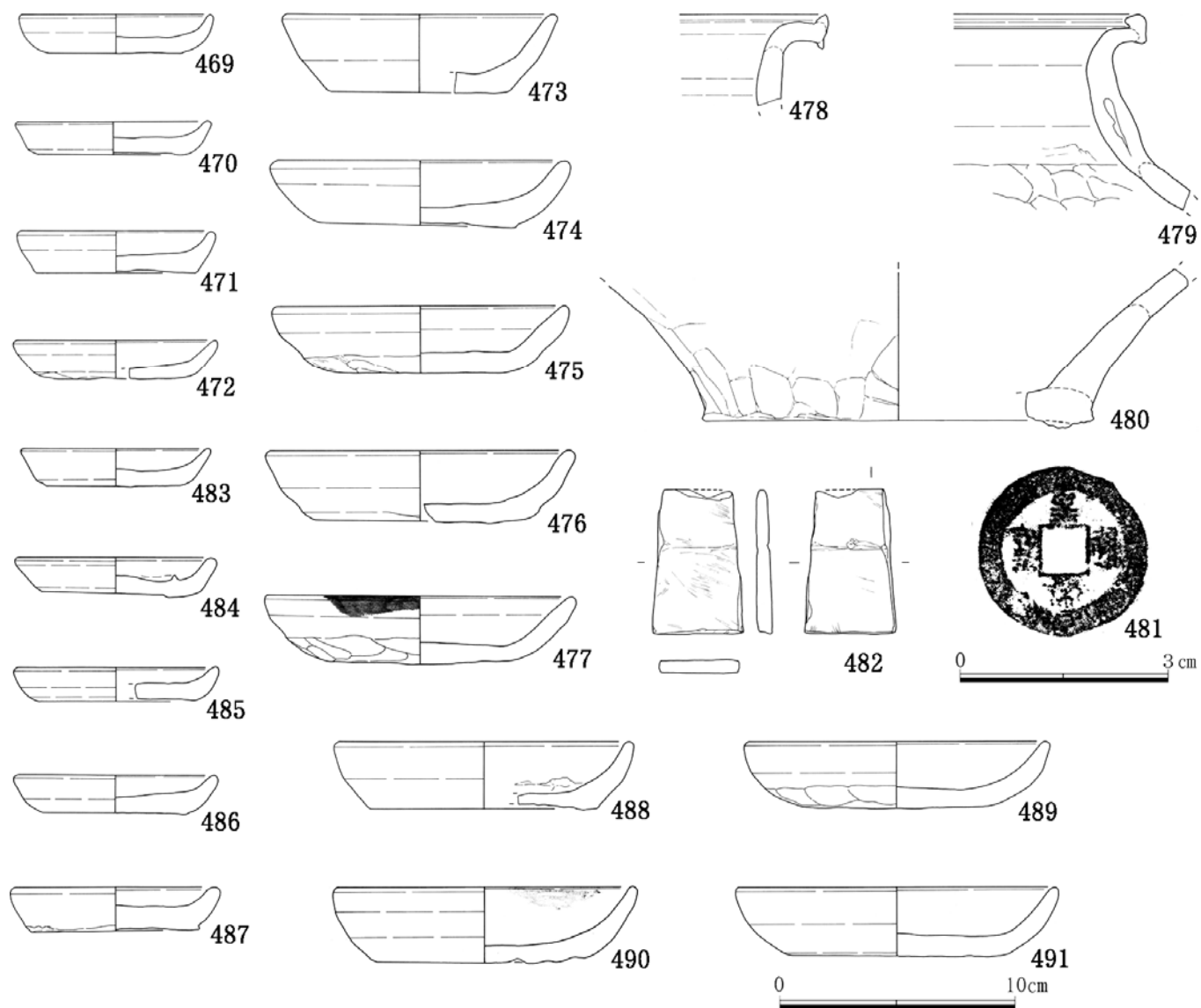


図 20 第 7 面まで・第 7 面遺構の遺物

観察表 1

図7 表採・1面土坑1の遺物

( )は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種別	機種	口径	器高	底径	観察
1	表土掘削中	土器	糸切りかわらけ(小)	7.7	1.8	5.1	胎土:雲母・白針・クサリ礫・黒色粒 色調:黄褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り 燈明皿
2	表土掘削中	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.9)	1.3	(6.1)	胎土:雲母・白針・クサリ礫・黒色粒 色調:黄褐色 成形:糸切り・スノコ痕
3	表土掘削中	土器	手捏ねかわらけ(小)	7.9	1.8	-	胎土:雲母・白針・クサリ礫・黒色粒 色調:黄褐色 成形:手捏ね 指頭痕
4	表土掘削中	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:白色粒、砂多く含む 色調:灰色 成形:体部外面ナデ 常滑編年6a
5	表土掘削中	陶器	常滑 口縁部	-	-	-	胎土:雲母・白針・クサリ礫・黒色粒 色調:橙褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り 常滑編年5
6	表土掘削中	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調灰色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
7	表土掘削中	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調灰色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
8	表土掘削中	陶器	常滑 甕	-	-	-	胎土:長石、礫粒含む 色調:灰褐色に黄緑色の自然釉 常滑編年7
9	表土掘削中	石製品	砥石 仕上げ砥	長(8.8)	幅3.5	厚(1.0)	色調:淡黄色 表面に細かな傷多数あり 鳴滝産
10	土坑1	土器	瓦質火鉢(風炉)	(21.2)	-	-	胎土:灰褐色 焼成:良好硬質
11	土坑1	土器	瓦質火鉢(風炉)	-	-	-	胎土:灰色の砂粒、白色粒、赤色粒含む 色調:黒灰色 焼成:良好硬質
12	土坑1	土器	瓦質火鉢(風炉)	-	-	-	胎土:灰色の砂粒、白色粒、赤色粒を含む 胴部上部片 色調:黒灰色
13	土坑1	土器	瓦質火鉢(風炉)	胴径(27.9)	-	-	胎土:灰色精良土 体部片 外面に菊花文 色調:黒灰色 焼成:良好硬質
14	土坑1	土器	瓦質火鉢(風炉)	-	-	-	胎土:灰褐色、砂粒、白色粒、赤色粒を含む 焼成:良好硬質 色調:黒灰色
15	土坑1	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.3)	1.6	(5.6)	胎土:雲母・白針・クサリ礫・黒色粒 色調:橙褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り
16	土坑1	土器	糸切りかわらけ(小)	(9.0)	1.8	(7.5)	胎土:雲母・白針・クサリ礫・黒色粒 色調:黄褐色 成形:糸切り・スノコ痕
17	土坑1	土器	糸切りかわらけ(中)	(10.2)	3.1	(6.1)	胎土:細かい雲母・精良土 色調:黄褐色 成形:糸切り・スノコ痕
18	土坑1	土器	糸切りかわらけ(大)	(13.2)	3.7	(7.3)	胎土:雲母・白針・クサリ礫・黒色粒 色調:橙褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り
19	土坑1	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:2mm大の砂粒を多く含む 色調:淡灰色 常滑編年6a
20	土坑1	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒含む堅緻 色調:暗灰色 成形:内外面ナデ 常滑編年7
21	土坑1	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒含む 堅緻 色調:濁赤褐色 成形:内外面ナデ 常滑編年7
22	土坑1	陶器	瀬戸 平碗	-	-	(6.4)	胎土:淡黄灰色 精良土 色調:薄黄灰色 成形:釉ハケ塗り
23	土坑1	石製品	砥石 仕上げ砥	長(4.9)	幅3.2	厚0.7	色調:黄褐色 鳴滝産
24	土坑1	鉄製品	釘	長(6.5)	幅0.4	4.0g	断面四角形
25	土坑1	鉄製品	釘	長(5.2)	幅0.3	3.0g	断面四角形
26	土坑1	銅製品	銭 元豊通寶	径2.3	3.0g	-	初鑄年1078 北宋

図8 1面土坑1の遺物

( )は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種別	機種	口径	器高	底径	観察
27	土坑1	土器	角焜炉(カクコンロ)	高22.1	幅24.0	-	胎土:微細な砂粒を含む精良土 色調:褐色 成形:表面へう磨き 「三河名産製造組合新美海之助」銘の刻
28	土坑1	土器	猫行火(ネコアンカ)	高25.3	幅24.7	-	胎土:微細な砂粒を含む精良土 色調:黒色 成形:表面へう磨き

図9 2面までの遺物

( )は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種別	機種	口径	器高	底径	観察
29	2面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(6.9)	1.7	(5.0)	胎土:微砂・白針 色調:黄褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り
30	2面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.2)	1.3	(5.5)	胎土:微砂・白針・クサリ礫 色調:黄褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り
31	2面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.6	1.7	(5.5)	胎土:微砂・白針・クサリ礫 色調:黄褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り
32	2面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.7)	1.7	(5.3)	胎土:白針・クサリ礫 色調:橙褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り
33	2面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.8)	1.6	(5.7)	胎土:白針・クサリ礫 色調:淡褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り
34	2面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.9)	1.7	(6.0)	胎土:白針・クサリ礫 色調:黄褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り
35	2面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.4)	2.0	(5.5)	胎土:白針・クサリ礫 色調:黄褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り
36	2面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.6)	1.6	(5.8)	胎土:白針・クサリ礫 色調:黄褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り
37	2面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	10.7	3.3	6.6	胎土:細かい精良土 色調:橙褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り
38	2面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	11.9	3.2	7.2	胎土:細かい精良土 色調:黄褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り
39	2面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.1)	3.4	(7.5)	胎土:細かい精良土 色調:橙褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り
40	2面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	12.1	3.7	6.8	胎土:精良土 色調:橙褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り
41	2面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	12.4	3.2	7.7	胎土:精良土 色調:黄褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り
42	2面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	12.4	3.2	8.0	胎土:細かい精良土 色調:黄褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り
43	2面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(13.3)	3.3	8.7	胎土:粗土 色調:黄褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り
44	2面まで	土器	白かわらけ(大)	-	-	4.8	胎土:精良土 色調:乳白色 成形:糸切り・スノコ痕
45	2面まで	磁器	青磁 蓮弁文碗	-	-	(2.8)	底部片 胎土:灰白色の精良土 内外面淡緑色の透明な釉
46	2面まで	磁器	青磁 鐘蓮弁文碗	-	-	-	胎土:灰白色の精良土 堅緻 鐘蓮弁文 内外面淡緑色の透明な釉
47	2面まで	磁器	同安窯青磁 皿	-	-	-	胎土:淡灰色の精良土 色調:淡褐色
48	2面まで	磁器	青白磁 梅瓶	-	-	-	胎土:灰白色で精良土 透明な水色の釉
49	2面まで	磁器	青白磁 梅瓶	-	-	-	胎土:灰白色で精良土 透明な水色の釉
50	2面まで	磁器	染付 茶碗	6.5	4.4	2.5	胎土:細かい精良土 色調:白色
51	2面まで	磁器	染付 茶碗	-	-	(4.2)	胎土:細かい精良土 色調:白色
52	2面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:淡灰色 常滑編年6a
53	2面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 貼付高台
54	2面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:砂粒多くザツクリした素地 色調:淡灰色 成形:外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
55	2面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:暗灰褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
56	2面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:茶褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
57	2面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:灰褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年9
58	2面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:淡赤褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年10
59	2面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:淡赤褐色 成形:内外面ナデ 砂底
60	2面まで	陶器	備前 すり鉢	-	-	-	胎土:灰色素地に白色、黒色粒を含む 色調:灰色
61	2面まで	陶器	備前 すり鉢	-	-	-	胎土:橙褐色に砂粒含む 色調:橙～灰色
62	2面まで	陶器	瀬戸 卸皿	-	-	-	胎土:淡灰色 精良土 色調:乳褐色 成形:口唇部シャープ 古瀬戸編年前Ⅱ期(13世紀前葉)
63	2面まで	陶器	瀬戸 壺	-	-	-	胎土:灰色できめ細かく精良土 色調:灰色 口縁部片 四耳壺か
64	2面まで	陶器	瀬戸 四耳壺	-	-	-	胎土:灰色精良土 色調:透明オレンジ色釉
65	2面まで	陶器	瀬戸 平碗	-	-	6.4	胎土:淡黄灰色 精良土 色調:薄緑灰色釉 成形:釉ハケ塗り 古瀬戸編年中Ⅲ期(14c中葉)
66	2面まで	陶器	山茶碗	-	-	-	胎土:灰色精良土 白色、黒色の砂粒含む
67	2面まで	陶器	常滑 甕 口縁部	-	-	-	胎土:2mmほどの長石、砂を含む 色調:灰色 淡黄～灰緑色の自然釉厚い 常滑編年8
68	2面まで	陶器	常滑 甕 口縁部	-	-	-	胎土:長石含む堅緻 色調:暗褐色 常滑編年5
69	2面まで	陶器	常滑 甕 口縁部	-	-	-	胎土:2mmほどの長石、砂を含む 色調:灰色 淡黄～灰緑色の自然釉厚い 常滑編年5
70	2面まで	陶器	常滑 甕 口縁部	-	-	-	胎土:2mmほどの長石、砂を含む 色調:灰色 淡黄～灰緑色の自然釉厚い 常滑編年5
71	2面まで	陶器	常滑 甕 底部	-	-	-	胎土:長石、石英、礫粒多く含む 色調:褐色～赤褐色の自然釉
72	2面まで	土器	瓦質火鉢	-	-	-	胎土:長石粒含む 色調:暗灰色
73	2面まで	石製品	砥石 中砥	長(6.8)	幅3.7	厚0.9	色:赤褐色 天草産
74	2面まで	銅製品	銭 祥符通寶	径2.5	4.0g	-	初鑄年1009 北宋
75	2面まで	銅製品	銭 政和通寶	径2.4	3.0g	-	初鑄年1111 北宋
76	2面まで	銅製品	銭 嘉祐元寶	径2.4	5.0g	-	初鑄年1056 北宋
77	2面まで	銅製品	銭 元豊通寶	径2.5	4.0g	-	初鑄年1078 北宋

図10 2面・2面遺構の遺物

( )は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種別	機種	口径	器高	底径	観察
78	2面	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.3)	2.0	(4.0)	胎土:きめ細かい精良土 色調:淡赤灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り

観察表 2

79	2面	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.3)	2.0	(4.0)	胎土:きめ細かい精良土 色調:淡赤灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
80	2面	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.0)	3.3	6.6	胎土:軟質 きめ細かい素地にクサリ礫粒が混じる 色調:赤灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
81	2面	陶器	常滑 甕 口縁部	-	-	-	胎土:長石、礫粒含む 色調:灰褐色に黄緑色の自然釉 常滑編年6a
82	2面	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:白色粒、砂多く含む 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
83	P13	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.7)	1.7	(5.5)	胎土:やや粗土 色調:淡赤灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
84	P13	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:明灰褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年7
85	土坑3	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.0)	1.3	(5.6)	胎土:きめ細かい精良土 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
86	土坑3	土器	糸切りかわらけ(大)	(13.0)	3.6	(7.3)	胎土:軟質 きめ細かい素地にクサリ礫粒が混じる 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
87	土坑5	土器	糸切りかわらけ(小)	7.4	1.8	5.3	胎土:きめ細かい精良土 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
88	土坑5	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.3)	3.2	(5.5)	胎土:軟質 きめ細かい素地にクサリ礫粒が混じる 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
89	土坑5	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:淡赤褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年7
90	土坑7	土器	糸切りかわらけ(大)	11.7	3.1	7.6	胎土:軟質 きめ細かい素地にクサリ礫粒が混じる 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
91	土坑7	土器	糸切りかわらけ(小)	13.1	3.3	7.4	胎土:軟質 きめ細かい素地にクサリ礫粒が混じる 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
92	土坑8	土器	糸切りかわらけ(大)	12.0	3.4	7.5	胎土:軟質 きめ細かい素地にクサリ礫粒が混じる 色調:赤褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
93	土坑8	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.4)	3.7	(6.6)	胎土:軟質 きめ細かい素地にクサリ礫粒が混じる 色調:赤褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
94	土坑8	鉄製品	釘	長6.9	幅0.3	厚0.2	断面四角形 重さ3.0g
95	土坑9	石製品	砥石 中砥	長(5.7)	幅6.2	厚5.3	色調:灰白～黄灰色 上野産か
96	土坑9	土器	糸切りかわらけ(小)	7.4	1.8	4.6	胎土:きめ細かい精良土 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
97	土坑9	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:白色粒、砂多く含む 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年7
98	土坑9	骨製品	筭	(9.6)	1.5	0.3	片面に1条の凹み
99	土坑10	鉄製品	釘	長(9.3)	幅0.5	厚0.3	断面四角形 重さ8.0g
100	溜まり1	土器	糸切りかわらけ(大)	10.8	3.0	6.3	胎土:軟質 きめ細かい素地にクサリ礫粒が混じる 色調:赤褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
101	溜まり1	土器	糸切りかわらけ(小)	7.7	1.9	4.6	胎土:きめ細かい精良土 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
102	溜まり1	土器	糸切りかわらけ(大)	12.3	3.2	7.4	胎土:軟質 やや粗い素地にクサリ礫粒が混じる 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
103	溜まり1	土器	糸切りかわらけ(小)	12.4	3.5	6.6	胎土:軟質 きめ細かい素地にクサリ礫粒が混じる 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
104	溜まり1	土器	糸切りかわらけ(大)	12.5	3.4	7.5	胎土:粗い素地にクサリ礫粒が混じる 色調:赤灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
105	溜まり1	土器	糸切りかわらけ(大)	12.6	3.2	7.8	胎土:軟質 やや粗い素地にクサリ礫粒が混じる 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
106	溜まり1	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年7

図11 3面まで・3面遺構の遺物

( )は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種別	機種	口径	器高	底径	観察
107	3面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.8	1.8	5.1	胎土:粗土に微細な雲母多く含む 色調:黄褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り
108	3面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	11.9	3.2	8.0	胎土:軟質 きめ細かい素地にクサリ礫粒が混じる 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
109	3面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	12.4	3.4	7.4	胎土:軟質 素地に白針、クサリ礫粒が混じる 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
110	3面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:白色粒、砂多く含む 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
111	3面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:白色粒、砂多く含む 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
112	3面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:淡赤褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年7
113	3面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:淡赤褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年7
114	3面まで	陶器	常滑 甕 口縁部	-	-	-	胎土:長石、礫粒含む 色調:灰褐色に黄緑色の自然釉 常滑編年6a
115	3面まで	陶器	常滑 甕 口縁部	-	-	-	胎土:2mmほどの長石、砂を含む 色調:灰色 淡黄～灰緑色の自然釉厚い 常滑編年6a
116	3面まで	磁器	青白磁 梅瓶	-	-	-	胎土:灰白色で精良土 透明な水色の釉
117	3面まで	瓦	平瓦 鎌倉Ⅰ期A類	長(9.0)	幅(10)	厚2.6	胎土:精良土 焼き締まる 色調:灰白色 凸面縄目ナデ消し、凹面布目ナデ消し
118	3面まで	石製品	硯 破片	長(10)	幅(8.5)	厚(1.4)	色調:黒灰色 砥石に転用か
119	3面まで	骨製品	筭	(5.8)	1.6	0.3	片面に1条の凹み
120	3面まで	銅製品	銭 景祐元寶	径2.5	3.7g	-	初鑄年 北宋
121	3面まで	銅製品	銭 熙寧元寶	径2.5	3.0g	-	初鑄年 北宋
122	3面まで	鉄製品	刀子	(20.5)	幅2.6	厚1.1	重さ156g 中茎半分欠損
123	土坑14	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.8)	3.2	(6.9)	胎土:白針、雲母、クサリ礫と砂粒を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
124	土坑17	土器	糸切りかわらけ(小)	4.8	1.0	3.9	胎土:微細な雲母多く含む 色調:黄褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り
125	土坑27	土器	糸切りかわらけ(小)	7.5	1.5	5.3	胎土:微細な雲母多く含む 色調:黄褐色 成形:糸切り・スノコ痕 内底ナデ有り
126	土坑27	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:白色粒、砂多く含む 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
127	土坑27	磁器	青磁 鑄蓮弁文碗	-	-	-	胎土:灰白色で堅緻、鑄蓮弁文、内外面透明な淡緑色の施釉
128	P25	磁器	青磁 鑄蓮弁文碗	-	-	-	胎土:灰白色の精良土 堅緻 鑄蓮弁文 内外面淡緑色の透明な釉
129	P23	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:淡赤褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
130	P44	陶器	縁釉 盤	(21.5)	6.0	(19.0)	胎土:黄褐色 1.5mm大の黒色、白色、赤色の砂を多く含む
131	P19	石製品	温石	長(14)	厚1.8	幅(7.0)	表・裏面に削り痕 1ヶ所穿孔あり
132	土坑27	鉄製品	釘	長(5.2)	幅0.6	厚0.5	断面四角形 重さ6.0g
133	土坑27	鉄製品	釘	長(4.5)	幅0.9	厚0.9	断面四角形 重さ11.0g
134	土坑16	鉄製品	釘	長(4.9)	幅0.7	厚0.6	断面四角形 重さ8.0g

図12 4面までの遺物

( )は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種別	機種	口径	器高	底径	観察
135	4面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.0)	1.8	(5.0)	胎土:やや粗土 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
136	4面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.4)	1.9	(5.1)	胎土:粗土 色調:淡赤灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
137	4面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.3)	2.0	(4.1)	胎土:きめ細かい精良土 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
138	4面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.2)	3.1	(6.2)	胎土:白針、雲母、クサリ礫と砂粒を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
139	4面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(13.5)	3.9	(7.9)	胎土:白針、雲母、クサリ礫と砂粒を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
140	4面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(13.1)	3.1	(8.5)	胎土:白針、雲母、クサリ礫と砂粒を含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
141	4面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.6)	3.2	(7.6)	胎土:白針、雲母、クサリ礫と砂粒を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
142	4面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.2)	3.3	(7.4)	胎土:白針、雲母、クサリ礫と砂粒を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
143	4面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:暗褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
144	4面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:暗褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
145	4面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
146	4面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:暗褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年8
147	4面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年7
148	4面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:暗褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
149	4面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6b
150	4面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:暗褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
151	4面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
152	4面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年5
153	4面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
154	4面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
155	4面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
156	4面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
157	4面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
158	4面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	(13.8)	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 底部片
159	4面まで	陶器	常滑 甕 口縁部	46.0	-	-	胎土:長石多く含む堅緻 色調:暗灰褐色 外面首部に両区灰色の釉 常滑編年6a
160	4面まで	陶器	常滑 甕 口縁部	46.0	-	-	胎土:長石多く含む堅緻 色調:暗灰褐色 外面首部に両区灰色の釉 常滑編年8
161	4面まで	陶器	瀬戸 瓶子	-	-	(8.3)	胎土:灰色できめ細かい精良土 色調:灰色 口縁部片

観察表 3

162	4面まで	磁器	青白磁 梅瓶蓋	5.6	3.5	-	胎土:灰白色 精良堅緻 釉:透明水色
163	4面まで	石製品	砥石	長(5.1)	幅4.5	厚1.3	色:灰青色 仕上げ砥 鳴滝産or丹波産
164	4面まで	鉄製品	釘	長(5.1)	幅0.3	厚0.2	断面四角形 重さ3.0g
165	4面まで	鉄製品	釘	長(5.6)	幅0.3	厚0.3	断面四角形 重さ3.0g
166	4面まで	鉄製品	釘	長(6.0)	幅0.3	厚0.4	断面四角形 重さ6.0g
167	4面まで	銅製品	銭 景祐元寶	径2.5	3.7g	-	初鑄年 北宋
168	4面まで	銅製品	銭 皇宗通寶	径2.5	3.7g	-	初鑄年 北宋

図13 4面・4面柱穴の遺物

( )は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種別	機種	口径	器高	底径	観察
169	4面	土器	糸切りかわらけ(小)	6.8	1.6	5.1	胎土:やや粗土 白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
170	4面	土器	糸切りかわらけ(小)	7.5	1.8	5.4	胎土:やや粗土 クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
171	4面	土器	糸切りかわらけ(小)	7.6	1.8	6.1	胎土:やや粗土 白針、クサリ礫に微砂を含む 色調:橙色 成形:糸切り 内底ナデ有り
172	4面	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.6)	1.6	(5.7)	胎土:やや粗土 白針、微砂を含む 色調:黄灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
173	4面	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.8)	1.6	5.5	胎土:やや粗土 土丹粒、黒色微砂を含む精良土 色調:黄灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
174	4面	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.7	5.1	胎土:やや粗土 白針、土丹粒に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
175	4面	土器	糸切りかわらけ(大)	12.1	3.1	7.6	胎土:白針、クサリ礫、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
176	4面	土器	糸切りかわらけ(大)	12.5	3.0	8.0	胎土:白針、クサリ礫、微砂を含む 色調:明黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
177	4面	土器	糸切りかわらけ(大)	12.6	3.4	8.3	胎土:白針、クサリ礫、微砂を含む 色調:明黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
178	4面	土器	糸切りかわらけ(大)	12.9	3.2	7.7	胎土:白針、クサリ礫、微砂を含む 色調:橙色 成形:糸切り 内底ナデ有り
179	4面	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部へラケズリ 常滑編年6a
180	4面	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部へラケズリ 常滑編年6a
181	4面	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:淡赤褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
182	4面	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:淡赤褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6b
183	4面	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:淡赤褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6b
184	4面	陶器	常滑 壺口縁部	-	-	-	胎土:黒色噴き出し有り 堅緻 色調:淡茶褐色~茶褐色 口縁上部に自然釉 常滑編年6a
185	4面	鉄製品	釘	長(4.9)	幅0.6	厚0.5	断面四角形 重さ4.0g
186	4面	鉄製品	釘	長(5.6)	幅0.5	厚0.4	鑄付着 重さ3.0g
187	4面	鉄製品	釘	長(5.7)	幅0.7	厚0.5	断面四角形 重さ4.0g
188	4面	鉄製品	釘	長(6.4)	幅0.6	厚0.6	鑄付着 重さ6.0g
189	4面	鉄製品	釘	長(4.5)	幅0.6	厚0.4	断面四角形 重さ3.0g
190	4面	石製品	砥石	長(6.5)	幅4.2	厚0.9	色:黄灰色 鳴滝産 仕上げ砥
191	4面	銅製品	銭 聖宗元寶	径2.4	4.0g	-	初鑄年1101 北宋
192	P34	石製品	滑石製銅	-	-	-	口縁、鐸部分片
193	P21	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:白色粒、砂多く含む 色調:灰色 成形:体部外面底部へラケズリ 常滑編年6a
194	P35	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
195	P36	土器	糸切りかわらけ(小)	8.3	1.8	6.0	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
196	P38	土器	糸切りかわらけ(小)	7.3	2.2	4.5	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
197	P38	土器	手捏かわらけ(小)	(7.5)	1.6	-	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
198	P38	土器	糸切りかわらけ(大)	(13.2)	2.9	(9.2)	胎土:白針、に砂と気泡を多く含む 色調:淡黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
199	P40	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:白色粒、砂多く含む 色調:灰色 成形:体部外面底部へラケズリ 常滑編年6a
200	P40	土器	糸切りかわらけ(大)	12.3	3.4	7.8	胎土:白針、に砂と気泡を多く含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
201	P47	土器	糸切りかわらけ(小)	7.6	2.0	5.3	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
202	P47	鉄製品	釘	長(5.3)	幅0.6	厚0.3	断面四角形 重さ3.0g
203	P45	石製品	砥石	長(6.4)	幅1.8	厚1.3	色:暗灰色 仕上げ砥
204	P39	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.9	5.7	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
205	P48	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.7	6.0	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
206	P51	土器	糸切りかわらけ(大)	12.2	2.8	7.7	胎土:白針、に砂と気泡を多く含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
207	P53	土器	糸切りかわらけ(小)	(5.0)	1.0	(4.2)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
208	P53	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.2)	1.5	(5.0)	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
209	P53	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.7)	1.7	(6.1)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
210	P53	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.8)	1.8	(5.5)	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
211	P53	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.9)	2.0	(6.5)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
212	P53	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.1)	1.8	(5.4)	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
213	P53	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.3)	2.0	(6.9)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
214	P53	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.7)	1.6	(6.8)	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
215	P53	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.0)	3.3	(8.0)	胎土:白針、に砂と気泡を多く含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
216	P53	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部へラケズリ 常滑編年6a
217	P53	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:暗褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年7
218	P57	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:暗褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年7
219	P74	陶器	常滑 壺口縁部	-	-	-	胎土:黒色噴き出し有り 堅緻 色調:淡茶褐色~茶褐色 口縁上部に自然釉 常滑編年6a
220	P56	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.4)	1.5	(5.2)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
221	P56	銅製品	銭 皇宗通寶	径2.4	3.0g	-	初鑄年1038 北宋
222	P46	銅製品	銭 元豐通寶	径2.5	4.0g	-	初鑄年1078 北宋

図14 4面土坑・溝状1の遺物

( )は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種別	機種	口径	器高	底径	観察
223	土坑19	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.9	5.8	胎土:粗土 クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
224	土坑19	土器	糸切りかわらけ(小)	8.1	1.7	5.6	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:淡黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
225	土坑19	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.7	5.6	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
226	土坑19	土器	糸切りかわらけ(小)	7.3	1.6	5.7	胎土:やや粗土 白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
227	土坑19	土器	糸切りかわらけ(小)	(6.6)	1.8	(4.8)	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
228	土坑19	土器	糸切りかわらけ(大)	13.1	3.2	8.2	胎土:白針、微砂含む 色調:淡黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
229	土坑19	土器	糸切りかわらけ(大)	12.2	3.2	7.3	胎土:微砂、白針、クサリ礫含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
230	土坑19	土器	糸切りかわらけ(大)	13.5	3.2	7.2	胎土:微砂、白針、クサリ礫含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
231	土坑19	土器	糸切りかわらけ(大)	12.4	3.1	8.7	胎土:やや粗土 白針、クサリ礫含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
232	土坑19	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:暗褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年4
233	土坑19	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部へラケズリ 常滑編年6a
234	土坑19	鉄製品	釘	長(7.1)	幅0.6	厚0.4	断面四角形 重さ12.0g
235	土坑20	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.9	5.2	胎土:やや粗土 クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
236	土坑20	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:淡赤褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
237	土坑20	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:淡赤褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
238	土坑20	鉄製品	釘	長(7.2)	幅0.4	厚0.3	断面四角形 重さ4.0g
239	土坑20	鉄製品	釘	長(9.8)	幅0.9	厚1.0	断面四角形 重さ19.0g
240	土坑23	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.4)	2.0	(6.1)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り 口縁打ち欠き多数 燈明か
241	土坑23	磁器	青磁 蓮弁文碗	-	-	4.0	胎土:灰白色の精良土 堅緻 蓮弁文底部片 内外面淡緑色の透明な釉
242	土坑24	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.8)	1.1	(5.5)	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
243	土坑24	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:淡赤褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年9
244	土坑24	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:白色粒、砂多く含む 色調:灰色 成形:体部外面底部へラケズリ



観察表 4

245	土坑24	磁器	青磁 折縁鉢	-	-	-	胎土:灰白色で堅緻、内外面透明な青緑色の施釉
246	土坑24	陶器	瀬戸大窯 擂鉢	-	-	-	胎土:精良な黄灰色の素地に黒色粒混じり堅緻 外面黒褐色
247	土坑24	陶器	備前 擂鉢	-	-	-	胎土:精良堅緻 色調:暗灰色 内面に5本の条線
248	土坑28	土器	糸切りかわらけ(小)	7.5	2.1	6.1	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
249	土坑28	陶器	瀬戸 入子	-	-	4.3	胎土:灰白色 精良土
250	土坑28	陶器	山茶碗	-	-	-	胎土:砂多くザツクリした素地 灰色
251	土坑32	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:白色粒、砂多く含む 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
252	土坑32	鉄製品	釘	長(6.1)	幅0.4	厚0.4	断面四角形 重さ4.0g
253	土坑34	土器	糸切りかわらけ(小)	7.1	1.6	5.5	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:淡黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
254	土坑34	陶器	常滑 口縁部	-	-	-	胎土:黒色噴き出し有り 堅緻 色調:淡茶褐色～茶褐色 口縁上部に自然釉 常滑編年5
255	土坑37	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
256	土坑37	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
257	土坑37	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
258	土坑38	土器	糸切りかわらけ(小)	7.5	1.9	4.9	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:淡黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
259	土坑38	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
260	土坑38	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:淡赤褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデリ 常滑編年6a
261	土坑38	鉄製品	鏝?	長(8.0)	幅1.3	厚0.7	断面四角形 重さ27.0g 鏝か
262	土坑39	土器	糸切りかわらけ(小)	6.9	1.7	5.4	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:淡黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
263	土坑39	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.5	6.3	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:淡黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
264	土坑39	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年7
265	土坑39	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	(32.6)	13.0	(17.1)	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:淡赤褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデリ 常滑編年6a
266	溝状土坑	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.4)	2.2	(5.7)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:淡黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
267	溝状土坑	土器	糸切りかわらけ(小)	(9.8)	2.0	(6.8)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:淡黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
268	溝状土坑	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:白色粒、砂多く含む 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
269	溝状土坑	土器	糸切りかわらけ(大)	12.1	3.1	7.2	胎土:白針、に砂と気泡を多く含む 色調:淡黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
270	溝状土坑	土器	糸切りかわらけ(大)	12.3	3.3	7.8	胎土:白針、に砂と気泡を多く含む 色調:淡黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り

図15 4面落ち込み1の遺物

番号	層位・遺構	種別	機種	口径	器高	底径	観察
271	落ち込み1	土器	糸切りかわらけ(小)	5.3	1.2	3.8	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
272	落ち込み1	土器	糸切りかわらけ(小)	7.7	1.8	5.8	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
273	落ち込み1	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.8	6.3	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
274	落ち込み1	土器	糸切りかわらけ(小)	(6.9)	1.6	(6.0)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
275	落ち込み1	土器	糸切りかわらけ(小)	7.8	1.6	5.9	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
276	落ち込み1	土器	糸切りかわらけ(小)	8.6	1.7	6.3	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
277	落ち込み1	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.7)	3.4	(9.6)	胎土:白針、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
278	落ち込み1	土器	糸切りかわらけ(大)	11.9	3.4	7.9	胎土:やや粗土 白針、微砂含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
279	落ち込み1	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:淡赤褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
280	落ち込み1	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	(14.0)	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ
281	落ち込み1	陶器	常滑 口縁玉縁蓋	(9.4)	-	-	胎土:長石 色調:暗褐色 口唇部玉縁 常滑編年6b
282	落ち込み1	鉄製品	釘	長(4.8)	幅0.7	厚0.7	断面四角形 重さ3.0g
283	落ち込み1	鉄製品	釘	長(5.1)	幅0.5	厚0.5	断面四角形 重さ3.0g

図16 5面までの遺物

番号	層位・遺構	種別	機種	口径	器高	底径	観察
284	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.3	1.4	5.8	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
285	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.5	1.7	5.7	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
286	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.4	6.9	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
287	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.5	6.5	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
288	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.8	1.8	6.7	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
289	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.3)	1.4	(5.3)	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
290	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.6	1.8	(5.4)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
291	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	8.0	1.8	6.8	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
292	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	8.5	1.8	(6.0)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り 燈明皿
293	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	8.1	1.6	5.9	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
294	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.4	1.6	(6.4)	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
295	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.8	1.8	(5.6)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
296	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.8	5.9	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:灰黄色 成形:糸切り 内底ナデ有り
297	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(9.0)	1.5	(6.6)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:淡黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
298	5面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	8.4	1.6	7.0	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
299	5面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	12.2	3.0	8.0	胎土:白針に砂を多く含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
300	5面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	12.9	3.4	(8.4)	胎土:白針に砂を多く含む 色調:淡黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
301	5面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.3)	3.5	(7.7)	胎土:白針に砂を多く含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
302	5面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	13.0	3.5	9.4	胎土:白針に砂を多く含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
303	5面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(13.4)	3.2	(9.4)	胎土:白針に砂を多く含む 色調:淡黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
304	5面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:暗褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
305	5面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	(14.0)	胎土:白色粒、砂多く含む 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
306	5面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	(14.0)	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a
307	5面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	(33.6)	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:淡赤褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
308	5面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	(14.0)	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ
309	5面まで	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	(36.3)	14.1	(16.9)	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:淡赤褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
310	5面まで	磁器	青磁 蓮弁文碗	-	-	5.1	胎土:灰白色の精良土 堅緻 鑄蓮弁文底部片 内外面淡緑色の透明な釉 内面見込みに「福」
311	5面まで	磁器	青磁 蓮弁文碗	-	-	5.1	胎土:灰白色の精良土 堅緻 鑄蓮弁文底部片 内外面淡緑色の透明な釉
312	5面まで	磁器	青磁 蓮弁文碗	-	-	4.6	胎土:灰白色の精良土 堅緻 鑄蓮弁文底部片 内外面淡緑色の透明な釉
313	5面まで	磁器	青磁 折腰鉢	-	-	(5.6)	胎土:灰白色の精良土 堅緻 鑄蓮弁文底部片 内外面淡緑色の透明な釉
314	5面まで	土器	瓦質火鉢	(22.6)	-	-	胎土:ザツクリした素地に微砂含む 黄褐色
315	5面まで	銅製品	銭 熙寧元寶	径2.4	4.0g	-	初鑄年1068 北宋
316	5面まで	銅製品	銭 乾元重寶	径2.4	3.0g	-	初鑄年758 唐
317	5面まで	銅製品	銭 政和通寶	径2.5	3.0g	-	初鑄年1111 北宋
318	5面まで	鉄製品	形態不明	長(14)	幅4.0	厚1.4	重さ234g
319	5面まで	鉄製品	釘	長(6.0)	幅0.5	厚0.3	断面四角形 重さ3.4g
320	5面まで	鉄製品	釘	長(6.0)	幅0.5	厚0.3	断面四角形 重さ3.4g
321	5面まで	石製品	砥石	長(4.7)	幅4.5	厚0.6	色:灰青色 仕上げ砥 鳴滝産

図17 5面・5面遺構・6面かわらけ溜りの遺物

番号	層位・遺構	種別	機種	口径	器高	底径	観察
322	5面	土器	手捏ねかわらけ(小)	(8.3)	1.7	-	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
323	5面	土器	糸切りかわらけ(小)	(9.0)	1.6	(6.9)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
324	5面	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:白色粒、砂多く含む 色調:灰色 成形:体部外面底部ヘラケズリ 常滑編年6a

観察表 5

325	5面	陶器	常滑 片口鉢 I 類	-	-	-	胎土: 白色粒、砂多く含む 色調: 灰色 成形: 体部外面底部へラケズリ 常滑編年6a
326	5面	陶器	常滑 片口鉢 I 類	-	-	-	胎土: 白色粒、砂多く含む 色調: 灰色 成形: 体部外面底部へラケズリ 常滑編年6a
327	5面	陶器	常滑 片口鉢 II 類	-	-	-	胎土: 長石粒及び砂を多く含む 色調: 淡赤褐色 成形: 内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
328	5面	陶器	常滑 片口鉢 II 類	-	-	-	胎土: 長石粒及び砂を多く含む 色調: 淡赤褐色 成形: 内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
329	5面	陶器	常滑 壺 口縁部	-	-	-	胎土: 黒色噴き出し有り 堅緻 色調: 淡茶褐色～茶褐色 口縁上部に自然釉 常滑編年6a
330	5面	鉄製品	刀子	長(6.8)	幅1.3	厚0.4	刀子の中茎部分
331	5面	石製品	砥石	長(3.2)	幅2.5	厚1.5	色: 暗灰色 中砥
332	5面	鉄製品	釘	長(4.1)	幅0.8	厚0.5	断面四角形 重さ3.0g
333	5面	骨製品	筭	長(5.1)	幅0.8	厚0.3	先端部分
334	P81	土器	糸切りかわらけ(小)	8.1	1.7	5.5	胎土: クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調: 黄灰色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
335	P81	陶器	常滑 片口鉢 I 類	-	-	-	胎土: 白色粒、砂多く含む 色調: 灰色 成形: 体部外面底部へラケズリ 常滑編年6a
336	P78	陶器	常滑 片口鉢 I 類	-	-	-	胎土: 長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調: 灰色 成形: 体部外面底部へラケズリ 常滑編年6a
337	P78	鉄製品	釘	長(4.5)	幅0.4	厚0.2	断面四角形 重さ1.0g
338	P78	鉄製品	釘	長(6.6)	幅0.6	厚0.5	断面四角形 重さ3.0g
339	P78	石製品	砥石	長(5.1)	幅1.8	厚0.5	色: 淡黄色 仕上げ砥
340	P79	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.6)	1.4	(5.5)	胎土: クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調: 黄褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
341	P79	土器	常滑 壺 口縁部	-	-	-	胎土: 黒色噴き出し有り 堅緻 色調: 淡茶褐色～茶褐色 口縁上部に自然釉 常滑編年6a
342	P79	鉄製品	釘	長(6.4)	幅0.6	厚0.5	断面四角形 重さ6.0g
343	P86	土器	糸切りかわらけ(小)	8.1	1.8	6.0	胎土: クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調: 褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り 内底中央に穿孔有り
344	P92	土器	手捏ねかわらけ(小)	(8.7)	1.7	-	胎土: クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調: 黄褐色 成形: 手捏ね 内底ナデ有り
345	P90	陶器	瀬戸 鉢	-	-	-	胎土: 灰色できめ細かく精良 色調: 灰色 口縁部片
346	P95	陶器	山茶碗	-	-	-	胎土: 砂多くザツクリした素地 灰色 常滑編年5(1220～1250)
347	土坑40	土器	糸切りかわらけ(大)	11.9	3.2	7.7	胎土: 白針に砂と気泡を多く含む粗土 色調: 褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
348	土坑41	土器	糸切りかわらけ(小)	7.8	1.7	5.7	胎土: クサリ礫、土丹粒、微砂を含む粗土 色調: 褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
349	土坑42	土器	糸切りかわらけ(小)	7.6	1.7	5.5	胎土: 白針に砂を多く含む 色調: 淡黄褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
350	土坑42	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.8)	1.5	(5.3)	胎土: 白針、黒色砂に微砂を含む 色調: 黄灰色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
351	土坑42	土器	手捏ねかわらけ(小)	9.2	1.7	-	胎土: クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調: 黄褐色 成形: 手捏ね 内底ナデ有り
352	土坑42	土器	手捏ねかわらけ(小)	8.3	1.7	-	胎土: クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調: 黄灰色 成形: 手捏ね 内底ナデ有り
353	土坑42	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.9	5.5	胎土: 白針、黒色砂に微砂を含む 色調: 黄灰色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
354	土坑42	土器	糸切りかわらけ(小)	8.0	1.6	6.3	胎土: 白針、黒色砂に微砂を含む 色調: 褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
355	土坑42	土器	常滑 壺 口縁部	-	-	-	胎土: 黒色噴き出し有り 堅緻 色調: 灰赤褐色 口縁上部に自然釉 常滑編年5
356	土坑42	陶器	常滑 片口鉢 I 類	-	-	-	胎土: 長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調: 茶褐色 成形: 体部外面底部へラケズリ 常滑編年6a
357	土坑42	陶器	常滑 片口鉢 I 類	-	-	-	胎土: 長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調: 灰褐色 成形: 体部外面底部へラケズリ 常滑編年6a
358	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	7.7	1.6	6.1	胎土: 白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調: 黄灰色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
359	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.7	6.0	胎土: 白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調: 黄褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
360	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.7	5.8	胎土: 白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調: 黄褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
361	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.9)	1.6	(5.7)	胎土: 白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調: 黄灰色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
362	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	8.0	1.6	5.7	胎土: 白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調: 褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
363	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	2.1	5.6	胎土: 白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調: 黄褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
364	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.7	5.9	胎土: 白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調: 黄褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
365	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	2.1	6.5	胎土: 白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調: 褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
366	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.9	6.0	胎土: 白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調: 褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
367	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.4)	1.2	(6.9)	胎土: 白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調: 黄灰色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
368	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	8.5	1.7	6.3	胎土: 白針、黒色砂に微砂を含む 色調: 褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
369	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	8.5	2.0	6.0	胎土: 白針、黒色砂に微砂を含む 色調: 黄褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
370	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.6)	1.5	(7.1)	胎土: 白針、黒色砂に微砂を含む 色調: 褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
371	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(小)	8.8	1.9	6.4	胎土: 白針、黒色砂に微砂を含む 色調: 褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
372	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.1)	2.7	(6.6)	胎土: 白針、に砂と気泡を多く含む 色調: 褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
373	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(大)	12.2	3.1	9.0	胎土: 白針、に砂と気泡を多く含む 色調: 褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
374	6面井戸1西側	土器	糸切りかわらけ(大)	12.0	3.5	7.8	胎土: 白針、に砂と気泡を多く含む 色調: 褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
375	6面井戸1西側	陶器	常滑 片口鉢 I 類	-	-	-	胎土: 白色粒、砂多く含む 色調: 灰色 成形: 体部外面底部へラケズリ 常滑編年6a
376	6面井戸1西側	鉄製品	釘	長(4.1)	幅0.3	厚0.4	断面四角形 重さ2.0g
377	トレンチ1	土器	糸切りかわらけ(小)	8.0	1.8	6.3	胎土: 白針、黒色砂に微砂を含む粗土 色調: 黄灰色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
378	トレンチ1	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.6	6.1	胎土: 白針、黒色砂、微砂を含む 色調: 褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
379	トレンチ3	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.6	6.8	胎土: クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調: 黄褐色 成形: 手捏ね 内底ナデ有り
380	南壁セクション	土器	糸切りかわらけ(大)	12.9	3.4	7.8	胎土: 白針に砂と気泡を多く含むやや粗土 色調: 黄灰色 成形: 糸切り 内底ナデ有り

図18 6面まで・6面の遺物

( )は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種別	機種	口径	器高	底径	観察
381	6面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.0)	1.7	(4.8)	胎土: 白針、黒色砂に微砂を含む 色調: 黄灰色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
382	6面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.1)	1.2	(5.2)	胎土: 白針、黒色砂に微砂を含む 色調: 黄灰色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
383	6面まで	土器	手捏ねかわらけ(小)	(7.4)	1.8	-	胎土: クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調: 黄灰色 成形: 手捏ね 内底ナデ有り
384	6面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.7	1.5	6.1	胎土: 白針、黒色砂に微砂を含む 色調: 黄褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り 口縁打ち欠き 燈明皿
385	6面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.7	5.7	胎土: 白針、黒色砂に微砂を含む 色調: 黄褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
386	6面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	8.0	1.9	5.9	胎土: 白針、黒色砂に微砂を含む 色調: 黄褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
387	6面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.0)	1.7	(5.8)	胎土: 白針、黒色砂に微砂を含む 色調: 黄灰色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
388	6面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	8.4	1.6	6.9	胎土: 白針、黒色砂に微砂を含む 色調: 黄灰色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
389	6面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	2.1	5.3	胎土: 白針、黒色砂に微砂を含む 色調: 黄灰色 成形: 糸切り 内底ナデ有り 内底面中央に穿孔有り
390	6面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.4)	3.2	(7.8)	胎土: 白針、に砂と気泡を多く含む 色調: 黄灰色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
391	6面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.9)	3.0	(8.2)	胎土: 白針、に砂と気泡を多く含む 色調: 黄褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
392	6面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	11.9	3.4	7.1	胎土: 白針、に砂と気泡を多く含む 色調: 黄褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
393	6面まで	土器	手捏ねかわらけ(大)	11.9	3.4	-	胎土: クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調: 黄灰色 成形: 手捏ね 内底ナデ有り
394	6面まで	土器	手捏ねかわらけ(大)	12.8	2.9	-	胎土: クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調: 黄灰色 成形: 手捏ね 内底ナデ有り
395	6面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	13.1	3.6	8.6	胎土: 白針、に砂と気泡を多く含む 色調: 黄褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
396	6面まで	陶器	常滑 片口鉢 I 類	-	-	-	胎土: 白色粒、砂多く含む 色調: 灰色 常滑編年5
397	6面まで	陶器	常滑 片口鉢 I 類	-	-	-	胎土: 長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調: 灰色 常滑編年6a
398	6面まで	陶器	常滑 片口鉢 I 類	-	-	-	胎土: 長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調: 灰色 常滑編年6a
399	6面まで	陶器	常滑 片口鉢 I 類	-	-	-	胎土: 白色粒、砂多く含む 色調: 灰色 成形: 体部外面底部へラケズリ
400	6面まで	陶器	常滑 片口鉢 I 類	-	-	(12.0)	胎土: 長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調: 灰色 成形: 体部外面底部へラケズリ
401	6面まで	陶器	常滑 片口鉢 II 類	-	-	-	胎土: 長石粒及び砂を多く含む 色調: 暗灰色 成形: 内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
402	6面まで	陶器	常滑 片口鉢 II 類	-	-	-	胎土: 長石粒及び砂を多く含む 色調: 赤褐色 成形: 内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
403	6面まで	陶器	渥美 無形壺	-	-	-	胎土: 砂が少ない精良土 暗灰色
404	6面まで	土器	瓦質火鉢	-	-	-	胎土: 砂が多い素地に白針、クサリ礫、黒色砂を含む 色調: 褐色
405	6面まで	銅製品	銭 咸平元寶	径2.5	3.0g	-	初鑄年998 北宋
406	6面	土器	手捏ねかわらけ(小)	7.7	1.8	-	胎土: 白針、黒色砂に微砂を含む 色調: 褐色 成形: 手捏ね 内底ナデ有り
407	6面	土器	糸切りかわらけ(小)	8.5	2.0	6.1	胎土: 白針、微砂を含む 色調: 黄灰色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
408	6面	土器	糸切りかわらけ(小)	8.0	1.6	6.8	胎土: 白針、微砂を含む 色調: 黄褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
409	6面	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.6	6.7	胎土: 白針、黒色砂に微砂を含む 色調: 黄褐色 成形: 糸切り 内底ナデ有り
410	6面	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.2)	1.5	(6.6)	胎土: 白針、黒色砂に微砂を含む 色調: 黄灰色 成形: 糸切り 内底ナデ有り

観察表 6

411	6面	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.4)	3.0	(9.2)	胎土:白針に砂と気泡を多く含むやや粗土 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
412	6面	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.6)	3.2	(8.4)	胎土:白針に砂と気泡を多く含むやや粗土 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
413	6面	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部へラケズリ 常滑編年5
414	6面	鉄製品	釘	長(6.6)	幅0.7	厚0.5	断面四角形 重さ6.0g
415	6面	鉄製品	釘	長(3.2)	幅0.4	厚0.4	断面四角形 重さ2.0g
416	6面	鹿角製品	目釘	長1.8	径1.3	厚0.8	刀子の目釘と思われる

図9 井戸1、2・土坑・柱穴の遺物

( )は復元法量・単位cm

番号	層位・遺構	種別	機種	口径	器高	底径	観察
417	井戸1	土器	糸切りかわらけ(小)	7.6	1.6	(5.1)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り 燈明皿
418	井戸1	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.9	5.8	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り 口縁打ち欠き有り 燈明皿
419	井戸1	土器	糸切りかわらけ(大)	12.7	3.3	7.1	胎土:白針に砂と気泡を多く含むやや粗土 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
420	井戸1	陶器	常滑 甕 口縁部	-	-	-	胎土:黒色噴き出し有り 堅緻 色調:淡茶褐色～茶褐色 口縁上部に自然釉 常滑編年5
421	井戸1	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部へラケズリ 常滑編年5
422	井戸1	木製品	漆器 小皿	8.3	1.4	6.3	内外面共に黒漆塗り
423	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.2)	1.5	5.2	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
424	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.4)	1.7	(5.8)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含むやや粗土 色調:黄灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
425	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.4)	1.5	5.1	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
426	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.5)	1.8	(5.4)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
427	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	7.5	1.8	5.2	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
428	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	7.7	1.7	5.2	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
429	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.8	5.3	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
430	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.4	6.2	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
431	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	8.1	1.8	6.7	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
432	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.2)	1.7	(6.3)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
433	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.2)	1.7	(6.4)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
434	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.2)	1.7	(5.4)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
435	井戸2	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.7	5.8	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
436	井戸2	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.8)	3.3	(7.8)	胎土:白針に砂と気泡を含む 色調:黄灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
437	井戸2	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.6)	2.9	(7.0)	胎土:白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
438	井戸2	土器	糸切りかわらけ(大)	(8.4)	2.5	(5.0)	胎土:白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
439	井戸2	土器	糸切りかわらけ(大)	12.0	3.4	8.4	胎土:白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
440	井戸2	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.2)	3.5	(7.2)	胎土:白針、クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
441	井戸2	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.2)	3.2	(8.6)	胎土:白針に砂と気泡を含む 色調:黄灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
442	井戸2	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	(27.8)	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 常滑編年6
443	井戸2	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:長石、白色粒、砂多く含む硬質 色調:灰色 成形:体部外面底部へラケズリ
444	井戸2	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:淡赤褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
445	井戸2	磁器	白磁 口元皿	10.2	1.7	6.6	胎土:乳灰白色で精良土、透明な釉、口縁部釉剥き取り
446	井戸2	鉄製品	釘	長(3.4)	幅0.3	厚0.3	断面四角形 重さ0.6g
447	土坑43	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:白色粒、砂多く含む 色調:灰色 常滑編年6a
448	土坑43	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	胎土:白色粒、砂多く含む 色調:灰色 常滑編年6a
449	土坑43	土器	手捏ねかわらけ(小)	(7.6)	1.5	-	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
450	土坑43	土器	糸切りかわらけ(小)	7.6	1.5	5.8	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
451	土坑47	土器	手捏ねかわらけ(小)	7.7	1.8	-	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
452	土坑47	土器	手捏ねかわらけ(小)	7.7	1.5	-	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
453	土坑45	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.7)	1.5	(6.0)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
454	土坑46	土器	糸切りかわらけ(小)	8.0	1.6	5.8	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
455	土坑48	陶器	常滑 甕口縁部	-	-	-	胎土:長石、黒色噴き出し有り 色調:明茶色 口唇部折り返しシャープ 常滑編年6a
456	P108	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	胎土:長石粒及び砂を多く含む 色調:淡赤褐色 成形:内外面ナデ 口端部外面強いナデ 常滑編年6a
457	P109	土器	糸切りかわらけ(大)	11.9	2.9	7.7	胎土:白針、に砂と気泡を多く含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
458	P137	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.6)	1.7	(6.0)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
459	P149	土器	手捏ねかわらけ(小)	(7.6)	2.0	-	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
460	P142	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.6)	1.7	(5.8)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
461	P156	土器	手捏ねかわらけ(小)	8.4	1.7	-	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
462	P151	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.1)	1.8	(6.8)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
463	P156	土器	糸切りかわらけ(小)	(7.7)	1.6	(5.8)	胎土:白針、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
464	P144	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.7)	2.9	(7.0)	胎土:白針、に砂と気泡を多く含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
465	P155	磁器	青白磁 水注	-	-	(5.2)	胎土:灰白色で精良土 透明な青緑色の釉 外面全体に花と葉を陽刻
466	P156	土器	瓦質火鉢	-	-	-	胎土:粗土 小石粒、砂を多く含む 淡褐色
467	P112	鉄製品	釘	長(4.3)	幅0.2	厚0.2	断面四角形 重さ1.7g
468	P137	鉄製品	釘	長(6.0)	幅0.3	厚0.3	断面四角形 重さ2.2g

図20 7面まで・7面遺構の遺物

( )は復元法量・単位cm

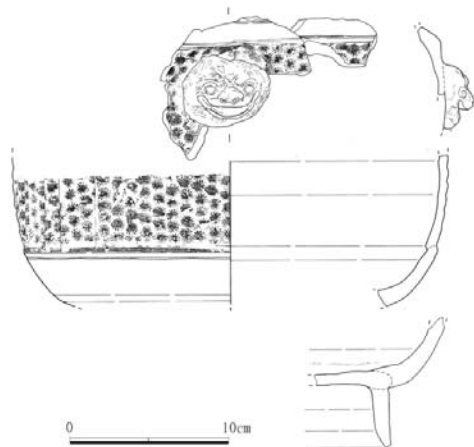
番号	層位・遺構	種別	機種	口径	器高	底径	観察
469	7面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.1)	1.6	(5.8)	胎土:白針、クサリ礫、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
470	7面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	8.3	1.4	6.4	胎土:白針、クサリ礫、黒色砂に微砂を含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
471	7面まで	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.3)	1.8	(7.0)	胎土:白針、クサリ礫、黒色砂に微砂を含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
472	7面まで	土器	手捏ねかわらけ(小)	8.6	1.6	-	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
473	7面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	(11.4)	3.4	(7.7)	胎土:白針、クサリ礫に砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
474	7面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	12.3	2.8	8.4	胎土:白針、クサリ礫に砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
475	7面まで	土器	手捏ねかわらけ(大)	(12.4)	2.9	-	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
476	7面まで	土器	糸切りかわらけ(大)	12.8	3.0	9.0	胎土:白針、クサリ礫に砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
477	7面まで	土器	手捏ねかわらけ(大)	13.1	2.9	-	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
478	7面まで	陶器	常滑 甕 口縁部	-	-	-	胎土:黒色噴き出し有り 堅緻 色調:淡茶褐色～茶褐色 口縁上部に自然釉 常滑編年6a
479	7面まで	陶器	常滑 甕 口縁部	-	-	-	胎土:黒色噴き出し有り 堅緻 色調:淡茶褐色～茶褐色 口縁上部に自然釉 常滑編年5
480	7面まで	陶器	常滑 甕 底部	-	-	(16.6)	胎土:黒色噴き出し有り 堅緻 色調:淡茶褐色～茶褐色
481	7面まで	銅製品	銭 皇宗通寶	径2.5	3.0g	-	初鑄年1034 北宋
482	7面まで	石製品	砥石	長6.2	幅3.5	厚0.6	色:黄灰色 仕上げ砥 鳴滝産
483	土坑51	土器	糸切りかわらけ(小)	7.9	1.6	5.7	胎土:白針、クサリ礫、黒色砂に微砂を含む 色調:黄灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
484	土坑51	土器	糸切りかわらけ(小)	8.2	1.5	6.7	胎土:白針、クサリ礫、黒色砂に微砂を含む 色調:黄灰色 成形:糸切り 内底ナデ有り
485	土坑51	土器	糸切りかわらけ(小)	(8.5)	1.4	(6.3)	胎土:白針、クサリ礫、黒色砂に微砂を含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
486	P166	土器	糸切りかわらけ(小)	8.5	1.6	6.2	胎土:白針、クサリ礫、黒色砂に微砂を含む 色調:褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
487	P171	土器	糸切りかわらけ(小)	8.6	1.9	7.2	胎土:白針、クサリ礫、黒色砂に微砂を含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
488	P169	土器	糸切りかわらけ(大)	(12.5)	2.8	(9.8)	胎土:白針、土丹粒に砂を多く含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
489	P168	土器	手捏ねかわらけ(大)	(12.8)	2.8	-	胎土:クサリ礫、土丹粒、微砂を含む 色調:黄褐色 成形:手捏ね 内底ナデ有り
490	P168	土器	糸切りかわらけ(大)	12.8	3.2	9.3	胎土:白針、クサリ礫に砂を多く含む 色調:淡黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り
491	P176	土器	糸切りかわらけ(大)	(13.5)	3.0	(9.0)	胎土:白針、クサリ礫、土丹粒に砂と気泡を多く含む 色調:黄褐色 成形:糸切り 内底ナデ有り



1. 1面全景 東側から

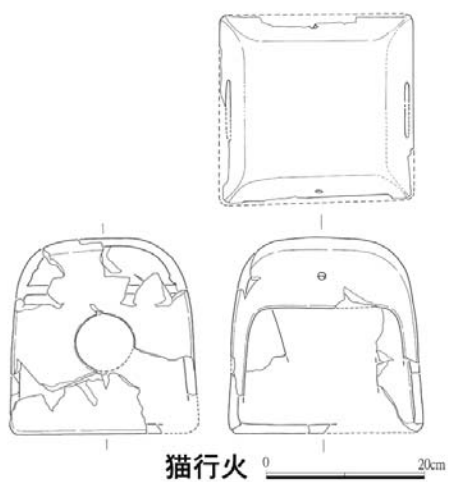


2. 1面全景 西側から



瓦質火鉢（獅子頭風炉）

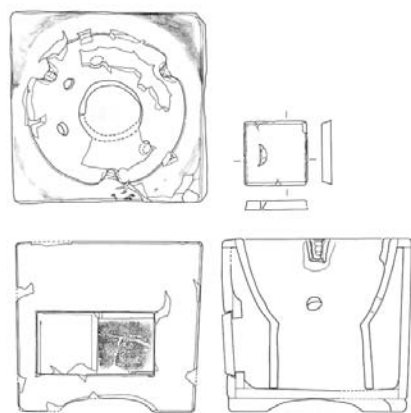
1. 土坑1 碎かれ廃棄された瓦質火鉢(風炉)・角焜炉・猫行火出土状況



猫行火 0 20cm



2. 土坑1 碎かれ廃棄された瓦質火鉢(風炉)・角焜炉・猫行火出土状況



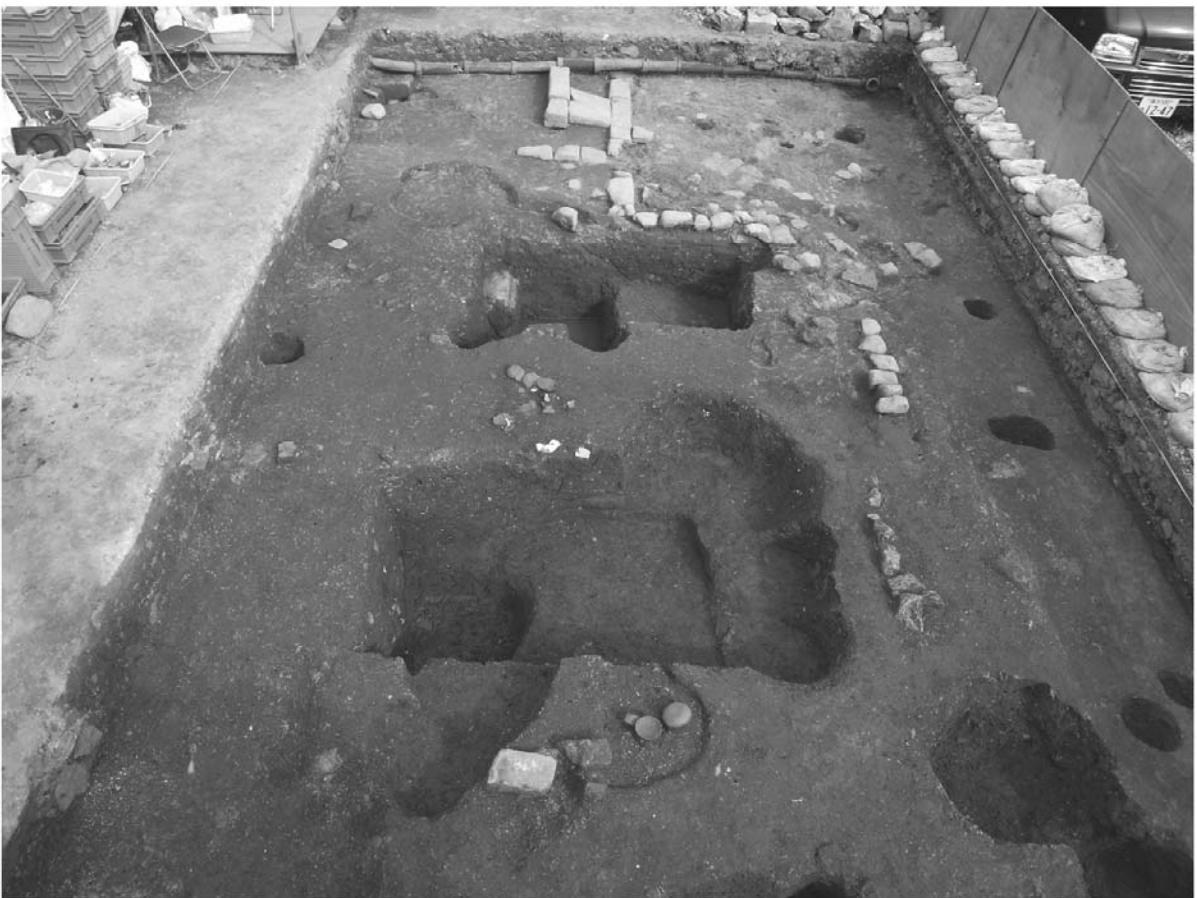
角焜炉 0 20cm

3. 土坑1 碎かれ廃棄された瓦質火鉢(風炉)・角焜炉・猫行火出土状況

第 1 面 土坑 1 遺物出土状況



1. 2面全景 東側から



2. 2面全景 西側から

第2面 全景



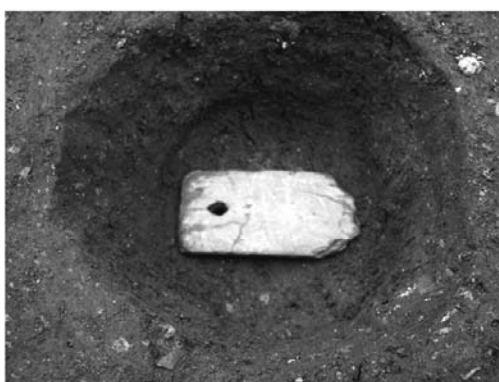
1. 作業風景



2. かわらけ溜り



3. かわらけ溜り



5. 柱穴19 温石出土状況(3面の遺構)



4. 土坑7 かわらけ出土状況  
第2面 遺物出土状況



1. 3面全景 東側から



2. 3面全景西側から

第3面 全景





1. 4面全景 東側から



2. 4面全景 西側から

第4面 全景



1. 土坑21・P75 完掘状況



2. 土坑19・29 完掘状況



4. 土坑26 完掘状況



3. 土坑26 土層断面

第4面の調査

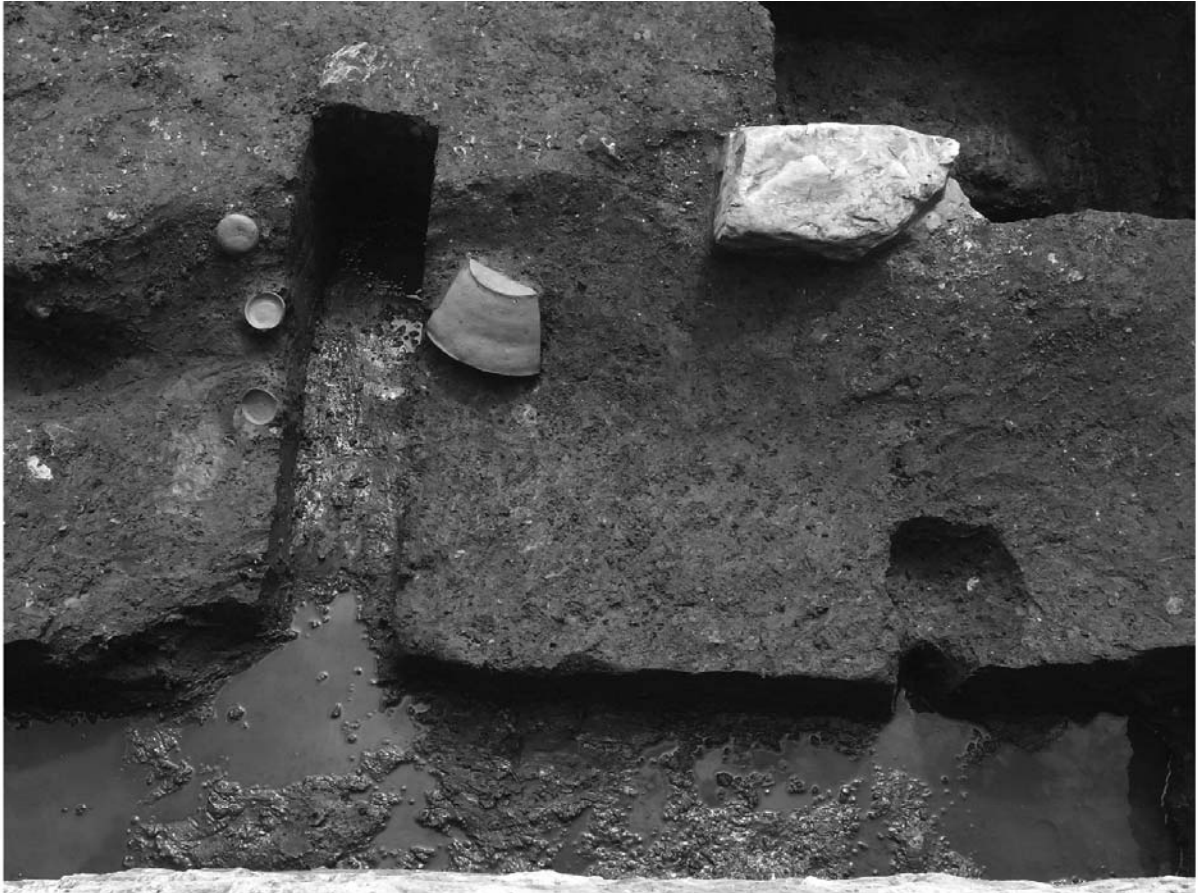


1. 5面全景 東側から



2. 5面全景 西側から

第5面 全景



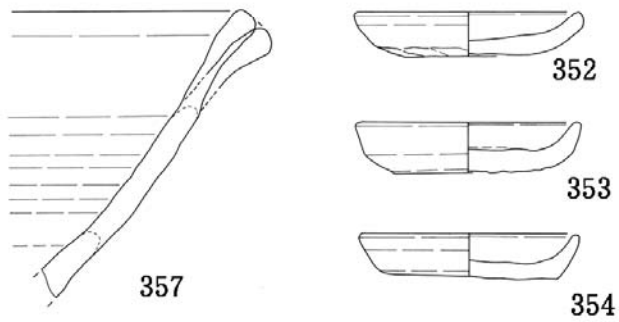
1. 5面土坑42 遺物出土狀況



2. 5面土坑42 遺物出土狀況



3. 5面土坑42 遺物出土狀況



第 5 面 遺物出土狀況



1. 6面全景 東側から

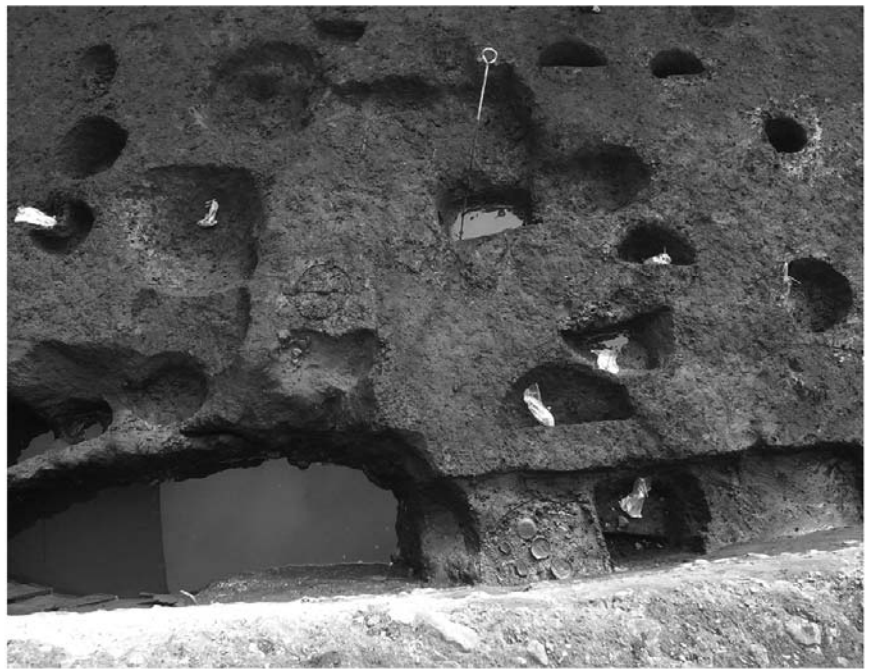


2. 6面全景 西側から

第6面 全景



1. 6面まで 井戸1の西側で検出のかわらけ溜り



2. 6面 井戸1 南側掘方



3. 6面 井戸1 北壁に掛かる井戸枠と井戸の掘方  
第6面の調査



1. 7面 全景 西側から



2. 7面 P216



3. 7面 P206



4. 7面 全景 東側から

第7面 全景



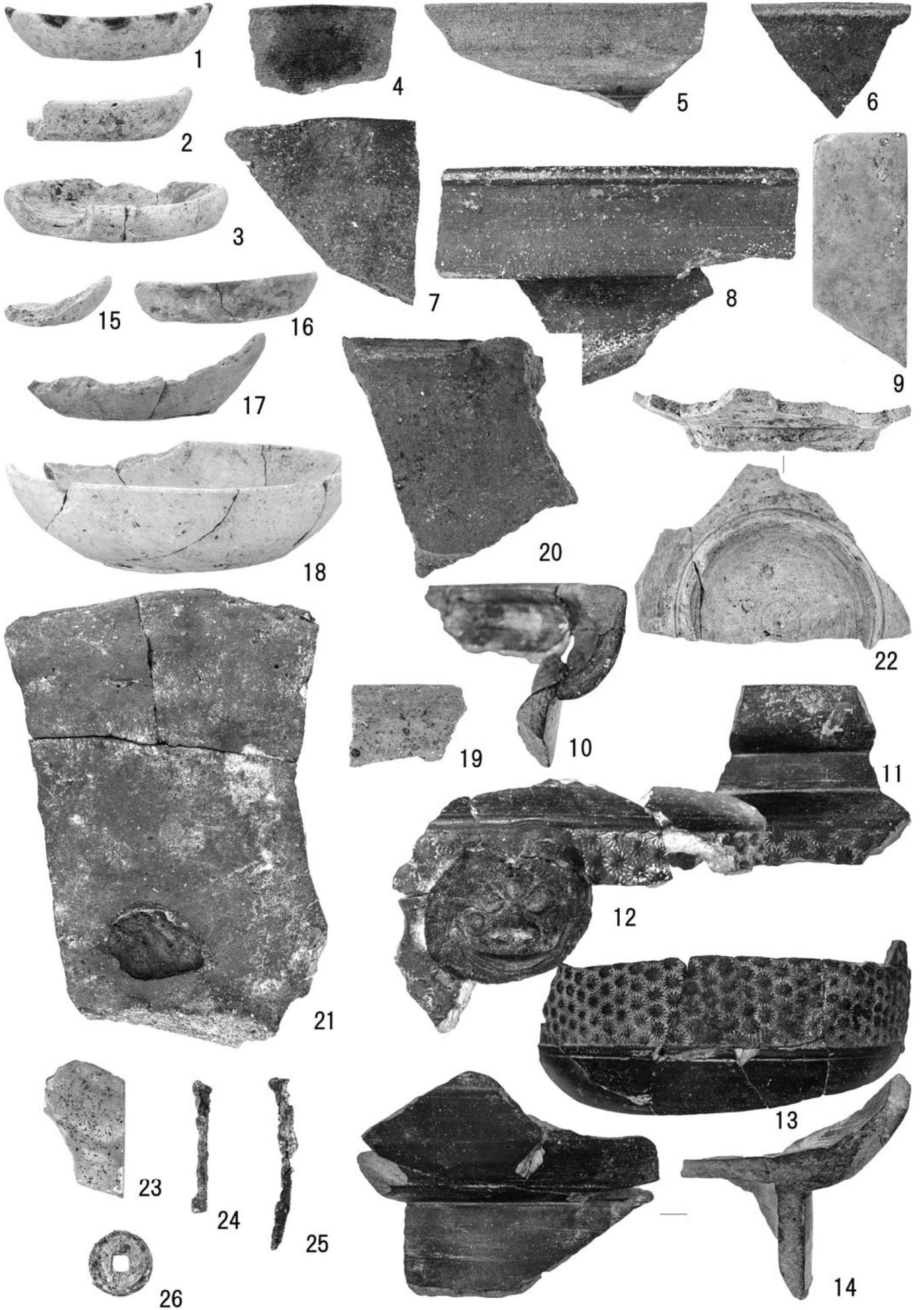
1. 南壁断面



2. 7面 作業風景

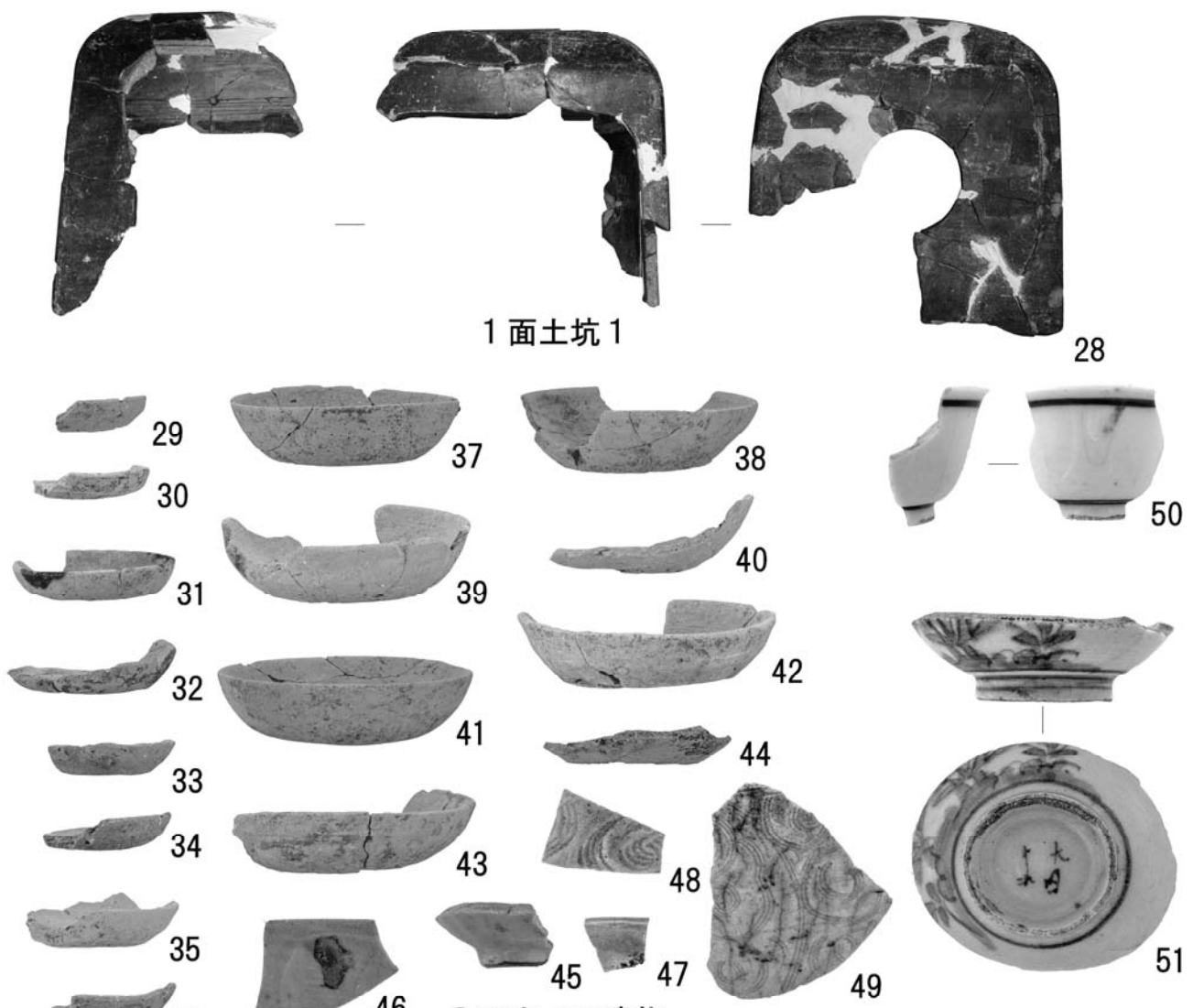
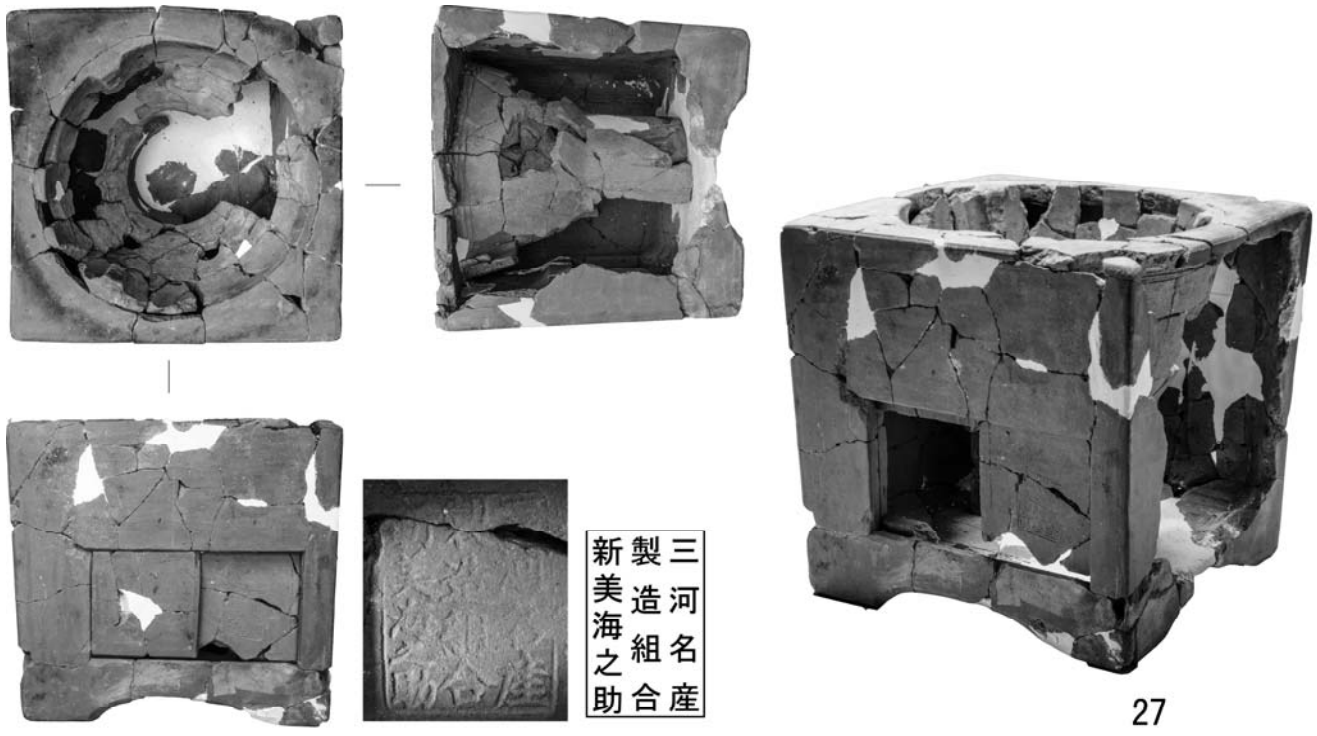
第7面の調査と土層断面



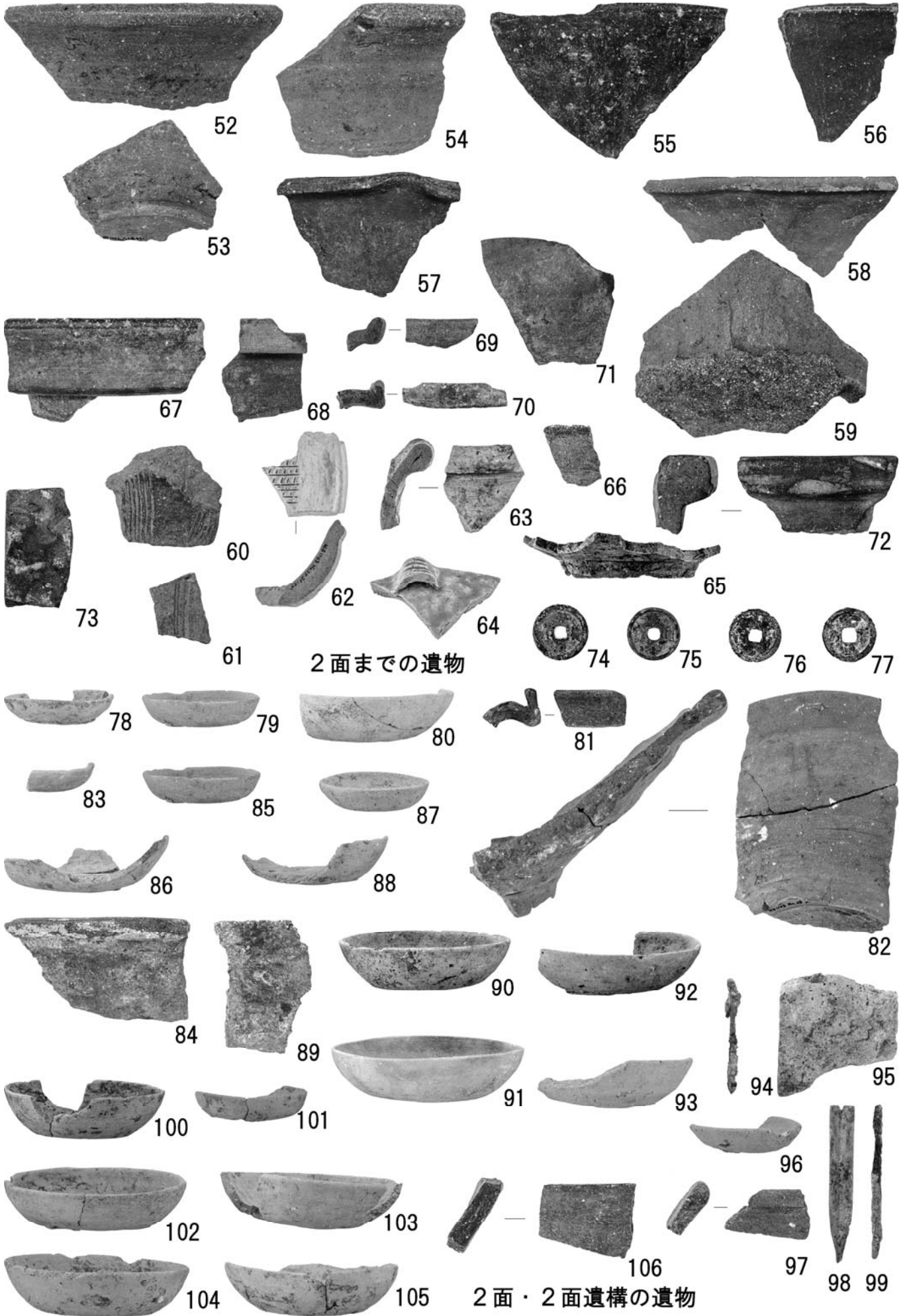


表採・第1面土坑1の遺物

図 15



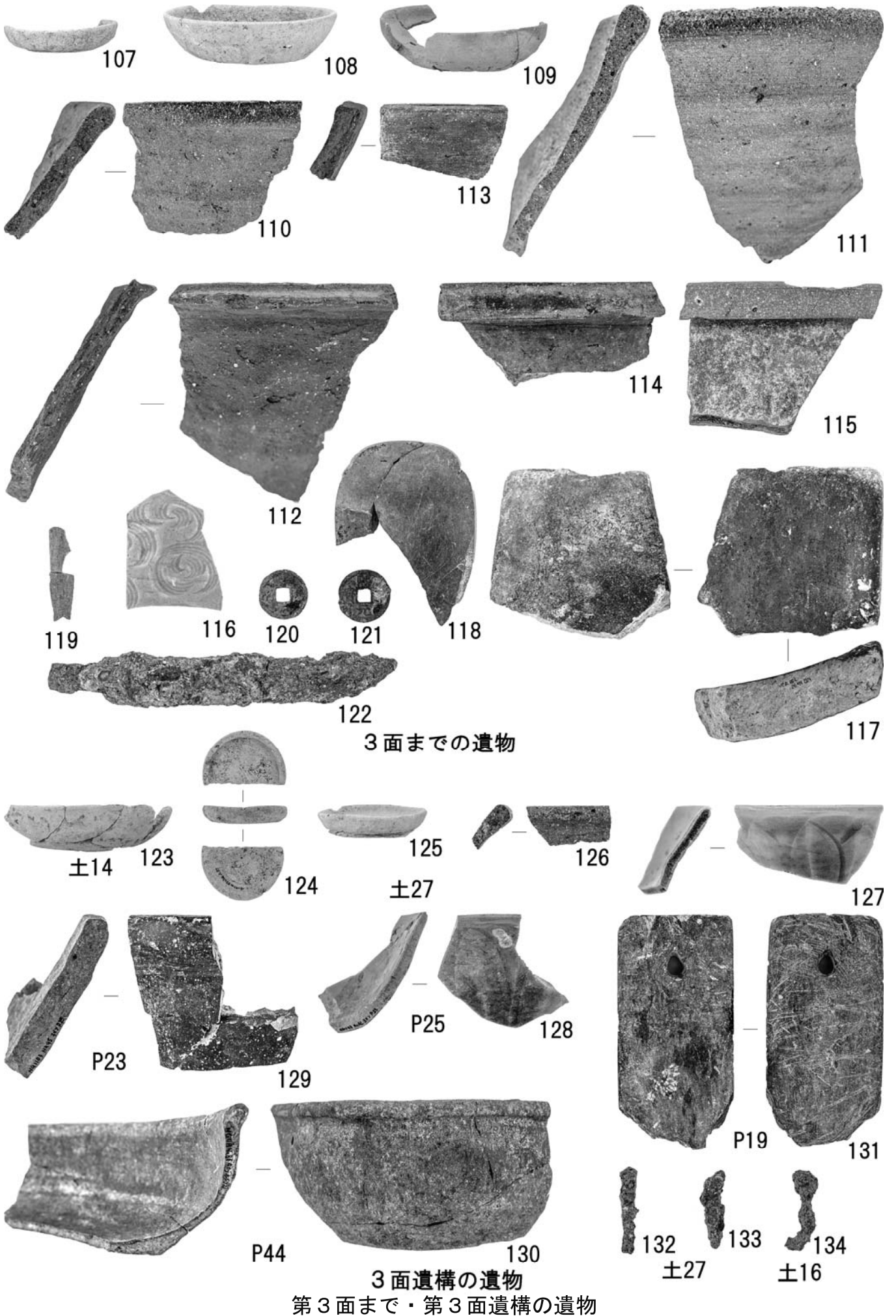
2 面までの遺物  
第 1 面土坑 1・第 2 面までの遺物

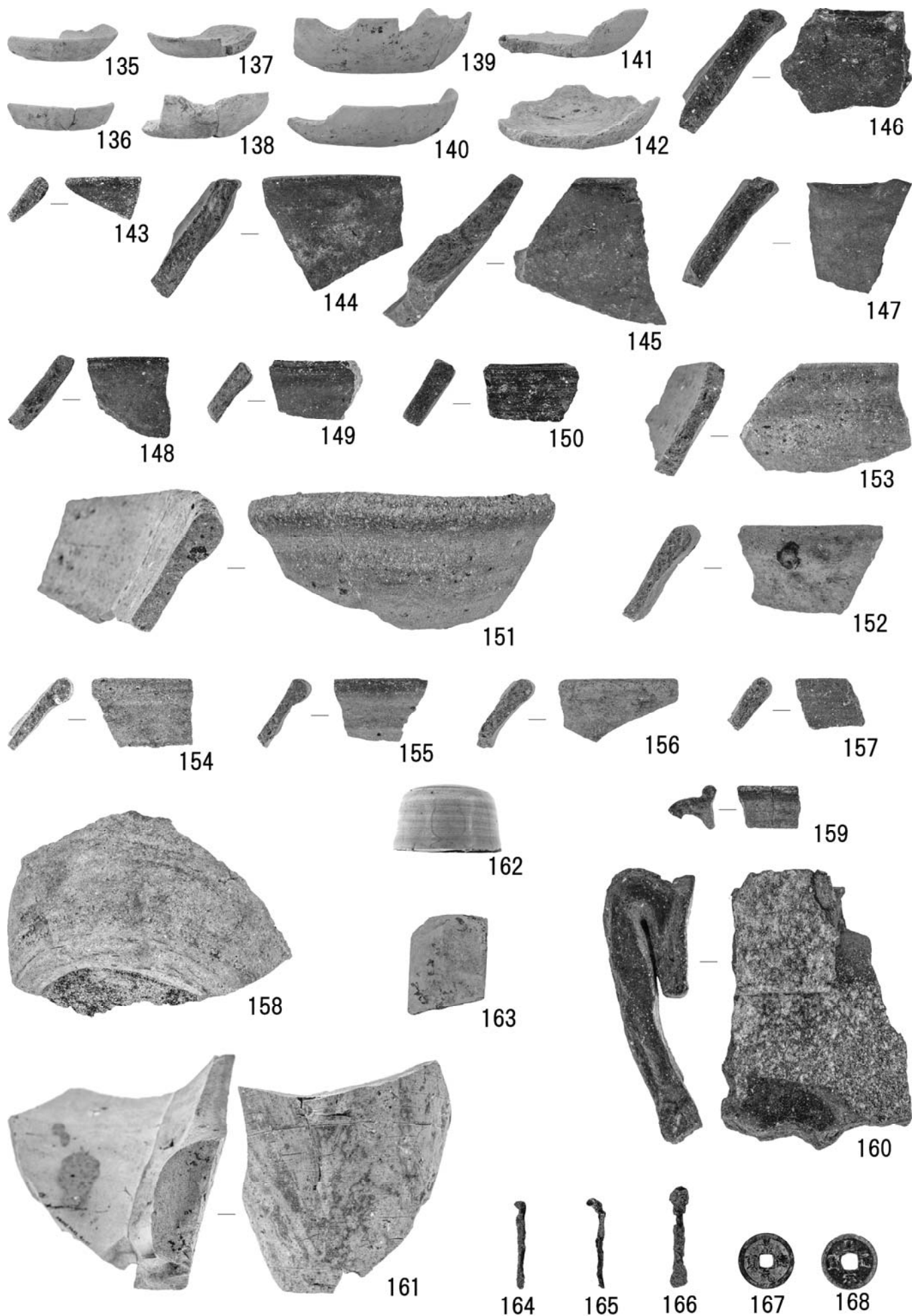


2面までの遺物

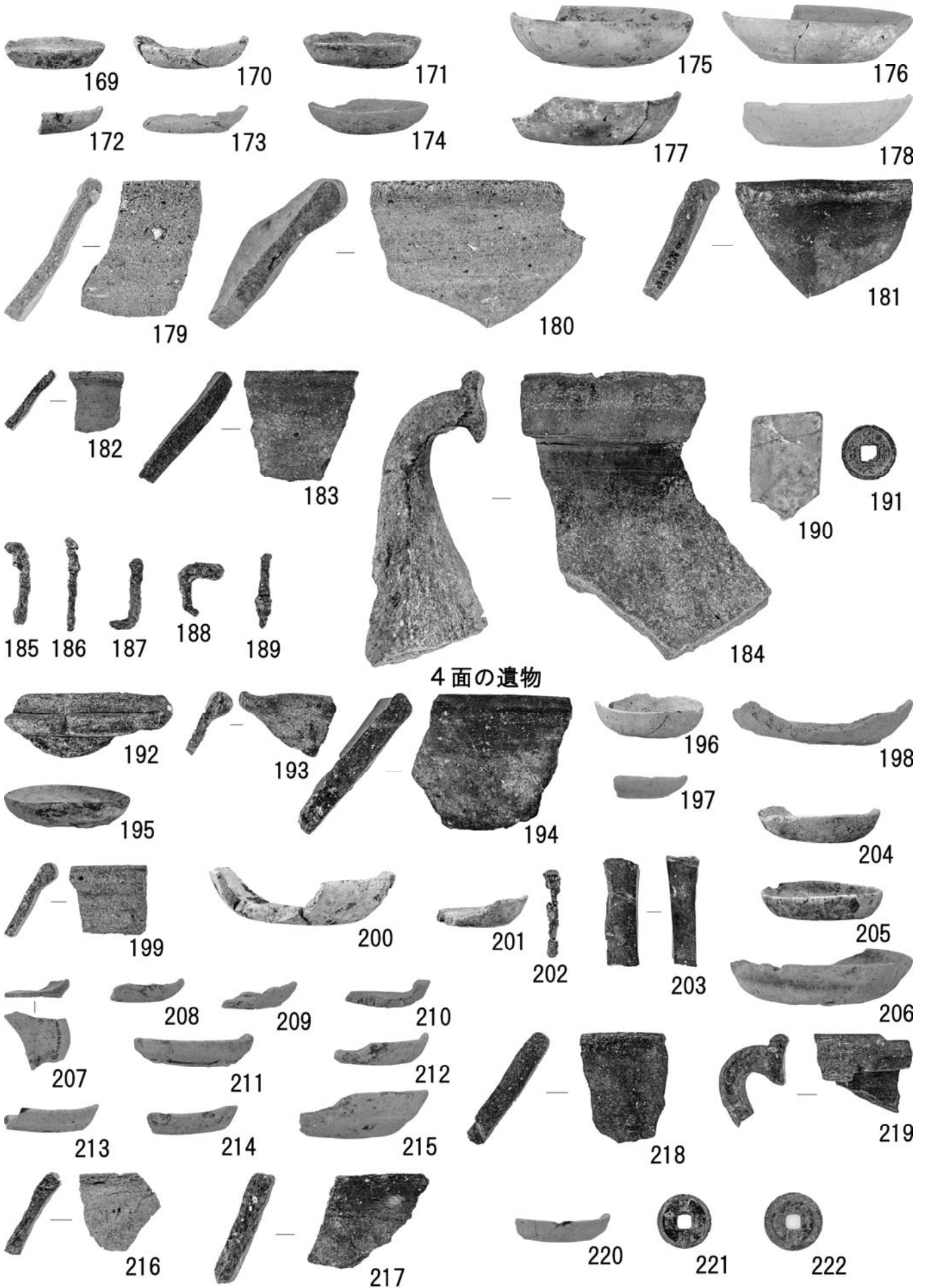
2面・2面遺構の遺物  
第2面まで・第2面・第2面遺構の遺物

図 17



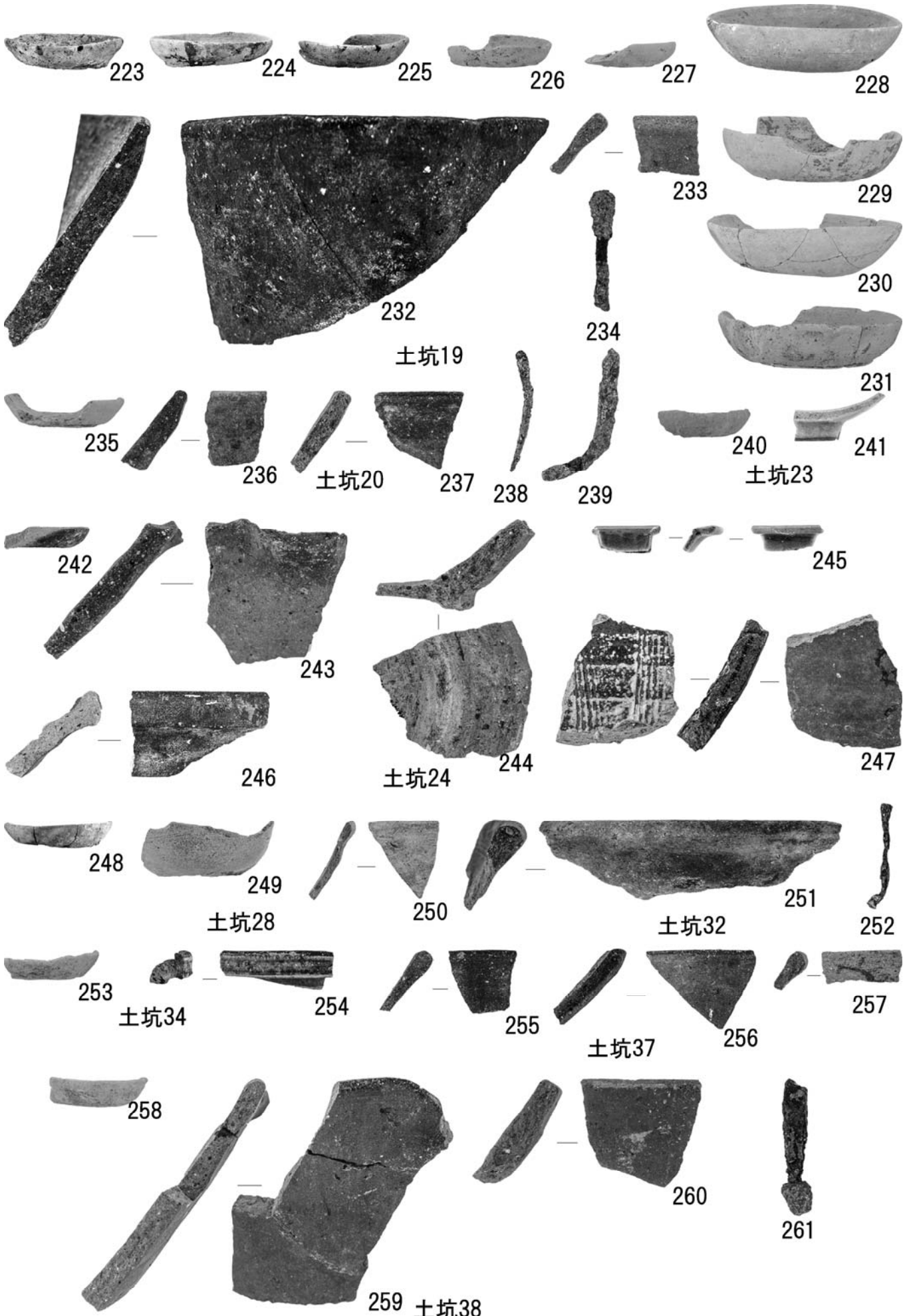


第4面までの遺物



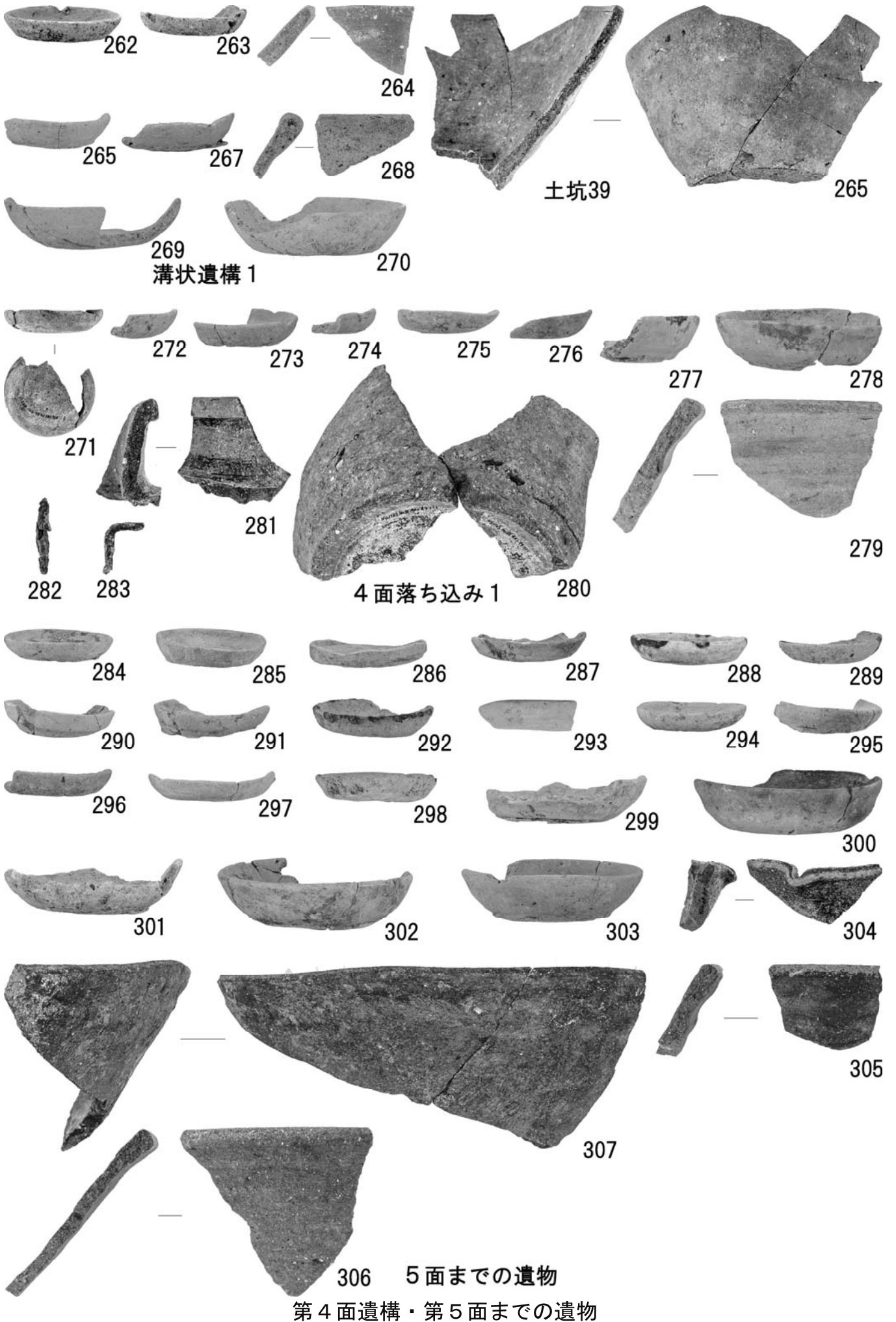
4面の遺物

4面柱穴の遺物  
第4面・第4面柱穴の遺物

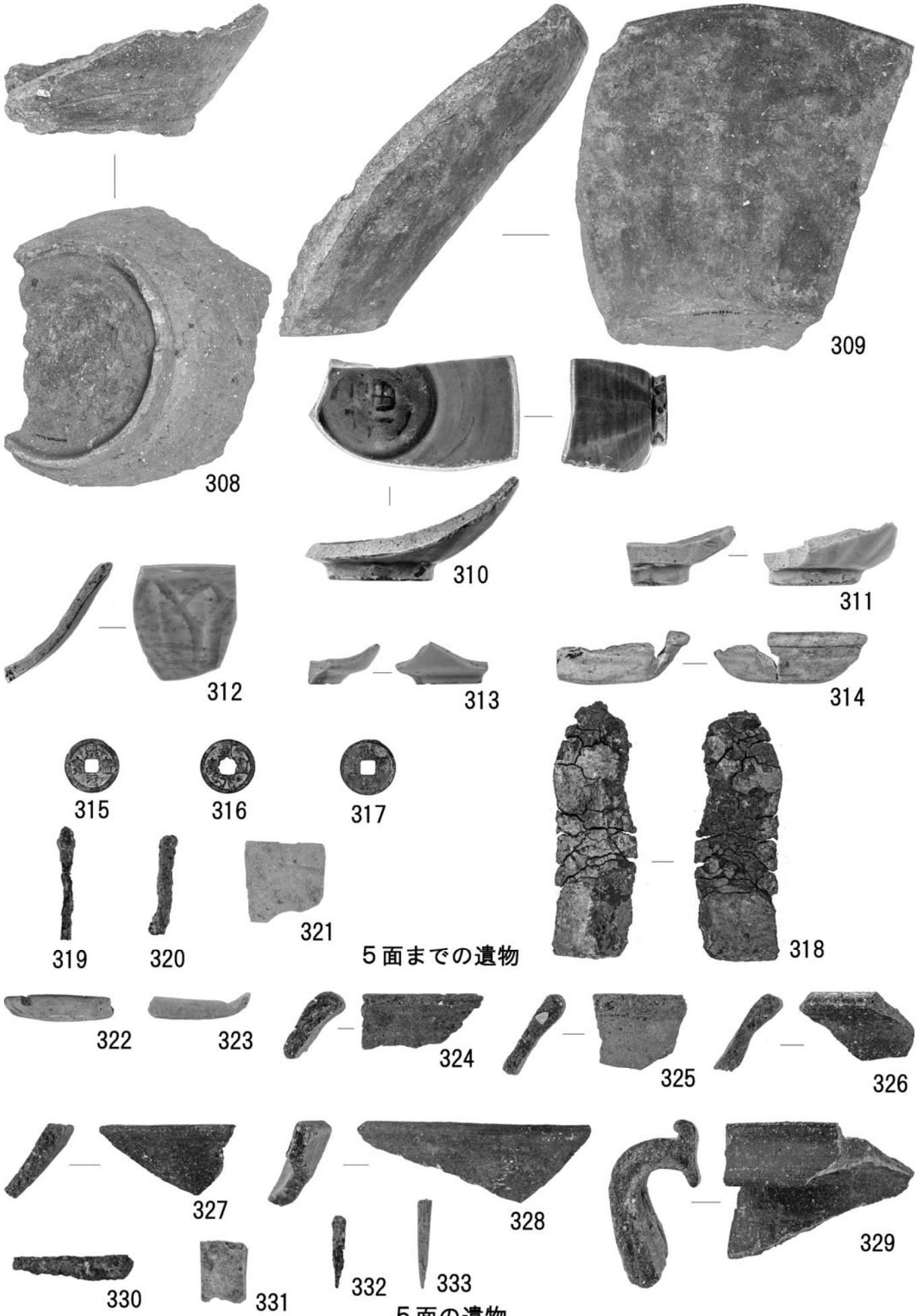


第4面土坑の遺物

図 21





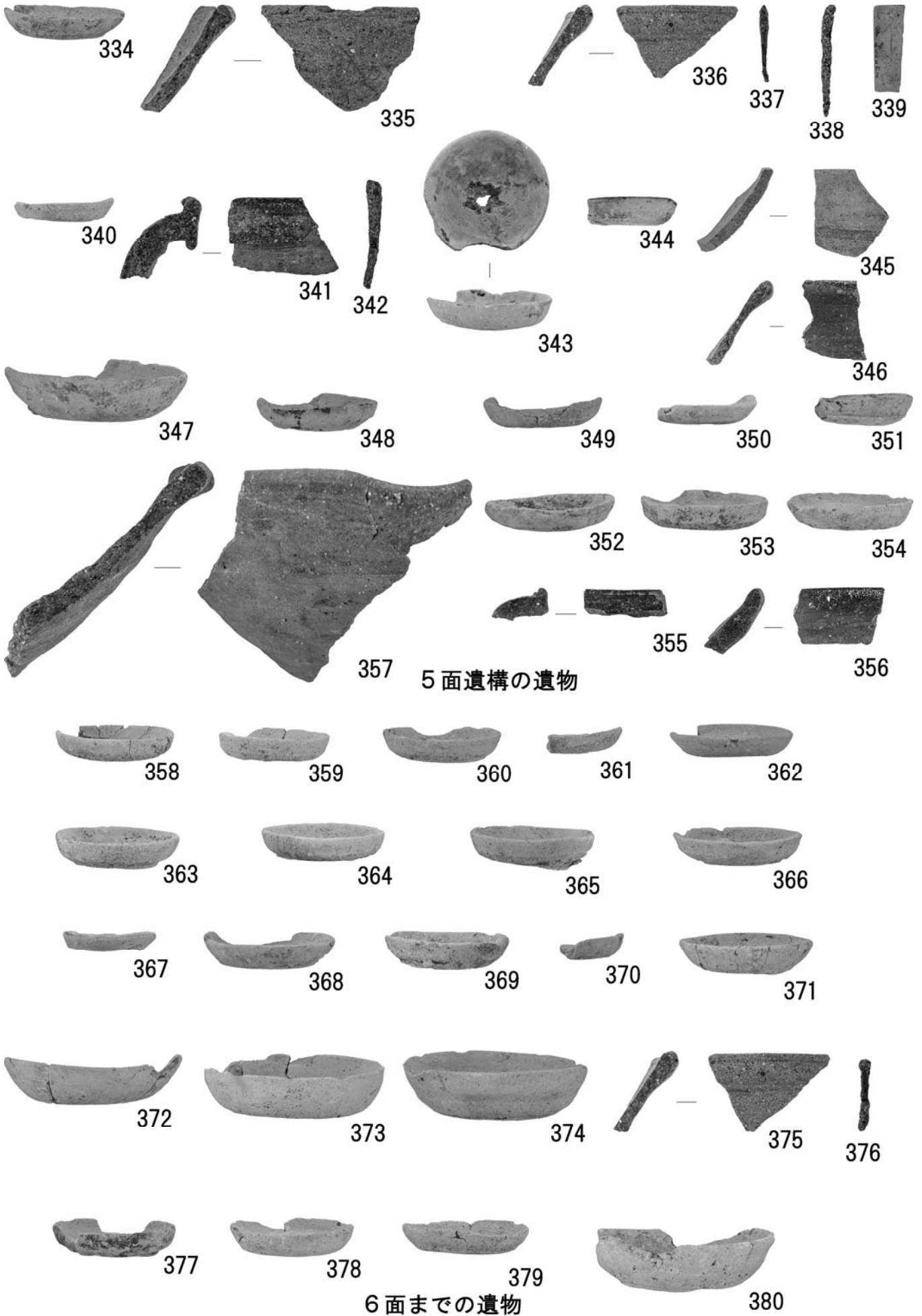


5面までの遺物

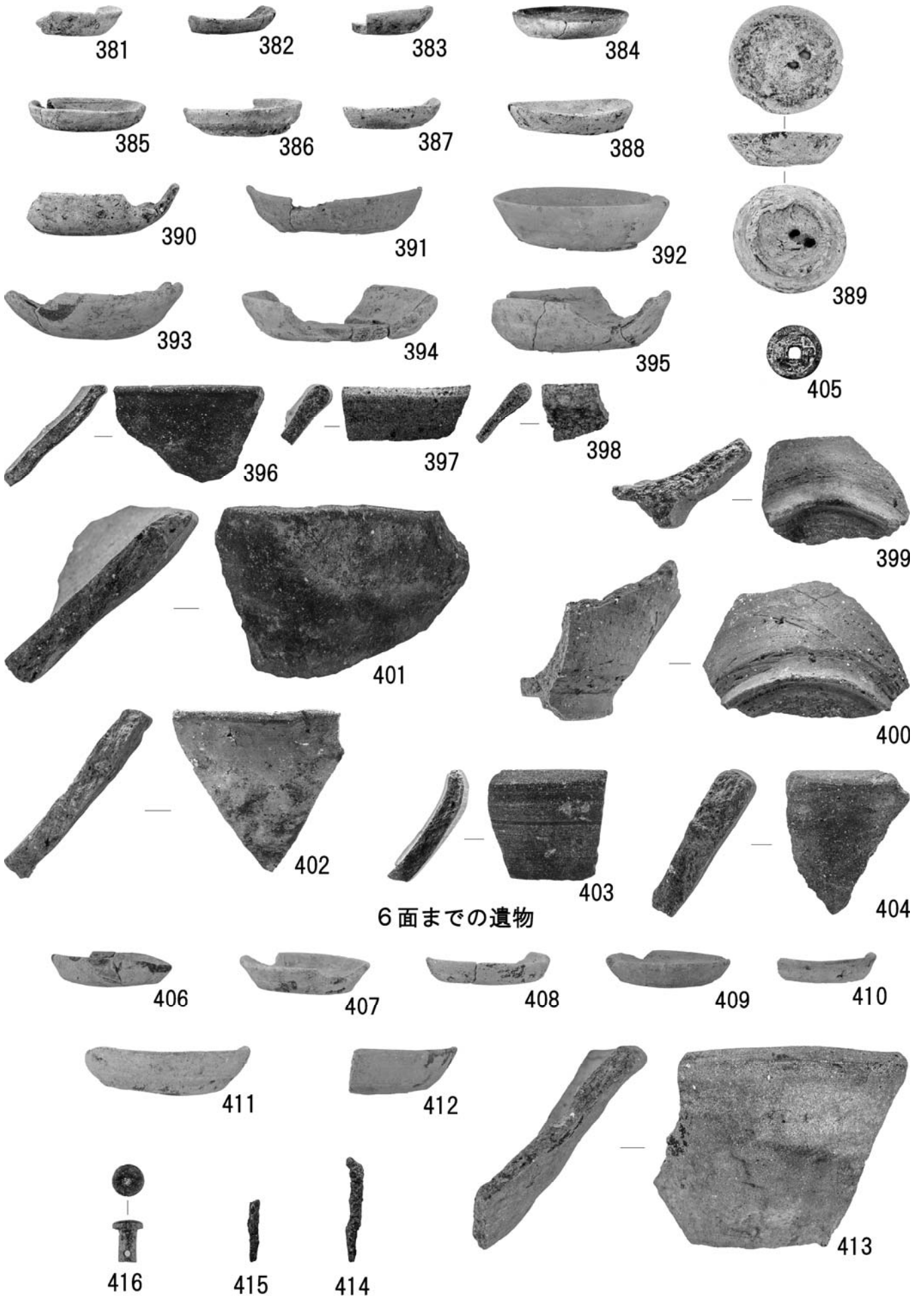
5面の遺物

第5面まで・第5面の遺物

図 23



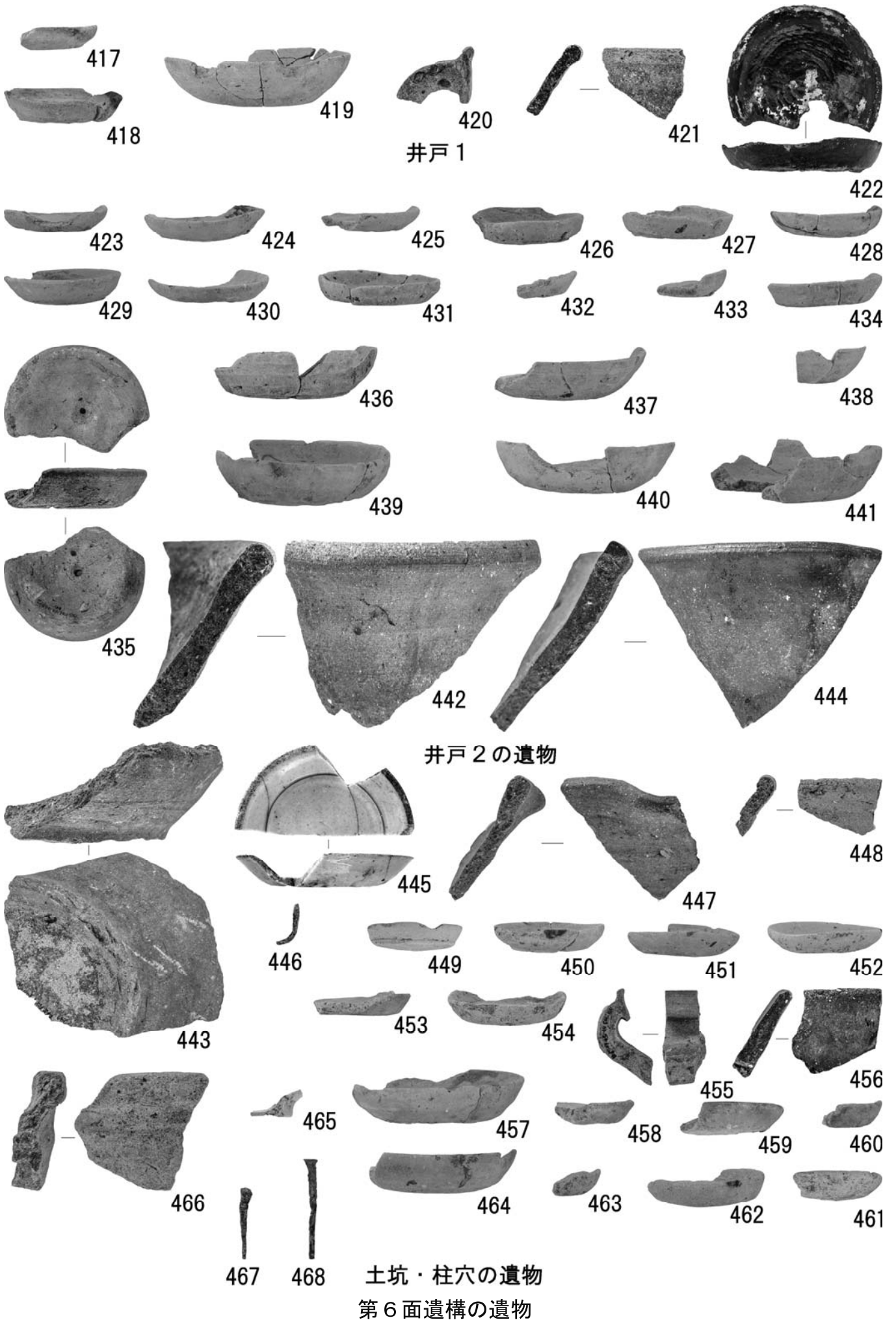
第5遺構・第6面までの遺物

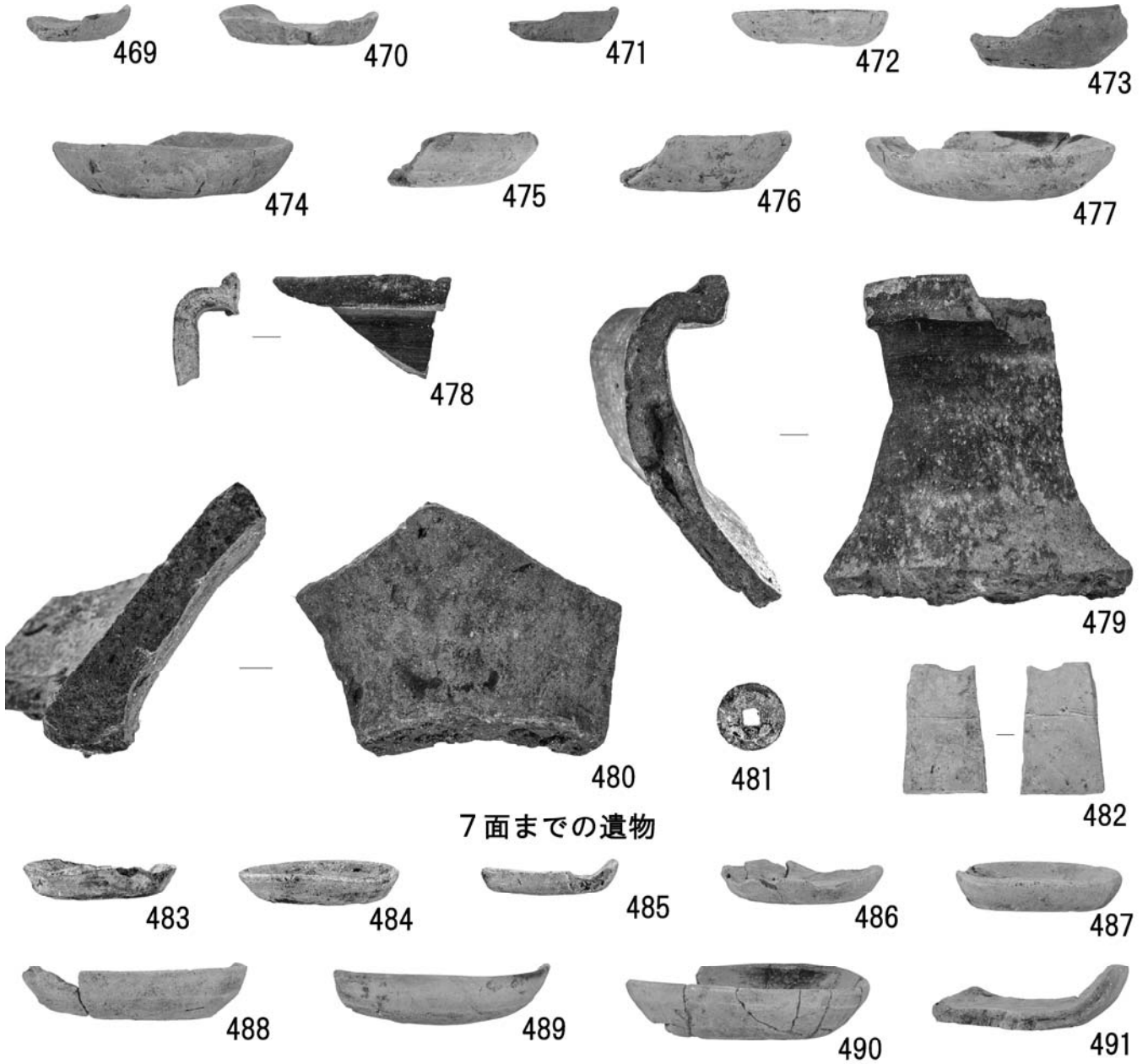


6面までの遺物

6面の遺物

第6面まで・第6面の遺物





7面までの遺物

7面遺構の遺物

第7面まで・第7面遺構の遺物



# 小町大路東遺跡 (No. 233)

鎌倉市大町 1 丁目 1147 番地点

# 例 言

1. 本報は鎌倉市大町1丁目1147番地点に所在する遺跡の発掘調査報告である。
2. 発掘調査は個人住宅改築にかかる建築範囲約70㎡を対象とし、平成25年5月23日から9月6日にかけて実施した。
3. 現地における調査体制は以下の通りである。
  - 調査担当者：原 廣志・後藤 健
  - 調査員：小野夏菜・吉田映子・岡田慶子・吉田桂子・松吉里永子
  - 作業員：安達越郎・江津兵太・鯉沼 稔・徳安秀昭・南齊敬資
4. 本報告作成は以下の分担により行った。
  - 遺物実測：岡田慶子・菊川泉・森谷十美
  - 遺物図版作成：後藤 健・岡田慶子・松吉里永子・小野夏菜・吉田桂子
  - 遺構図版作成：後藤 健・岡田慶子・松吉里永子
  - 観察表：岡田慶子・松吉里永子
  - 遺構写真：原 廣志・後藤 健
  - 遺物写真：後藤 健・松吉里永子
  - 写真図版作成：後藤 健・岡田慶子・松吉里永子
  - 執筆：後藤 健
5. 発掘に関わる出土品などの資料は鎌倉市教育委員会が管理・保管している。
6. 本報告の遺物図版の縮尺は以下の通りである。
  - 遺物実測図 1/3（一部 1/4） 銭 1/1 各挿図にはスケールを表示してある。
7. 遺物は可能な限り復元して実測した。紙面の都合からすべての実測図を掲載していない。遺物に関する詳細は観察表にまとめて記載。
  - ・復原実測の遺物に関しては、計測値に（ ）を付して表記している。
  - ・木製品のうち器形から用途を確実に判別できないものは「…状」として提示してある。
  - ・文章中の「かわらけ」はロクロ成形のかわらけを指し、手づくね成形のかわらけは「手づくね」と記載している。
  - ・ロクロ成形かわらけの底径は回転糸切りの外径部分で、手づくね成形かわらけの底径は、器面が接地した箇所計測している。
  - ・陶磁器に関しては、常滑は中野晴久氏、瀬戸製品に関しては藤澤良祐氏、磁器は山本信夫氏の編年に基づいて分類した。破片のため不明なものについては割愛した。
8. 発掘調査及び報告書作成に関しては次の方々よりご教授、ご協力を賜りました。記して深く感謝いたします。（敬称略・五十音順）
  - 伊丹まどか、汐見一夫、原 廣志、馬淵和雄



# 目 次

## 本 文 目 次

第一章 調査地点の位置と歴史的環境	68
第1節 歴史・地理的環境	68
第2節 周辺地点の調査	68
第3節 調査の方法と経緯	71
第4節 遺跡の堆積土層	72
第二章 発見した遺構と遺物	75
第1節 第1面の遺構と遺物	75
第2節 第2面の遺構と遺物	81
第3節 第3面の遺構と遺物	92
第4節 第4面の遺構と遺物	99
第5節 第5面の遺構と遺物	107
第6節 第6面の遺構と遺物	113
第7節 第7面の遺構と遺物	116
第8節 第8面の遺構と遺物	119
第9節 遺構外出土遺物他	121
第三章 考察とまとめ	122

## 挿 図 目 次

図1 調査地点と周辺の遺跡	69
図2 調査位置とグリッド配置図	71
図3 調査区北壁堆積土層図	73
図4 第1面全体図	76
図5 第1面遺構図	77
図6 第1面遺構出土遺物	78
図7 第1面遺構外および構成土出土遺物	79
図8 第1面構成土出土遺物	80
図9 第2面全体図	81
図10 第2面遺構出土遺物(1)	83
図11 第2面遺構個別図	84
図12 第2面遺構出土遺物(2)	85

図 13	第 2 面遺構土出土遺物 (3)	86
図 14	第 2 面礎石建物遺構図	88
図 15	第 2 面遺構外および構成土出土遺物	89
図 16	第 2 面構成土出土遺物 (1)	90
図 17	第 2 面構成土出土遺物 (2)	91
図 18	第 3 面全体図	92
図 19	第 3 面個別遺構図	93
図 20	第 3 面遺構出土遺物	94
図 21	第 3 面礎石建物遺構図	95
図 22	第 3 面遺構外出土遺物	96
図 23	第 3 面構成土出土遺物	97
図 24	第 4 面全体図	99
図 25	第 4 面方形竪穴遺構図	100
図 26	第 4 面遺構出土遺物 (1)	102
図 27	第 4 面遺構出土遺物 (2)	103
図 28	第 4 面遺構図	104
図 29	第 4 面礎石建物遺構図	104
図 30	第 4 面遺構および遺構外出土遺物	105
図 31	第 5 面全体図	107
図 32	第 5 面個別遺構図	108
図 33	第 5 面遺構出土遺物 (1)	109
図 34	第 5 面遺構出土遺物 (2)	110
図 35	第 5 面遺構外および構成土出土遺物	111
図 36	第 6 面全体図	113
図 37	第 6 面出土遺物	114
図 38	第 7 面全体図	116
図 39	第 7 面出土遺物	117
図 40	第 8 面全測図	119
図 41	第 8 面遺構個別図および出土遺物	119
図 42	遺構外出土遺物	121

## 表 目 次

表 1	出土遺物観察表	126
表 2	出土遺物集計表	147
表 3	遺構計測表	150
表 4	自然遺物集計表	152

## 図 版 目 次

写真図版 1	153
--------	-----

写真图版 2	.....	154
写真图版 3	.....	155
写真图版 4	.....	156
写真图版 5	.....	157
写真图版 6	.....	158
写真图版 7	.....	159
写真图版 8	.....	160
写真图版 9	.....	161
写真图版 10	.....	162
写真图版 11	.....	163
写真图版 12	.....	164
写真图版 13	.....	165
写真图版 14	.....	166
写真图版 15	.....	167
写真图版 16	.....	168
写真图版 17	.....	169
写真图版 18	.....	170
写真图版 19	.....	171
写真图版 20	.....	172
写真图版 21	.....	173
写真图版 22	.....	174
写真图版 23	.....	175
写真图版 28	.....	176
写真图版 29	.....	177

# 第一章 調査地点の位置と歴史的環境

## 第1節 歴史・地理的環境（図1）

小町大路東遺跡は JR 鎌倉駅の東、若宮大路周辺遺跡群の南東に位置している。

南は県道の大町交差点より安養院の西端まで、北は東勝寺の丘陵、西は滑川を境に夷堂橋から南下して大町四つ角へ向かう道路、東は別願寺より八雲神社前の道を通り、妙本寺前を抜けて、東勝寺の丘陵前にある小さな谷戸までがおおよその範囲となる。

小町大路は須地賀江端から南に向かい、宝戒寺前、夷堂橋、大町交差点を通り、材木座乱橋、九品寺の門前から材木座海岸にまで達する。大町交差点でこの小町大路と交差する東西方向に走る県道は、大町大路と想定されているが、小町大路と大町大路は南北に連なった一本の道だとの想定もあり、路の呼称は範囲など含めて不確定な部分も多い。

本調査地点周辺には妙本寺、本覚寺、常栄寺などの寺院、やや南には八雲神社など比較的多くの社寺が存在する。

妙本寺は長奥山妙本寺と号する日蓮宗本山で、開山日郎、開基比企能本、文応元年(1260)の創建と伝わる。寺の建つ谷戸は比企ヶ谷と呼ばれ、頼朝の乳母比企禅尼がこの地に住んだ事に由来し、その後比企一族の居館があったと伝わる。建仁二年(1202)に比企能員が北条時政に殺され、その後比企一族も滅ぼされるが、この地が一族滅亡の地とされる。

調査地は比企ヶ谷の谷口、妙本寺惣門から南側に約 80 m ほどに位置し、さらに南に約 70 m には日蓮宗常栄寺がある。常栄寺は慶長十一年(1606)に妙本寺の末寺として自澄院日詔が創建したとされ、日詔は妙本寺 14 世(あるいは 13 世)であることから、本来は妙本寺の寺域内であったと想定される。またこの地は頼朝が由比ヶ浜を遠望するために棧敷を作ったと伝わっている。常栄寺からさらに約 80 m 南行すると大町の鎮守である八雲神社が位置する。

これらの寺社の前は南北方向に小路が走る。小路は現小町大路にほぼ平行しており、北は妙本寺惣門から約 200 m で西に折れ琴弾橋を渡って小町大路に、南は逆川橋のあたりで西に折れ、やはり小町大路に合流する。

東は比企ヶ谷を内包する尾根であり、調査地点ではすぐ東に崖面が立ち上がる。調査地点は比企ヶ谷の開口部の左端にあたる。調査地点の海拔は約 8.8 m、東側の尾根は平場状に張り出した地勢となっているが海拔およそ 28 m で、丘陵の落ち込みはやや急峻である。頂部は約 60 m に達し、比較的比高差は大きい。尾根は大町大路で南限となる。

現状遺跡の周囲は平坦ではあるが、小町大路から滑川に向かって西へは緩やかに下る。

## 第2節 周辺地点の調査

本地点の周辺では、あまり多くの発掘調査例がない。近接地点では、地点 7 において中世の礎石建物 3 基、方形竪穴建物 4 基、溝 34 基、井戸 3 基、土坑 35 基が検出されている。調査地点東に隣接する小路の東沿いには南北三か所の調査が行われており、いずれも小規模な調査である。地点 4 では 14 世紀後半に属する方形竪穴建物が 3 基検出されている。調査地点 5、6 ではいずれも 14 世紀以降の泥岩版築による地業面が確認され、道路遺構とされる。部分的であるが、現在の小路が中世とさほど位置が変わっ

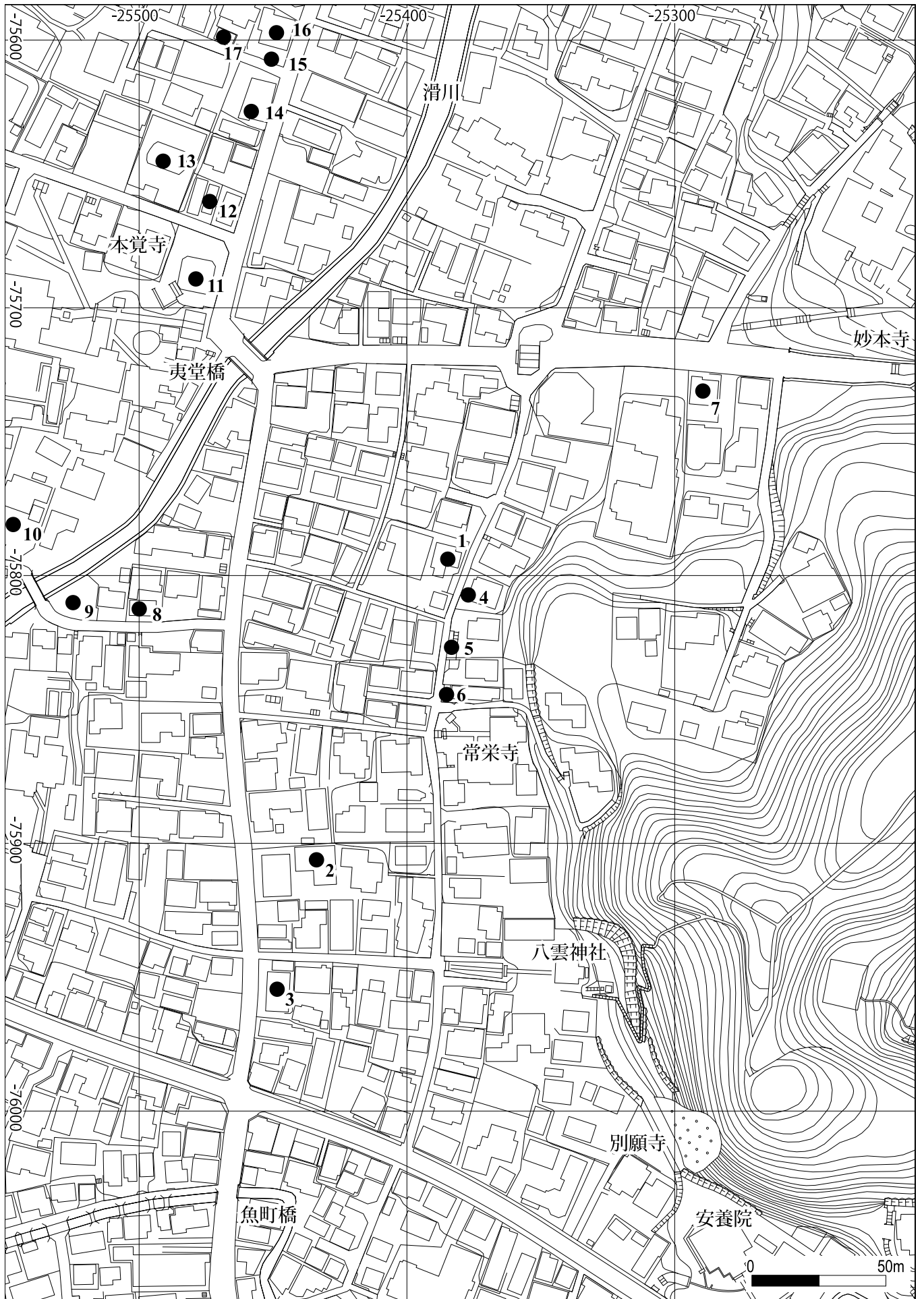


図1 調査地点と周辺の遺跡

No.	名称	住所	調査者	調査	刊行	文献
1	小町大路東遺跡	大町一丁目 1147 番	原・後藤	2013	2018	本報告
2	小町大路東遺跡	大町一丁目 1174 番、 1175 番 1	斉木	2014	2018	『小町大路東遺跡発掘調査報告書』 鎌倉市遺跡調査会
3	小町大路東遺跡	大町一丁目 1181	原	1980	1980	『鎌倉考古』2
4	妙本寺遺跡	大町一丁目 1146	継	1992	1994	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』10-2
5	妙本寺遺跡	大町一丁目 1158 番 5	宗臺	1990	1991	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』7
6	妙本寺遺跡	大町一丁目 1158 番 1	福田	1987	1988	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』4-3
7	妙本寺遺跡	大町一丁目 1140 番 2	田代・宗臺	1996	1999	『神奈川県埋蔵文化財調査報告』41
8	若宮大路周辺遺跡群	大町一丁目 1084 番 4	宇都	2007	2017	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』34-5
9	若宮大路周辺遺跡群	大町一丁目 1083 番 1	押木	2018		未報告
10	若宮大路周辺遺跡群	大町一丁目 1084 番 1、 1085 番 1	滝沢	2016	2017	『第 27 回鎌倉市遺跡調査・研究発表会』
11	若宮大路周辺遺跡群	小町一丁目 302 番	斉木	1977	1983	『鎌倉市埋蔵文化財発掘調査年報』1
12	若宮大路周辺遺跡群	小町一丁目 333 番 15	押木	2010	2015	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』31-2
13	若宮大路周辺遺跡群	小町一丁目 333 番 2	原	2007	2008	『貿易陶磁研究』28
14	若宮大路周辺遺跡群	小町一丁目 331 番 1	山口	2011		未報告
15	若宮大路周辺遺跡群	小町一丁目 329 番 10	熊谷	2012	2014	『若宮大路周辺遺跡群(No.242)発掘調査報告書』 博通
16	若宮大路周辺遺跡群	小町一丁目 329 番 1	宮田・滝澤	2010	2014	『若宮大路周辺遺跡群(No.242)発掘調査報告書』 博通
17	若宮大路周辺遺跡群	小町一丁目 329 番 7	宮田	2013	2016	『若宮大路周辺遺跡群(No.242)発掘調査報告書』 博通

ていないことの証左と言えよう。地点 2 では 13 世紀中葉以降の方形竪穴建物が多数、他に井戸や礎石建物が検出されている。

本調査地点から西、小町大路の西側から滑川にかけても数か所の調査例がある、地点 8 では方形竪穴建物が複数と井戸などが検出されており、多くは 13 世紀代と推定されている。地点 10 でも 13 世紀前半～14 世紀前半に属する方形竪穴建物や井戸、溝などが発見されている。総じて地下倉の機能が推定される方形の竪穴状遺構の検出例が多いのがこの地域一帯の特徴であると言えよう。

#### 参考・引用文献

三浦勝男編 2005 『鎌倉の地名由来辞典』、東京堂出版

鎌倉市史編纂委員会 1972 『鎌倉市史 総説編』、吉川弘文館

鎌倉市史編纂委員会 1972 『鎌倉市史 社寺編』、吉川弘文館

馬淵和雄他 2007 「若宮大路周辺遺跡群」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書』23-2、鎌倉市教育委員会

### 第3節 調査の方法と経緯

本発掘調査は個人住宅の改築に伴う事前調査として、鎌倉市教育委員会が実施した。建築計画では基礎工事として地盤改良工事を施すため、平成24年11月20日～11月22日にかけて鎌倉市教育委員会が埋蔵文化財の確認調査を実施した。1.8 mまで掘削した結果、地表下25cmで遺物包含層が検出され、地表下55cm、80cm、135cmで中世遺構面と推定される堆積層の確認がなされた。さらに下層にも中世遺構の存在が予測される結果を得たことから、建築計画実施に先立って本格的な発掘調査を実施する必要ありとの判断がなされた。

以上の手続きより、平成25年5月23日～9月6日の約3ヶ月をかけて現地での調査を実施した。

遺物包含層は地表下ほどなく遺存していることが予測されたため、人力により表土を除去した。調査範囲は約70 m<sup>2</sup>の範囲であり、調査区を二分割することなく全体を掘り進める形で調査を進めた(図2)。住宅建築の基礎工事として、地表下2 mまでは地盤改良を施すことになり、その深さまでの遺構確認を行った。

今回の調査では大きく8面の中世遺構面を確認することができた。地表下2 mまでの時点では中世基盤層とされる黒褐色粘質土層には到達していないが、上方の遺構の壁面の観察からやや下方に岩盤面が存在し、東から西へ向かって急激に落ち込んでいる状況が確認できた。中世以前の遺構・遺物については少量の混入が見られるものの、明確な遺構にともなう形では検出できなかった。

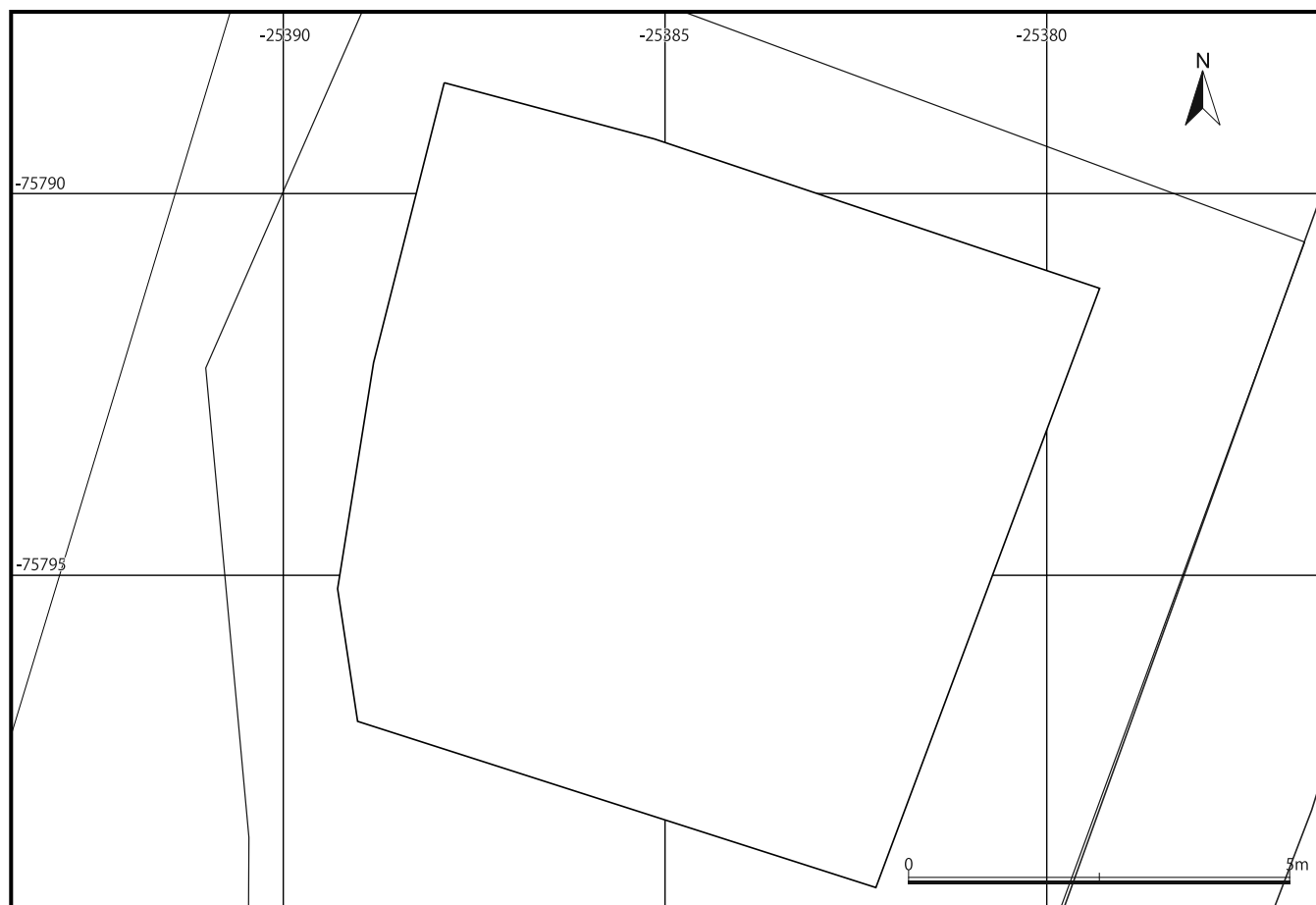


図2 調査位置とグリッド配置図

## 第4節 遺跡の堆積土層（図3）

本調査では第1面から第8面にわたり、計8面の遺構確認面を検出した。ここでは調査区北面の土層断面図を提示し、遺構確認面相当の土層を中心として地層の堆積状況を述べておく。

現地表面は8.58～8.68mをはかる。表土層は約40～50cm堆積しており、厚さはほぼ均等であるが、東側がやや厚くなっている。

第1面は第1面は小粒の泥岩碎片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、多数の遺構を確認した。確認レベルはおよそ海拔8.20～8.35mであり、北側がやや低くなる。第2層が構成土になる。

第2面はやや大粒の泥岩碎片を含む暗茶褐色粘質土の地業面であり、多数の遺構を確認した。確認レベルはおよそ海拔8.07～8.11mである。第3層が構成土になる。

第3面は小粒の泥岩碎片を多く含む暗茶褐色粘質土の地業面である。確認レベルはおよそ海拔7.68～7.70mである。第4層が構成土になる。

第4面は小粒の泥岩碎片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海拔7.40～7.48mである。第5層が構成土になる。

第5面は小粒の泥岩碎片を含む暗茶褐色粘質土の地業面である。確認レベルはおよそ海拔7.33～7.47mである。第6層が構成土になる。

第6面はやや大粒の泥岩碎片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおよそ海拔7.19～7.29mである。第7層が構成土になる。

第7面は小粒の泥岩碎片を多く含む暗褐色粘質土の地業面である。東南部は黒色粘土と泥岩が露出している。確認レベルはおよそ海拔7.0～7.17mである。第8層が構成土になる。

第8面は小粒の泥岩碎片を多く含む黒褐色粘質土の地業面で、東から西へわずかに傾斜して下がる。確認レベルはおよそ海拔6.8～6.95mである。第9層が構成土になる。

第6、7面南側の地業面の違いや、遺構の断面観察から、一部は岩盤あるいは崩落した岩盤の堆積が露出し、東から西に向かいやや急傾斜で落ち込むため、現在はやや平坦となっているが本来は尾根から続く傾斜地であったと想定される。その上には中世基盤層と思しき黒色粘質土が堆積しているが、面的に検出していないため、詳細には確認できていない。

### 土層注記

#### 基本土層

- 1 暗灰褐色粘質土。表土層。
- 2 第1面構成土。暗褐色粘質土。泥岩中量。炭化物中量、かわらけ片中量。
- 3 第2面構成土。暗茶褐色粘質土。泥岩中量。炭化物中量、かわらけ片中量。
- 4 第3面構成土。暗茶褐色粘質土。泥岩少量。炭化物中量。
- 5 第4面構成土。暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒中量。炭化物少量。
- 6 第5面構成土。暗茶褐色粘質土。泥岩少量、泥岩粒中量。炭化物中量、焼土粒少。
- 7 第6面構成土。暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒中量。炭化物中量、かわらけ片少量。
- 8 第7面構成土。暗褐色粘質土。しまり弱い。泥岩、泥岩粒中量。炭化物、かわらけ片少量。
- 9 第8面構成土。黒褐色粘質土。泥岩、泥岩粒中量。炭化物、かわらけ片少量。

#### その他土層





图3 调查区北壁堆积土层图

- 19 黒褐色粘質土。しまりなし。泥岩、泥岩粒少量。炭層。
- 21 黒褐色粘質土。しまりなし。炭層、焼土粒多い。
- 22 暗茶褐色粘質土。しまり弱い。泥岩、泥岩粒中量。炭化物中量、かわらけ片中量。
- 23 暗褐色粘着土。しまり弱い。泥岩多量。炭化物中量。灰混入。
- 25 暗褐色粘質土。しまり弱い。焼土と炭の混合層。中央に焼土塊混入。
- 26 灰黒色粘質土。一部炭層、大部分灰。
- 27 暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒少量。上面に焼土、焼土粒多い。
- 28 暗褐色粘質土。しまり弱い。炭層。
- 29 暗褐色粘質土。しまり弱い。泥岩、泥岩粒少量。炭化物中量。焼土粒多い。
- 30 黒褐色粘質土。しまり弱い。炭層。薄い炭層を間に挟む。
- 33 暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒中量。炭化物少量、かわらけ片少量。
- 42 黒褐色粘質土。しまりなし。炭層、焼土粒多い。
- 44 暗灰色粘質土。しまりなし。泥岩少量。炭と灰混入層。
- 45 暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒中量。炭化物中量、かわらけ片少量。

#### 遺構覆土

- 10 遺構 38 明褐色粘質土。泥岩、泥岩粒中量。炭化物、かわらけ片少量。
- 11 遺構 40 暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒少量。炭化物中量。
- 12 遺構 41 茶褐色粘質土。泥岩中量。炭化物。かわらけ片少量。
- 13 遺構 42 暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒少量。炭化物少量。
- 14 遺構 43 暗褐色粘質土。しまり弱い。泥岩中量。底面に薄く炭。
- 15 遺構 45 暗褐色粘質土。しまりなし。泥岩、泥岩粒少量。
- 16 遺構 49 暗茶褐色粘質土。泥岩中量。炭化物少量。
- 17 遺構 165 暗褐色粘質土。しまり弱い。泥岩、泥岩粒少量。炭化物中量。礎石掘方。
- 18 遺構 166 暗茶褐色粘質土。泥岩少量、泥岩粒多量。炭化物、かわらけ片少量。礎石掘方。
- 20 遺構 180 暗茶褐色粘質土。泥岩中量。炭化物中量。底部に炭。
- 24 遺構 259 暗褐色粘質土。しまり弱い。泥岩中量。炭化物。かわらけ片少量。
- 31 遺構 280 茶褐色粘質土。しまり弱い。泥岩粒中量。炭化物少量、かわらけ片中量。
- 32 遺構 282 暗褐色粘質土。しまり弱い。泥岩、泥岩粒中量。炭化物中量。
- 34 遺構 297 黒褐色粘着土。泥岩、泥岩粒中量。
- 35 遺構 239 黒色粘質土。しまりなし。炭化物中量。
- 36 遺構 239 暗褐色粘質土。しまりなし。泥岩、泥岩粒少量。炭化物中量。
- 37 遺構 239 暗褐色粘質土。しまりなし。泥岩、泥岩粒中量。炭化物中量。
- 38 遺構 239 暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒少量。炭化物中量。
- 39 遺構 239 暗褐色粘質土。しまりなし。泥岩、泥岩粒少量。炭化物中量、かわらけ片少量。
- 40 遺構 239 暗褐色粘質土。しまりなし。泥岩、泥岩粒少量。炭化物中量。
- 41 遺構 257 暗褐色粘着土。泥岩中量。炭化物中量。
- 43 遺構 251 暗褐色粘質土泥岩中量。炭化物、かわらけ片中量。
- 46 遺構 281 茶褐色粘質土。炭が混入。
- 47 遺構 265 暗茶褐色粘質土。泥岩中量。
- 48 遺構 269 暗茶褐色粘質土。泥岩少量。炭化物。かわらけ片少量。
- 49 遺構 310 暗褐色粘質土。泥岩中量。炭化物中量。
- 50 遺構 311 暗褐色粘着土。泥岩中量。炭化物中量。

## 第二章 発見した遺構と遺物

本地点では調査の結果中世の生活面を8面検出し、その観察と記録を行った。生活面はさらに多く存在すると思われるが、掘削深度制限のため平面的に広がりをつめたのは8面のみである。遺構については個別図面は現地で実測した遺構および特徴的な遺構を報告する。個別図面のない遺構の形状・規模は全測図および遺構計測表を参照していただきたい。また整理作業時に帰属時期を変更した遺構も存在し、復元全測図と遺構写真では細部に違いが存在する場合もある。

遺物については図化したもの以外は計量表を参照いただきたい。実測遺物は遺物観察表に詳細を報告し、本文中では基本的に遺物名だけを記載する。また自然遺物は別途表に一括してまとめている。

以下、主な検出遺構について上層より説明する。

### 第1節 第1面の遺構と遺物（図4～6）

第1面は小粒の泥岩碎片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、多数の遺構を確認した。確認レベルはおよそ海拔8.20～8.35mであり、北側がやや低くなる。近現代の建築の掘り込みによって全体的に破壊されているが、中世の遺構も多く検出された。遺構はピット29穴・土坑7基で、掘立柱建物址の存在が推定できるが明確なプランは復元できなかった。遺構の切り合いより第1面で発見した遺構は、少なくとも3時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくね・青磁・白磁・青白磁・緑釉・褐釉・常滑・瀬戸・備前・火鉢・石製品・鉄製品・銅銭、自然遺物が出土している。

#### ・ピット

##### 遺構1（図4）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片を多く含む。出土遺物（図6）：1は銅製品。

##### 遺構2（図4）

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。安山岩がピット内に置かれる。かわらけ、獣骨の小片が出土。

##### 遺構3（図4）

1面調査の時点では遺構のプランを認識できず、遺物のまとまりより遺構と認定した。正確な形状は不明。出土遺物（図6）：2はかわらけ。3は青磁碗。ほかに土製品が出土（写真図版7：a～c）。胎土は粉質でやや粗、砂粒、雲母を多量に含む。鋳型の可能性があるが、破損激しく詳細不明。

##### 遺構7（図4）

楕円形を呈するピット。遺構30と34に切られる。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を多く含む。出土遺物（図6）：4～5はかわらけ。

##### 遺構10（図4）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含む。出土遺物（図6）：6はかわらけでピットの北西隅より正位で出土。

##### 遺構12（図4）

隅丸方形を呈するピット。遺構 13 を切る。遺構覆土：茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含む。出土遺物（図 6）：7 は押印のある常滑甕片。

**遺構 14（図 4）**

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含む。遺物（図 6）：8 は片口鉢 II 類の口縁部片で、内面に押印あり。

**遺構 20（図 4）**

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を多く含む。遺物（図 6）：9 はかわらけ。ほかに炭化物出土。

**遺構 22（図 4）**

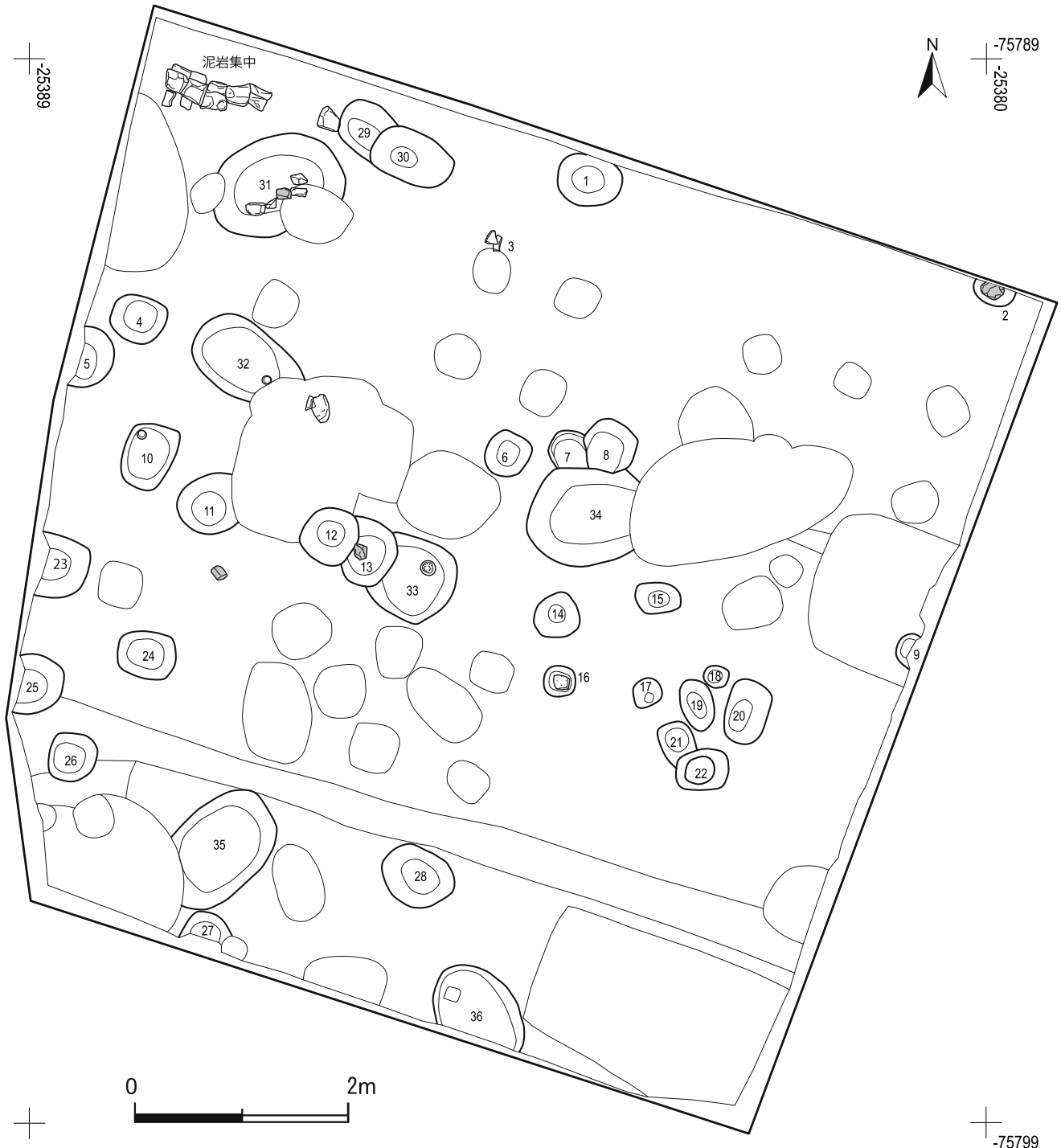


図 4 第 1 面全体図

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を含む。

出土遺物（図6）：10はかわらけ。

#### 遺構 25（図4）

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色弱粘質土。締り弱い。泥岩、泥岩粒含む。出土遺物（図6）：11はかわらけ、12は瀬戸の合子蓋、13は砥石。

#### 遺構 26（図4）

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片含む。出土遺物（図6）：14は瀬戸縁釉小皿、15は土器質の香炉。

#### 遺構 28（図4）

不整形円形を呈するピット。遺構覆土：上層は暗茶褐色粘質土で締り弱く泥岩粒は少。下層は暗茶褐色粘質土で泥岩、泥岩粒を多く含む。出土遺物（図6）：16は銅銭。

### ・土坑

#### 遺構 30（図4）

隅丸方形を呈する土坑。遺構 29 を切る。遺構覆土：暗褐色弱粘質土。締まり弱く泥岩は少量。出土遺物（図6）：17～18はかわらけで取瓶として使用。19は瀬戸卸皿。

#### 遺構 32（図4）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含む。出土遺物（図6）：20はかわらけで土坑東南隅より正位で出土。21はかわらけの加工品。22～23は常滑甕。

#### 遺構 33（図4、5）

略隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く含む。出土遺物（図6）：24の龍泉窯系青磁折縁皿は土坑東北の底部から正位で検出。25は鉄釘。

#### 遺構 35（図4）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗茶褐色粘質土。大型泥岩を多く含む。出土遺物（図6）：26は常滑甕の胴部片で押印あり。

#### 遺構 36（図4）

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗茶色粘質土。炭化物を含む。出土遺物（図6）：27は青白磁の小型容器、28は板状銅製品。

### 第1面遺構外出土遺物（図7）

遺構面精査時に面上で検出した遺物。29～36はかわらけ。37～38はかわらけを取瓶に使用したもの。39は青磁折縁鉢。40～42は常滑甕で押印あり。43は常滑壺、44は常滑片口鉢Ⅱ類。45は瀬戸卸皿、46は瀬戸の四耳壺か。47～48は瀬戸で器種不明。49は磨りかわらけ。50は砥石。51～52は碁石か。53～54は鉄釘。55～57は銅銭。58は金属製品で用途不明。

### 第1面構成土出土遺物（図7、8）

1面より2面検出までの間の堆積より出土した遺物。59～84はかわらけ。85は青磁鎗蓮弁文碗、86～87は青磁折縁皿、88は青白磁梅瓶。89は白磁碗、90は白磁皿、91は白磁合子蓋、92は器種不明の白磁。

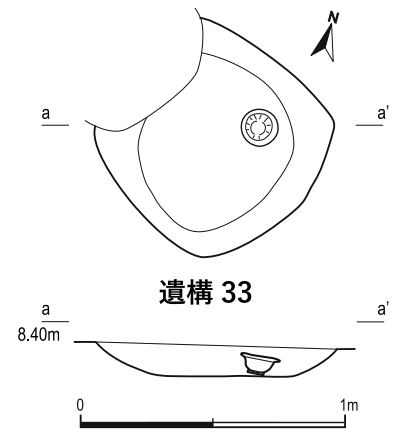


図5 第1面遺構図

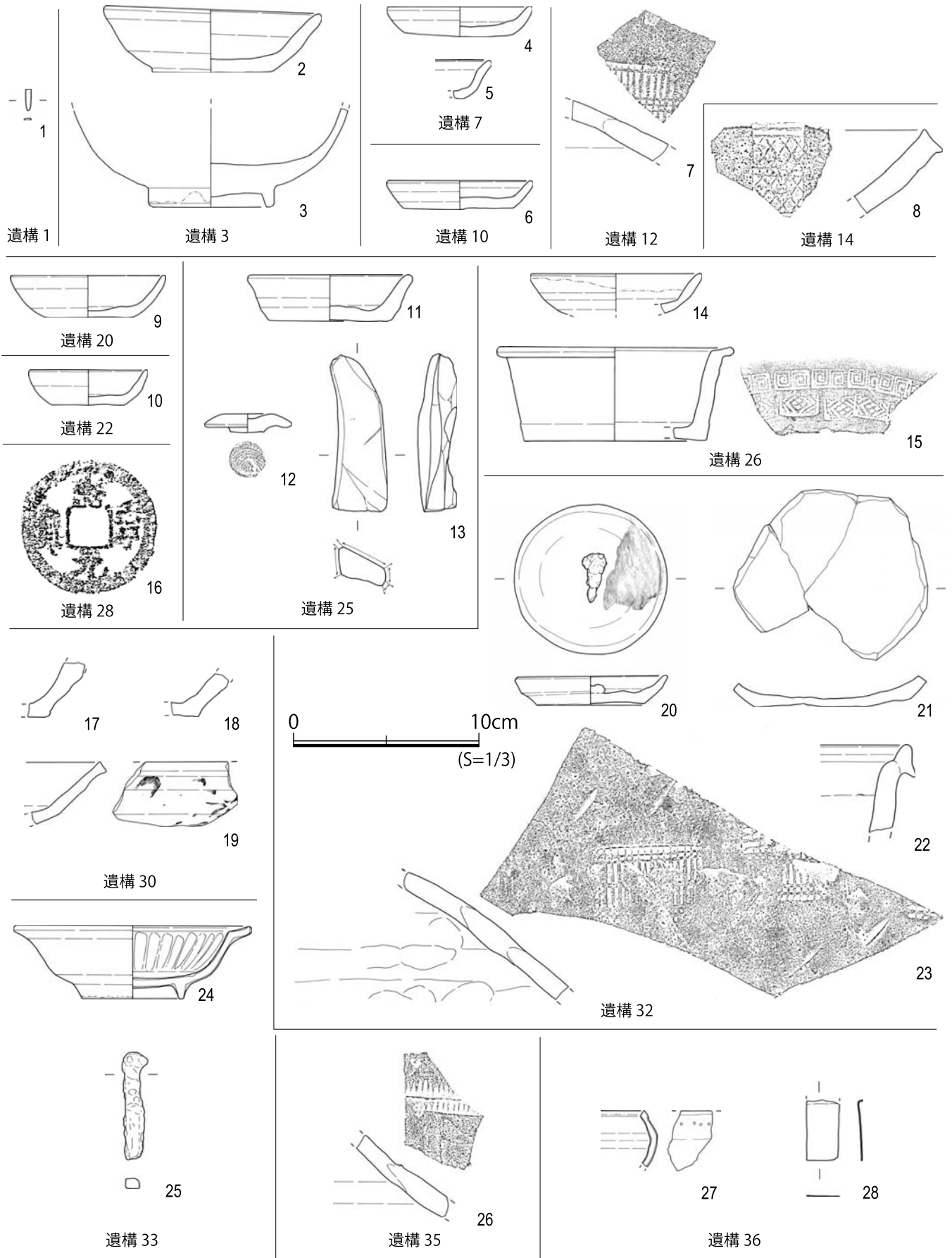


図6 第1面遺構出土遺物

93は瀬戸天目茶碗。94～96は常滑甕、97は常滑壺か。98は常滑片口鉢Ⅱ類。99は瀬戸卸皿、100は備前播鉢。101～104は瓦質火鉢。105は風炉。106は伊勢系土鍋。107は泥岩加工品。108～109は砥石。

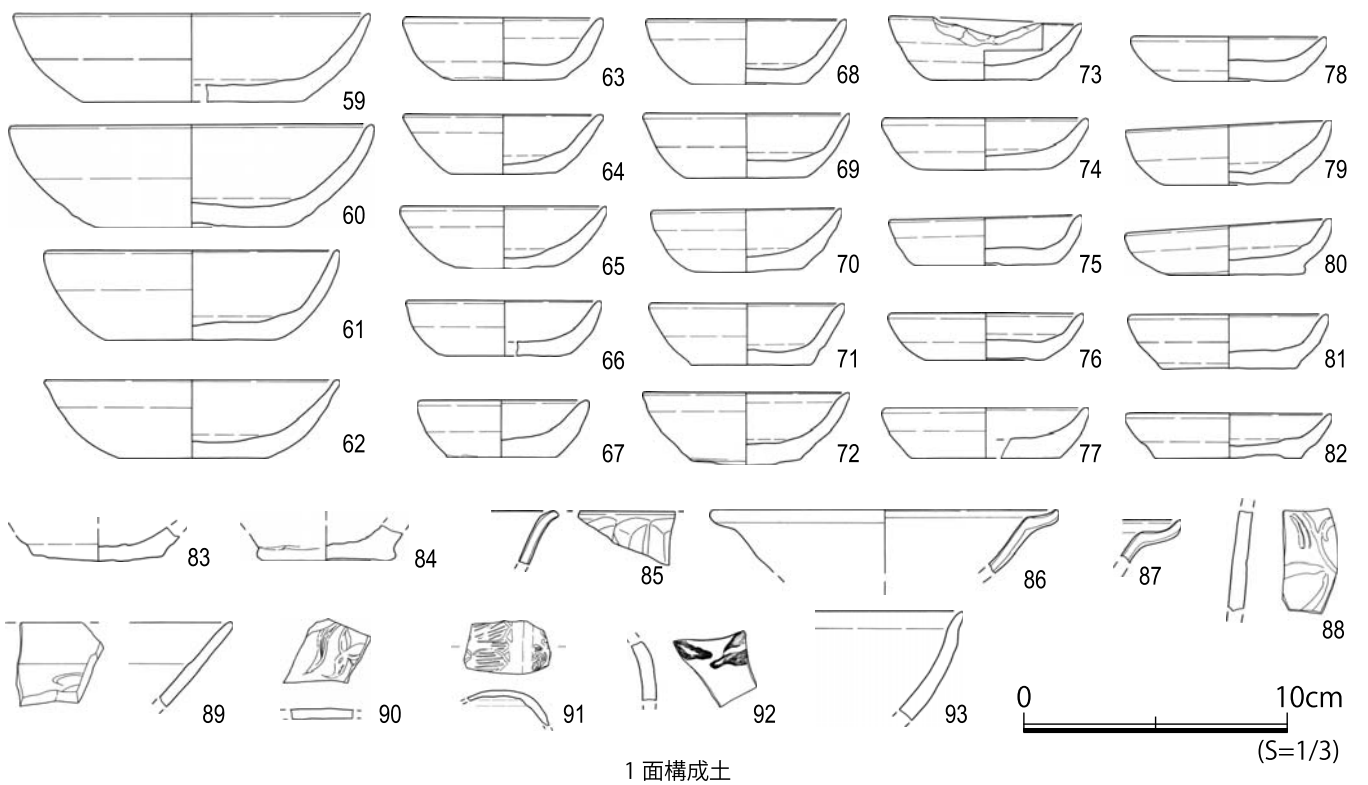
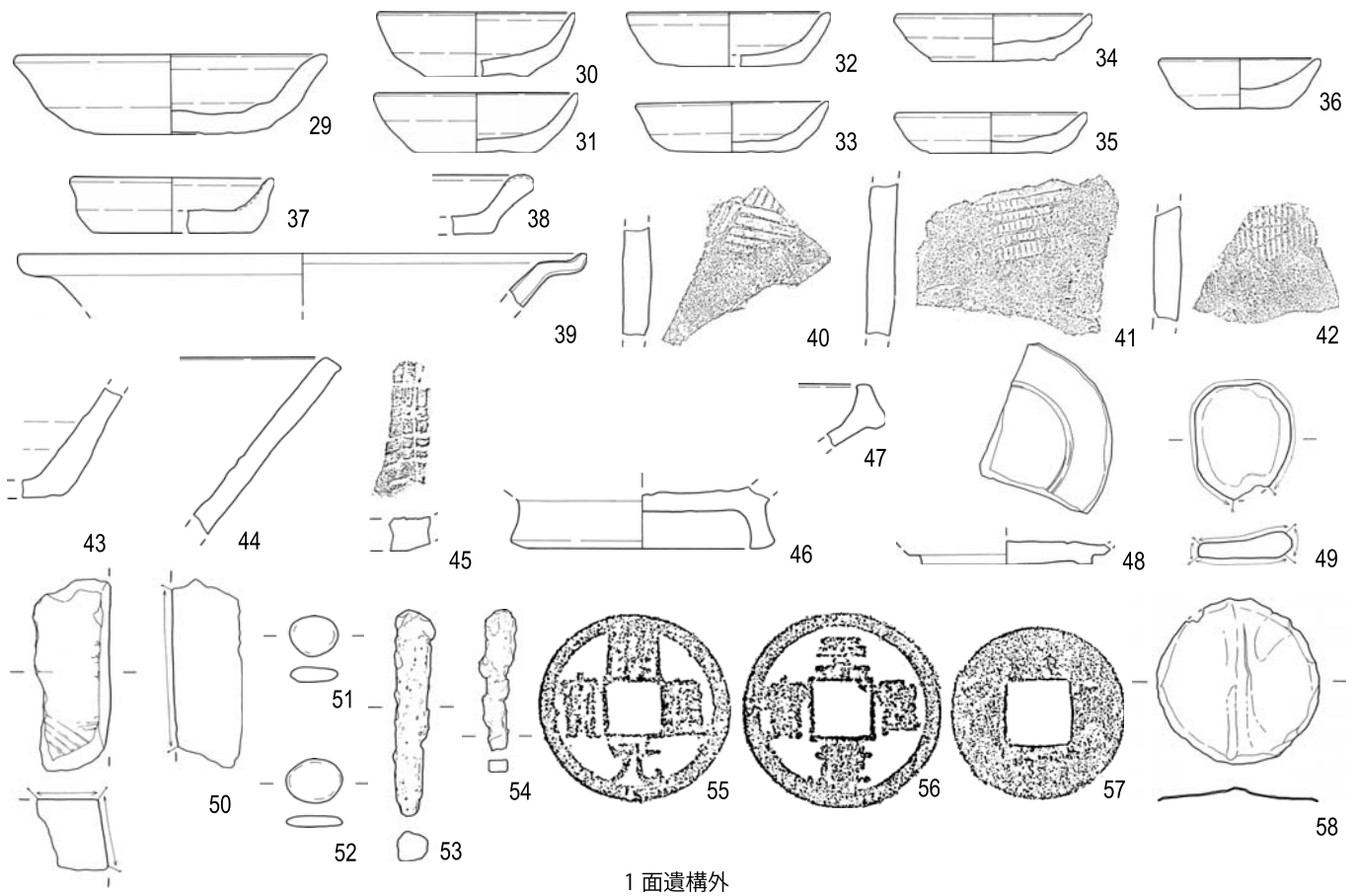


図7 第1面遺構外および構成土出土遺物

110 は滑石鍋転用品。111 は加工骨製品で器種は不明。112 ~ 121 は鉄釘。122 ~ 136 は銅銭。

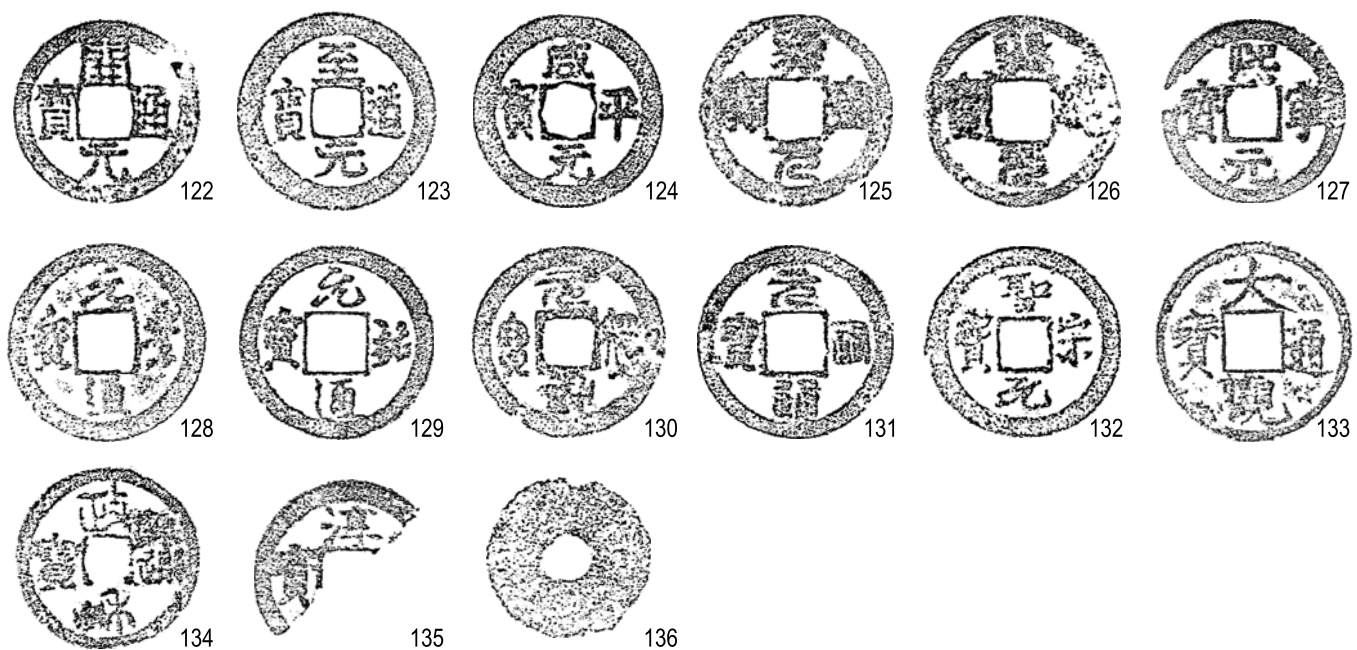
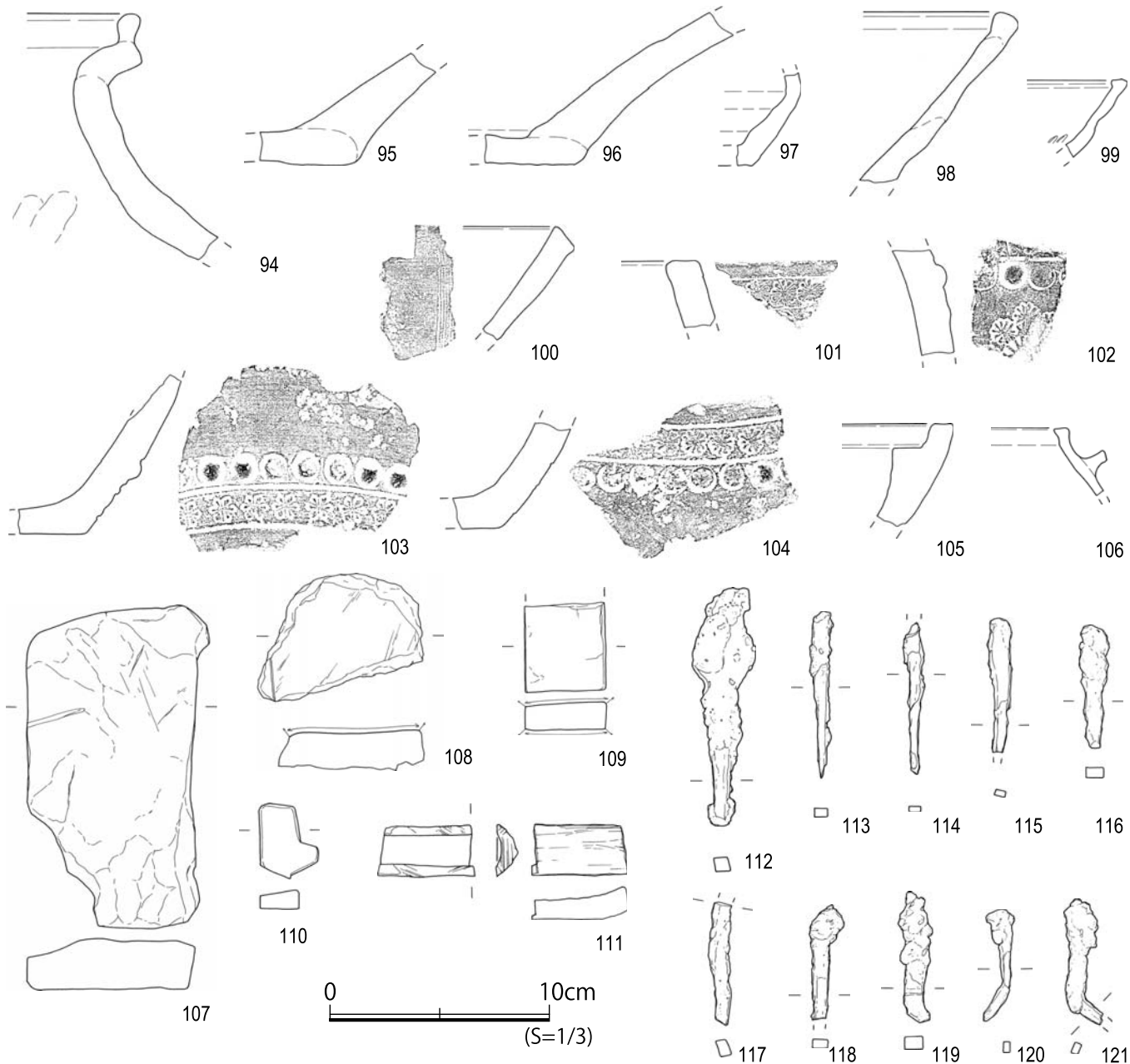


图8 第1面構成土出土遺物



## 第2節 第2面の遺構と遺物 (図9～17)

第2面はやや大粒の泥岩碎片を含む暗褐色粘質土の地業面であり、多数の遺構を確認した。確認レベルはおよそ海拔8.07～8.11mである。遺構はピット67穴・土坑14基、凝灰質砂岩による礎石7点である。礎石の存在から少なくとも1基の礎石建物の存在が推定される。遺構の切り合いより第2面で発見した遺構は、少なくとも3時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・白かわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・瀬戸・吉備系土師器・瓦器・火鉢・瓦・鉄製品・石製品・羽口・銭・自然遺物が出土している。

・ピット

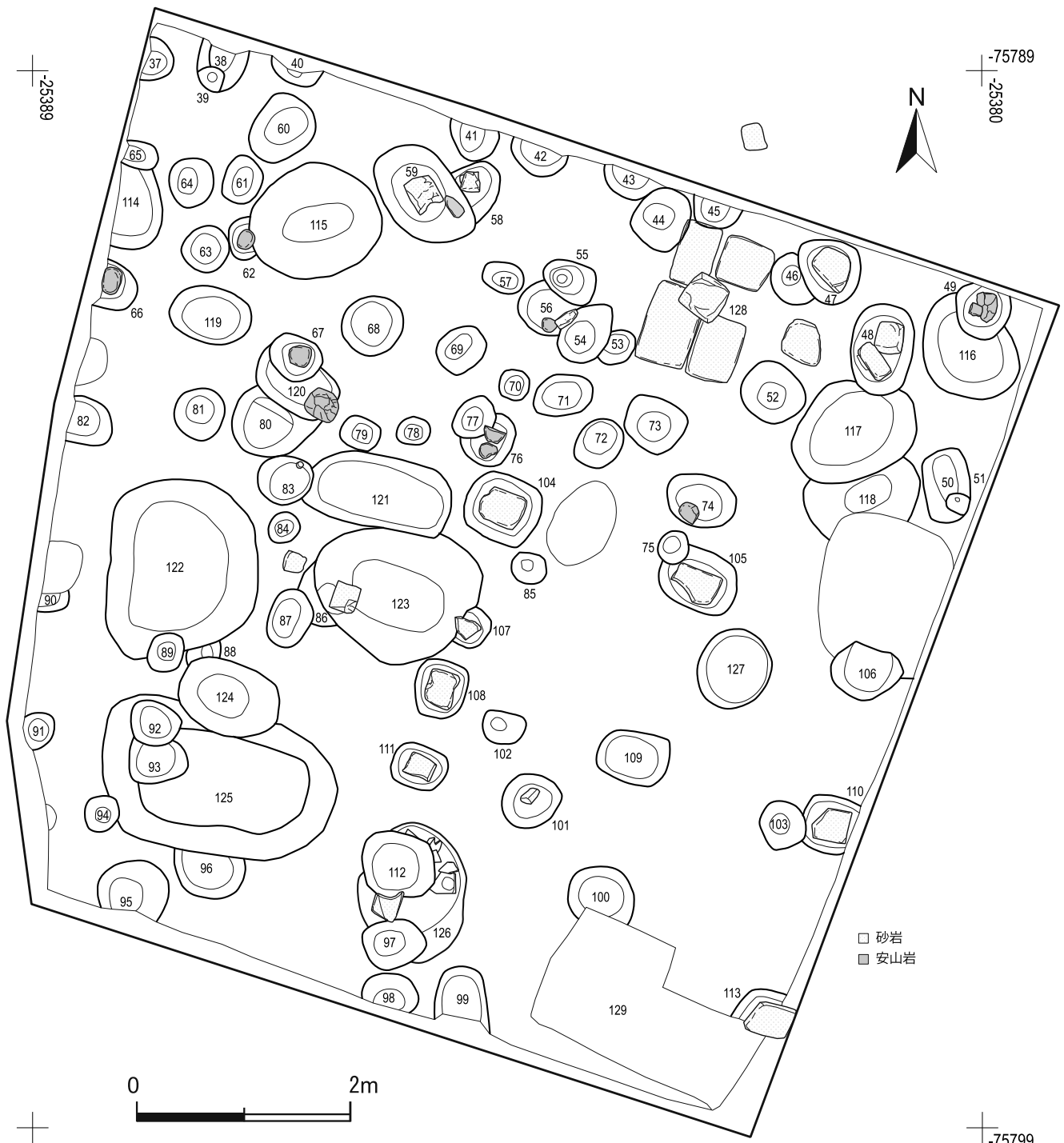


図9 第2面全体図

### 遺構 38 (図 9)

楕円形を呈するピット。遺構 39 に切られる。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く炭化物は少ない。下層は泥岩少なく炭化物が多い。出土遺物 (図 10)：1 は常滑片口鉢 I 類。

### 遺構 43 (図 9)

円形を呈するピット。調査区外に延びており全体は不詳。遺構覆土：暗褐色粘質土。出土遺物 (図 10)：2 は瀬戸縁釉小皿。3 は瓦質火鉢。

### 遺構 44 (図 9) pit48

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を多く、かわらけ片を少量含む。出土遺物 (図 10)：4 はかわらけ。

### 遺構 46 (図 9)

円形を呈するピット。遺構 47 に切られる。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、かわらけ片は少量含む。出土遺物 (図 10)：5～6 はかわらけ。逆位で重ねた状態で出土。

### 遺構 48 (図 9)

隅丸長方形を呈するピット。内部より方形に加工した凝灰質砂岩が 2 枚検出。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く含む。出土遺物 (図 10)：7 は砥石。

### 遺構 52 (図 9)

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く含む。出土遺物 (図 10)：8 は瀬戸入子。

### 遺構 56 (図 9)

円形を呈するピット。遺構覆土：2 層に分かれる。上層は暗褐色弱粘質土。締め弱く炭を多く含む。下層は茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を多く含む。

### 遺構 59 (図 9)

隅丸方形を呈するピット。遺構 58 を切る。遺構覆土：暗褐色粘質土。炭化物を多く含む。出土遺物 (図 10)：9 は常滑広口壺。

### 遺構 60 (図 9)

不整楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩少なく炭化物多い。出土遺物 (図 10)：10 は瀬戸折縁深皿。11 は鉄釘。

### 遺構 62 (図 9)

楕円形を呈するピット。遺構 115 に切られる。遺構覆土：暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物多く含む。径 22cm の安山岩を礎石として使用している。

### 遺構 66 (図 9)

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：2 層に分かれる。上層は暗褐色粘質土。下層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く含む。出土遺物 (図 10)：12 は瀬戸仏供。

### 遺構 73 (図 9)

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。炭化物を少量含む。出土遺物 (図 10)：13 は青白磁合子蓋。14 は筭。15 は銅銭。

### 遺構 74 (図 9)

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩粒を多く含む。出土遺物 (図 10)：16 は常滑片口碗。

遺構 79 (図 9)

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物含む。出土遺物 (図

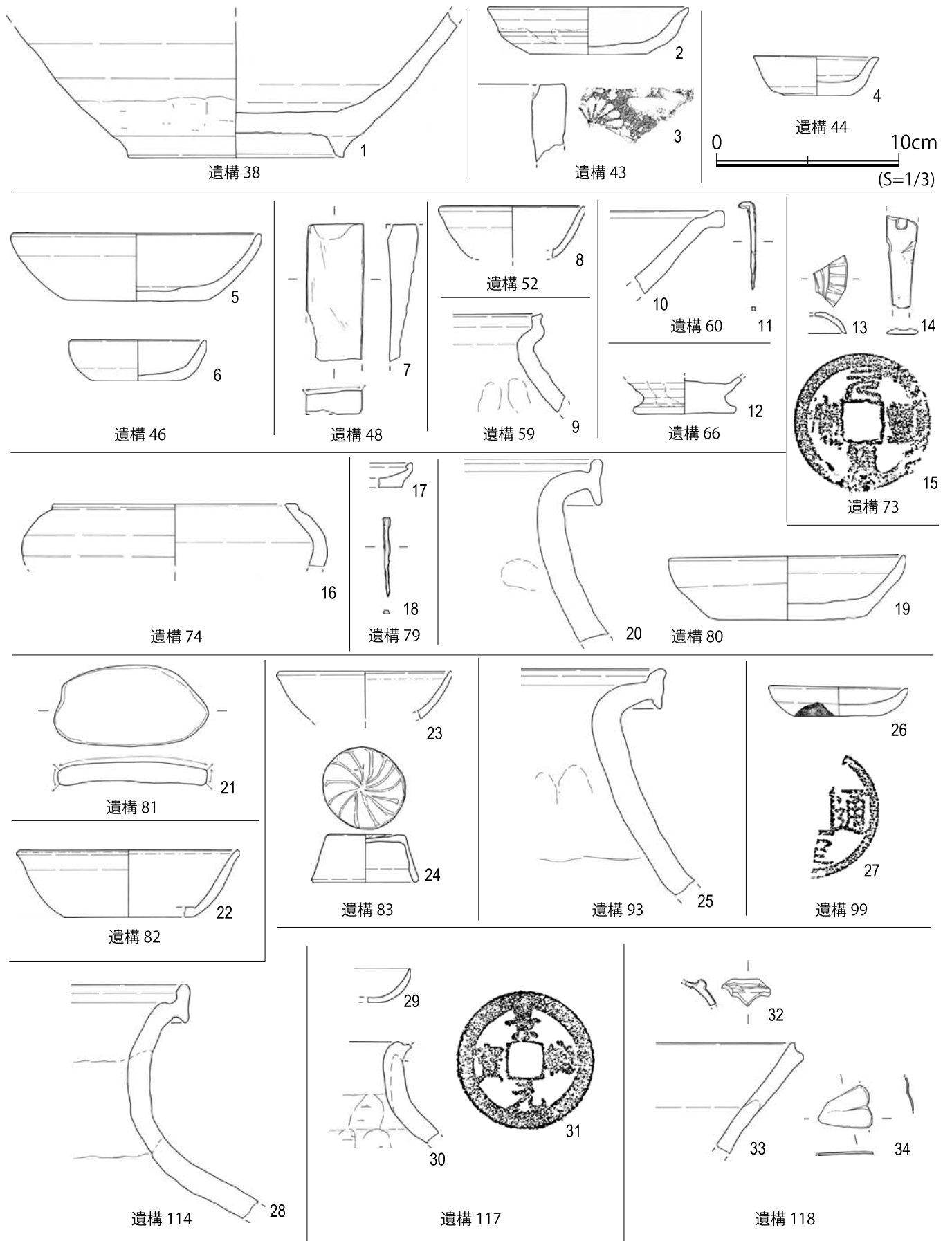


図 10 第 2 面遺構出土遺物 (1)

10) : 17 はかわらけ。18 は鉄釘。

**遺構 80 (図 9)**

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土:茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含む。出土遺物 (図 10) : 19 はかわらけ。20 は常滑甕。

**遺構 81 (図 9)**

円形を呈するピット。遺構覆土:上層は暗褐色粘質土。大型の泥岩が詰まる。下層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を少量含む。出土遺物 (図 10) : 21 は磨り常滑。

**遺構 82 (図 9)**

楕円形を呈するピット。遺構覆土:上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を多く、かわらけ片を少量含む。下層は暗褐色粘質土。炭化物を多く含む。出土遺物 (図 10) : 22 は白磁口兀碗。

**遺構 83 (図 9)**

円形を呈するピット。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を含む。出土遺物 (図 10) : 23 は白磁蓋付碗。24 は青白磁梅瓶の蓋で、ピット北部底面より蓋のみ出土。

**遺構 93 (図 9)**

楕円形を呈するピット。出土遺物 (図 10) : 25 は常滑甕。

**遺構 99 (図 9)**

楕円形を呈するピット。遺構覆土:暗褐色粘質土。炭化物、かわらけ片を多く含む。出土遺物 (図 10) : 26 はかわらけ。27 は銅銭。

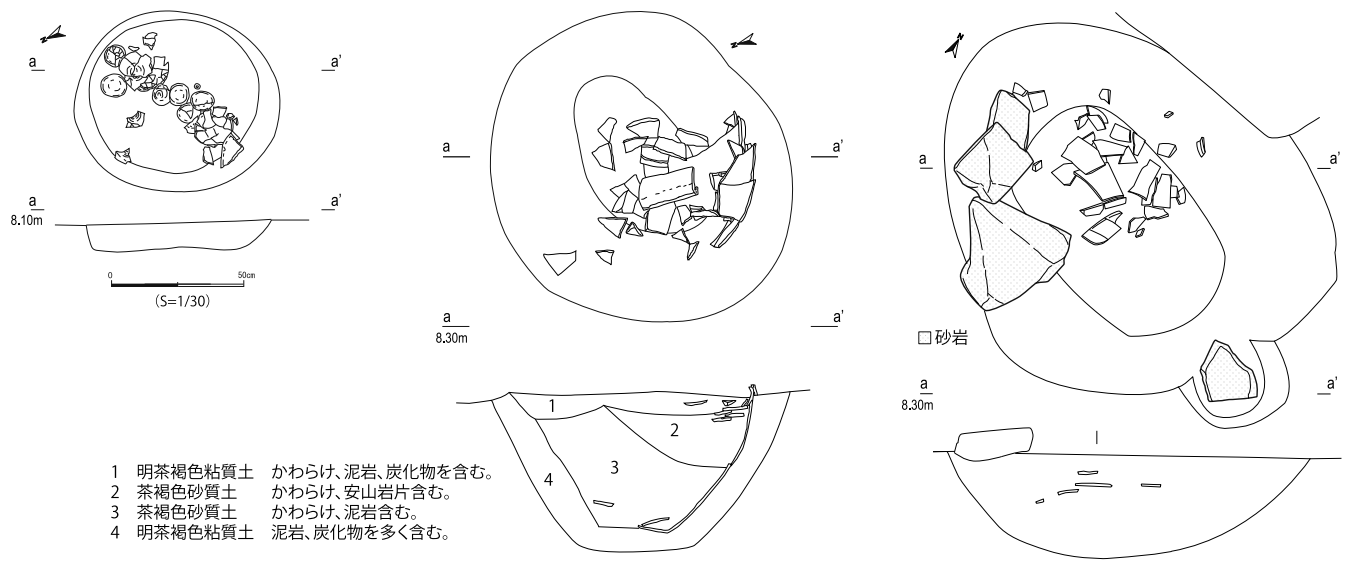
**・土坑**

**遺構 114 (図 9)**

土坑。調査区外に延びており全体の形状は不明である。遺構覆土:暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物、かわらけ片は少ない。出土遺物 (図 10) : 28 は常滑甕。

**遺構 115 (図 9、11)**

隅丸方形を呈する土坑。常滑の甕を埋設した据甕の設置坑。甕は破損し 1/3 程度しか残存せず、残存する口縁から頸部は割れて土坑内に落ち込んでいた。遺構覆土については図 11 を参照。出土遺物 (図



**遺構 127**

**遺構 115**

**遺構 123**

**図 11 第 2 面遺構個別図**

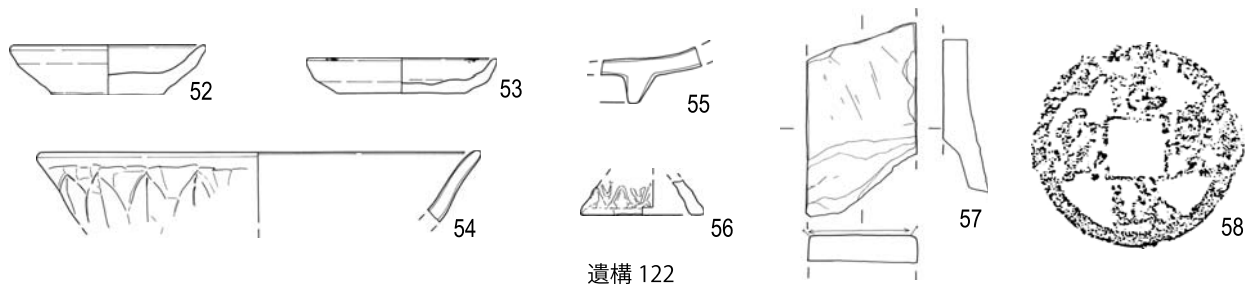
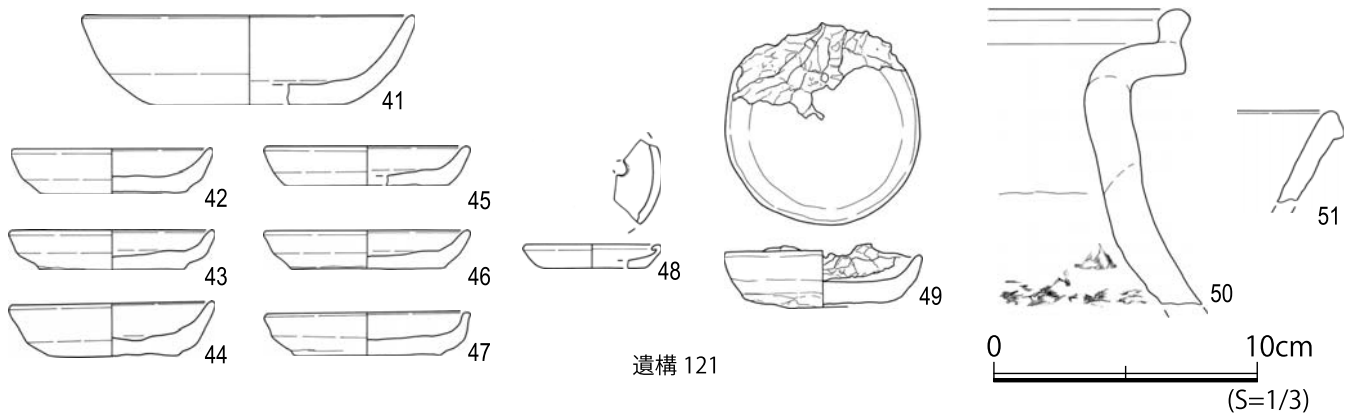
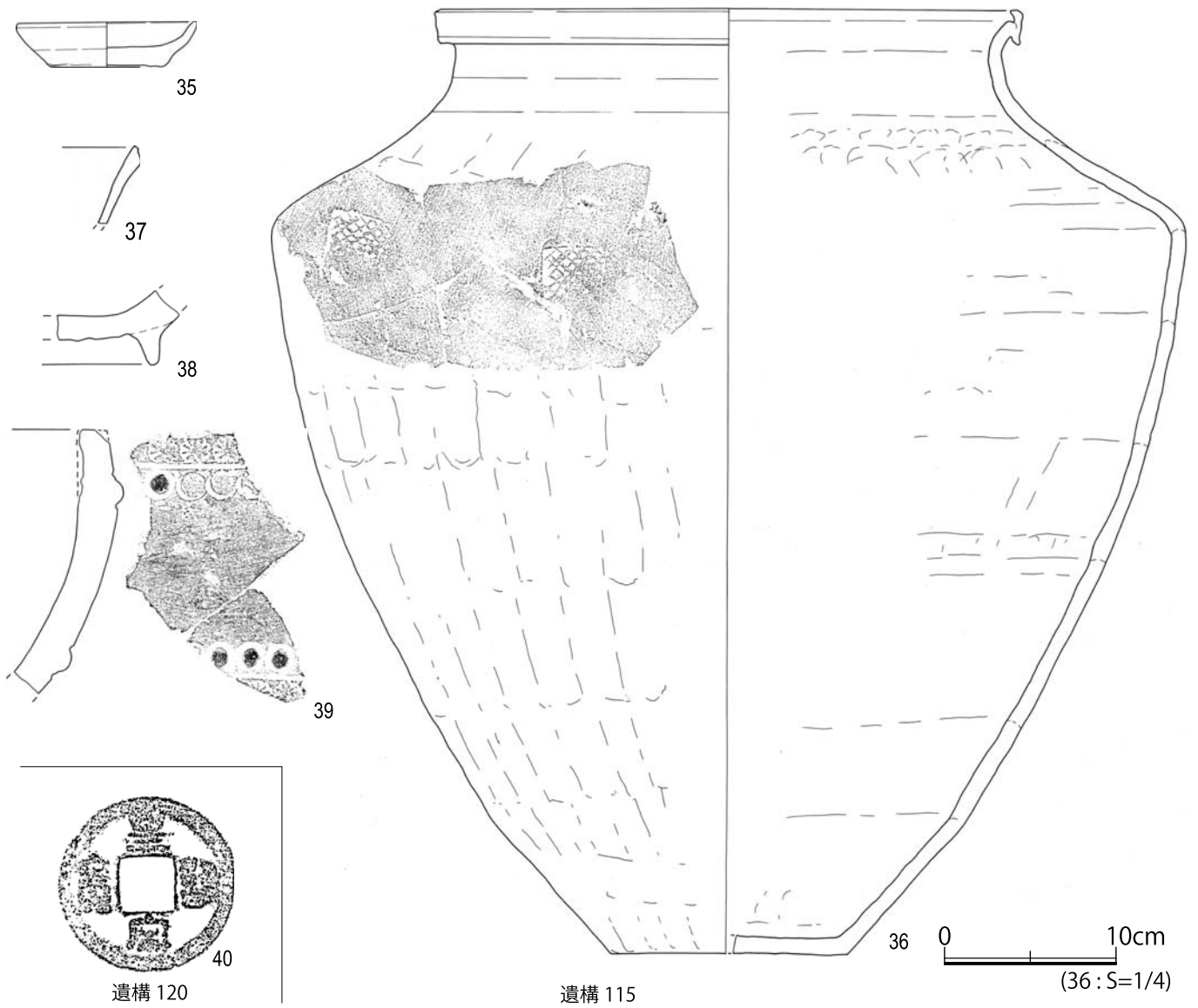


图 12 第 2 面遺構出土遺物 (2)

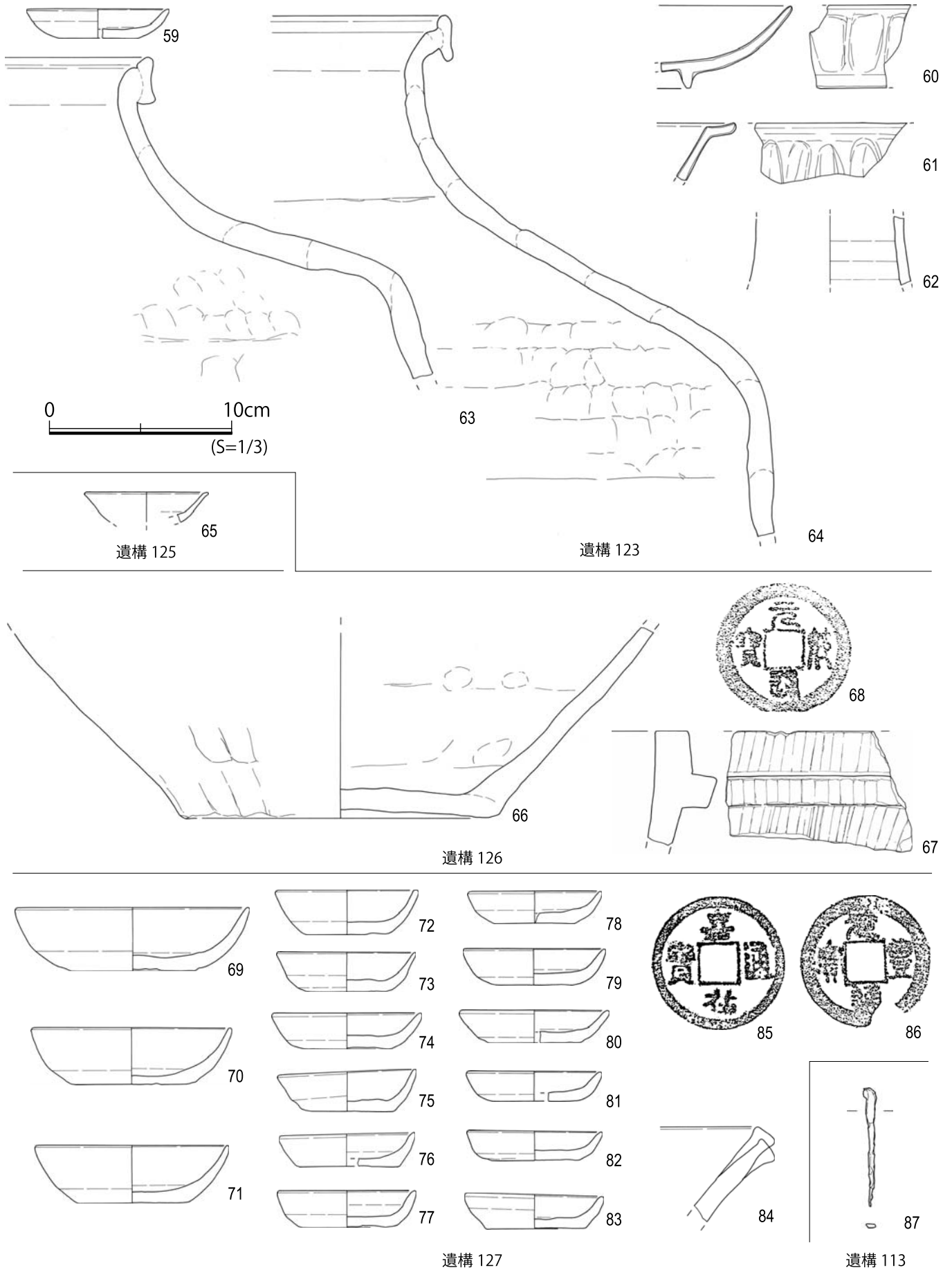


図13 第2面遺構土出土遺物(3)

12):35 はかわらけ、36 は土坑内に設置されていた常滑甕。37 は尾張型山茶碗か。38 は常滑片口鉢Ⅰ類。39 は瓦質火鉢。

#### 遺構 117 (図 9)

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。炭化物を多く含む。出土遺物 (図 10)：29 は吉備系土師器小皿。30 は渥美甕。31 は銅銭。

#### 遺構 118 (図 9)

楕円形を呈する土坑。遺構 117 に切られる。遺構覆土：暗褐色粘質土。大型泥岩、炭化物を少量含む。出土遺物 (図 10)：32 は青白磁の香炉か。33 は常滑片口鉢Ⅱ類。34 は金属製装飾品。

#### 遺構 120 (図 9)

隅丸長方形を呈する土坑。遺構 67 に切られる。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、かわらけ片、粗砂を含む。出土遺物 (図 12)：40 は銅銭。

#### 遺構 121 (図 9)

隅丸長方形を呈する土坑。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片を多く含む。下層は暗褐色粘質土で焼土が混入、底面に薄い炭層構。出土遺物 (図 12)：41～48 はかわらけ。49 はかわらけで取瓶として使用。50 は常滑甕、51 は常滑壺か。

#### 遺構 122 (図 9)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含み、大型の泥岩が大量に投げ込まれている。下層は暗褐色弱粘質土。炭化物、かわらけ片をわずかに含む。出土遺物 (図 12)：52～53 はかわらけ。54 は青磁蓮弁文碗。55 は青磁皿か。56 は青白磁花瓶。57 は砥石。58 は銅銭。

#### 遺構 123 (図 9、11)

隅丸方形を呈する土坑。底面より常滑片を中心とした陶磁器の破片がまとまって出土。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。大型の泥岩塊を多く含む。下層は暗褐色粘質土。大型泥岩、炭化物を多く含む。出土遺物 (図 13)：59 はかわらけ。60 は青磁蓮弁文皿。61 は青磁折縁皿。62 は白磁壺。63～64 は常滑甕。

#### 遺構 125 (図 9)

隅丸長方形を呈する土坑。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩、炭化物、かわらけ片を多く含む。下層は暗褐色粘質土。大型泥岩を多く、炭化物を少量含む。出土遺物 (図 13)：65 は瀬戸小坏。

#### 遺構 126 (図 9)

楕円形を呈する土坑。底面より陶磁器片がまとまって出土。遺構覆土：暗褐色粘質土。大型泥岩を多く含む。出土遺物 (図 13)：66 は常滑甕。67 は滑石鍋。68 は銅銭。

#### 遺構 127 (図 9、11)

円形を呈する土坑。完形のかかわらけが列状に取められた状態で底面より検出。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を多く含む。出土遺物 (図 13)：69～83 はかわらけ。84 は常滑片口鉢Ⅱ類。85～86 は銅銭。

### ・礎石建物

#### 遺構 129 (図 9、14)

第 2 面では調査区東側で凝灰質砂岩が比較的整然と並んだ形で検出されたため礎石建物と推定される。便宜上それぞれの礎石を伴う掘方にも遺構番号を付し、建物全体をさす番号として 129 を付した。礎石建物を構成するのは遺構 103～113 で 3×3 間の構造であるが、東、南ともに調査区外にさらに広がる可能性がある。礎石の間隔はややばらつきがあるが 1.9～2 m である。

遺構 106、109、112 は礎石が失われている。112 と 113 の間は礎石、掘方ともに不明だが、試掘時に破壊されたと思われる。西側では 107、111 と不規則な間隔でさらに礎石が存在し、112 の南側にもみられる。これより西側には列をなす礎石は見られず、建物の西端と考えられる。礎石が存在していないが、北側の遺構 50、52、54 は礎石と等間隔に並ぶため、礎石建物に含まれる可能性もあり、その場合には  $4 \times 3$  間の構造となる。そのすぐ北側には板状の凝灰質砂岩 4 枚を敷いた構造物が検出された（遺構 128）。これも礎石建物に付随する構造物の可能性がある。出土遺物（図 13）：87 は鉄釘で、遺構 113 の掘方より出土。

また遺構 66、67、76、74 からはいずれも礎石として使用されたと推定される安山岩を検出した。これらは 2 m 間隔で等間隔にならび、礎石建物をなすと推定されるが、南北方向には同様の遺構が検出されておらず、建物としてのプランは確認できていない。遺構 50、52、54 が礎石建物遺構 129 の一角を形成するのであれば、遺構 74 はその内部に入り込む形になるため別の建物である可能性が考えられるが、両者の関連性については詳細を明らかにはしえなかった。

ほかに遺構 127 については完形のかかわりけと銅銭がやや整然と埋められていることから、遺構 129 に伴う地鎮の可能性もあろう。

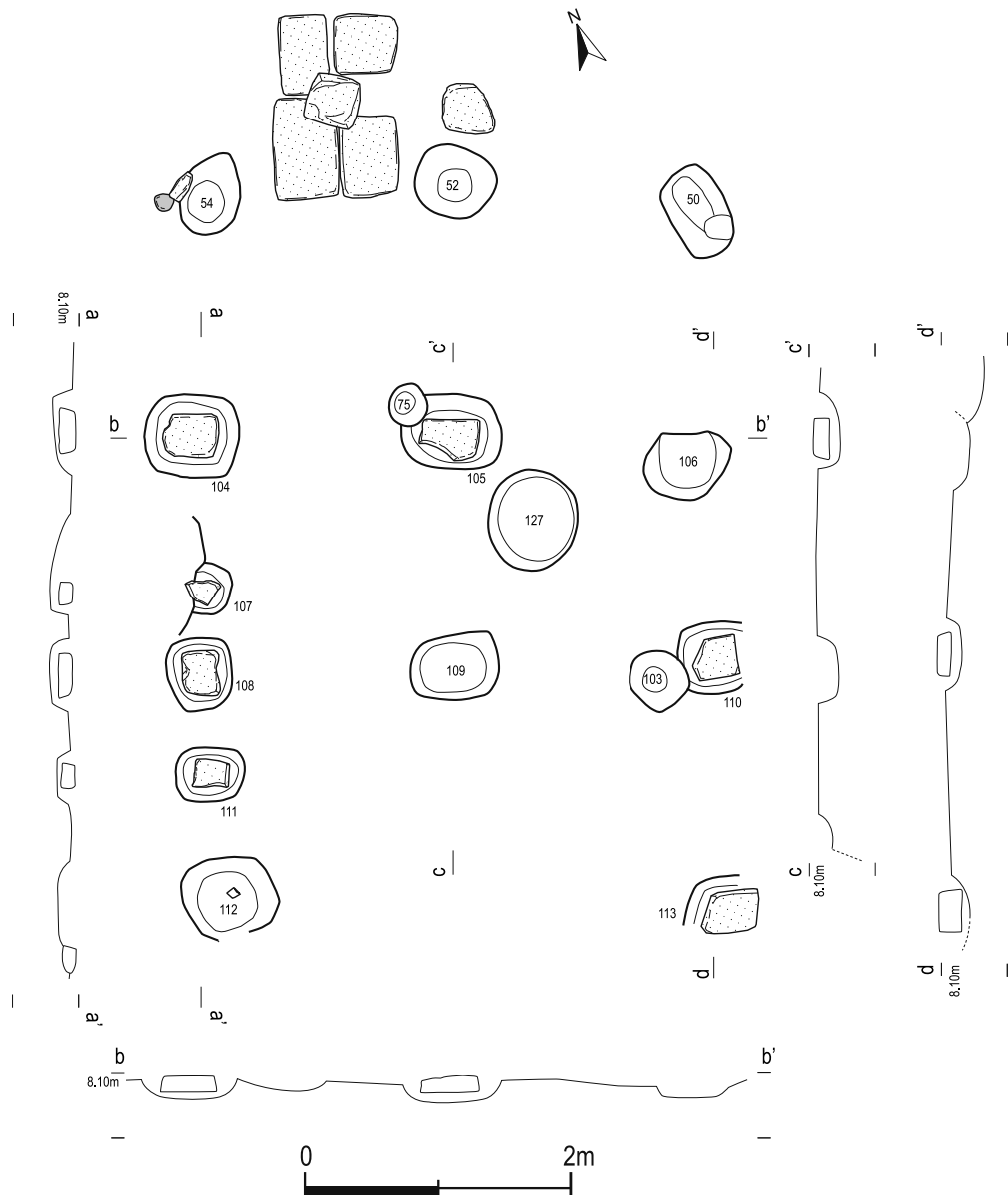
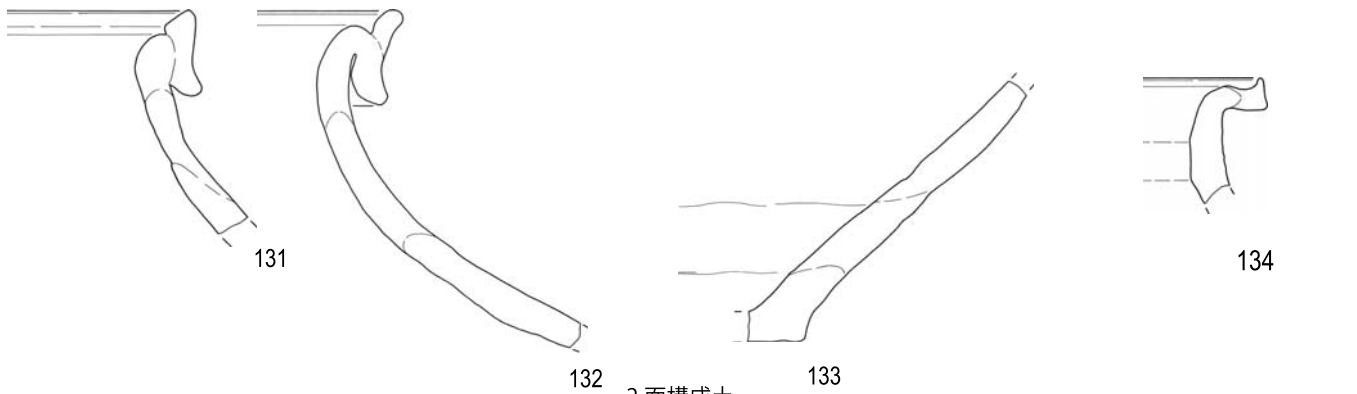
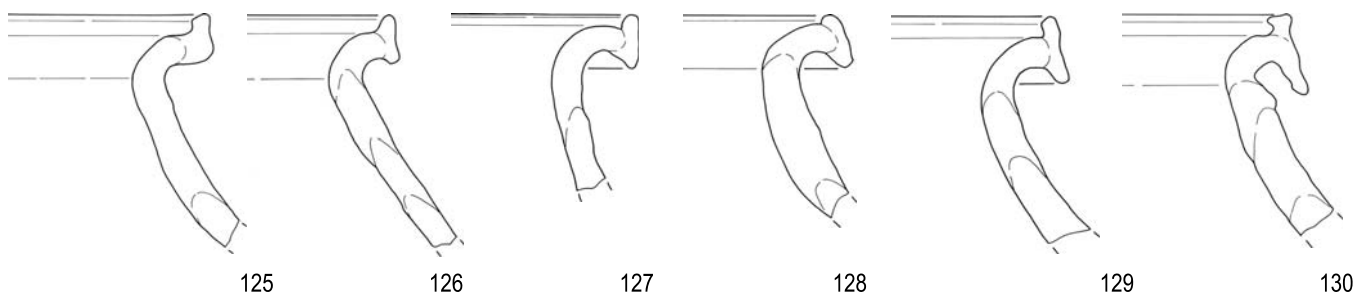
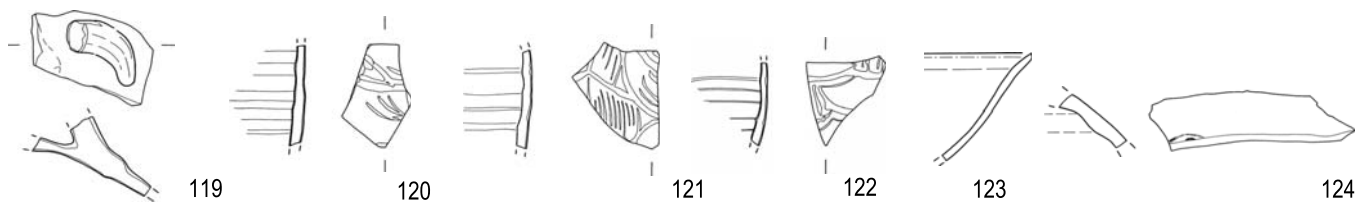
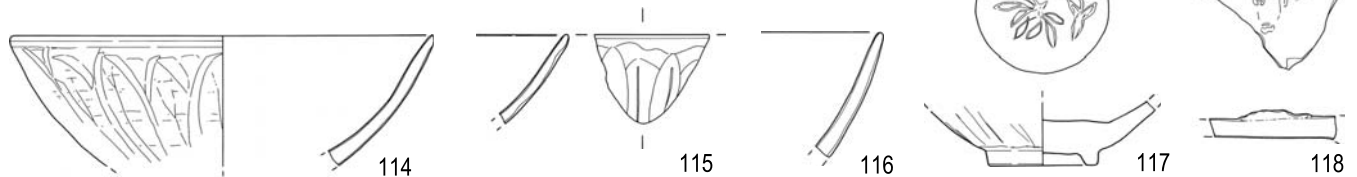
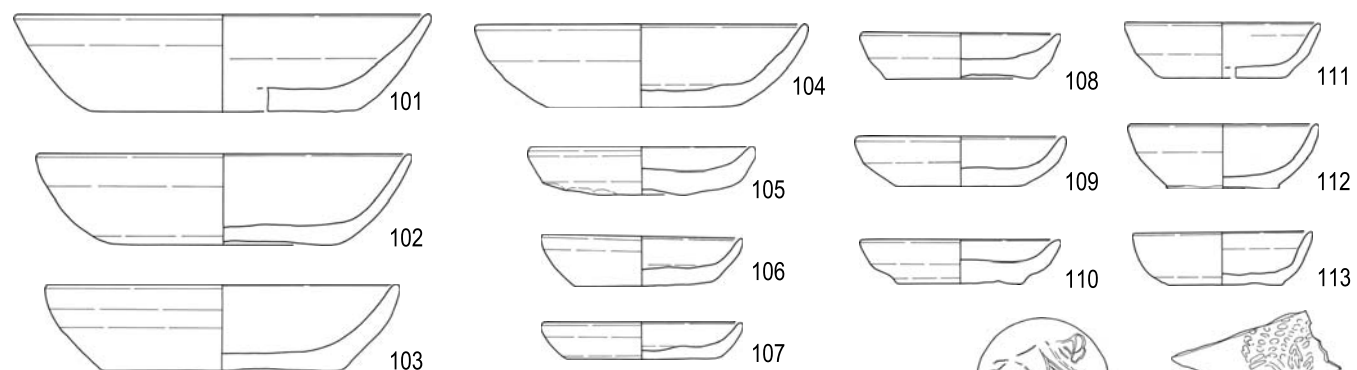
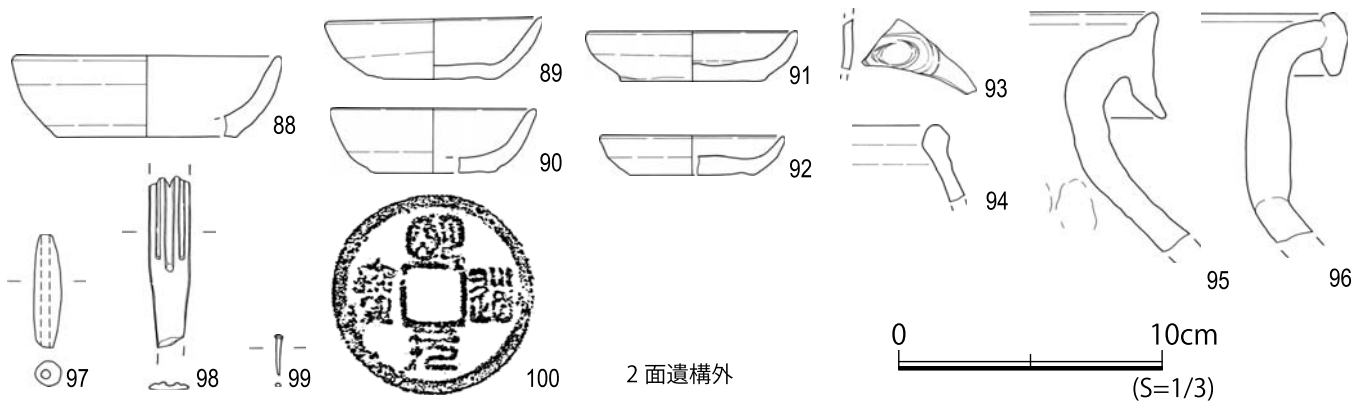


図 14 第 2 面礎石建物遺構図 (S=1/60)





2面構成土

図15 第2面遺構外および構成土出土遺物

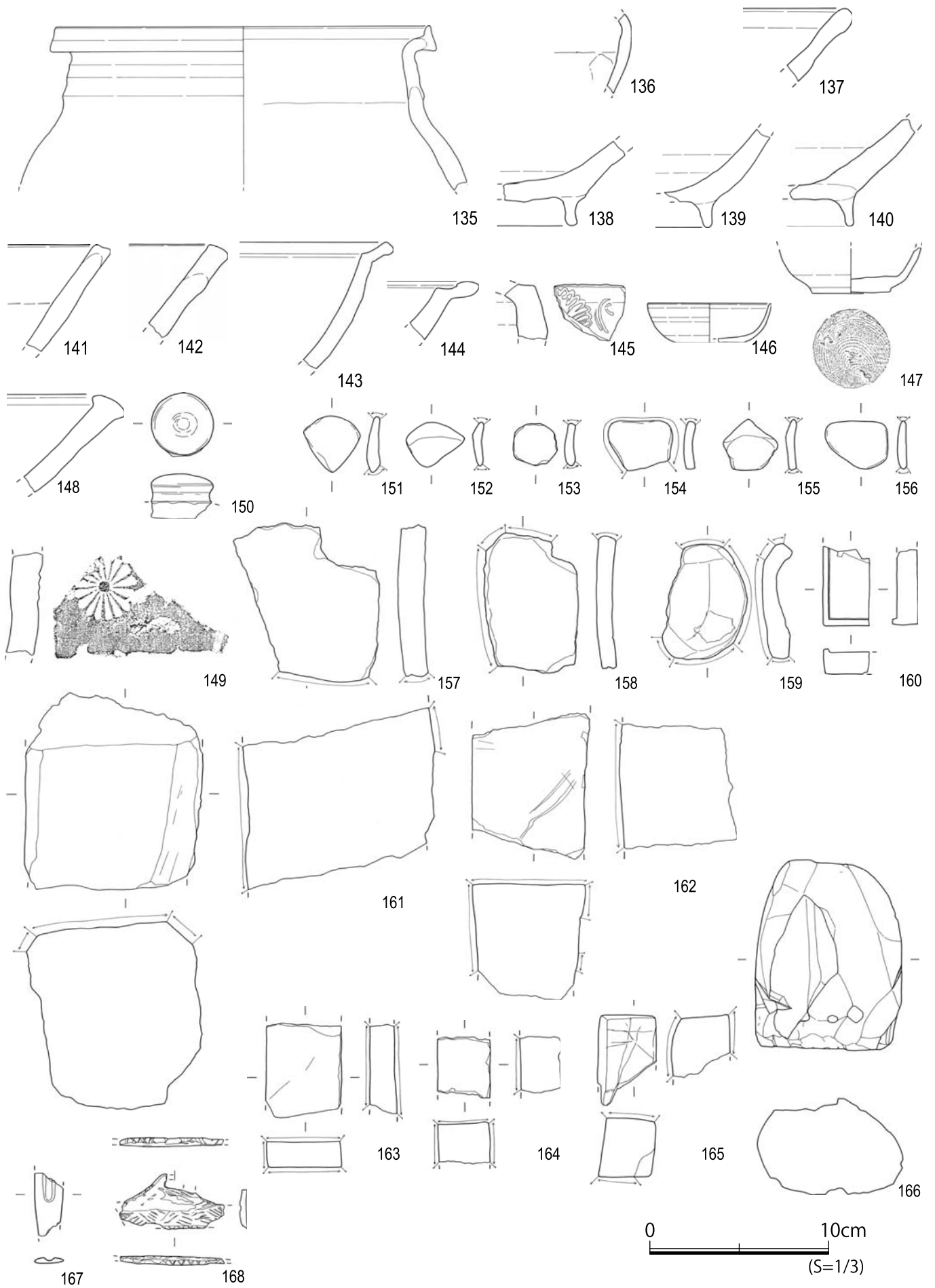


图 16 第 2 面構成土出土遺物 (1)

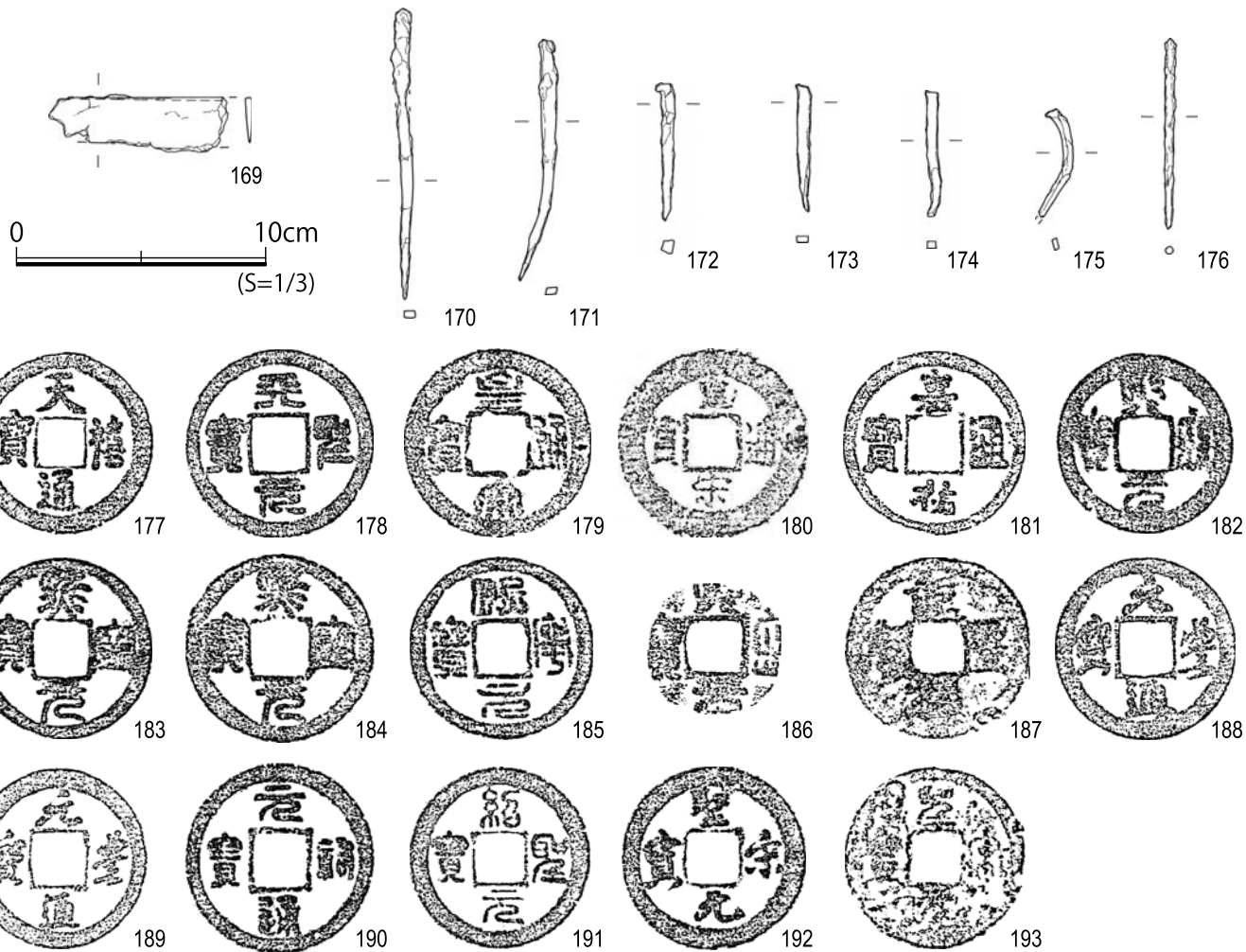


図17 第2面構成土出土遺物(2)

2面遺構外出土遺物(図15)

遺構面精査時に面上で検出した遺物。88～92はかわらけ。93は青白磁梅瓶。94は緑釉盤。95は常滑広口壺。96は常滑甕。97は土埴。98は筭。99は鉄釘。100は銅銭。

2面構成土出土遺物(図15～17)

2面より3面検出までの間の堆積より出土した遺物。101～113はかわらけ。114～115は青磁蓮弁文碗、116は青磁碗、117は青磁蓮弁文碗、118は青磁双魚文皿、119は青磁の壺類か。120～122は青白磁梅瓶、123は白磁口元皿、124は磁州窯白地鉄絵瓶。125～133は常滑甕、134～135は常滑広口壺、136は常滑壺。137～140は常滑片口鉢I類、141～142は片口鉢II類。143～144は瀬戸折縁深皿、145は瀬戸筒型香炉か。146～147は瀬戸入子。148～149は瓦質火鉢。150は瓦質土器の器蓋。151～156は磨りかわらけ、157～159は磨り常滑。160は硯。161～165は砥石。166は軽石加工品、167は骨製筭、168は辻具か。169は鉄製刀子、170～176は鉄釘。177～193は銅銭。ほかに鉛ガラスの小片が出土している。

### 第3節 第3面の遺構と遺物 (図18～23)

第3面は小粒の泥岩碎片を多く含む暗褐色粘質土の地業面である。確認レベルはおよそ海拔7.68-7.70 mである。多数の遺構を確認し、ピット33穴・土坑2基、礎石建物1基、溝状遺構1条を検出した。遺構の切り合いより第3面で発見した遺構は、少なくとも3時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくね・青磁・白磁・青白磁・褐釉・常滑・瀬戸・火鉢・瓦・石製品・鉄製品銅銭・自然遺物が出土している。

#### ・ピット

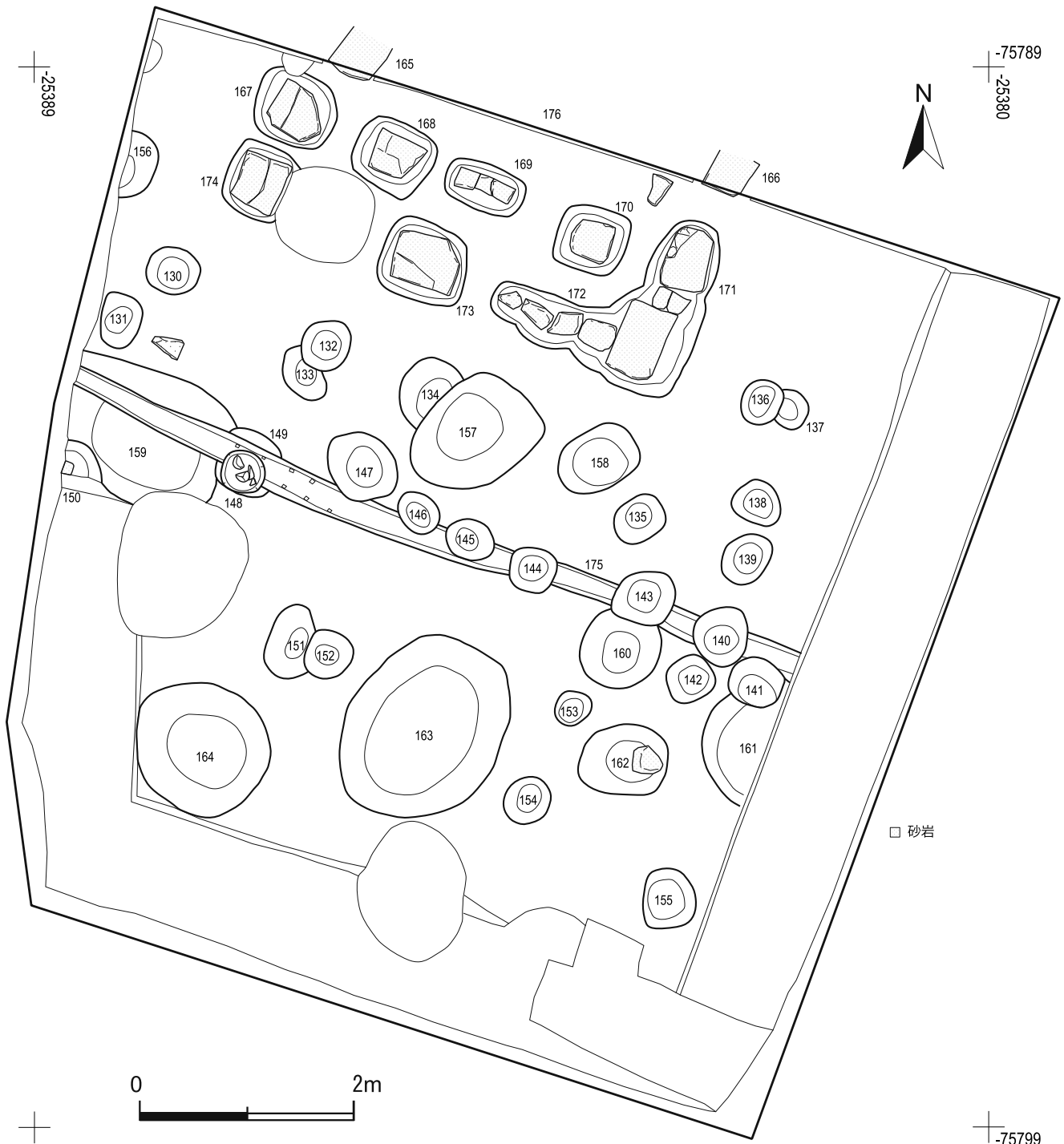


図18 第3面全体図

遺構 139 (図 18)

楕円形を呈するピット。遺構覆土:茶褐色粘質土。出土遺物(図 20):1 は青白磁で器種不明。2 は砥石。

遺構 143 (図 18)

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土:茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を多く、炭化物とかかわらけ片を少量含む。遺構 160 を切る。出土遺物 (図 20):3 は鍔釜。

遺構 146 (図 18)

楕円形を呈するピット。遺構覆土:茶褐色粘質土。泥岩を含む。出土遺物 (図 20):4 は泥岩加工品。

遺構 147 (図 18)

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土:上層は茶褐色砂質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を少量含む。下層茶褐色粘質土。泥岩、炭化物多く含む。出土遺物 (図 20):5 はかわらけ。

・土坑

遺構 156 (図 18)

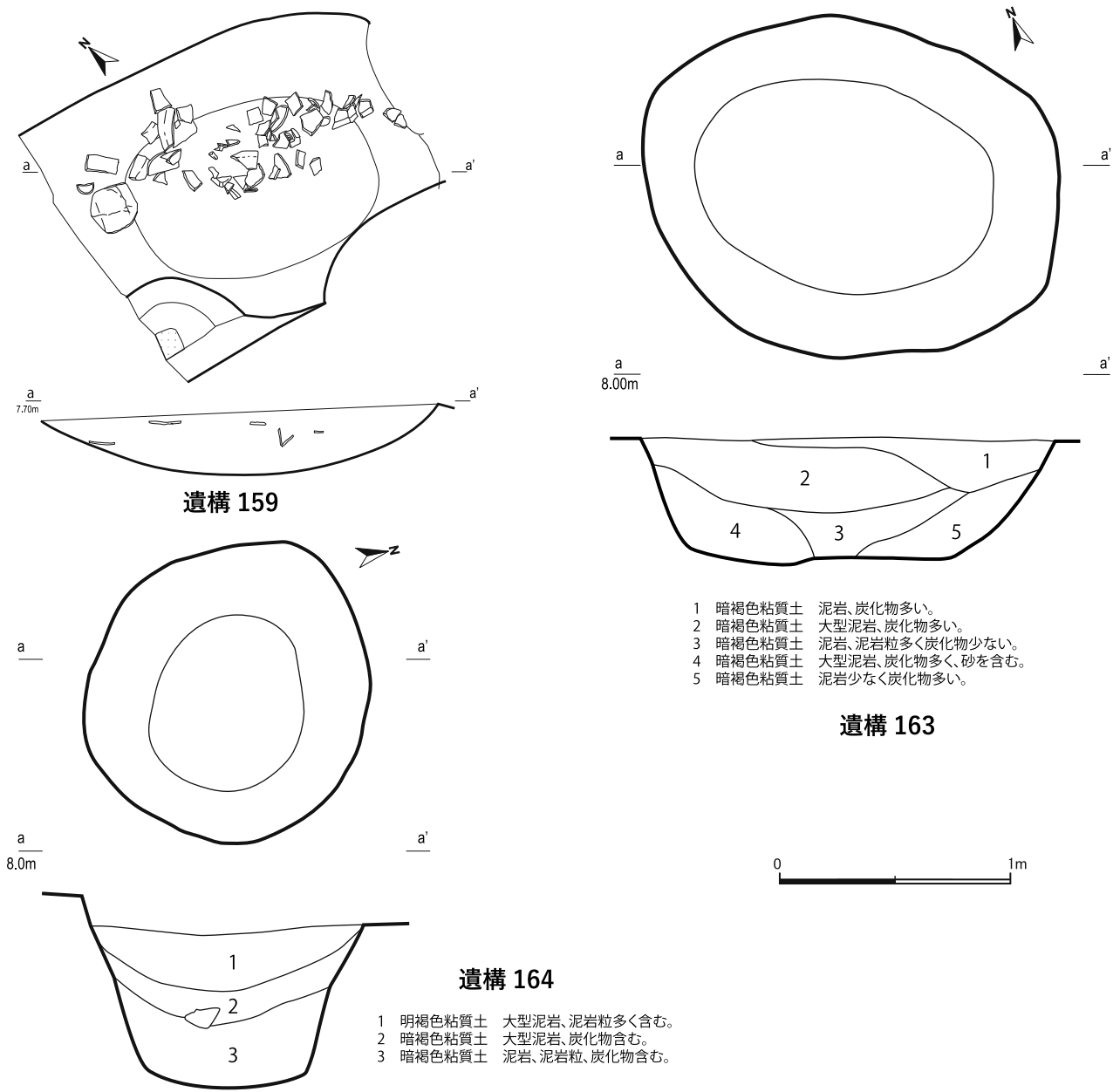


図 19 第 3 面個別遺構図

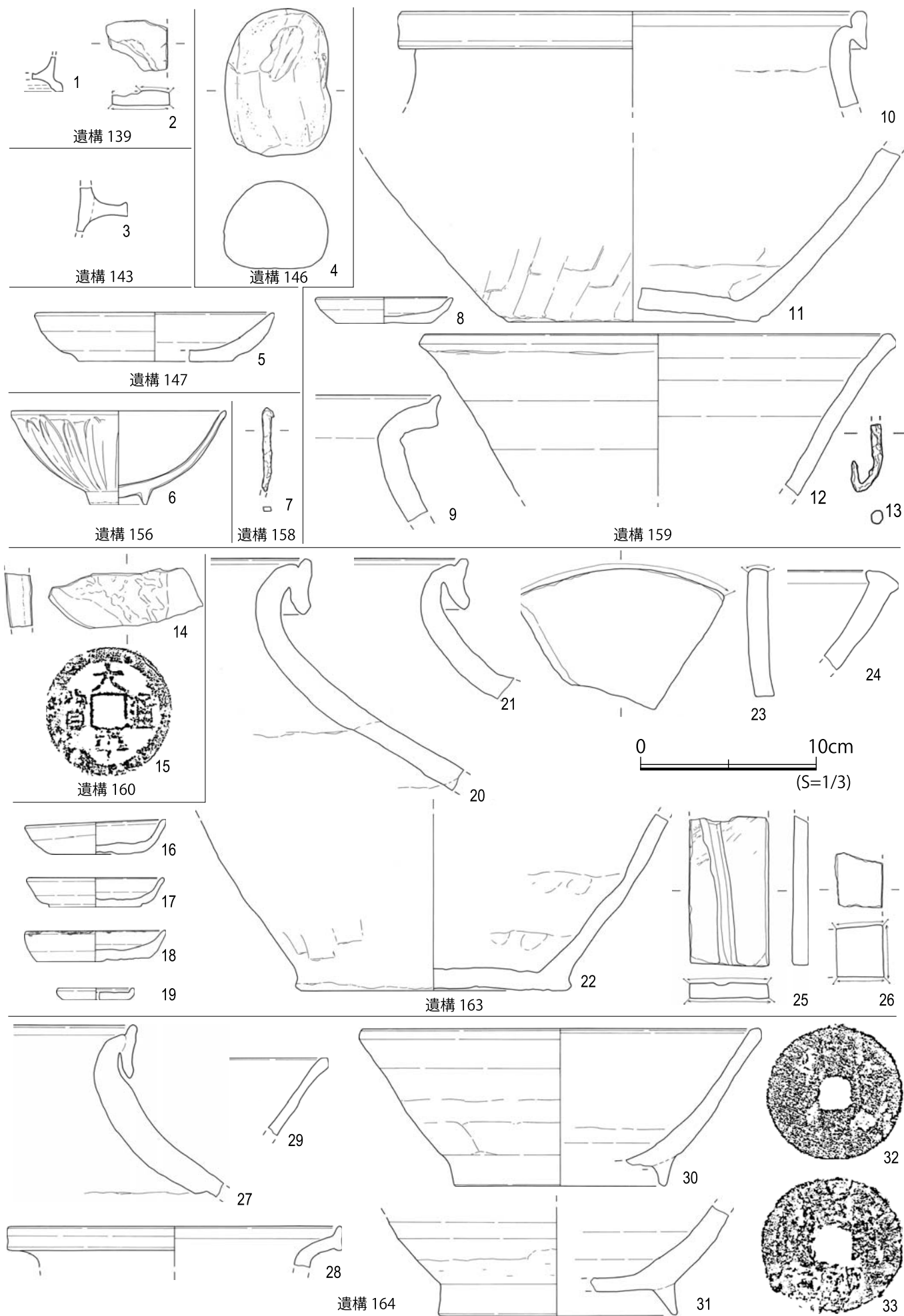


图 20 第 3 面遺構出土遺物

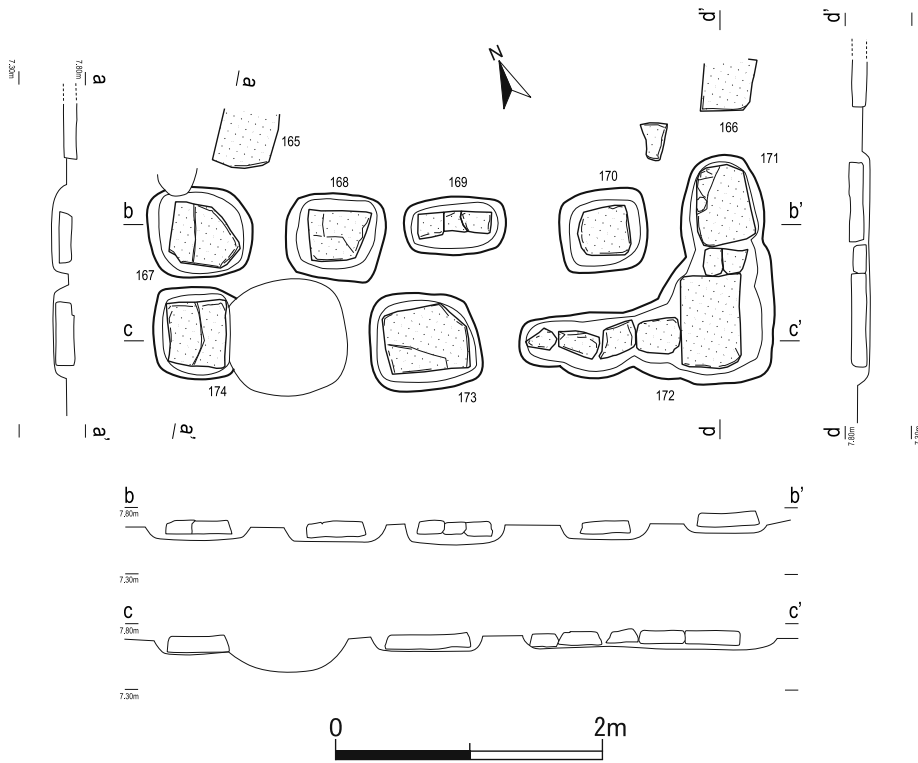


図 21 第 3 面礎石建物遺構図 (S=1/60)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：黒褐色粘質土。被熱した泥岩を多く含む。出土遺物 (図 20)：6 は青磁蓮弁文碗。

**遺構 158 (図 18)**

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：茶褐色粘質土。大型の泥岩、泥岩粒を含む。上部には砂岩粒が混入。出土遺物 (図 20)：7 は鉄釘。

**遺構 159 (図 18、19)**

隅丸方形を呈する土坑。底面より多数の陶磁器片がまとまって出土。遺構覆土：明茶褐色粘質土。泥岩粒、かわらけ片を少量含む。下部に褐鉄混入。出土遺物 (図 20)：8 はかわらけ。9～11 は常滑甕、12 は常滑片口鉢 I 類。13 は鉄釘。

**遺構 160 (図 18)**

隅丸方形を呈する土坑。遺構 143 に切られる。遺構覆土：上層は茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片を少量含む。下層は茶褐色粘質土。泥岩多く、炭化物を少量含む。出土遺物 (図 18)：14 は青磁花生か。15 は銅銭。

**遺構 163 (図 18、19)**

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：図 19 を参照。出土遺物 (図 20)：16～19 はかわらけ。20～22 は常滑甕、23 は磨り常滑。24 は瓦質火鉢。25～26 は砥石。

**遺構 164 (図 18、19)**

円形を呈する土坑。遺構覆土：図 19 を参照。出土遺物 (図 20)：27 は常滑甕、28 は常滑広口壺。29～31 は常滑片口鉢 I 類。32～33 は銅銭。

・溝

**遺構 175 (図 18)**

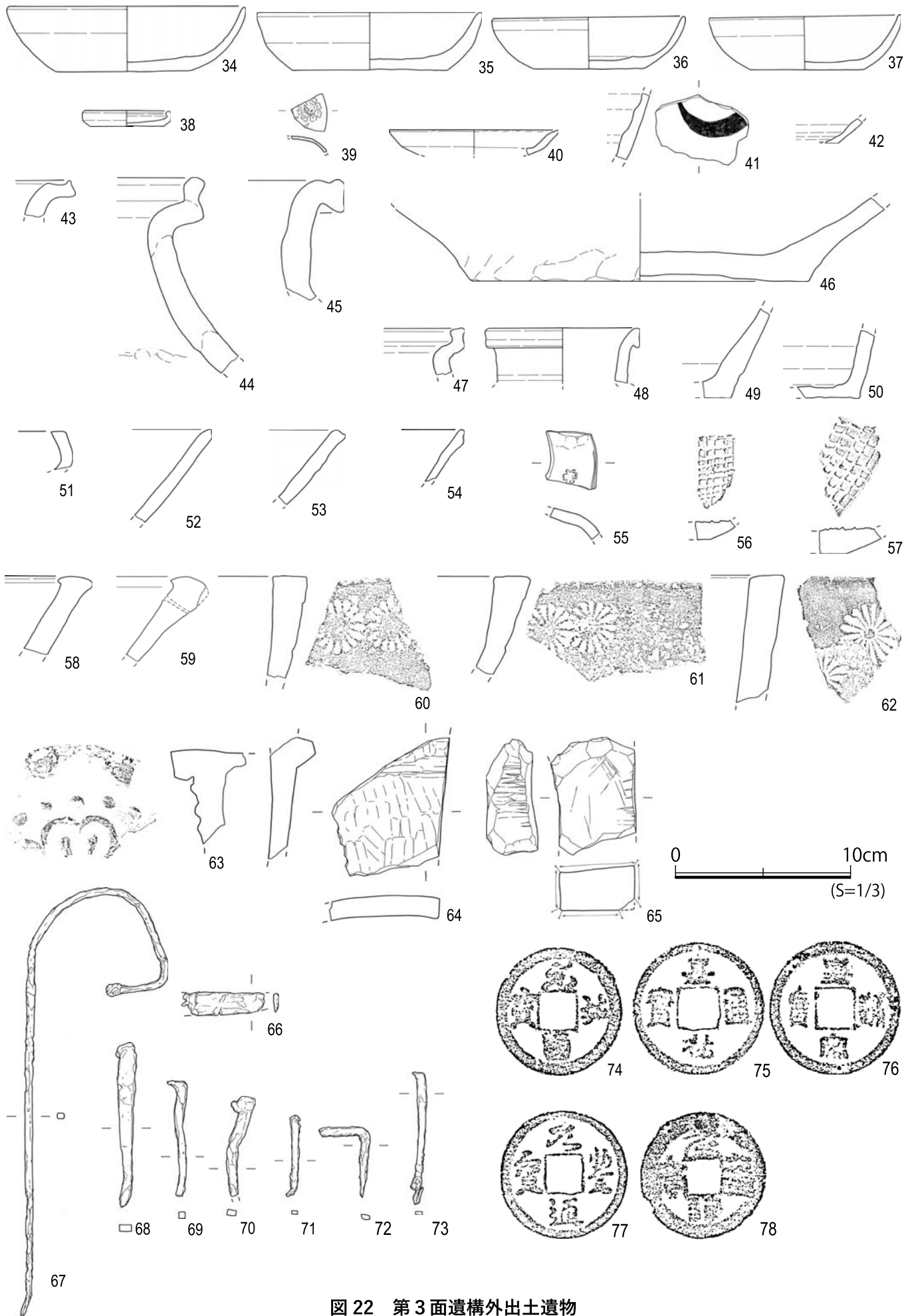


图 22 第 3 面遺構外出土遺物



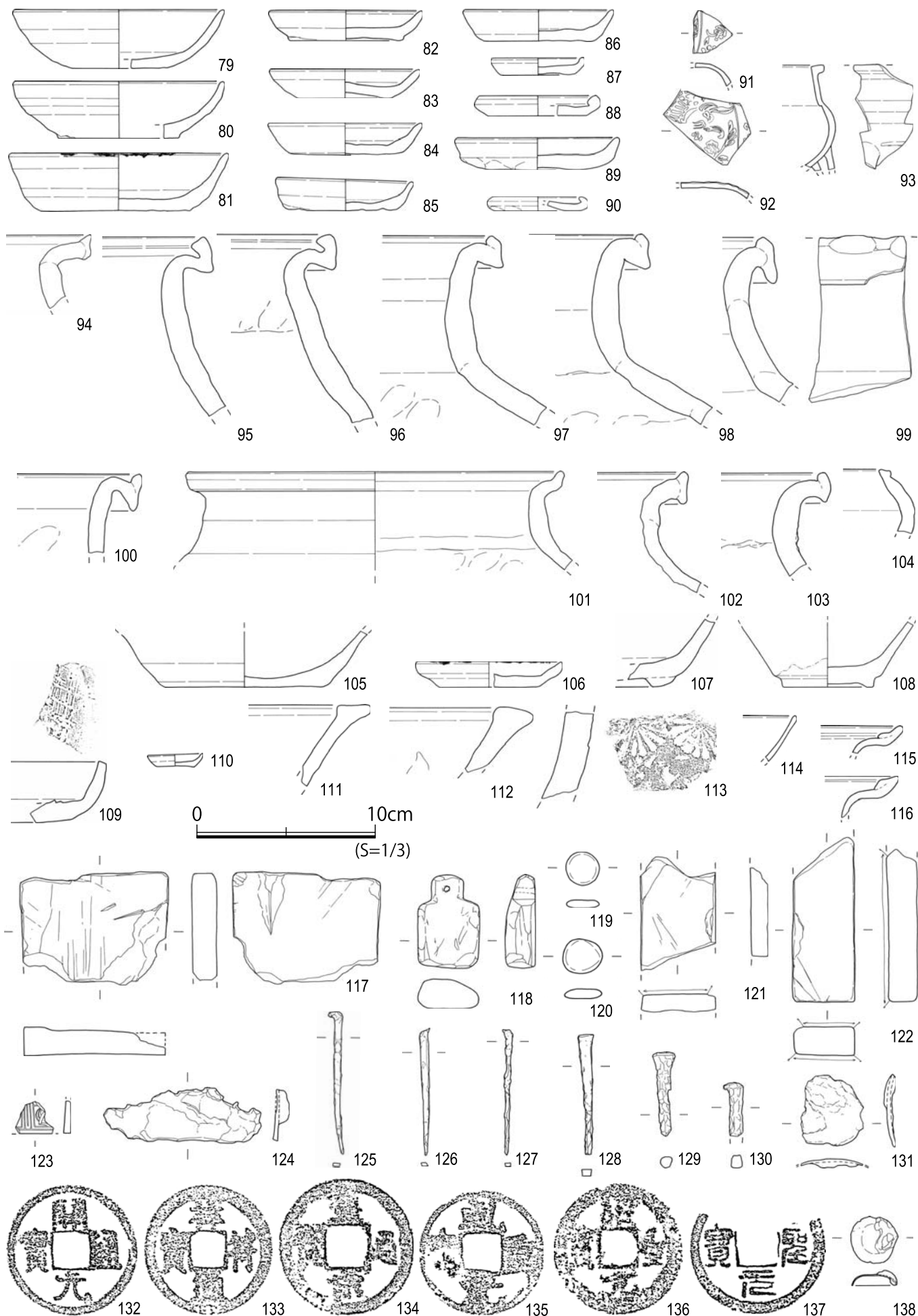


图 23 第 3 面構成土出土遺物

溝。調査区のほぼ中央を東西に走り、両端は調査区外に延びている。幅 20～25cm、深さ約 5～10cm。小規模な箱堀りの溝で、小さな杭穴が壁に沿っていくつか確認され、本来は側板があり杭で補強していたと思われる。図示可能な遺物は出土していない。

#### ・礎石建物

##### 遺構 176 (図 18、21)

第 3 面調査区の北側で面上に設置された凝灰質砂岩が検出された (遺構 165～174)。いずれも平坦に加工された砂岩を使用している。東西は約 4.3 m の幅で比較的整然と並んでおり、礎石建物と推定されるため、第 2 面と同様、建物として独自の番号を付した (遺構 176)。調査区内では 2 列、調査区北壁にさらに一列分に相当する礎石が検出され、調査区外にさらに延びているのは確実であるが、全体の規模は定かではない。遺構 165 と 166、遺構 166～171、遺構 172～174 の 3 列に分けられるが、それぞれの礎石の数や間隔は一定ではなく、遺構 165 は西側の列からはややずれて内側に入り込んでいる。建物の構造はやや不明瞭で、第 2 面の礎石建物や後述する第 4 面の礎石建物とは異なる。

##### 3 面遺構外出土遺物 (図 22)

遺構面精査時に面上で検出した遺物。34～38 はかわらけ。39 は白磁合子の蓋、40 は白磁口元皿で口唇に紅が付着している。41 は白磁鉄絵瓶、42 は褐釉で器種不明。43～46 は常滑甕、47 は常滑広口壺、48 は常滑玉縁壺、49 は常滑壺、50 は常滑鳶口壺、51 は常滑片口碗か。52 は常滑片口鉢 I 類、53 は常滑片口鉢 II 類。54 は尾張型山茶碗。55 は瀬戸水注、56～57 は瀬戸卸皿。58～59 は土器質火鉢、60～62 は瓦器質火鉢。63 は軒丸瓦。64 は滑石製鍋の再加工品。65 は砥石。66 は鉄製刀子、67 は火箸、68～73 は鉄釘。74～78 は銅銭。

##### 3 面構成土出土遺物 (図 23)

3 面以下 4 面検出までの間の堆積から出土した遺物。79～90 はかわらけ。91～92 は青白磁合子蓋、93 は青白磁の袴腰形香炉か。94～99 は常滑甕、100～103 は常滑広口壺。104 は常滑片口碗、105 は常滑で器種不明。106 は尾張型山皿。107 は渥美湖西型山茶碗。108 は瀬戸天目茶碗、109 は瀬戸卸皿、110 は瀬戸入子。111～112 は土器質火鉢、113 は瓦質火鉢。114 は瓦器質黒縁皿。115～116 は伊勢系土鍋。117 は滑石製品で温石か。118 は滑石製加工品。119～120 は基石。121～122 は砥石。123 は骨製装飾品。124 は火打金。125～130 は鉄釘。131 は鉄製品で詳細不明。132～137 は銅銭、138 は銅製品。

## 第4節 第4面の遺構と遺物 (図24～30)

第4面は小粒の泥岩碎片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、多数の遺構を確認した。確認レベルはおよそ海拔7.40-7.48 mである。遺構はピット33穴・土坑12基、礎石建物1基、溝状遺構2条、方形竪穴建物5基を検出した。遺構の切り合いより第4面で発見した遺構は、少なくとも3時期の時間差があると考えられる。

遺物はかわらけ・手づくね・青磁・白磁・青白磁・褐釉・常滑・瀬戸・渥美・瓦器・火鉢・瓦・石製品・鉄製品・銅銭・自然遺物が出土している。

### ・方形竪穴建物

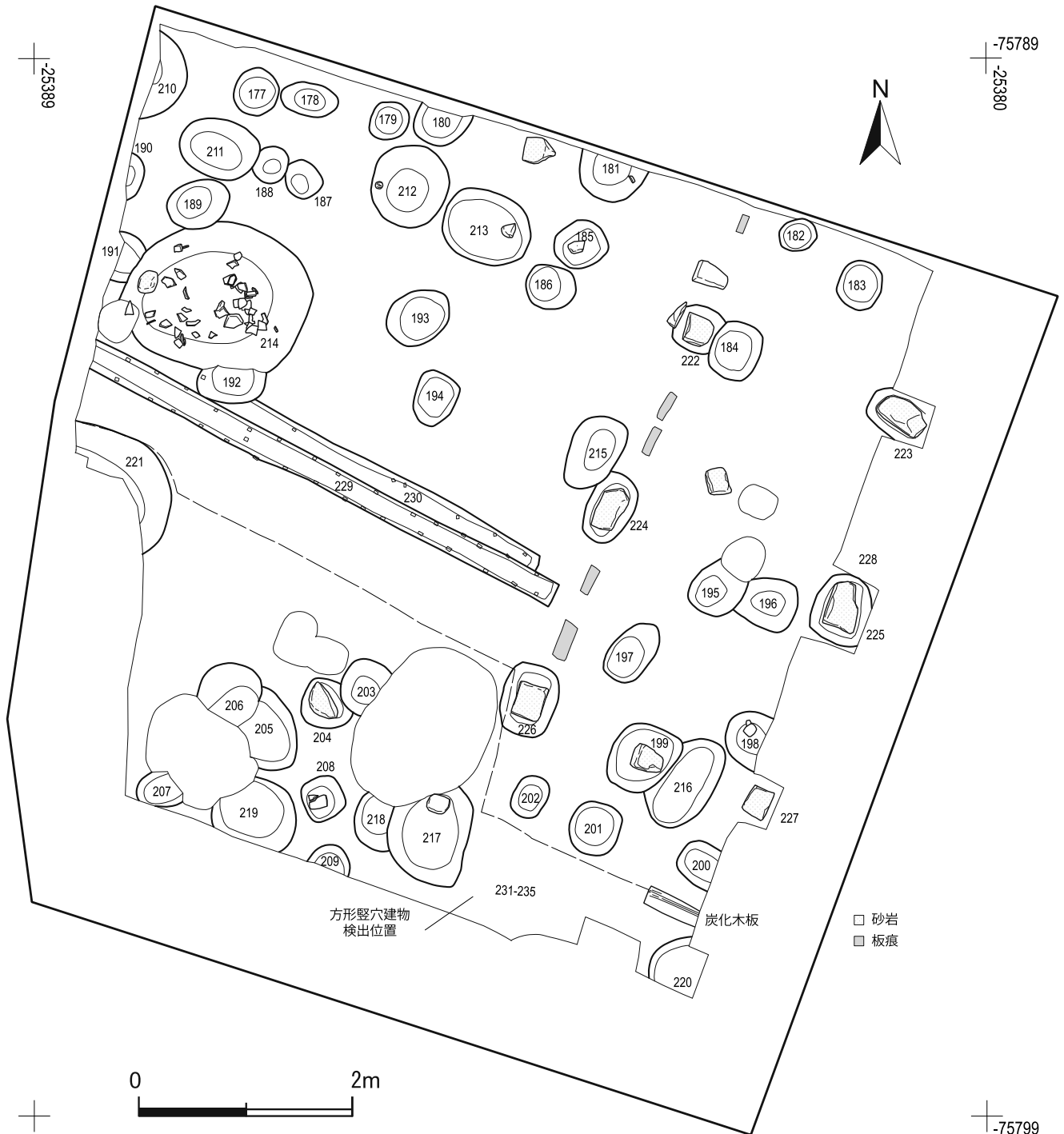


図24 第4面全体図

第4面の南側では方形竪穴遺構が確認された。遺構覆土にも遺構が確認されたことより、第4面では当初竪穴建物が機能していたが、それを埋め立てて整地し、さらに別の遺構が構築されたと考えられる。竪穴建物は平面と断面の観察から5基存在し、ほぼ同様の場所で建て替えが行われていることが判明し

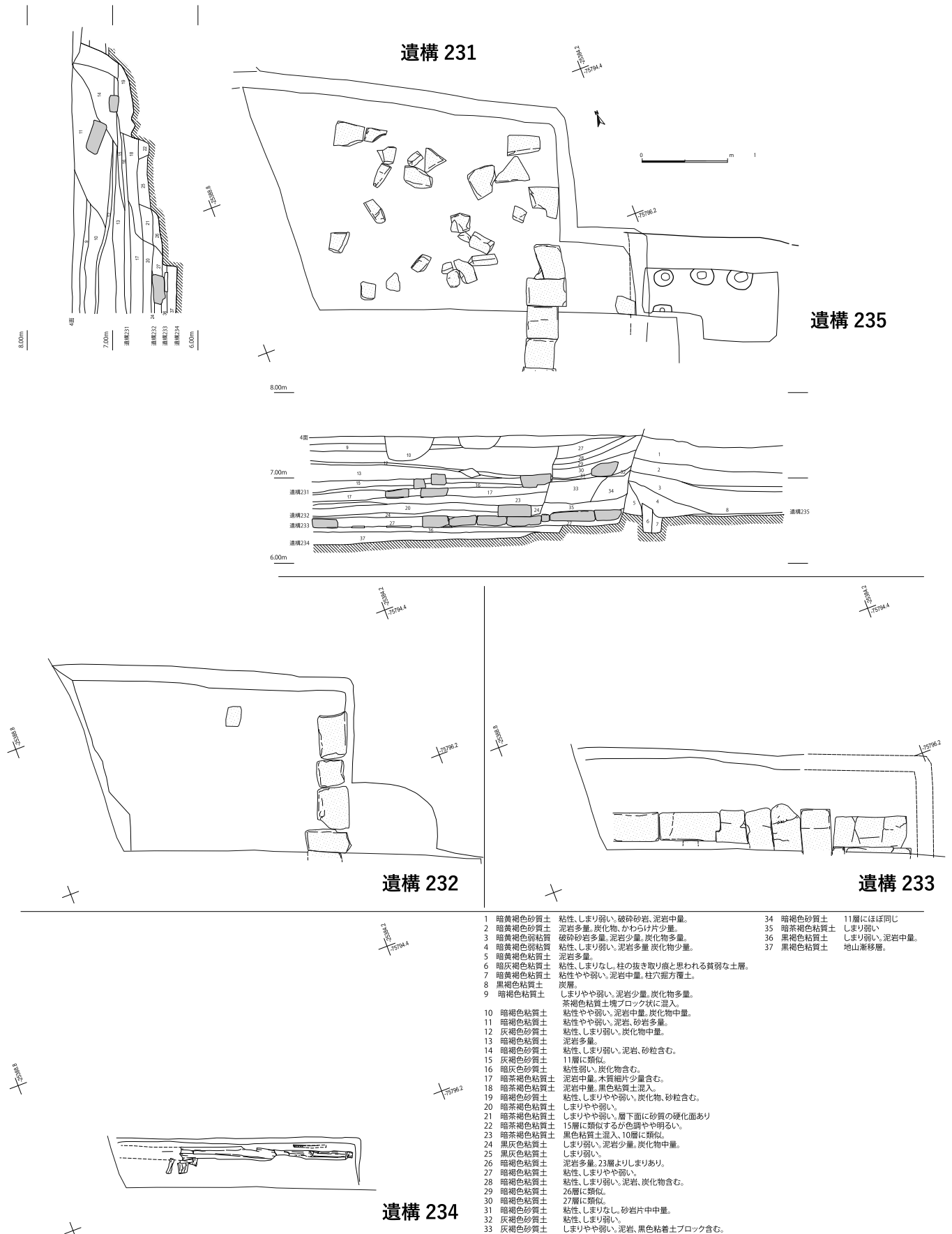


図 25 第4面方形竪穴遺構図

た。覆土については遺構 231、235 の図にまとめて掲載している。

#### 遺構 231 (図 24、図 25)

調査区西、南側に延びているため、全体の規模は不明。他の方形建物を壊して構築している。検出した規模は東西 3.8 m、南北 2.8 m、深さは約 0.55 m。床には東壁に沿って平坦に加工した凝灰質砂岩が並べられている。また内部にも整然とはしていないが、板状に加工した砂岩が散在していた。さらに覆土にも多数砂岩が混入していた。東の砂岩列は調査区南壁に入り込んでいる。東壁には方形の張り出し部が確認され、建物の出入り口と推定される。出土遺物(図 26): 1～6 はロクロかわらけ、7～8 は手づくねかわらけ。9 は青磁劃花文碗、10 は青磁櫛搔文皿、11 は青磁劃花文碗、12 は青白磁合子蓋、13 は青白磁合子。14 は白磁碗、15 は白磁鉄絵の小壺。16～22 は常滑甕、23 は常滑広口壺、24 は常滑壺、25 は常滑小壺、26 は常滑片口鉢Ⅰ類。27 は常滑片口鉢Ⅱ類。28 は磨り常滑、29 は渥美片口鉢、30 は東遠型山皿か。31 は瀬戸卸皿。32 は平瓦。33 は土埴。34 は泥岩加工品。35 は砥石。36 は火打金、37～38 は鉄釘、39～42 は銅銭。43～46 は下層出土遺物。43～44 はかわらけ。45 は青白磁壺、46 は釘塊。

#### 遺構 232 (図 24、25)

遺構 231 の下部より検出された方形竪穴建物。遺構 231 より西南にずれてその内側に位置し、遺構の掘り込みは破壊されているため本来の規模は不明。残存する規模は東西 3.5 m、南北 2.1 m、深さは約 0.24 m である。遺構 231 と同様に床上には東壁沿いに平坦に加工した凝灰質砂岩が一行に敷かれている。北側には痕跡が見られない。石列は調査区南壁内にも確認でき、さらに調査区外に延びているのは確実である。出土遺物(図 27): 47～52 までは遺構 232 から 235 の所属が区別できず、一括で取り上げたもの。47～48 はかわらけ、49 は白かわらけ、50 は手づくねかわらけ。51 は常滑甕、52 は常滑玉縁壺。

#### 遺構 233 (図 24、25)

遺構 233 の下部より検出された方形竪穴建物。北壁は遺構 231、232 より南側に寄り、東側は遺構 231 とほぼ同じである。上方の遺構に破壊されているため、掘り込みは不明で本来の規模は明らかにしえない。残存する規模は東西約 4.0 m、南北約 1.0 m、深さは約 0.2 m である。北壁よりやや南に離れた位置に東西方向に平坦に加工した凝灰質砂岩が敷かれている。東側はさらに調査区南壁に凝灰質砂岩が確認され、本来は床全面に砂岩を敷き詰めていた可能性がある。砂岩列は西側でも調査区外に延びている。出土遺物(図 27): 53 は常滑小壺、54 は常滑片口鉢Ⅱ類、55 は硯、56 は石製品で器種不明。

#### 遺構 234 (図 24、25)

最も下層から検出された方形竪穴建物。位置的には西南に寄っており、上方の遺構に破壊されているため、本来の掘り込みは不明である。残存する規模は、東西 2.35 m、南北約 1.0 m、深さ約 0.1 m である。床面には北壁沿いに東西方向に長方形の板材が敷かれていた。凝灰質砂岩を敷いていたかどうかは不明である。板材は保存状況が良好ではなく、また西側には検出されていない。東壁沿いにも存在したかどうかは不明。出土遺物(図 27): 57 は青磁碗、58 は常滑甕。

#### 遺構 235 (図 24、25)

東南隅で検出された方形竪穴建物。大部分は試掘坑によって壊されていたが、北壁と床面が残存しており、また南壁の土層観察より方形竪穴建物と判断された。掘り込みは遺構 231 とほぼ同じレベルからであり、遺構 234 と切り合い関係にあるかどうかは不明であるが、遺構 231、233 に壊されていることは確実である。残存規模は東西 1.85 m、南北約 1.4 m、深さは約 0.9 m を測る。床面には壁に沿って 4 基のピットが検出され、遺構 235 にともなうものである。床面直上には薄く炭層が検出され、火災にあっ

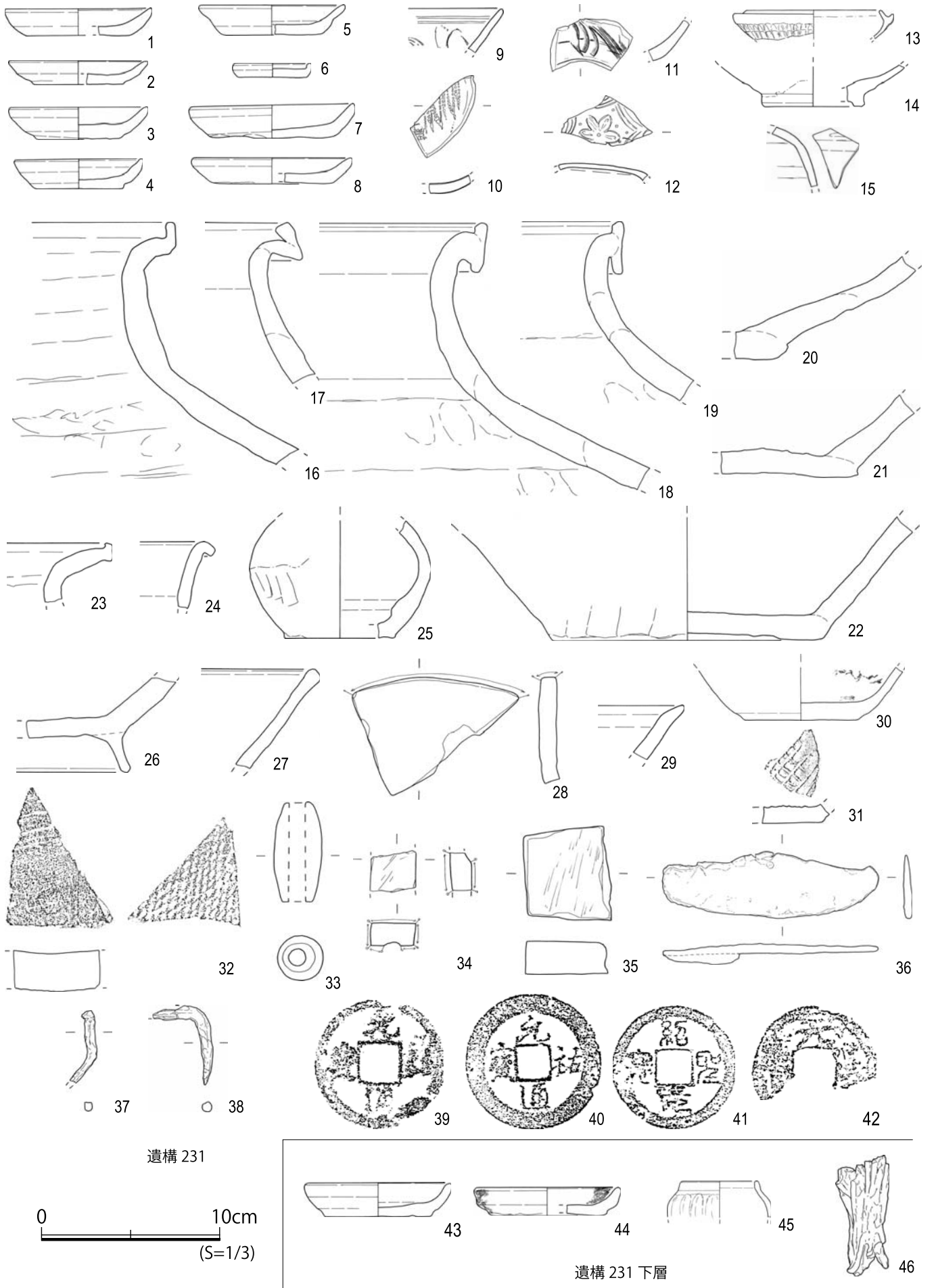


图 26 第 4 面遺構出土遺物 (1)

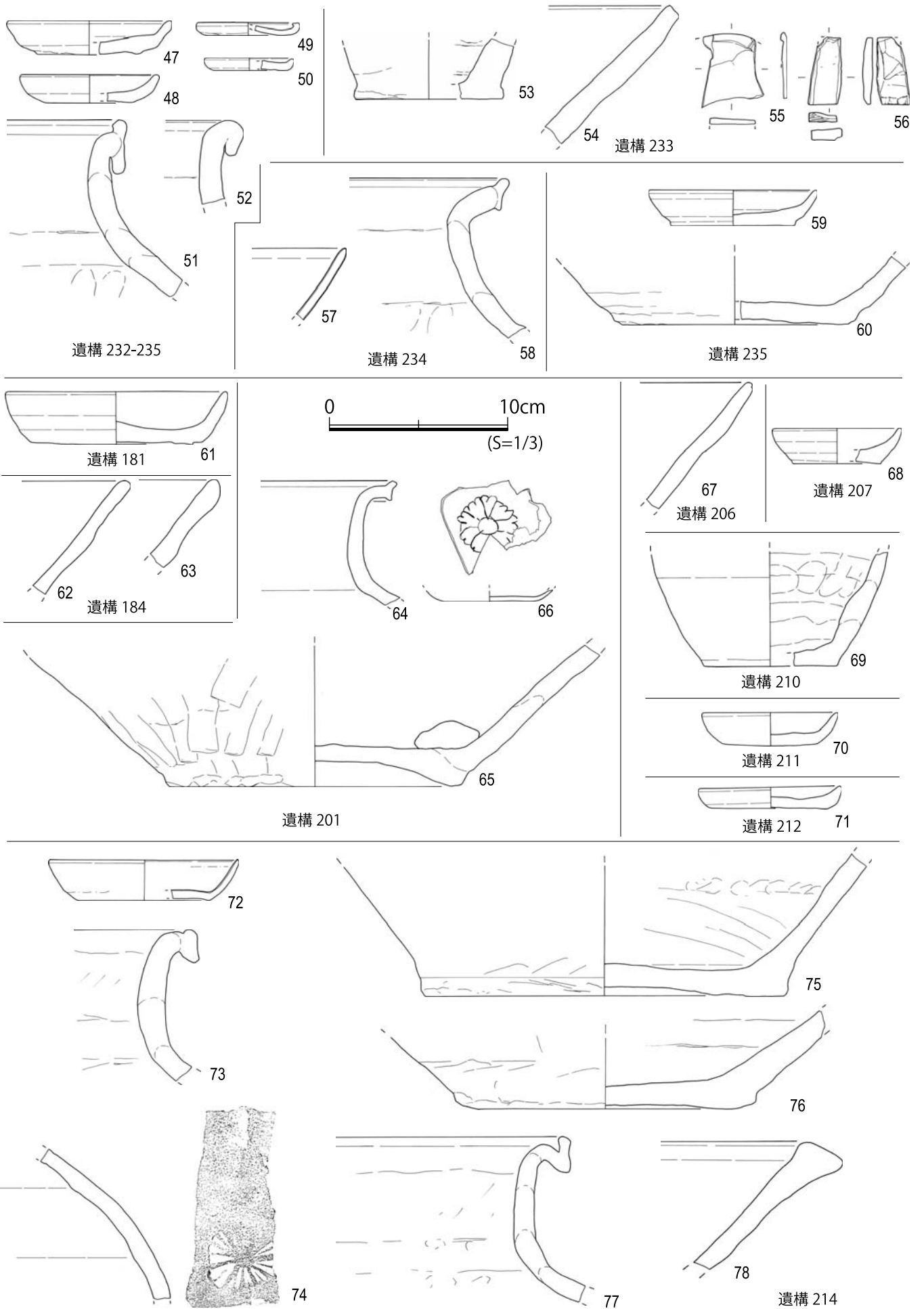


图 27 第 4 面遺構出土遺物 (2)

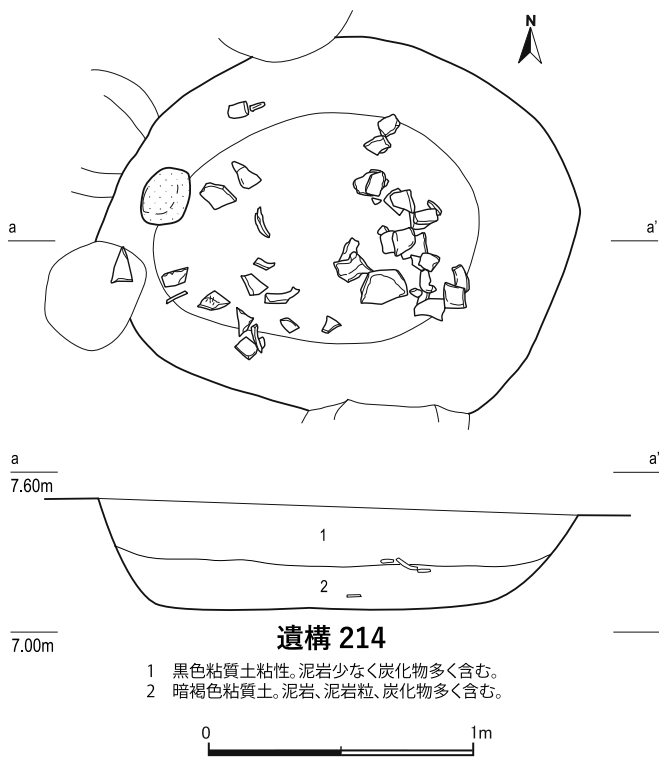


図 28 第 4 面遺構図 (S=1/30)

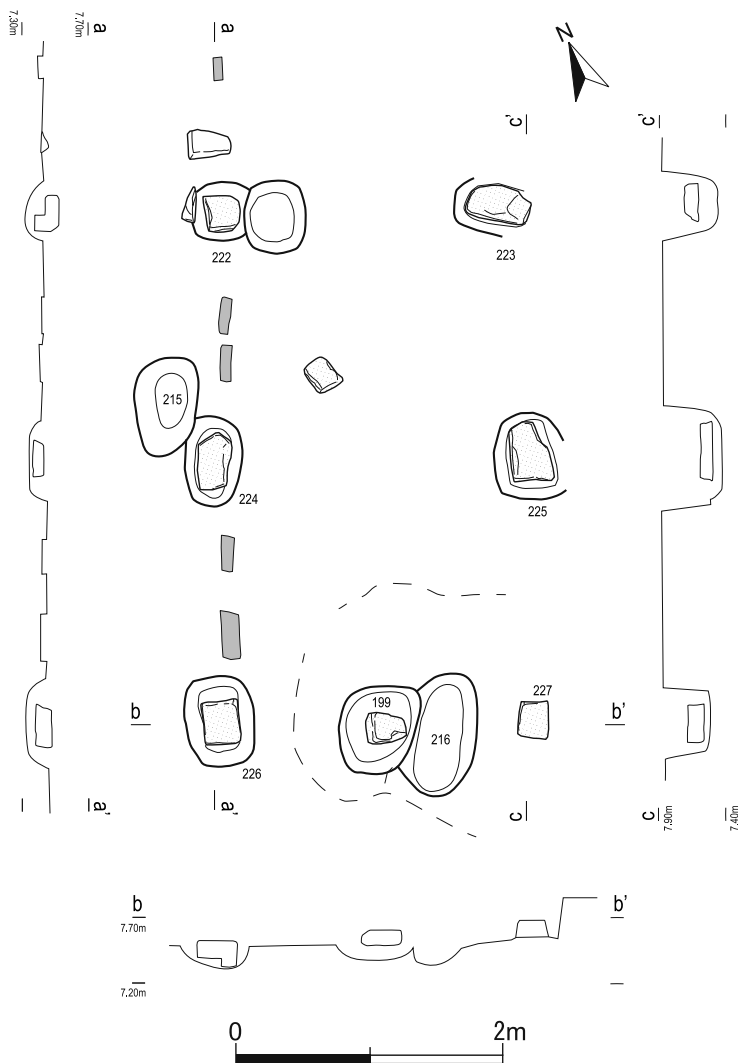


図 29 第 4 面礎石建物遺構図 (S=1/60)

た可能性がある。出土遺物 (図 27) : 59 はかわらけ、60 は常滑甕。

### ・ピット

#### 遺構 181 (図 24)

円形を呈するピット。調査区外に延びる。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く、かわらけ片を少量含む。底部は薄く炭層が見られる。出土遺物 (図 27) : 61 はかわらけ。

#### 遺構 184 (図 24)

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩塊を多く、かわらけ片、炭化物を少量含む。出土遺物 (図 27) : 62 ~ 63 は常滑片口鉢 I 類。

#### 遺構 201 (図 24)

隅丸方形を呈するピット。遺構覆土：茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く含む。出土遺物 (図 27) : 64 は常滑壺、65 は常滑甕、66 は瓦器碗。

#### 遺構 206 (図 24)

円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含む。出土遺物 (図 27) : 67 は常滑片口鉢 I 類。

#### 遺構 207 (図 24)

楕円形を呈するピット。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。出土遺物 (図 27) : 68 はかわらけ。

このほか遺構 198 からは人の頭蓋骨が出土している。下顎骨のみで、やや小さい。

### ・土坑

#### 遺構 210 (図 24)

円形を呈する土坑。調査区外に延びる。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片を少量含む。出土遺物 (図 27) : 69 は常滑壺。

#### 遺構 211 (図 24)

円形を呈する土坑。遺構覆土：暗褐色粘質



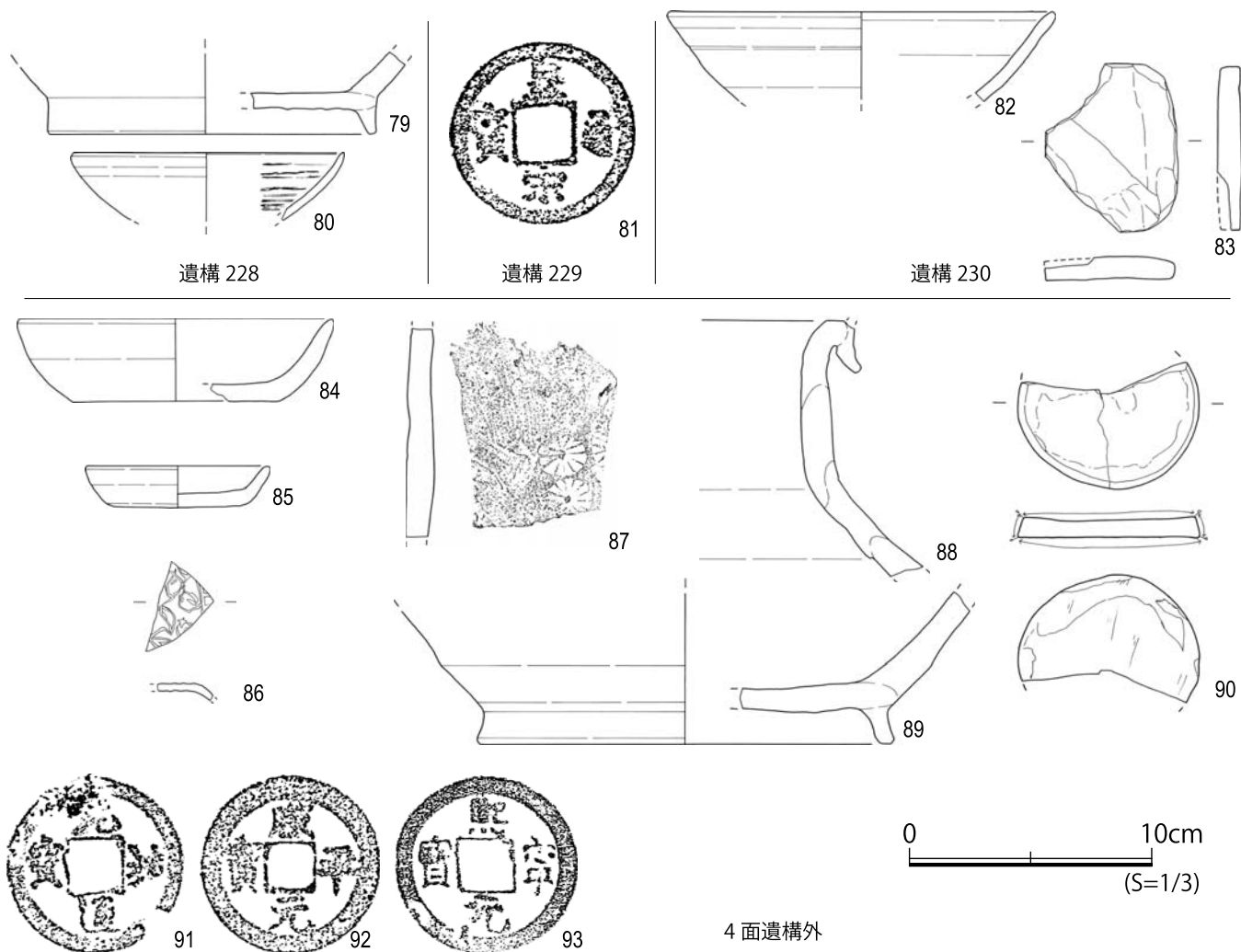


図30 第4面遺構および遺構外出土遺物

土。泥岩、かわらけ片を少量、炭化物を多く含む。出土遺物（図27）：70はかわらけ。

遺構212（図24）

円形を呈する土坑。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含む。下層は暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物やや含む。出土遺物（図27）：71はかわらけで遺構側壁より出土。

遺構214（図24、28）

隅丸方形を呈する土坑。遺構189に切られ、191と192を切る。遺構覆土：図を参照。出土遺物（図27）：72は白磁口兀皿、73は常滑広口壺、74～77は常滑甕。78は土器質火鉢。

・礎石建物

遺構228（図24、29）

調査区東部より平坦に加工した凝灰質砂岩が整然と配列して検出された（遺構222～227）。その配列から礎石建物として独立した番号を付した（遺構228）。いずれも方形に加工した凝灰質砂岩を使用しているが、遺構222と226では板状ではなくL字状に加工した砂岩が使用されている。確認できた構造は2×3間で、柱間距離は南北約1.95m、東西約2.1～2.3mである。西側では礎石の間に板を埋め込んだと思しき痕跡がそれぞれ2基見られ、さらに北側にも続いていることから、北、東とも調査区外に延びている可能性が高く、全体規模は不明である。礎石の位置は南北は第2面の遺構129にほぼ同じであるが、東西方向は東に1mほどずれている。出土遺物（図30）：礎石の掘方より出土した遺物。

79 は常滑片口鉢 I 類。80 は瓦器碗。

・溝

遺構 229 (図 24)

東西方向に走る溝。礎石の手前で確認できなくなる。残存規模は東西 4.9 m、幅約 0.2 m、深さ 0.05m で、壁際には小さい杭穴が多数検出され、本来壁を板で補強していたと思われる。遺構覆土：炭混じりの粘質層で炭化材も残存する。出土遺物 (図 30)：81 は銅銭。

遺構 230 (図 24)

東西方向に走る溝。遺構 229 と同様礎石の手前で消失し、229 に切られている。残存規模は東西 4.67 m、幅約 0.19 m、深さ約 0.10m である。壁際には小規模な杭穴が多数検出され、遺構 229 と同様の構造である。遺構覆土：炭層及び焼けた木材の混合層。出土遺物 (図 30)：82 は渥美窯の山茶碗か。83 は不明石製品。

4 面遺構外出土遺物 (図 30)

遺構面精査時に面上で検出した遺物。84～85 はかわらけ。86 は白磁合子蓋、87 は常滑甕、88 は常滑広口壺、89 は常滑片口鉢 I 類。90 は磨り常滑。91～93 は銅銭。

## 第5節 第5面の遺構と遺物（図31～36）

第5面は小粒の泥岩碎片を含む黒色粘質土の地業面である。調査区南側は第4面の方形竪穴建物によって壊され、消失している。北側の上面からの遺構の掘り込みにより破壊が激しく、この面の確認遺構の数は多くはない。確認レベルはおよそ海拔7.33～7.47 mである。遺構はピット3穴・土坑5基、井戸1基、溝状遺構1条である。遺構の切り合いより第5面で発見した遺構は、少なくとも2時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・白かわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・渥美・瀬戸・火鉢・石製品・鉄製品・銅銭・木製品・自然遺物が出土している。

・土坑

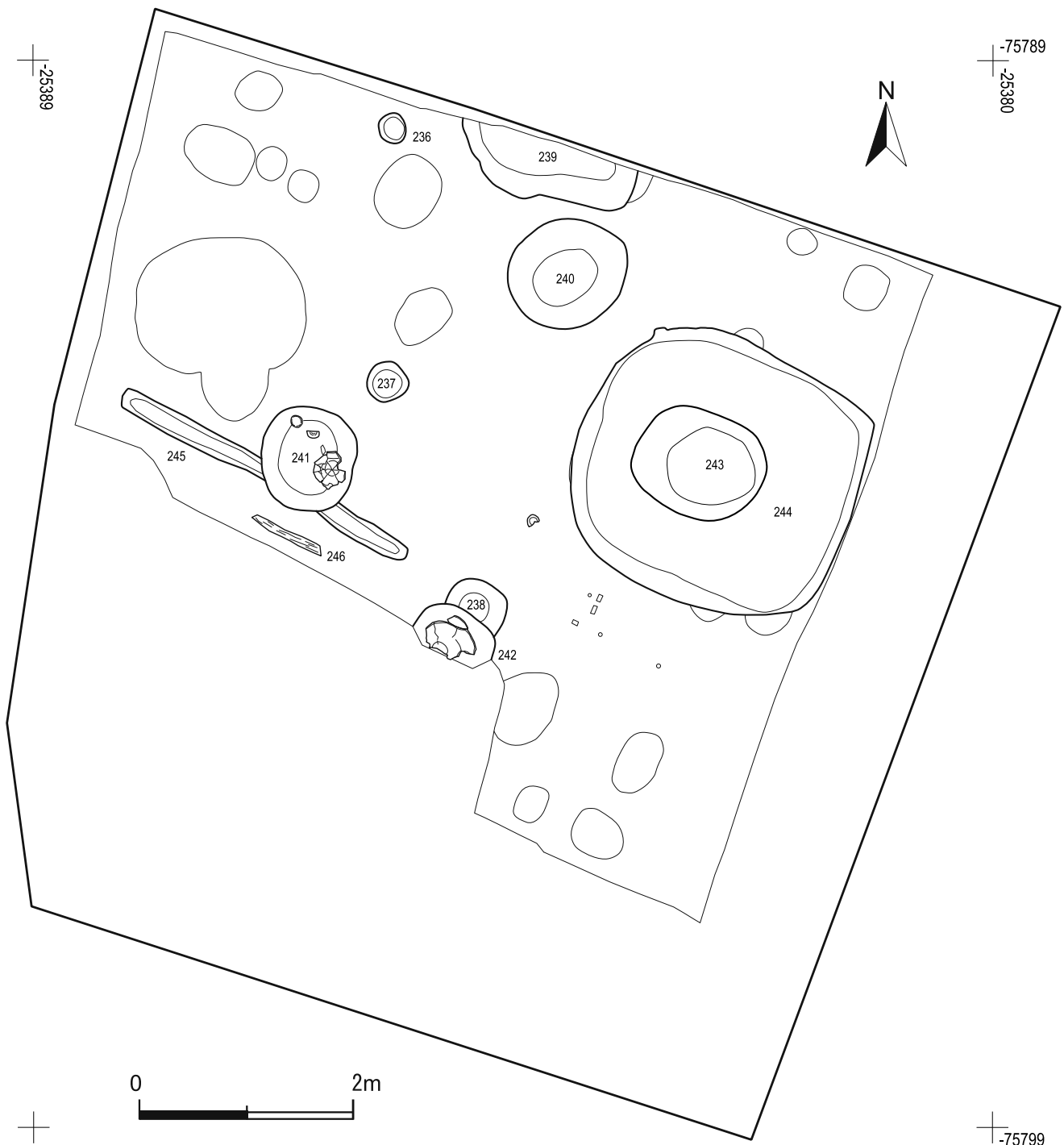
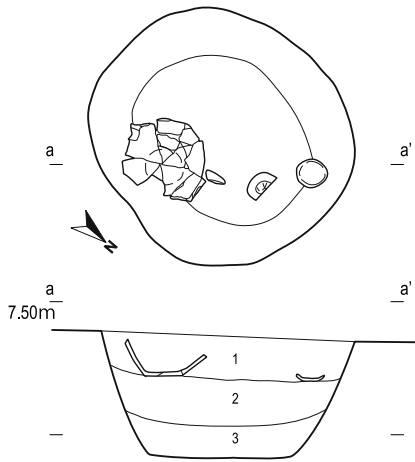
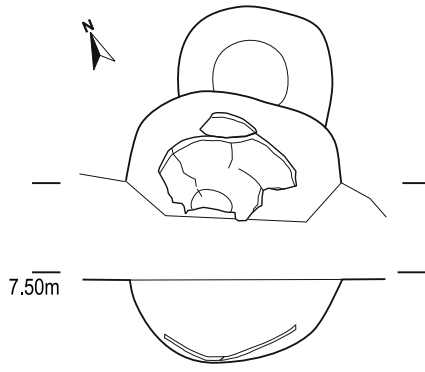


図31 第5面全体図



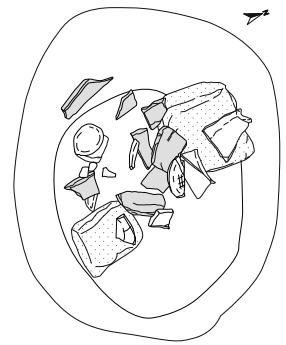
- 1 明褐色粘質土 泥岩、泥岩粒を多く含む
- 2 明褐色粘質土 泥岩、泥岩粒を多く含む。
- 3 暗褐色粘質土 泥岩多く、砂を少量含む。

**遺構 241**

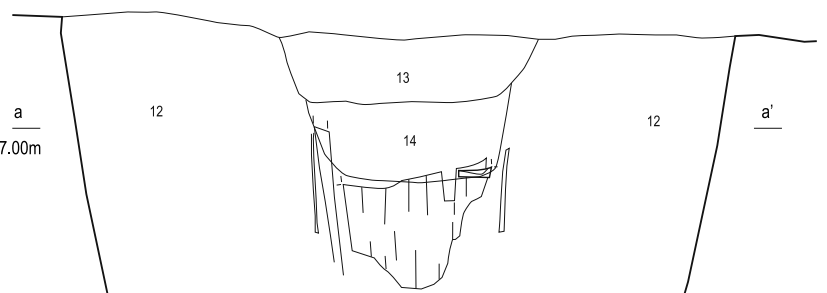
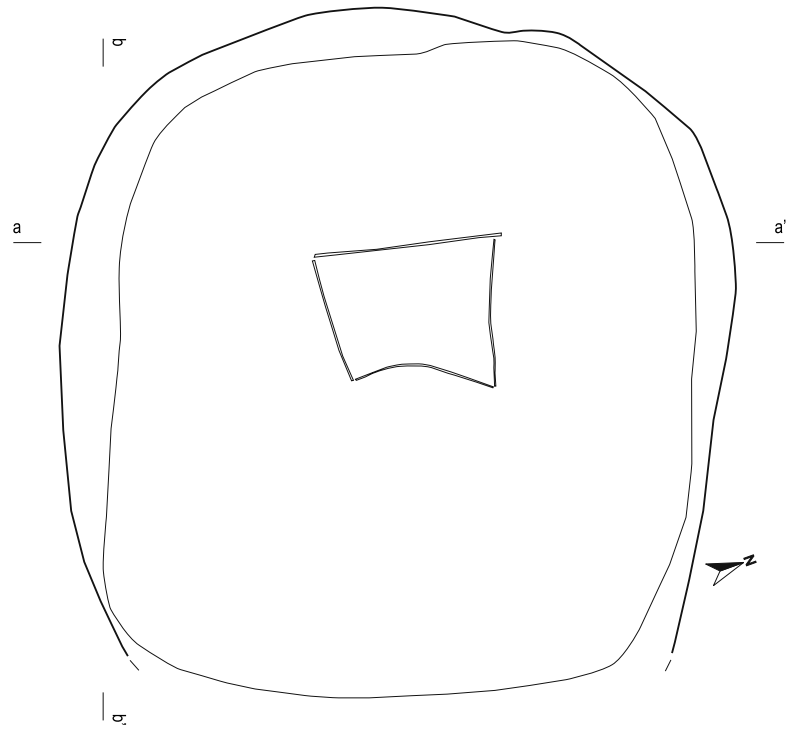
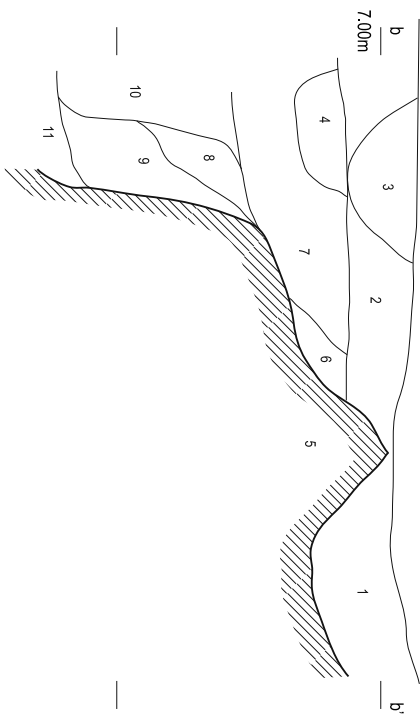


**遺構 242**

- 砂岩
- 二彩



**遺構 243**



- 1 暗褐色粘質土 大型の泥岩塊および泥岩粒を多く含む。
- 2 暗褐色粘質土 泥岩塊、泥岩粒を多く含む。
- 3 暗褐色粘質土 泥岩塊、泥岩粒を多く含む。
- 4 暗褐色粘質土 泥岩塊、泥岩粒を多く含む。
- 5 黄褐色泥岩層 岩盤あるいは崩落した岩塊。
- 6 黒褐色粘質土 泥岩塊を少量含む。
- 7 黒褐色粘質土 泥岩塊ほぼ含まず。
- 8 黒褐色粘質土 泥岩塊がやや少量。
- 9 黄褐色弱粘質土 やや砂礫混入。
- 10 黒褐色粘質土 泥岩塊ほぼ含まず。
- 11 砂層 砂礫層
- 12 暗茶褐色粘質土 泥岩塊、泥岩粒含む。井戸の裏込め。
- 13 暗褐色粘質土 泥岩、かわらけ片を少量含む。遺構 243 上層
- 14 黒褐色粘質土 泥岩、泥岩粒やや多く、炭化物、かわらけ片を多く含む。遺構 243 下層

**遺構 244**

図 32 第 5 面個別遺構図

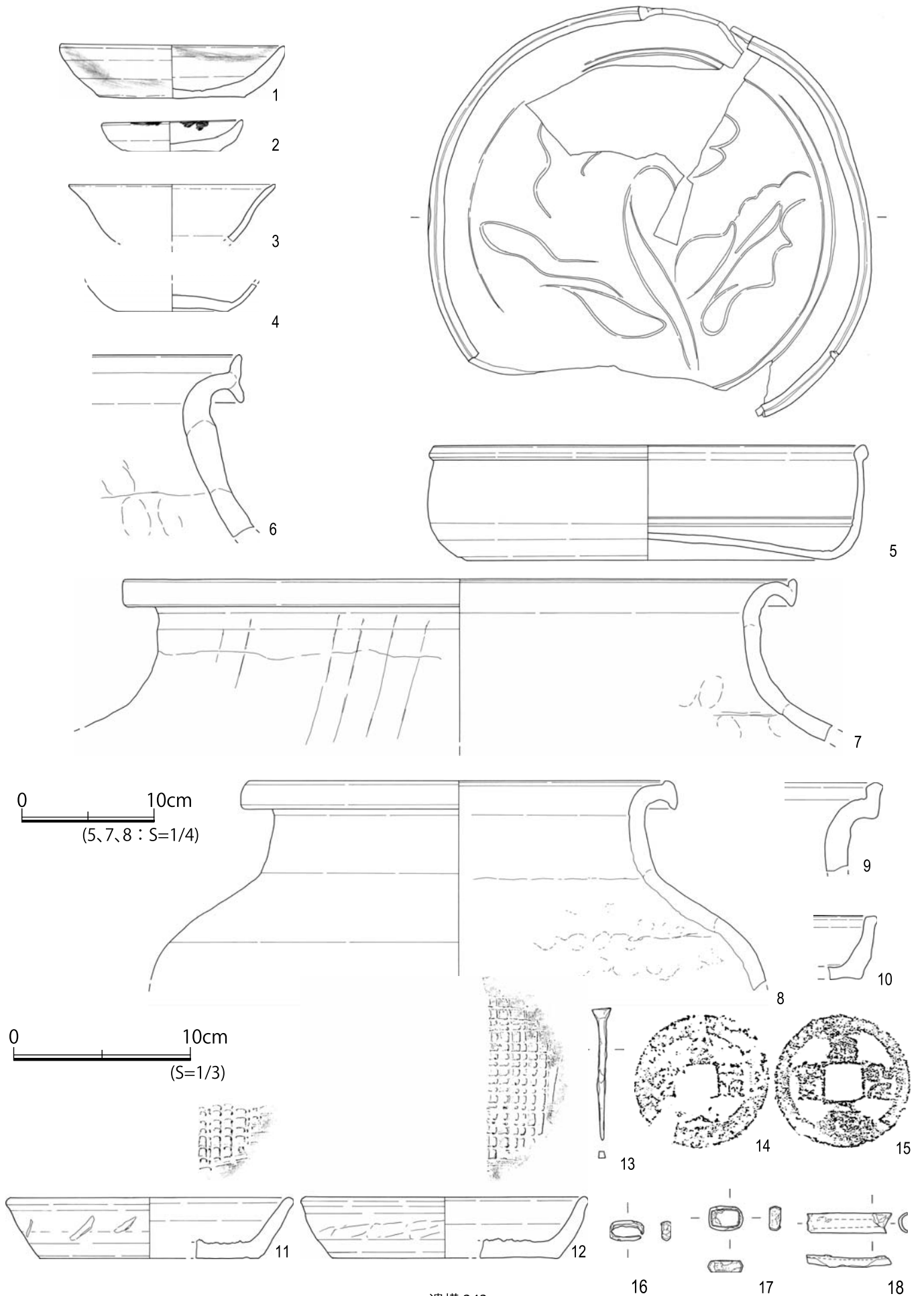
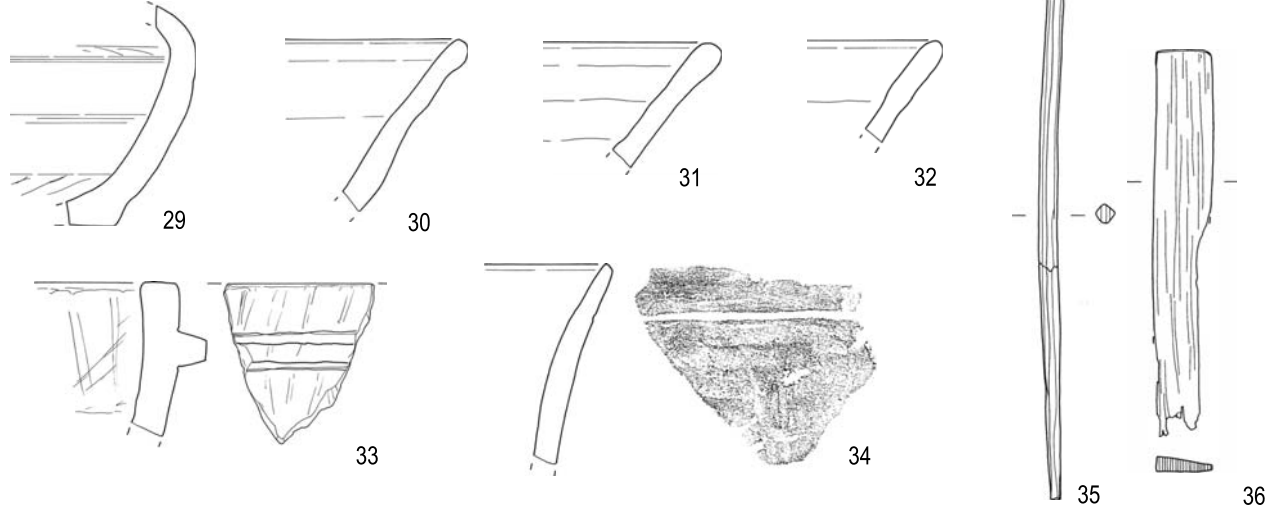
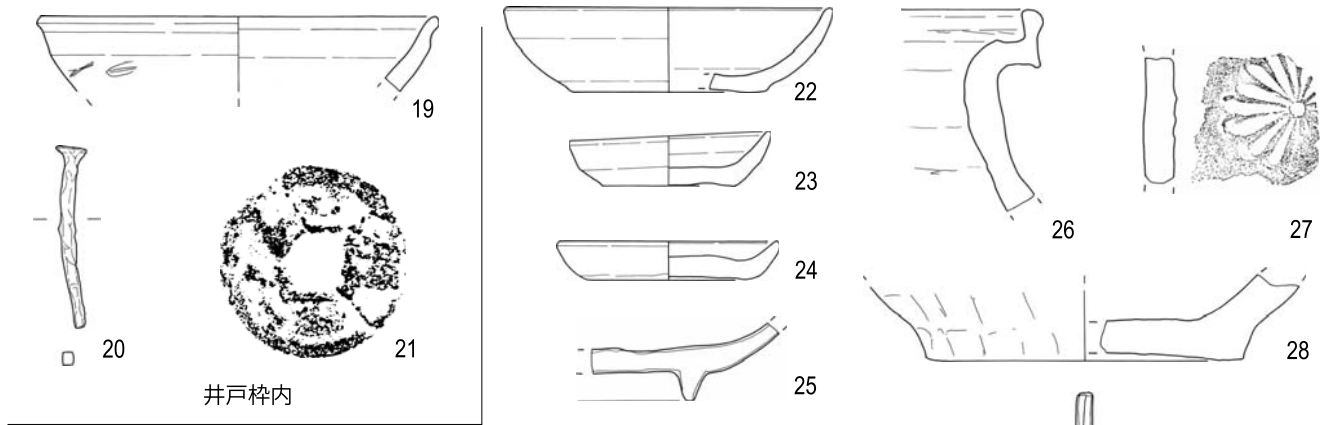
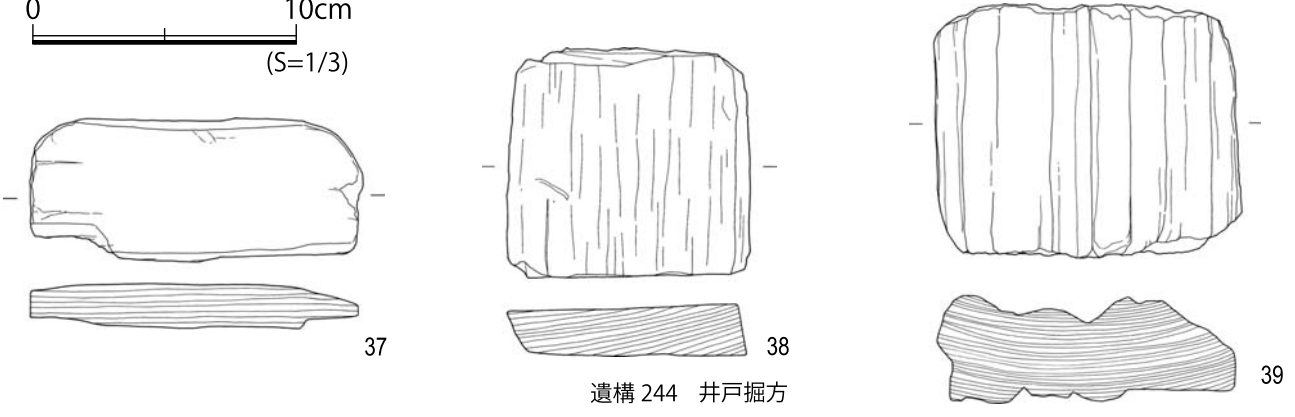


图 33 第 5 面遺構出土遺物 (1)



0 10cm  
(S=1/3)



遺構 244 井戸掘方

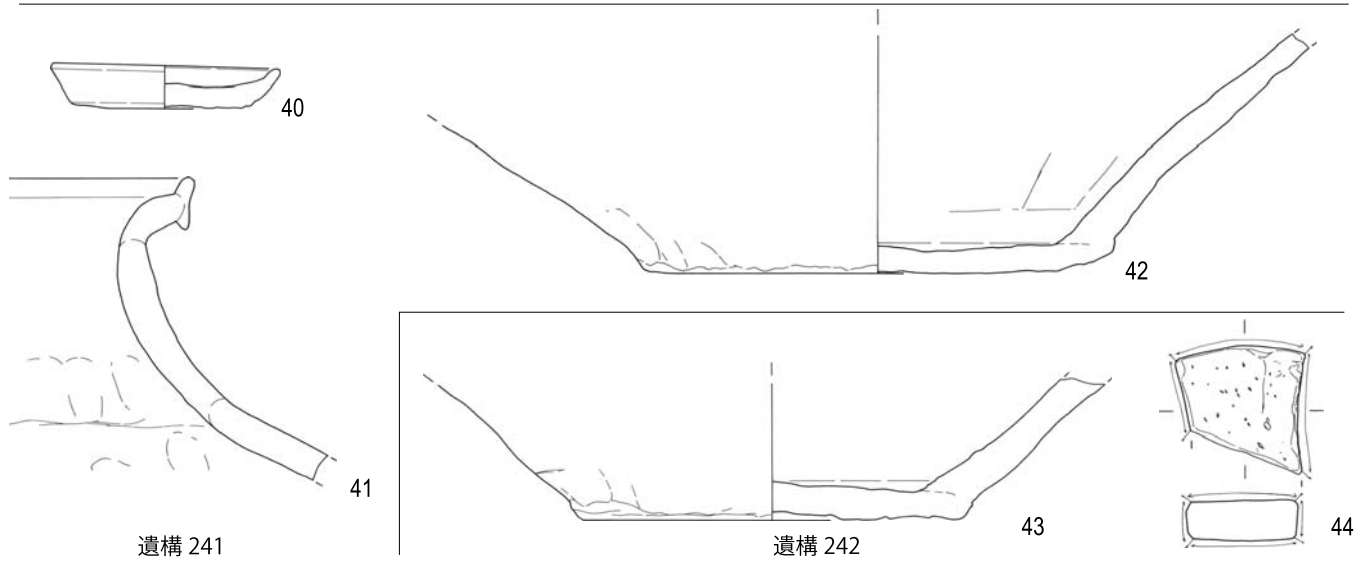
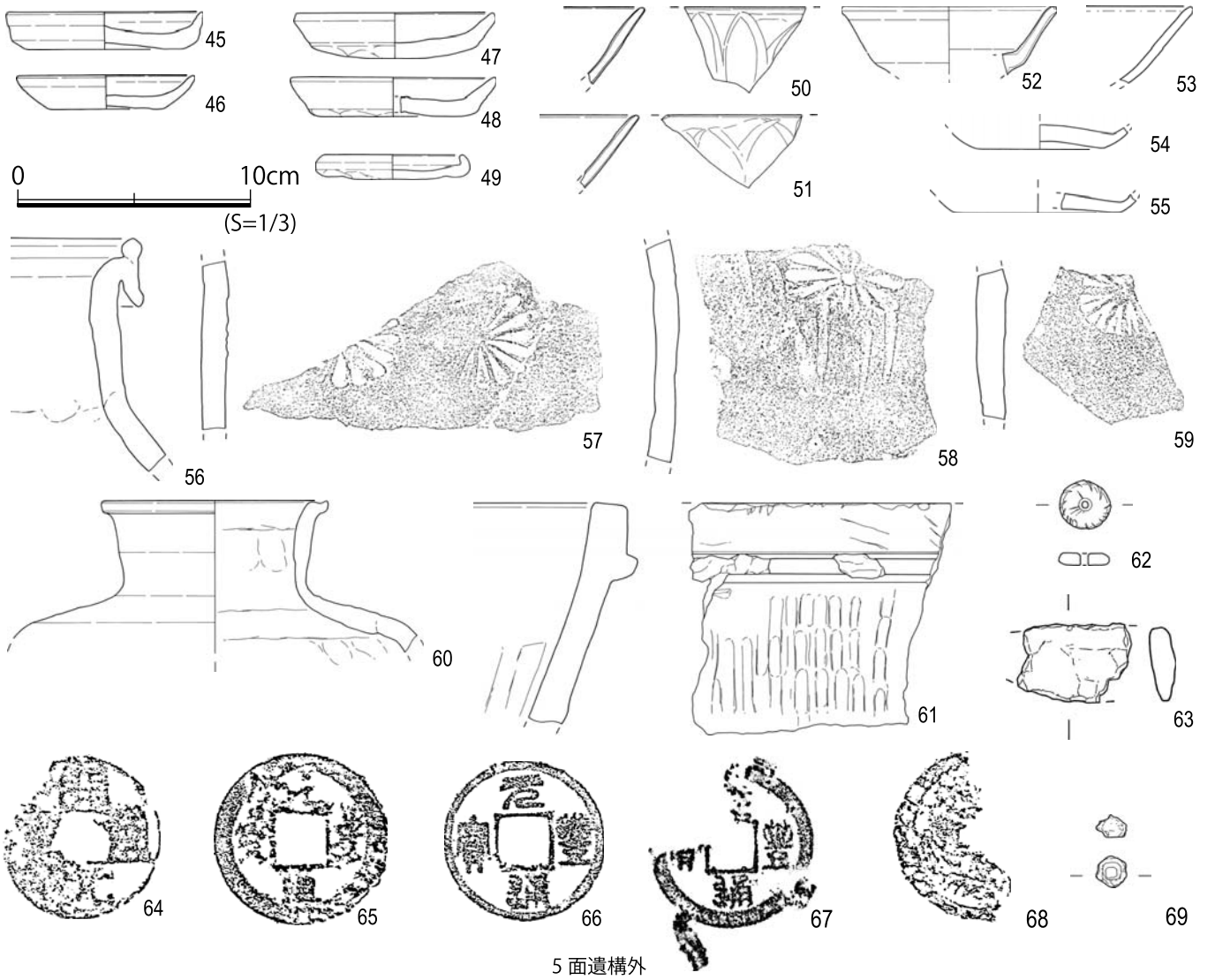
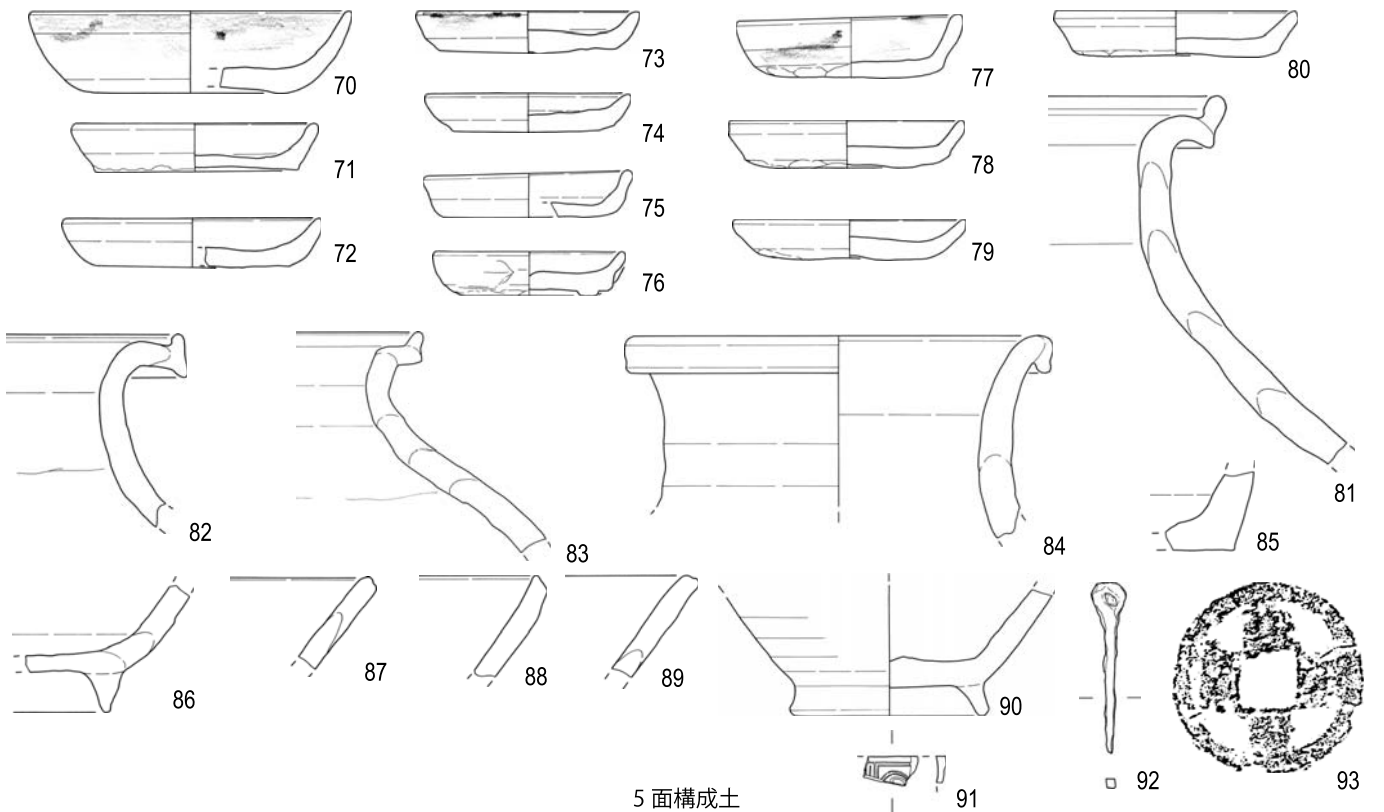


図 34 第 5 面遺構出土遺物 (2)



5面遺構外



5面構成土

図 35 第 5 面遺構外および構成土出土遺物

#### 遺構 243 (図 31、32)

隅丸方形を呈する土坑。遺構 244 の井戸枠のほぼ直上にあたり、井戸の廃棄時に構築された可能性がある。遺物と加工された凝灰質砂岩が比較的まとまって検出された。遺構覆土：図 32 を参照。出土遺物(図 33)：1～2 はかわらけ。3～4 は白磁口兀皿。5 は磁竈窯二彩盤。6～7 は常滑甕。8～9 は常滑広口壺。10 は常滑盤か。11～12 は瀬戸卸皿。13 は鉄釘、14～15 は銅銭。16～17 は環状製品、18 は管状製品。

#### 遺構 241 (図 31、32)

円形を呈する土坑。常滑甕の底部が西北部から検出された。上半部は欠損しており、坑内に設置していた可能性もある。遺構覆土：図 32 を参照。出土遺物(図 34)：40 はかわらけ。41～42 は常滑甕。

#### 遺構 242 (図 31、32)

隅丸方形を呈する土坑。常滑甕が土坑内に設置されていた。甕の胴部上半は削平され、胴部下半も半分は第 4 面の遺構 235 構築の際に壊されたために残存していなかった。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を含む。出土遺物(図 34)：43 は常滑甕で土坑に据えられていた個体。44 は泥岩加工品。

#### ・井戸

#### 遺構 244 (図 31、32)

井戸。掘方は約 2.5 × 2.9 m の隅丸長方形に大型の土坑を掘り込む。非常に深く掘削深度を大きく超えているため底面は検出していない。掘方壁面の東側では岩盤が確認され、本来の地形は東から西へやや急傾斜で落ち込むと推定される。掘方の中央やや西北寄りに木組みにて横棧式の井戸枠を構築したあと、主に大型の泥岩塊を利用して裏込めをしている。井戸枠は被熱により炭化しておりほぼ原形をとどめていなかった。枠内には焼土の堆積もみられた。遺構覆土：図 32 を参照。

出土遺物(図 34)：井戸枠内からは遺物の出土は少ない。19 は瀬戸卸皿。20 は鉄釘。21 は銅銭。掘方からの出土遺物は 22～24 はかわらけ。25 は青磁蓮弁文鉢。26～28 は常滑甕、29 は常滑片口碗、30～32 は常滑片口鉢 I 類。33 は滑石鍋。34 は縄文土器の深鉢か。35 は木製箸、36 は板状製品部材。37～39 は木製部材。

#### ・その他遺構

#### 遺構 245 (図 31)

溝状の掘り込みだが長さは短い。東西約 3.1 m、幅 0.2 m、深さ約 0.06 m。遺構 241 に切られる。遺構覆土：泥岩と砂混じりの薄い層。図示可能な遺物は出土せず。

#### 遺構 246 (図 31)

板の痕跡。長さ約 0.72 m。腐食が激しいが、やや斜めに地中に埋め込んだ状態で検出。長軸の方向は方形竪穴建物や遺構 245 に沿っているが、用途は不明。

#### 5 面遺構外出土遺物 (図 35)

遺構面精査時に面上で検出した遺物。45～46 はロクロかわらけ。47～48 は手づくねかわらけ。49 は手づくねの白かわらけ。50～51 は青磁蓮弁文碗、52 は青磁折縁鉢。53～55 は白磁口兀皿。56～59 は常滑甕、60 は常滑壺。61 は滑石鍋。62 は円形装飾品。63 は鉄製刀子。65～68 は銅銭で、67 は模鑄銭か。69 は器種不明。

#### 5 面構成土出土遺物 (図 35)



5面より6面検出までの間の堆積より出土した遺物。70～76はロクロかわらけ、77～80は手づくねかわらけ。81～82は常滑広口壺。83は常滑甕、84は常滑玉縁壺か。85は常滑壺。86は常滑片口鉢Ⅰ類。87～89は常滑片口鉢Ⅱ類。90は瀬戸四耳壺、91は装飾品、92は火箸か。93は銅銭。

## 第6節 第6面の遺構と遺物（図36～37）

第6面はやや大粒の泥岩碎片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、上面の遺構による掘削が多いこともあり、残存状況はさほど良好ではない。確認レベルはおよそ海拔7.19～7.29mである。6面の南東部は北側の地業とは異なり黒色粘質土であり、東壁際では泥岩が露出している。この泥岩は岩盤かあるいは崩落して堆積した泥岩塊と推定される。検出した遺構はピット8穴・土坑3基で、建物のプラ

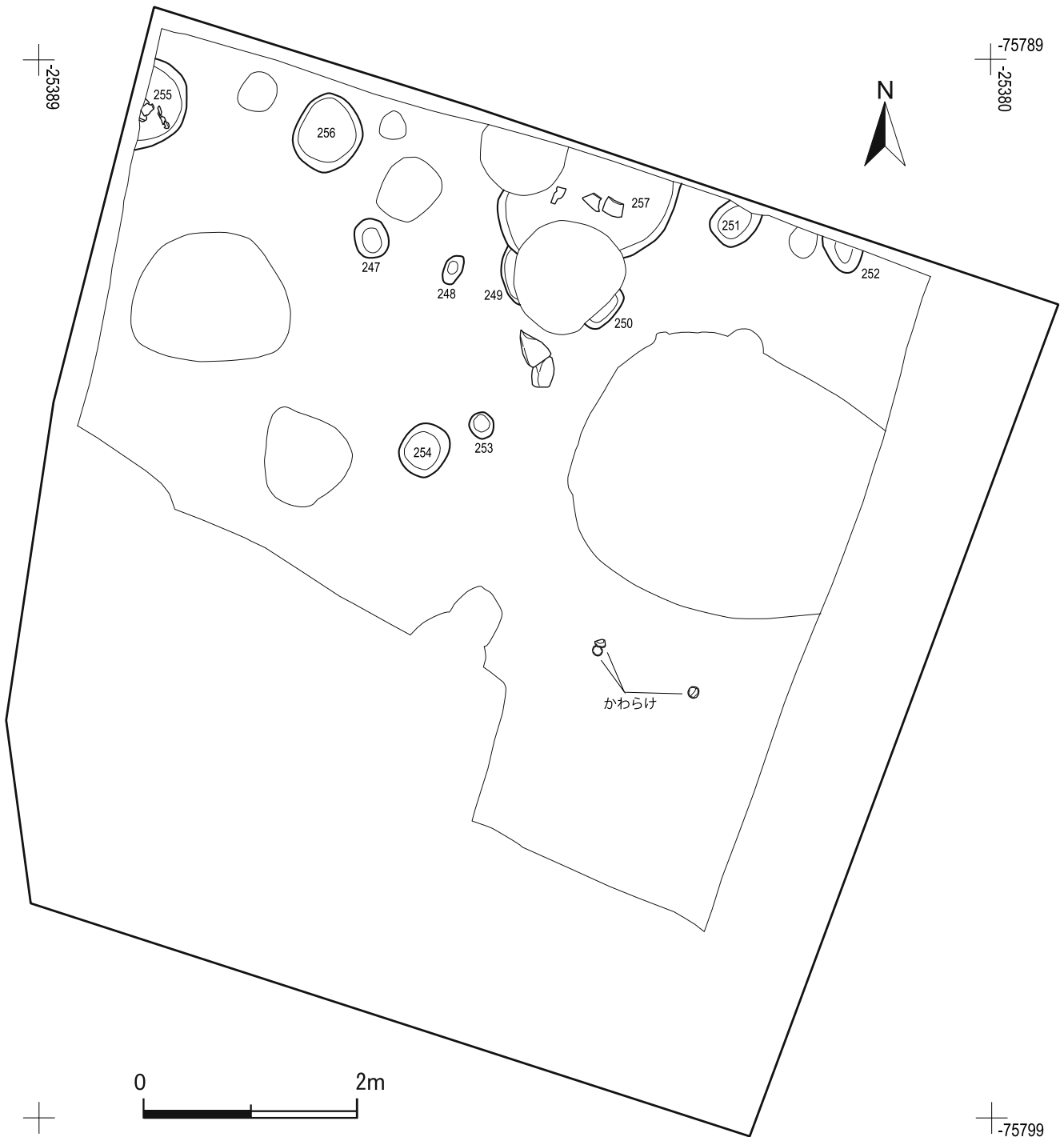


図36 第6面全体図

ンなども明確にしえない。遺構の切り合いより第6面で発見した遺構は、少なくとも2. 時期の時間差があると考えられる。

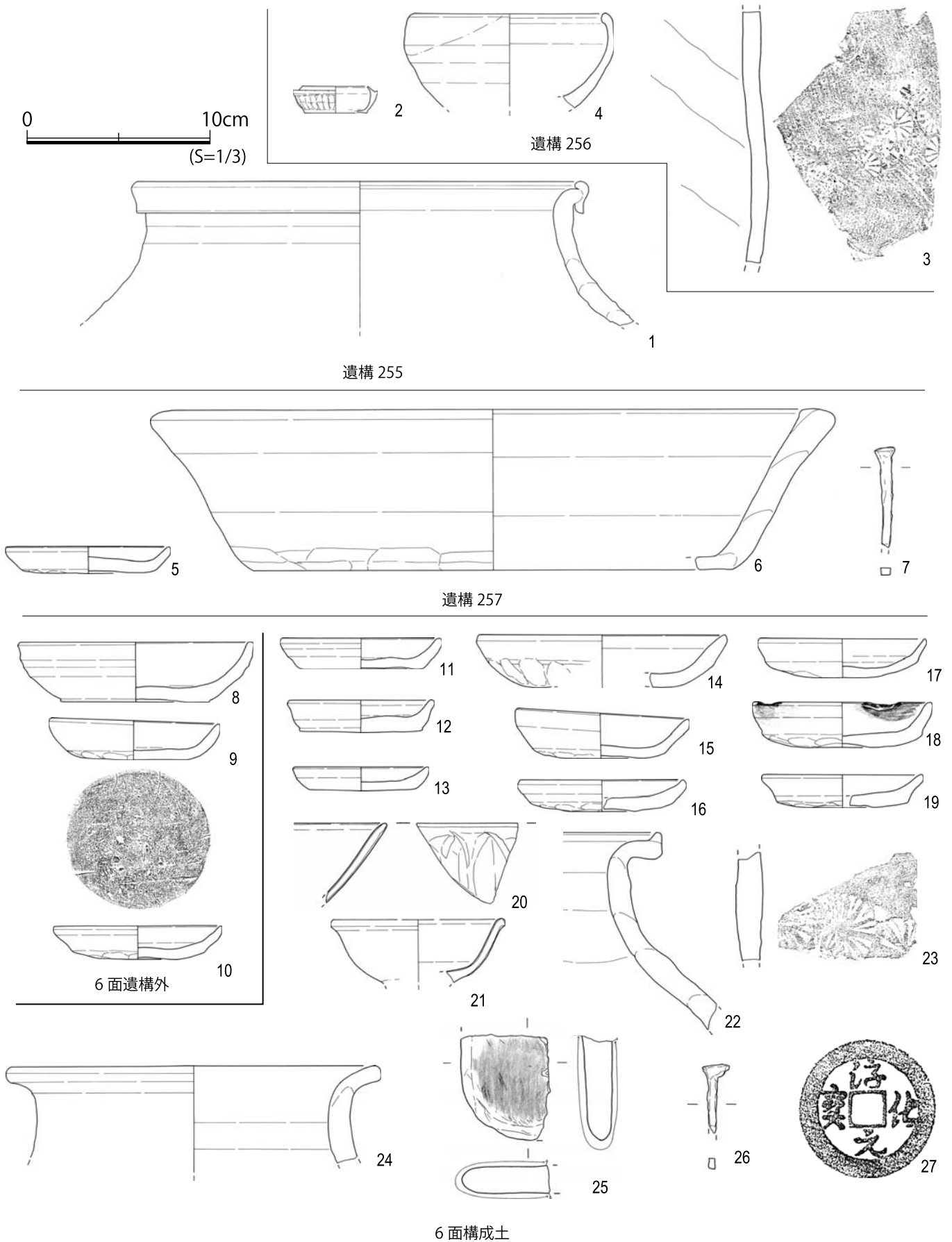


図 37 第 6 面出土遺物

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・瀬戸・渥美・火鉢・石製品・鉄製品・銅銭、自然遺物が出土している。

#### ・土坑

##### 遺構 255 (図 36)

円形を呈する土坑。調査区外に延びる。遺構覆土：黒褐色粘質土。泥岩粒、常滑片含む。出土遺物(図 37)：1 は常滑甕。

##### 遺構 256 (図 36)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗茶色粘質土。泥岩、炭化物多い。出土遺物(図 37)：2 は白磁合子。3 は常滑甕。4 は常滑片口碗。

##### 遺構 257 (図 36)

楕円形を呈する土坑。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩多く、炭化物、かわらけ少。下層は暗黒褐色粘質土。泥岩少量、炭と灰が混入する層。出土遺物(図 37)：5 は手づくねかわらけ。6 は土器質火鉢。7 は鉄釘。

#### 6 面遺構外出土遺物 (図 37)

遺構面精査時に面上で検出した遺物。8 はかわらけ。9～10 は手づくねかわらけ。

#### 6 面構成土出土遺物 (図 37)

6 面より 7 面検出までの間の堆積より出土した遺物。11～16 は手づくねかわらけ。17～19 はかわらけ。20 は青磁蓮弁文碗、21 は白磁碗。22～23 は常滑甕、24 は常滑壺。25 は用途不明の石製品。26 は鉄釘。27 は銅銭。

## 第7節 第7面の遺構と遺物 (図38～39)

第7面は小粒の泥岩碎片を多く含む暗褐色粘質土の地業面である。東南部は黒色粘質土と泥岩が露出している。調査区南側は第4面の方形竪穴建物に削平されて消失しているが、北側からはやや多数の遺構を確認した。確認レベルはおよそ海拔7.0～7.17mである。遺構はピット22穴・土坑10基、溝状遺構1条、板痕1基。掘立柱建物址のプランなどは明確ではない。遺構の切り合いより第7面で発見した遺構は、少なくとも2時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・渥美・瀬戸・火鉢・瓦・石製品・鉄製品・銅銭・自然遺物が出土している。

### ・ピット

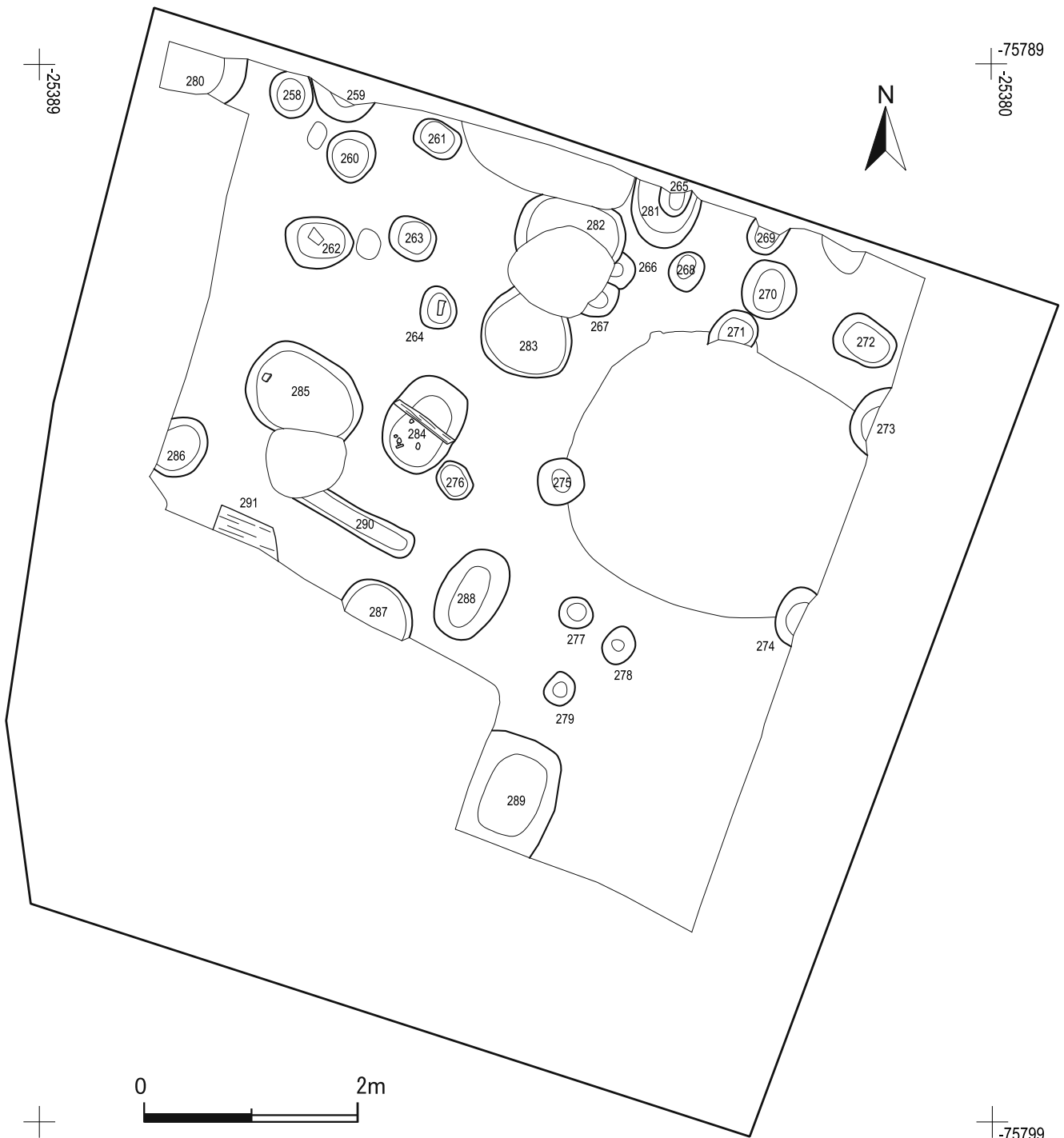


図38 第7面全体図

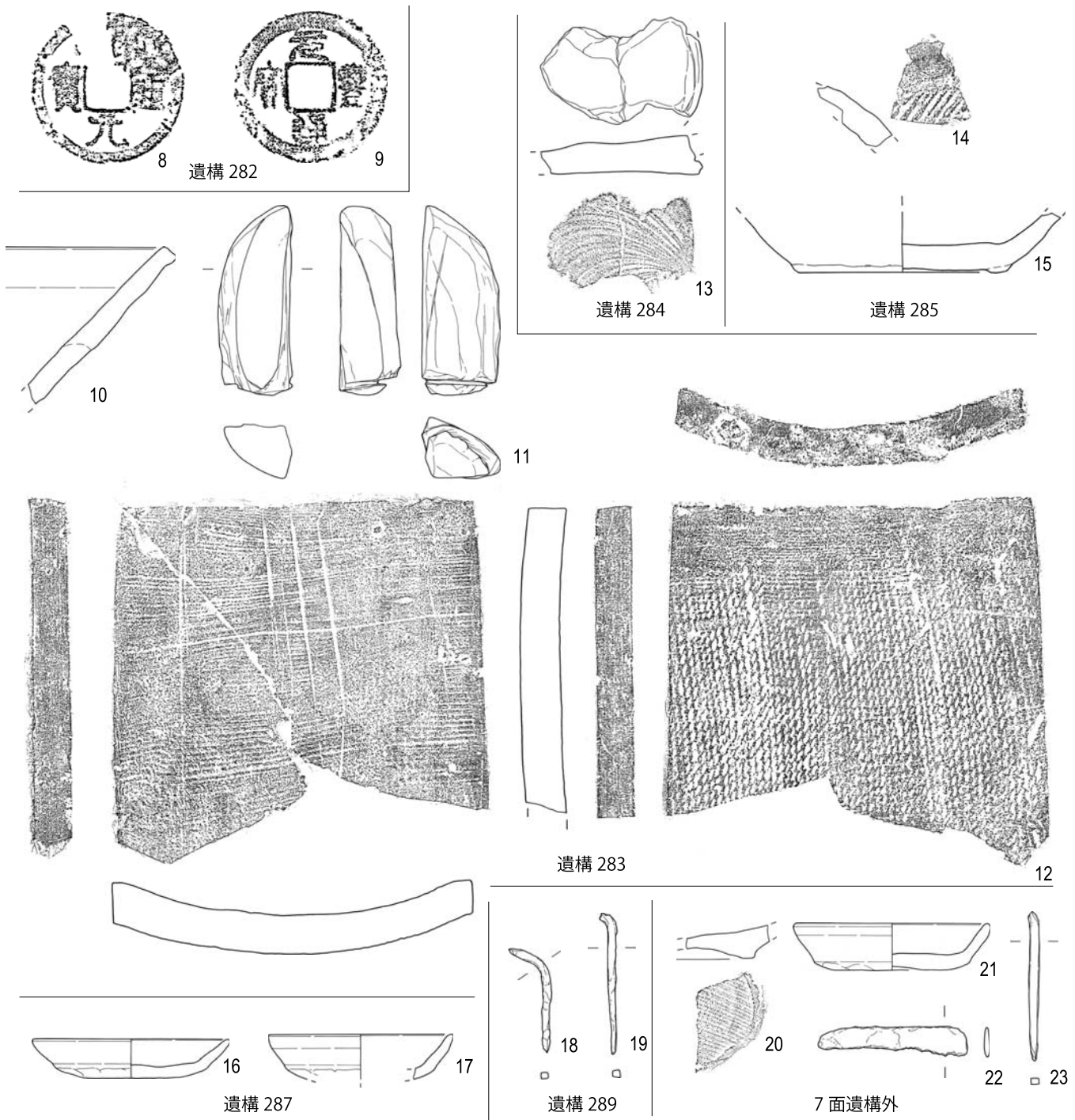
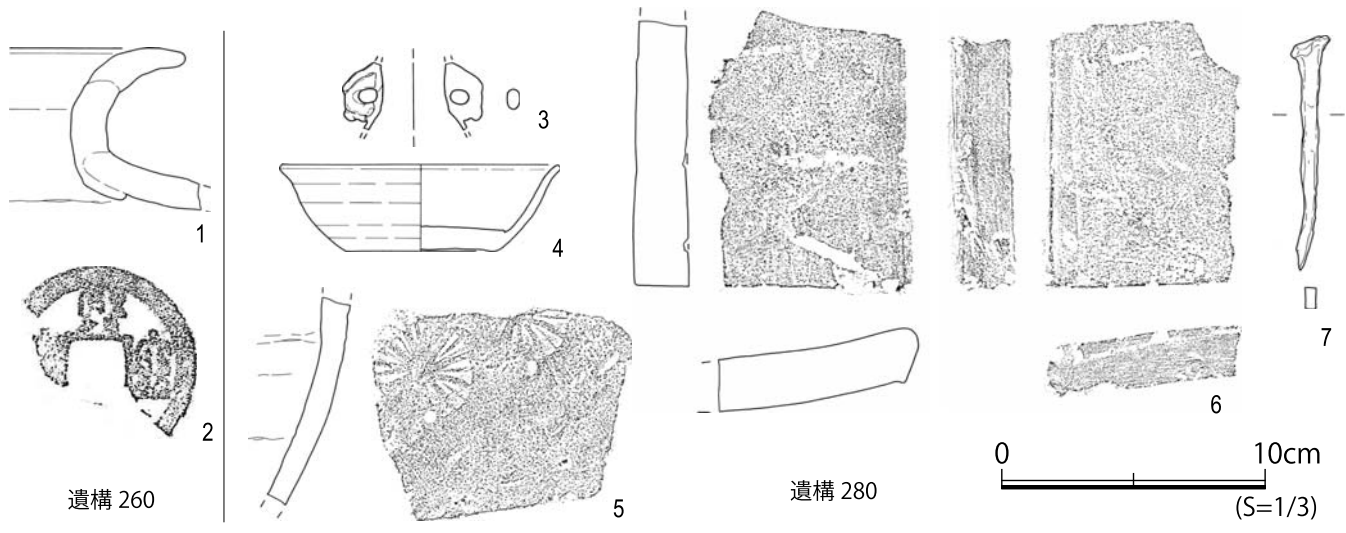


图 39 第 7 面出土遺物

#### 遺構 260 (図 38)

円形を呈するピット。遺構覆土：茶褐色粘質土。泥岩多く、炭化物、かわらけを少量含む。出土遺物(図 39)：1 は渥美甕。2 は銅銭。

#### ・土坑

#### 遺構 280 (図 38)

大半は調査区外に延びるため形状不明。土坑。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、かわらけ片少量含む。底面には薄く炭層あり。出土遺物(図 39)：3 は青白磁小型花瓶。4 は白磁口元皿。5 は常滑甕。6 は平瓦。7 は鉄釘。

#### 遺構 282 (図 38)

隅丸方形を呈する土坑。6 面の遺構に切られ、遺構 266、267 を切る。遺構覆土：暗茶色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物多く、かわらけ片を少量含む。出土遺物(図 39)：8～9 は銅銭。

#### 遺構 283 (図 38)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物を少量含む。出土遺物(図 39)：10 は常滑片口鉢Ⅱ類。11 は硯の加工品。12 は平瓦。

#### 遺構 284 (図 38)

隅丸方形を呈する土坑。遺構上面に長方形の板が載った状態で検出。遺構覆土：3 層に分かれる。上層は明茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物、かわらけ片多く含む。：中層は明茶灰色粘質土。非常に締まりが強い。下層は明茶褐色弱粘質土。炭化物、かわらけを含み、褐鉄混入。出土遺物(図 39)：13 はかわらけ質土製品。

#### 遺構 285 (図 38)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。炭化物多く含む。下層は暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く含む。出土遺物(図 39)：14 は渥美甕。15 は尾張型山茶碗。

#### 遺構 287 (図 38)

円形を呈する土坑。調査区外に延びる。遺構覆土：黒褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く炭化物わずかに含む。底部には大型の泥岩。出土遺物(図 39)：16～17 は手づくねかわらけ。

#### 遺構 289 (図 38)

隅丸方形を呈する土坑。遺構覆土：上層は暗褐色粘質土。泥岩多く炭化物をわずかに含む：下層は暗茶色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、炭化物をわずかに含む。出土遺物(図 39)：18～19 は鉄釘。

#### ・その他遺構

#### 遺構 290 (図 38)

溝状の掘り込み。遺構覆土：暗褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を多く含み、底面に砂混入。

#### 遺構 291 (図 38)

面上に方形の板の痕跡。腐食激しく、詳細は不明である。

#### 7 面遺構外出土遺物 (図 39)

遺構面精査時に面上で検出した遺物。20 はかわらけ。21 は手づくねかわらけ。22 は鉄製品。23 は鉄釘。

## 第8節 第8面の遺構と遺物 (図40～41)

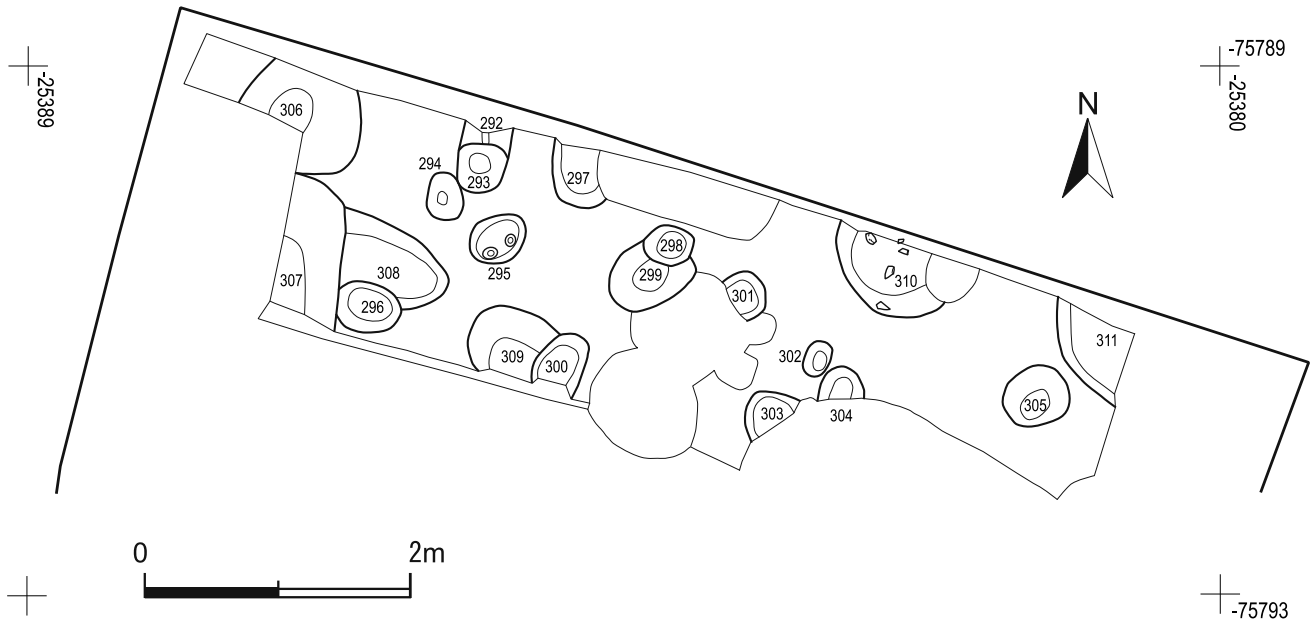


図40 第8面全測図

第8面は小粒の泥岩碎片を多く含む黒褐色粘質土の地業面で、東から西へわずかに傾斜して下がる。確認レベルはおよそ海拔6.8～6.95mである。調査の進行予定上、調査区の北側7.4×2mの範囲に限定して確認を行った。検出遺構はピット14穴・土坑6基で、建物址のプランなどは明らかにしえない。遺構の切り合いより、少なくとも3時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・手づくねかわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・渥美・石製品・鉄製品・自然遺物が出土している。

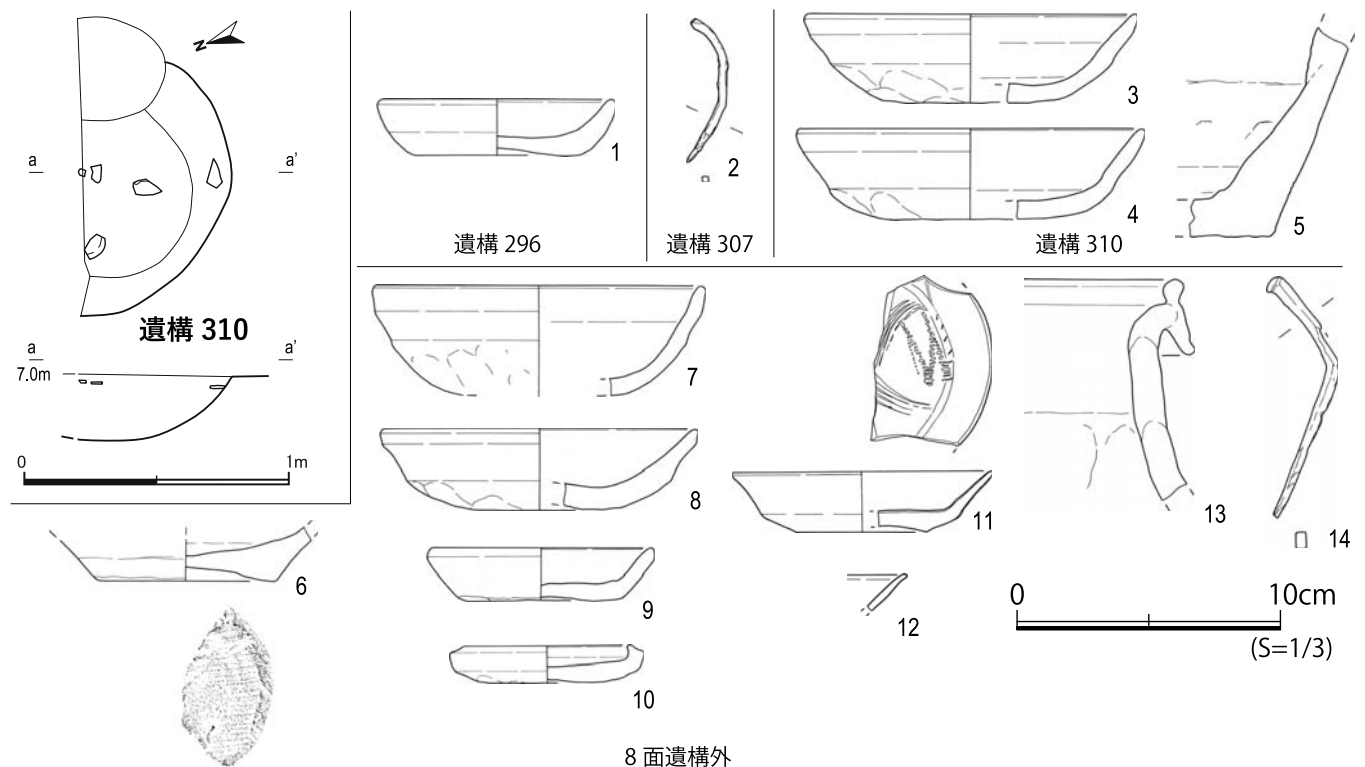


図41 第8面遺構個別図および出土遺物

## ・ピット

### 遺構 296 (図 40)

隅丸方形を呈するピット。遺構 307 に一部切られ、308 を切る。遺構覆土：暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、黒色粘質土塊が混入。出土遺物 (図 41)：1 はかわらけ。

## ・土坑

### 遺構 307 (図 40)

隅丸方形を呈する土坑。遺構 296、308 を切る。遺構覆土：上層は茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒を多く含み、炭化物、かわらけ片も混入。下層は暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒、炭化物を多く含む。出土遺物 (図 41)：2 は鉄釘。

### 遺構 310 (図 40、41)

円形を呈する土坑。調査区外に延びている。遺構覆土：暗茶褐色粘質土。泥岩、泥岩粒多く、黒色粘質土塊が混入。出土遺物 (図 41)：3～4 は手づくねかわらけ。5 は渥美小壺。

## 8 面遺構外出土遺物 (図 41)

遺構面精査時に面上で検出した遺物。6 はかわらけ。7～10 は手づくねかわらけ。11 は青磁櫛搔文皿。12 は白磁で器種不明。13 は常滑甕。14 は鉄釘。

## 第 9 節 遺構外出土遺物他 (図 42)

試掘時の出土遺物、廃土から検出した所属面の不明な遺物のうち図示可能なものを取りあげておく。試掘時の遺物は遺構 235 の遺物も含んでいると思われるが、遺構 235 以外の遺物と厳密に区別することは困難である。

1～2 はかわらけ。3～4 は手づくね白かわらけ。5 は白磁皿。6 は瀬戸折縁深皿。7 は瀬戸袴形香炉。8～19 は常滑甕。20～22 は鉄釘。23～25 は銅銭。

そのほか本調査地点では押印文のある常滑片が比較的多く出土している。すべてを詳細に分類して提示することはできなかったが、一部遺構出土遺物として掲載した以外に、部位などが確定しがたいがやや特徴的な押印のある常滑の破片を抜粋して掲載しておく。なお 26 は押印ではないが、2 条の沈線でなんらかの文様を描いている。4 面遺構 232～234 出土。

押印は縦線と横線の組み合わせによる物が大多数であるが、それ以外にもいくつかのパターンがある。27 は多斜線による格子で 2 面構成土より出土。28～30 は単×文のある押印で、28 は 2 面遺構外、29 は遺構 122 出土。30 は入子枡との組み合わせ。2 面遺構 123 出土。31 は複合斜線の組み合わせ。4 面遺構 229 出土。32 は矢羽根・樹枝状文。遺構 232 出土。33～36 は車輪・菊花文で、単独のものが多く、37 は格子と組み合わせている。33 は 2 面遺構 126 出土。34 は遺構 232～234 の出土。35 は 5 面遺構外。36 は 3 面遺構 164 出土。37 は 5 面遺構 244 出土。

これらは類似のものが複数みられ、同一個体の破片と思しきものも存在しているが、接合する例はない。押印文のある常滑片は 1 面構成土から 8 面まで出土がみられ、2 面、4 面での出土量がやや多いようである。



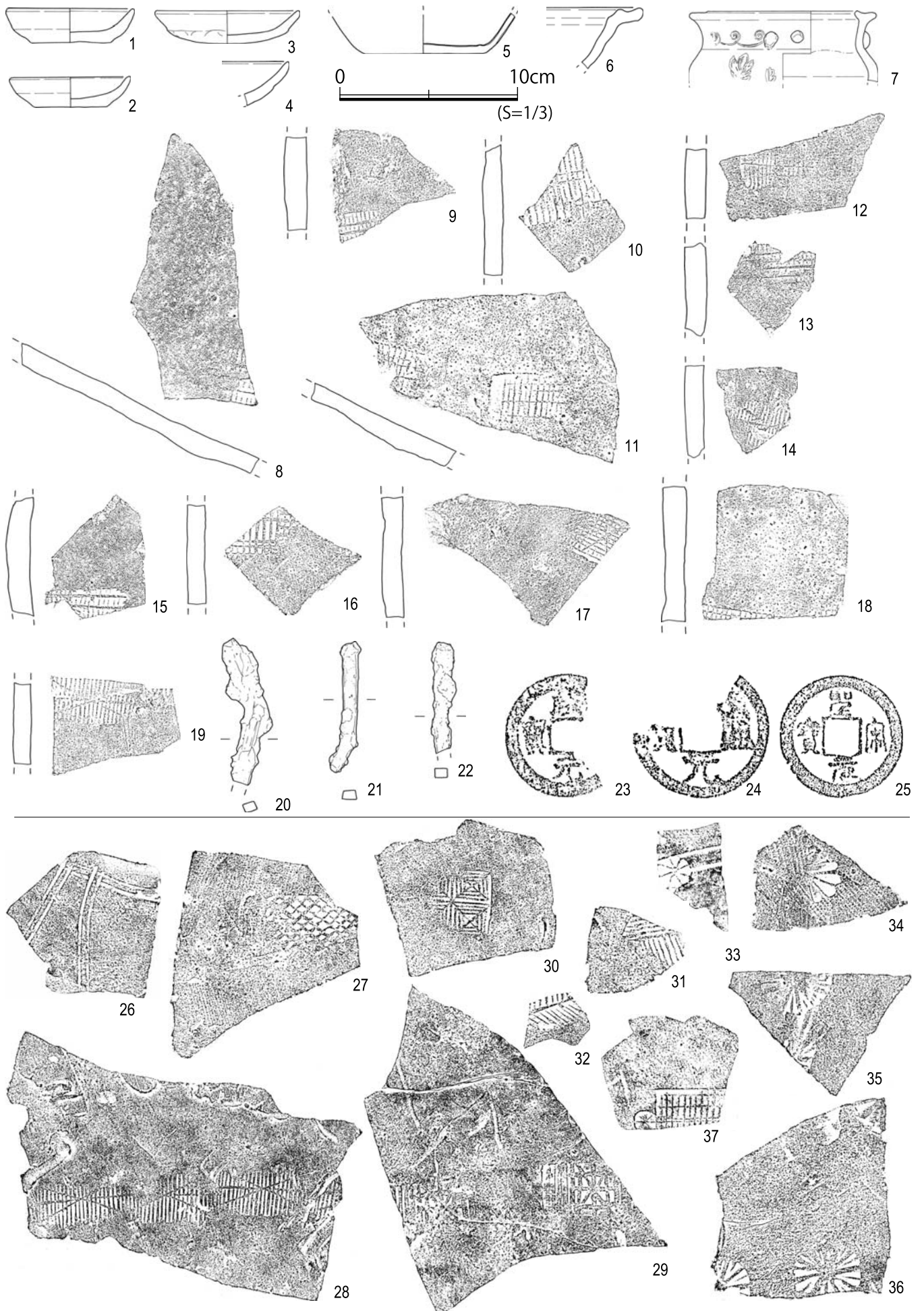


图 42 遺構外出土遺物

## 第三章 考察とまとめ

本調査地点では中世の生活面が8面検出され、それぞれに建造物が確認された。以下面ごとに検出した遺構・遺物について整理し、簡単ではあるがそれぞれの考察を行ってまとめとしたい。

### 第1面

第1面は小粒の泥岩碎片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、ほぼ平坦だが北側に向かってやや下がるようである。確認レベルは海拔8.20～8.35 mである。現地表から浅いこともあり、近現代の掘り込みによってかなり破壊されている。第1面での検出遺構は少なくとも3期の切り合いがある。遺構はピット29穴・土坑7基で、ピットが比較的多く掘立柱建物址の存在が想定できるが、破壊が激しいこともあり、明確なプランは復元できなかつた。北西部には加工された泥岩が数点並んで検出されたが、遺構の性格は明らかにしえなかつた。出土遺物は、かわらけ・舶載青磁・国産陶磁器が主体であり、銅製品も少量見られる。これらの出土遺物より1期の時期は14世紀後半と考えられる。

### 第2面

第2面はやや大粒の泥岩碎片を含む暗褐色粘質土の地業面で、ほぼ平坦である。確認レベルは海拔8.07～8.11 mである。遺構はピット67穴・土坑14基、礎石建物1棟である。遺構の切り合いより、少なくとも3時期の時間差があると考えられる。調査区では東側で整然と配列する凝灰質砂岩の礎石が検出され、3×3間以上の規模をもつ礎石建物が1棟が確認された。建物の内部では地鎮的な意図も推定される土坑が検出している。この礎石建物と東西軸を共通する、安山岩を礎石とした柱穴列が西側に1列確認されたが、建物のプランを明瞭に復元できる形では検出されず、この柱穴列がどのような性格の構造物であるか、また東側の礎石建物との関連がいかなるものかは判然とはしなかつた。ほかにも西側には小規模なピット群が多く検出されたが、建築物のプランは明らかではない。いずれにしても調査区の東西で空間利用が異なることは明白である。

遺物は、かわらけ・舶載陶磁器・国産陶磁器が主体である。羽口片など、手工業制作にかかわる道具も出土しているが、数量的には多くない。これらの出土遺物より14世紀代と考えられる。

### 第3面

第3面は小粒の泥岩碎片を多く含む暗褐色粘質土の地業面で、ほぼ平坦である。確認レベルはおおよそ海拔7.68～7.70 mである。遺構はピット33穴・土坑2基、礎石建物1棟、溝状遺構1条を検出した。礎石建物は調査区北側にあり、第2面の礎石建物と軸は共通するが、位置的には大きくずれている。大半は調査区外にあたるため詳細は不明であるが、礎石の配置自体も異なり、建物の構造自体が第2面の礎石建物とは異なる可能性がある。礎石建物の南側にはピット群を検出している。配置からは明確な構造を推定することは難しい。溝は比較的浅く、礎石建物と軸を共通して東西に延びる。ピットに壊されていることから一時的に構築されたもので、簡素な区画的なものか。溝の南側はピットが少なく、空間的には南北で利用状況が異なるようである。

遺物は、かわらけ・舶載陶磁器・国産陶磁器が主体である。鉄製品もやや多い。軒丸瓦が出土しているが瓦自体の出土はわずかである。ほかに銅銭・自然遺物が出土している。これらの出土遺物よりおお

むね 14 世紀前半と考えられる。

#### 第 4 面

第 4 面は小粒の泥岩碎片を多く含む暗褐色粘質土の地業面であり、確認レベルはおおよそ海拔 7.40 ～ 7.48 m で、ほぼ平坦である。遺構はピット 33 穴・土坑 12 基、礎石建物 1 棟、溝状遺構 2 条、方形竪穴建物 5 基を検出した。礎石建物は調査区東側にあり、3 × 2 間の規模で確認されたが、おそらく東と北側の調査区外に広がっており、実際の規模はさらに大きいと推定される。礎石建物の位置は第 2 面の礎石建物よりやや東に寄っているが、ほぼ同じ位置に構築されている。調査区中央には第 3 面とほぼ同じ位置に東西方向の溝が構築されているが、第 3 面のものとは異なり、東側は礎石建物の手間で止まっている。調査区西側ではピットを複数検出したが、建物のプランなどは復元できなかった。溝の南北ではやや遺構の密度に差があるが、調査範囲が狭いこともあり、明確な差を見出すまでには至らない。

調査区の南側からは方形竪穴遺構が検出され、最終的に 5 基の竪穴建物が存在することが明らかになった。竪穴建物自体はほぼ同じ位置に何度か作り直しており切り合いによって破壊されているため、開口部が確認できたのは遺構 231 と遺構 235 の 2 基だけであり、ほかの 3 基の方形竪穴建物が第 4 面の時点で構築されたかどうかは不明な点もあるが、土層観察から遺構 234 以外はそれほど時期差はないと推定され、基本的に第 4 面に属するものと判断する。また竪穴遺構の覆土にピットが見られることや、礎石建物との位置関係、土層の観察などから、これらの方形竪穴建物は第 4 面で検出されているが少なくとも礎石建物よりは古く、おそらく方形竪穴建物を廃絶して整地した後に礎石建物が構築されたと判断できる。その他のピットや土坑などとの時期的な関係を判断することは困難であるが、第 4 面の時点で、方形竪穴建物が立ち並ぶ空間から礎石建物が建つ空間へと、場の性格が大きく変化したと想定される。

遺物はかわらけ・舶載陶磁器、国産陶器を主体とする。これらの出土遺物より、第 3 面と大きな差はなく、おおむね 13 世紀後半～14 世紀初頭と考えられる。

#### 第 5 面

第 5 面は小粒の泥岩碎片を含む黒色粘質土の地業面である。確認レベルはおおよそ海拔 7.33 ～ 7.47 m で、やや北側が低い。調査区は、南側は第 4 面の方形竪穴建物、北側も上面の遺構による掘り込みの影響によりかなりの範囲が破壊されている。遺構はピット 3 穴・土坑 5 基、井戸 1 基、溝状遺構 1 条のみである。切り合いより少なくとも 2 時期の時間差があると考えられる。ピット、土坑ともに検出数は少なく、建物の存在も不明である。東側では井戸が 1 基検出された。井戸枠のほぼ直上からは遺物の集中する土坑（遺構 234）を検出した。位置的に井戸内への投げ込みとも考えられるが、この遺構内では井戸枠の痕跡などは見られず、井戸との関連は深いと思われるが、別遺構として報告した。井戸は掘り方が非常に大きく、底部は掘削深度制限もあり検出していないが、掘り込みもかなり深いと思われる。掘方に比して井戸枠は小さく、また完全に被熱によって炭化しており、ごく一部で確認できたのみである。火災があったことがうかがわれるが、生活面上にはその痕跡は見られなかった。井戸以外にはほとんど遺構が見られず、やや開けた空間であったと想定される。

遺物は、かわらけ・舶載陶磁器、国産陶器を主体とする。銅製品も少数見られる。これらの出土遺物より、おおむね 13 世紀後半～14 世紀初頭に属すると考えられる。

## 第6面

第7面は小粒の泥岩碎片を多く含む暗褐色粘質土の地業面である。確認レベルはおおよそ海拔7.19～7.29 mであり、南側は第4面の方形竪穴建物によって壊されている。また東南部は黒色粘質土と泥岩が露出しており、遺構の壁面からの推定ではあるが、泥岩は自然の岩盤面か、尾根などからの崩落堆積の可能性もある。黒色粘質土は一般に中世基盤層とされる土に近く、その上に地業がなされている。泥岩層は西に向かってやや急な傾斜で落ち込みが見られ、最深部についてはこの調査では確認できていないが、かなり深くまで落ち込む可能性がある。検出遺構はピット8穴・土坑3基で、掘立柱建物址のプランなどは明確ではない。遺構は密度が低く、第5面に近く開けた空間であった可能性がある。切り合いより少なくとも2時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・舶載磁器、国産陶器を主体とする。これらの出土遺物より、13世紀後半に属すると推定される。

## 第7面

第7面は小粒の泥岩碎片を多く含む暗褐色粘質土の地業面である。確認レベルはおおよそ海拔7.0～7.17 mで、ほぼ平坦だが西北に向かってゆるやかに下がる傾向にある。東南部ではやはり黒色粘土と泥岩層がわずかに露出している。調査区南側は第4面の方形竪穴建物に削平されて消失している。検出遺構はピット22穴・土坑10基、溝状遺構1条、板痕1基である。第5、6面に比してピットなどが多く、掘立柱建物址の存在も推定されるが、プランなどは明確ではない。遺構の切り合いより第7面で発見した遺構は、少なくとも2時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・舶載磁器、国産陶器を主体とする。瓦もわずかであるが出土している。これらの出土遺物より、13世紀半ばに属すると推定される。

## 第8面

第8面は小粒の泥岩碎片を多く含む黒褐色粘質土の地業面である。確認レベルはおおよそ海拔6.8～6.95 mで、東から西へわずかに傾斜して下がる。調査区を限定したため、ごく一部の範囲しか明らかになっていないが、ピット14穴・土坑6基が検出され、遺構の密度は比較的高い。しかし建物址のプランなどは明らかにしえない。切り合いより、少なくとも3時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・舶載磁器、国産陶器を主体とする。これらの出土遺物より、13世紀第2四半期に属すると推定される。

以上を概観すると、道路を挟んで東側の調査地点では岩盤などが検出されておらず、判断が難しいところもあるが、東側の尾根からの斜面は本遺跡調査範囲の東端まで及んでおり、岩盤まではかなりの厚さで現地表面まで土が堆積している可能性が高い。岩盤面は残念ながら検出していないが、井戸などの壁面の観察からは、岩盤の上に中世基盤層の可能性が高い黒色土が堆積しており、一部は第6面の高さまで達すると推定される。基盤層そのものを面的に検出していないことと、上面の遺構の掘り込みなどの影響で基盤層の正確な高さやその面的な様子は不明であるが、本来の地形としては尾根から続く傾斜地であり、その後の堆積によってやや平坦となり、中世の地業によって整地がなされたものと推定される。

調査区では一貫して砕いた泥岩を混入した土によって何度も整地がなされている。第7面、8面の時

期は掘立柱建物が存在していたと推定され、第5、6面はそうした建物の存在が希薄になっていたと想定される。第5面の時点で1度火災が起きたようである。第4面では、おそらく当初は方形竪穴建物が数棟立ち並ぶ状況であったと思われるが、それを廃絶して、新たに礎石建物が構築される。その後第3面から第2面にかけても礎石建物が立て直され、空間利用としては第2面から第4面までは基本的に共通していると言える。第1面については削平が激しいこともあり、礎石建物の有無などは不明である。

したがって少なくとも大きく3度ほど本調査地点では土地利用に変化があることが想定できる。常栄寺の歴史的背景からすると、この一帯は妙本寺の影響が強いと考えられるが、具体的な関連を示す資料には乏しい。

調査件数が少ないながら、この周辺での発掘成果を見ると、小町大路の両側から滑川を越えても方形竪穴建物が検出されており、大町大路から二の鳥居まで含めて、方形竪穴建物が卓越する地域であることが想定され、本調査地点もその一角にあたり、方形竪穴建物も存在していたことが明らかになった。ただし、第2面から第4面にみられるように、方形竪穴建物は比較的短期間で廃棄され、場の性格は大きく変化しているようである。また調査地点の東側でも方形竪穴建物とともに南北方向の道路遺構が検出されている。道路が現状と同じように妙本寺の門前をとおりさらに北まで伸びていたかまでは不明であり、本調査地点ではそうした痕跡は確認できていない。当該地区の尾根前の空間の開発状況については今後の資料増加によって検証していく必要があるだろう。

表1 出土遺物観察表

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
6	1	1	銅製品	器種不明		長 [1.1]	幅 [0.3]	厚 [0.1]	0.2g	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
6	2	3	土製品	ロクロ かわらけ(中)	完形	11.7	6.6	3.45		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
6	3	3	磁器	青磁 無文碗	底部完形	-	6.4	[5.2]		b: 灰色 白色粒 精良堅緻 d: 緑灰色 透明 釉層薄い 細かい貫入有り 量付より上施釉 高台内無釉 f: 大宰府編年 碗 I -1a
6	4	7	土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	(7.8)	(6.1)	1.6		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
6	5	7	土製品	ロクロ かわらけ(小)	小片	-	-	2.0		a: 外底回転系切 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 灰黄色 f: 被熱により熔解 取瓶
6	6	10	土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.85	5.95	1.6		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
6	7	12	陶器	常滑 甕	肩部片	-	-	[3.2]		a: 輪積み成形 b: 黒灰色 砂粒 長石 c: 暗赤褐色 f: 外面押印 縦線文+横線(4)
6	8	14	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部小片	-	-	[4.4]		b: 灰色 白色粒 黒色粒 c: 暗赤褐色 d: 内面降灰部緑灰色(僅か) f: 内面押印 中野分類 EC? 斜格子
6	9	20	土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	8.35	4.7	2.3		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好
6	10	22	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(6.4)	(4.1)	1.95		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 良土 c: 橙色 e: 良好
6	11	25	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(8.9)	(6.8)	2.55		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 黄橙色 e: 良好
6	12	25	陶器	瀬戸 合子蓋	完形	4.6	1.8	1.0		a: 底部回転系切(右回転) b: 灰白色 d: 灰黄色 e: 良好
6	13	25	石製品	中低		長 8.4	幅 2.8	厚 2.0~0.2		c: 黄灰色 f: 上野産 ほぼ全面に使用痕
6	14	26	陶器	瀬戸 縁釉小皿	1/4	(9.2)	-	[2.2]		b: 灰白色 砂 やや粗土 c: やや甘い 軟質 d: 鉄釉口縁部にツケカケ
6	15	26	土製品	土器質 香炉	1/4	(12.6)	(10.0)	5.1		a: 外面雷文、割菱押印 b: 灰褐色 微砂 白色粒 雲母(かわらけ質に近い) e: 良好
6	16	28	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	3.0g	f: 熙寧元寶 北宋 1068年
6	17	30	土製品	ロクロ かわらけ(小)	底部片	-	-	[2.9]		b: 黄灰色 微砂 白色粒 赤色粒 c: 赤褐色 f: 被熱により熔解 取瓶
6	18	30	土製品	ロクロ かわらけ(小)	底部片	-	-	[2.3]		b: 黄灰色 微砂 赤色粒 c: 赤褐色 f: 被熱により熔解 取瓶
6	19	30	陶器	瀬戸 卸皿	口縁 ~体部小片	-	-	[3.3]		b: 灰白色 精良土 d: 淡緑灰色の灰釉 内面ツケガケ 外面ハケスリ e: 良好 硬質 f: 一部黒色の部分が点在する。中Ⅲ~Ⅳ期か。
6	20	32	土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	8.0	5.8	1.6		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 内底部金属製品付着 一部煤付着
6	21	32	土製品	かわらけ 転用品	底部完形	最大径 10.3	-	厚 1.0~0.4		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 器壁を円盤状に打ち欠きか?
6	22	32	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[4.6]		a: 輪積み成形 b: 灰色 白色粒 黒色粒 c: 赤褐色 f: 縁帯幅1.7cm 中野編年 5型式
6	23	32	陶器	常滑 甕	肩部片	-	-	[6.8]		a: 輪積み成形 b: 灰色 長石 白色粒 黒色粒 c: 内面黄褐色 外面暗赤褐色 d: 灰黄色の自然釉 f: 外面押印 縦線文+横線(5)
6	24	33	磁器	青磁 折縁皿(鉢)	完形	12.8	5.6	4.0		b: 完形品のため素地確認できず d: 淡緑灰色 不透明 量付露胎 f: 大宰府編年 坏Ⅲ-3b 内面花卉
6	25	33	鉄製品	釘	完形	長 5.8	幅 0.75	厚 0.5	10.1g	f: 四角形状に鍛造
6	26	35	陶器	常滑 甕	肩部片	-	-	[4.35]		a: 輪積み成形 b: 黄灰色 長石 石英 白色粒 礫粒 c: 内面灰色 外面赤褐色 e: 良好 f: 外面押印 縦線文+横線(1)
6	27	36	磁器	青白磁 小型容器	口縁部片	-	-	[3.0]		b: 黄褐色 d: 明緑灰色 半透明 釉層薄い 気泡有
6	28	36	銅製品	器種不明	-	残存長 [3.2]	残存幅 1.7	残存厚 0.05	2.3g	f: 一部金鍍金残存
7	29	1面遺構外	土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(12.0)	(7.6)	3.1		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
7	30		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.6)	(4.0)	2.5		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
7	31		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.8)	(5.0)	2.3		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 良土 c: 黄橙色 e: 良好
7	32		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.8)	(5.6)	2.1		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂、雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 黄橙色 e: 良好
7	33		土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形品	7.4	4.8	2.0		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
7	34		土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	(7.6)	(5.6)	1.9		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
7	35	1面遺構外	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.4)	(5.0)	1.6		a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
7	36		土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	(6.2)	4.2	2.0		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
7	37		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.8)	(6.4)	2.2		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 灰色 微砂 c: 黄灰色 e: 良好 f: 被熱及びび付着物 取瓶
7	38		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/5	-	-	[2.3]		b: 灰色 微砂 雲母 c: 黄灰色 e: 良好 f: 被熱により溶解 取瓶
7	39		磁器	青磁 折縁坏	口縁部片	(21.8)	-	[2.0]		b: 灰白色 精良土 d: 灰緑色 半透明 f: 大宰府編年 坏III -3a
7	40		陶器	常滑 甕	胴部片	-	-	[4.1]		a: 輪積み成形 b: 灰色 長石 礫粒 c: 灰茶色 d: 外面に自然釉 e: 良好 f: 外面押印 中野分類 Bad?
7	41		陶器	常滑 甕	胴部片	-	-	[5.8]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 礫粒 c: 灰色 e: 良好 f: 外面押印 縦線文+横線(5)+斜線(1)
7	42		陶器	常滑 甕	胴部片	-	-	[4.3]		a: 輪積み成形 b: 黄橙色~褐色 長石 礫粒 c: 黄橙色 d: 内面に自然釉 e: やや良好 f: 外面押印 中野分類 Ca1
7	43		陶器	常滑 壺	底部片	-	-	[4.2]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 灰色 e: 良好
7	44		陶器	常滑 片口鉢II類	口縁部片	-	-	[6.75]		a: 輪積み b: 灰白色 微砂 礫粒 c: 赤褐色 d: 内面に灰緑色の自然釉 e: 良好
7	45		陶器	瀬戸 卸皿	底部片	-	-	[1.3]		b: 黄灰色 良土 c: 灰緑色 d: 内面に灰釉 e: 良好
7	46		陶器	瀬戸 四耳壺?	底部片	-	(10.0)	[2.3]		b: 灰色 良土 c: 灰色 d: 内底および高台に自然釉 e: 良好
7	47		陶器	瀬戸 器種不明	口縁部片	-	-	[2.3]		b: 黄灰色 微砂 d: 暗赤褐色 e: 良好
7	48		陶器	瀬戸 器種不明	底部片	-	(6.4)	[0.9]		a: 外底回転糸切(右回転) b: 黄灰色 微砂 d: 内底面鉄釉 e: 良好
7	49		土製品	磨りかわらけ	-	最大長 [4.3]	最大幅 [3.5]	最大厚 1.0		b: 微砂 赤色粒 海綿骨針 c: 黄橙色 e: 良好 f: 全体に摩耗
7	50		石製品	砥石	-	最大長 [7.3]	最大幅 2.65	最大厚 [2.3]		c: 淡橙色~淡灰色 f: 上野産、中砥
7	51		石製品	碁石?	完形	最大長 1.5	最大幅 1.8	最大厚 0.5		c: 黒色
7	52		石製品	碁石?	完形	最大長 1.7	最大幅 2.2	最大厚 0.4		c: 黒色
7	53		鉄製品	釘	-	長 7.9	-	-	20.7g	f: 四角形状に鍛造
7	54		鉄製品	釘	-	長 5.4	幅 0.7	厚 0.4	6.9g	f: 四角形状に鍛造
7	55	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	2.8g	f: 開元通寶(楷書)	
7	56	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.6	-	3.6g	f: 天聖元寶(篆書) 北宋 1023年	
7	57	銅製品	銭	完形	直径 2.2	内孔 0.8	-	1.8g	f: 摺銭	
7	58	銅製品	器種不明	-	残存長 [6.3]	残存幅 [6.1]	残存厚 [0.05]	8.3g	f: 薄く引き伸ばされている	
7	59	1面構成土	土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	13.5	(8.8)	3.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
7	60		土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(13.8)	(7.6)	3.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好
7	61		土製品	ロクロ かわらけ(中)	3/4	(11.2)	6.8	3.4		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 黄橙色 e: 良好
7	62		土製品	ロクロ かわらけ(中)	4/5	(11.2)	5.8	3.0		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好
7	63		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.6)	(4.6)	2.4		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
7	64		土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	7.6	4.2	2.3		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好
7	65		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.8)	4.0	2.4		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
7	66		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.4)	(5.0)	2.1		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 黄橙色 e: 良好
7	67		土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	6.5	4.2	2.2		a: 内底ナデ 外底糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 黄橙色 e: 良好
7	68		土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	7.6	4.5	2.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
7	69		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.8)	(4.6)	2.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 黄橙色 e: 良好
7	70		土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.2	4.4	2.45		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
7	71		土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.4	4.7	2.4		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好

図版	No.	出土 遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
7	72	1面構 成土	土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	(7.8)	4.0	2.6	a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考	
7	73		土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.3	4.2	2.4	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
7	74		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.8)	(4.8)	2.0	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 良土 c: 黄橙色 e: 良好	
7	75		土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.3	5.6	1.8	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 口縁一部煤付着	
7	76		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.4)	(4.6)	1.8	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
7	77		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.8)	(5.6)	1.9	a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 黄橙色 e: 良好	
7	78		土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	(7.4)	(4.4)	1.7	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
7	79		土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	7.8	4.8	2.3	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
7	80		土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	7.8	5.4	1.9	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
7	81		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.6)	5.2	2.1	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 黄橙色 e: 良好	
7	82		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.8)	(5.6)	1.7	a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 黄橙色 e: 良好	
7	83		土製品	ロクロ かわらけ(小)	底部小片	-	(4.6)	[1.2]	a: 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 c: 灰色~暗灰色 e: 良好 f: 被熱及び銅付着 取瓶	
7	84		土製品	ロクロ かわらけ(小)	底部小片	-	(5.0)	[1.3]	b: 微砂 海綿骨針 c: 黄橙色 e: 良好 f: 被熱及び付着物 取瓶	
7	85		磁器	青磁 鎚蓮弁文碗	1/10	-	-	[2.0]	b: 灰色 精良堅緻 d: 淡緑灰色 不透明 釉層厚い 貫入あり f: 大宰府編年 坏III-4b?	
7	86		磁器	青磁 折縁皿	口縁部片	(13.2)	-	[2.4]	b: 灰白色 精良土 d: 灰緑色 不透明 釉層やや厚い f: 二次焼成を受けたか為か所々釉が熔ける 大宰府編年 坏III-3a	
7	87		磁器	青磁 折縁皿	口縁部片	-	-	[1.6]	b: 乳白色 精良土 d: 灰青色 不透明 釉層やや厚い f: 大宰府編年 坏III-3a	
7	88		磁器	青白磁 梅瓶	小片	最大長 [3.8]	最大幅 [2.1]	厚 0.6	b: 灰白色 精良土 d: 青灰色 透明 釉層極薄い	
7	89		磁器	白磁 碗	口縁部小片	-	-	[3.2]	a: 櫛搔文 b: 灰白色 黒色粒 気孔あり 精良堅緻 d: 淡水青色 透明 釉層薄い 貫入あり	
7	90	磁器	白磁 皿	小片	最大長 [2.1]	最大幅 [2.0]	最大厚 0.4	b: 乳白色 精良土 d: 乳白色 半透明 釉層極薄い		
7	91	磁器	白磁 合子蓋	体部小片	-	-	[1.3]	a: 型押し b: 白色 黒色粒 精良堅緻 d: 灰白色 透明 釉層薄い f: 景德鎮窯の広口壺、合子などか		
7	92	磁器	白磁 器種不明	小片	-	-	[2.2]	b: 灰色 精良土 d: 灰色 鉄釉		
7	93	陶器	瀬戸 天目茶碗	口縁部片	-	-	[4.1]	b: 灰白色 精良土 d: 鉄釉(黒釉)ツケガケ 口縁部に錆鉄 e: 良好 硬質		
8	94	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[11.1]	a: 輪積み成形 b: 褐色 微砂 長石 石英 d: 外面に灰緑色の自然釉 e: 良好 f: 緑帯幅 2.3 cm 中野編年 5 型式		
8	95	陶器	常滑 甕	底部片	-	-	[5.1]	a: 輪積み成形 外面下部へラ調整 b: 灰色 微砂 長石 石英 c: 橙色 e: 良好		
8	96	陶器	常滑 甕	底部片	-	-	[6.9]	a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 c: 茶褐色 e: 良好		
8	97	陶器	常滑 壺?	底部片	-	-	[4.2]	a: 輪積み b: 灰褐色 微砂 c: 暗灰褐色 d: 内面下部に自然釉 e: 良好		
8	98	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類?	口縁部片	-	-	[7.7]	a: 輪積み b: 黄橙色~灰色のしま状 微砂 雲母 長石 石英 赤色粒 c: 灰褐色 e: 良好		
8	99	陶器	瀬戸 卸皿	口縁部片	-	-	[3.5]	b: 黄灰色 微砂 c: 黄灰色 d: 口縁部~外面上部に淡黄緑色の灰釉 e: 良好		
8	100	陶器	備前 擦鉢	口縁部片	-	-	[5.1]	b: 茶色 微砂 c: 灰茶色 e: 良好		
8	101	土製品	瓦質火鉢	口縁部片	-	-	[3.0]	a: 輪積み b: 灰白色 粗砂 c: 暗灰色 e: 良好 f: 内外面黒色処理 河野分類V類		
8	102	土製品	瓦質火鉢	銅部片	-	-	[4.8]	a: 輪積み b: 灰白色 粗砂 礫粒 c: 暗灰色 e: 良好 f: 内外面黒色処理 河野分類IV A類		
8	103	土製品	瓦質火鉢	底部小片	-	-	[7.2]	a: 体部上ミガキ 底部脇上段に珠文スタンプ 下段に花文スタンプが施される b: 灰白色 砂 小石 粗土 c: 外面灰色 f: 河野分類IV a類		
8	104	土製品	瓦質火鉢	底部片	-	-	[4.8]	a: 輪積み b: 灰白色 粗砂 礫粒 c: 暗灰色 e: 良好 f: 外面~底部黒色処理 河野分類IV A類		
8	105	土製品	風炉	口縁部片	-	-	[4.6]	a: 輪積み b: 灰色~白橙色 微砂 c: 灰色 e: 良好 f: 内面黒灰色		
8	106	土製品	伊勢土鍋	口縁部片	-	-	[3.1]	b: 黒灰色 微砂 雲母 赤色粒 c: 肌色 e: 良好		
8	107	石製品	泥岩加工品	-	最大長 14.7	最大幅 7.5	最大厚 2.3	c: 淡黄橙色 f: 側面一部に刃物痕有		
8	108	石製品	砥石	-	最大長 [4.8]	最大幅 [6.4]	最大厚 [1.8]	c: 淡黄灰色 f: 上野産 中砥 一面以外破損 砥面一面		



図版	No.	出土 遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
8	109	1面構成土	石製品	砥石	-	最大長 [3.9]	最大幅 3.7	厚 1.1		a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考 c: 淡黄灰色～淡灰黄色 f: 鳴滝産 仕上砥? 両側面にノコ痕有
8	110		石製品	滑石鍋転用品	-	最大長 3.4	最大幅 1.7	厚 5.5～8.5		f: 三面にノコ痕有
8	111		骨製品	器種不明	-	最大長 4.4	最大幅 2.9	最大厚 0.9		f: 両端部・外面一部にノコ痕有
8	112		鉄製品	釘	-	長 10.8	幅 0.6	厚 0.65	48.2g	f: 四角形状に鍛造
8	113		鉄製品	釘	-	長 7.6	幅 0.6	厚 0.4	4.9g	f: 四角形状に鍛造
8	114		鉄製品	釘	-	長 [6.9]	幅 0.5	厚 0.25	3.1g	f: 四角形状に鍛造 先端部欠損
8	115		鉄製品	釘	-	長 [6.1]	幅 0.5	厚 0.2	5.5g	f: 四角形状に鍛造 先端部欠損
8	116		鉄製品	釘	-	長 5.6	幅 0.8	厚 0.5	8.8g	f: 四角形状に鍛造
8	117		鉄製品	釘	-	長 [5.6]	幅 0.7	厚 0.5	7.9g	f: 四角形状に鍛造 先端部欠損
8	118		鉄製品	釘	-	長 [5.2]	幅 0.7	厚 0.4	7.4g	f: 四角形状に鍛造 先端部欠損
8	119		鉄製品	釘	-	長 6.0	幅 0.8	厚 0.6	7.5g	f: 四角形状に鍛造
8	120		鉄製品	釘	-	長 5.1	幅 0.5	厚 0.3	4.3g	f: 四角形状に鍛造
8	121		鉄製品	釘	-	長 [5.7]	幅 0.5	厚 0.3	8.3g	f: 四角形状に鍛造 先端部欠損
8	122		銅製品	銭	完形	直径 2.3	内孔 0.7	-	2.2g	f: 開元通寶(楷書)
8	123		銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.6	-	3.5g	f: 至道元寶(真書) 北宋 995年
8	124		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.65	-	4.0g	f: 咸平元寶(真書) 北宋 998年
8	125		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	2.4g	f: 熙寧元寶(篆書) 北宋 1068年
8	126		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	2.9g	f: 熙寧元寶(篆書)?
8	127		銅製品	銭	完形	直径 2.3	内孔 0.6	-	3.5g	f: 熙寧元寶(真書) 北宋 1068年
8	128		銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.65	-	3.6g	f: 元豐通寶(行書) 北宋 1078年
8	129	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.75	-	3.2g	f: 元祐通寶(行書) 北宋 1086年	
8	130	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.4g	f: 元符通寶(篆書) 北宋 1098年	
8	131	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	3.5g	f: 元符通寶(篆書) 北宋 1098年	
8	132	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.7g	f: 聖宋元寶(行書) 北宋 1101年	
8	133	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.7	-	3.4g	f: 大觀通寶 北宋 1107年	
8	134	銅製品	銭	完形	直径 2.3	内孔 0.55	-	3.6g	f: 政和通寶(篆書) 北宋 1111年	
8	135	銅製品	銭	1/2	直径 -	内孔 -	-	1.5g	f: 淳■寶	
8	136	銅製品	銭	完形	直径 2.0	内孔 0.7	-	1.2g	f: 摺銭か	
10	1	38	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部片	-	(11.6)	[8.0]		a: 輪積み成形 外底脇ヘラケズリ b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 灰色 e: 良好
10	2	43	陶器	瀬戸 緑釉小皿	1/2	(11.0)	(6.6)	2.6		a: 外底回転糸切(右回転) b: 黄灰色 精良土 d: 灰釉(淡緑灰色) 内 面ハケヌリ後口縁部ツケガケ e: 良好 硬質 f: 被熱 口縁部煤付着 古瀬戸後期前半
10	3	43	土製品	瓦質火鉢	口縁部片	-	-	[4.2]		b: 灰白色 白色粒 黒色粒 c: 暗灰色 f: 押印 菊花文 口縁輪花 河 野分類Ⅲ類
10	4	44	土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	6.8	3.6	2.2		a: 外底回転糸切 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 口縁頂部～内面ケズリ調整、焼成後に削ったか
10	5	46	土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(13.7)	(8.5)	3.75		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 黄橙色 e: 良好
10	6	46	土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.55	4.85	2.3		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや良土 c: 黄橙色 e: 良好
10	7	48	石製品	砥石	-	最大長 [7.4]	最大幅 3.0	厚 1.3		c: 淡赤橙色 f: 鳴滝産 仕上砥 側面にノコ痕あり 砥面1面
10	8	52	陶器	瀬戸 入子	口縁部片	(8.0)	-	[2.9]		b: 明灰色 微砂 良土 c: 明灰色 d: 口縁頂部施釉 e: 良好

図版	No.	出土 遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
10	9	59	陶器	常滑 広口壺	口縁部片	-	-	[5.3]		a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
10	10	60	陶器	瀬戸 折縁深皿	口縁部片	-	-	[4.5]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 c: 赤褐色 e: 良好 f: 緑帯幅 1.2cm 中野編年 4～5 型式
10	11	60	鉄製品	釘	-	長 4.8	幅 0.25	厚 0.25	1.9g	f: 四角形状に鍛造
10	12	66	陶器	瀬戸仏供	底部完形	-	5.3	[2.0]		a: 外底回転糸切(右回転) b: 淡黄色 精良土 d: 鉄釉 ツケガケ e: 良好 硬質
10	13	73	磁器	青白磁 合子蓋	小片	-	-	[1.2]		b: 灰白色 精良土 d: 青緑色 半透明 釉層極薄い
10	14	73	骨製品	筭	-	長 [5.0]	幅 1.65	厚 0.3		f: 両端欠損
10	15	73	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.6	-	3.6g	f: 元豊通寶(篆書) 北宋 1078 年
10	16	74	陶器	常滑 片口碗	口縁部片	-	-	[3.4]		a: 輪積み成形 b: 暗灰色 微砂 長石 c: 茶色 e: 良好 ※オカ 310 と同一個体かも?
10	17	79	土製品	内折れかわら け(極小)	1/5	-	-	[1.3]		a: 外底回転糸切 b: 微砂 雲母 赤色粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
10	18	79	鉄製品	釘	-	長 4.3	幅 0.35	厚 0.2	0.9g	f: 四角形状に鍛造
10	19	80	土製品	ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	13.0	8.6	3.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
10	20	80	陶器	常滑 甗	口縁部片	-	-	[10.0]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 c: 赤褐色 d: 口縁部および外面に灰色の自然釉 e: 良好 f: 緑帯幅 2.6 cm 中野編年 6a 型式
10	21	81	陶器	磨り常滑	-	最大長 8.2	最大幅 4.4	厚 1.0		f: 側面と外面が摩耗
10	22	82	磁器	白磁 口兀碗	口縁～底 部片	(12.2)	(7.4)	3.8		b: 灰色 微砂 d: 灰色 半透明 釉層やや薄い f: 大宰府編年 IIIIX-1c
10	23	83	磁器	白磁 蓋付碗	口縁部片	(9.6)	-	[2.6]		b: 灰色 精良土 d: 灰色 施釉薄い 口縁部露胎 f: 蓋か?
10	24	83	磁器	青白磁 梅瓶蓋	完形	5.5	天井部 径 4.2	2.6		b: 灰白色 黒色粒 精良堅緻 d: 明緑灰色 透明 釉層薄い 貫入あり 天井内部無釉
10	25	93	陶器	常滑 甗	口縁部片	-	-	[12.2]		a: 輪積み成形 b: 灰褐色 長石 石英 c: 黒褐色 e: 良好 f: 緑帯幅 2.15 cm 中野編年 6a 型式
10	26	99	土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	7.6	4.5	1.6		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 外底部煤付着
10	27	99	銅製品	銭	1/2	直径 -	内孔 -	-	1.2g	f: 不明
10	28	114	陶器	常滑 甗	口縁部片	-	-	[12.7]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 c: 赤褐色 e: 良好 f: 緑帯幅 2.1 cm 中野編年 6a 型式
10	29	117	土製品	瀬戸内系 小皿	小片	-	-	[1.8]		b: 微砂 黒色粒 赤色粒 良土 c: 淡黄色
10	30	117	陶器	渥美 甗	口縁部片	-	-	[5.4]		a: 輪積み成形 b: 灰褐色 白色粒 良土 c: 暗灰黄色～暗灰色
10	31	117	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.6	-	3.8g	f: 景德元寶(真書) 北宋 1004 年
10	32	118	磁器	青白磁 香炉か	小片	-	-	[1.4]		a: 灰白色 d: 明緑灰色 不透明 釉層薄い
10	33	118	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[6.0]		a: 輪積み成形 b: 暗灰色 砂粒 長石 c: 赤褐色 f: 内面摩耗
10	34	118	銅製品	器種不明		残存長 [2.9]	残存幅 [2.3]	残存厚 [0.1]	3.4g	f: 菊花状製品の一部分
12	35	115	土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	7.8	4.8	2.0		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
12	36	115	陶器	常滑 甗	口縁部 ～底部	(48.8)	(20.0)	80.2		a: 輪積み成形 内面指頭痕 内外面横ナデ 砂目底 b: 灰褐色 長石 石英 白色粒 黒色粒 小石粒 c: 暗赤褐色 d: 降灰部灰緑色 e: 良好 f: 緑帯幅 3.0m 外面押印 中野分類 Eb 斜格子文(斜線×斜線)
12	37	115	陶器	尾張型 山茶碗か	口縁部小 片	-	-	[3.2]		a: 内外面横ナデ b: 黄灰色 微砂 白色粒 c: 黒褐色
12	38	115	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部片	-	-	[3.2]		a: 輪積み成形 b: 灰色 長石 石英 c: 灰色 e: 良好
12	39	115	土製品	瓦質火鉢	口縁～ 体部小片	-	-	[11.4]		a: 体部ミガキ b: 灰白色 小石 白色粒 赤色粒 気泡 粗土 c: 外面 灰色 f: 口縁部と下部 菊花文+珠文スタンプ 河野分類Ⅳ a 類
12	40	120	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.7	-	3.4g	f: 皇宋通寶(篆書) 北宋 1038 年
12	41	121	土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(12.6)	(7.0)	3.4		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
12	42	121	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.6)	(5.4)	1.7		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 外底部煤付着
12	43	121	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.8)	(5.6)	1.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 褐色 e: 良好 f: 二次焼成を受けたか
12	44	121	土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	7.8	5.1	1.8		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好

図版	No.	出土 遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
12	45	121	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.8)	(6.2)	1.5		a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
12	46	121	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.8)	(5.8)	1.5		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 赤色粒 海綿骨針 粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 二次焼成を受けたか
12	47	121	土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.8	5.6	1.7		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 外底部煤付着
12	48	121	土製品	内折れかわらけ(極小)	1/5	(5.0)	(4.0)	0.9		a: 外底回転系切 b: 微砂 雲母 良土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 内底面穿孔有
12	49	121	土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.4	6.0	2.1		a: 外底回転系切(右回転) b: 赤色粒 海綿骨針 c: 被熱により赤褐色に変色 f: 被熱による発砲、ただれ、ふくれ等あり 取瓶
12	50	121	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[11.1]		a: 輪積み成形 b: 灰色 長石 石英 c: 灰褐色 e: 良好 f: 緑帯幅 2.4 cm 中野編年 5 型式 内面に漆付着
12	51	121	陶器	常滑 壺か	口縁部片	-	-	[3.4]		a: 輪積み成形 b: 灰色 長石 石英 礫粒 c: 灰緑色 d: 内外面に自然釉 e: 良好 f: 二次焼成を受けたか
12	52	122	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.4)	(4.4)	1.9		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 粗土 c: 黄橙色 e: 良好
12	53	122	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.2)	(5.0)	1.3		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 口縁部煤付着
12	54	122	磁器	青磁 蓮弁文碗	口縁部小片	(16.8)	-	[2.7]		b: 明灰白色 d: 灰緑色 半透明 釉層やや厚い f: 大宰府編年 分類不明
12	55	122	磁器	青磁 皿か	底部片	-	-	[2.0]		b: 乳白色 精良土 d: 灰緑色 半透明 貫入あり
12	56	122	磁器	青白磁 花瓶	脚部片	-	(4.6)	[1.3]		b: 乳白色 精良土 d: 青白色 不透明 釉層薄い 外面のみ施釉 一部露胎
12	57	122	石製品	砥石	-	最大長 [7.2]	最大幅 4.0	厚 [1.0]		c: 淡黄灰色 f: 鳴滝産 仕上砥 側面にノコ痕、砥面 1 面
12	58	122	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.65	-	3.6g	f: 元豊通寶(行書)
13	59	123	土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	(7.8)	(4.8)	1.6		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
13	60	123	磁器	青磁 蓮弁文皿	1/8	-	-	4.6		b: 灰白色 気泡少量あり 精良堅緻 d: 淡緑色 不透明 釉層厚い 貫入あり 高台釉剥ぎ f: 被熱か 大宰府編年 腕III-2c
13	61	123	磁器	青磁 折縁皿	口縁部片	-	-	[3.1]		b: 灰白色 精良堅緻 気孔あり d: 淡緑色 不透明 釉層厚い 貫入あり f: 被熱か f: 大宰府編年 坏III-4b
13	62	123	磁器	白磁 壺	頸部小片	-	-	[3.7]		b: 灰色 黒色粒 精良堅緻 d: 灰色 透明 釉層薄い 貫入あり 残存部全て施釉
13	63	123	陶器	常滑 甕	口縁部～ 肩部片	-	-	[17.5]		a: 輪積み成形 b: 暗灰色 長石 石英 白色粒 黒色粒 小石粒 c: 赤褐色 d: 口縁内部～肩部まで灰緑色の釉降灰 e: 良好 f: 緑帯幅 2.5cm
13	64	123	陶器	常滑 甕	頸部～ 肩部片	-	-	[28.4]		a: 輪積み成形 内面指頭痕 b: 灰褐色 石英 白色粒 黒色粒 小石粒 やや粗土 c: 暗赤褐色 e: 良好 f: 中野編年 6a 型式 緑帯幅 2.5cm 外面押印 縦線文+横線(5)
13	65	125	土製品	瀬戸 小坏	口縁部片	(6.8)	-	[1.7]		b: 灰色 微砂 良土 c: 灰色 e: 良好
13	66	126	陶器	常滑 甕	底部	17.4	-	[10.4]		a: 輪積み成形 内面指頭痕 b: 灰色 砂粒 長石 小石 c: 暗赤褐色
13	67	126	石製品	滑石鍋	口縁部片	-	-	[6.4]		f: 転用 二次加工の痕跡有
13	68	126	銅製品	銭	完形	直径 2.3	内孔 0.6	-	4.0g	f: 元符通寶(篆書) 北宋 1098 年
13	69	127	土製品	ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	(12.8)	6.8	3.5		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好
13	70	127	土製品	ロクロ かわらけ(中)	4/5	(11.0)	(6.8)	3.2		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
13	71	127	土製品	ロクロ かわらけ(中)	3/4	10.6	6.4	3.2		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
13	72	127	土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.8	4.7	2.5		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
13	73	127	土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.6	4.6	2.2		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
13	74	127	土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	8.2	5.0	2.0		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
13	75	127	土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.6	5.0	2.25		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
13	76	127	土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.4	5.2	2.0		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
13	77	127	土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	7.6	4.8	1.9		a: 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
13	78	127	土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.3	4.4	1.9		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
13	79	127	土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	7.8	5.9	1.9		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好 f: 口縁部歪み有
13	80	127	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(8.2)	(5.2)	1.8		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
13	81	127	土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	7.4	5.0	1.7		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好

図版	No.	出土 遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
13	82	127	土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.4	5.1	1.7		a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
13	83	127	土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.6	5.5	1.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
13	84	127	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[5.2]		a: 輪積み成形 b: 暗灰色 微砂 長石 石英 c: 暗赤褐色 e: 良好
13	85	127	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.3g	f: 嘉祐通寶(真書) 北宋 1056年
13	86	127	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	3.2g	f: 元豊通寶(篆書) 北宋 1078年
13	87	113	鉄製品	釘	-	長 6.4	幅 0.5	厚 0.2	2.0g	f: 四角形状に鍛造
15	88	2面構 成土	土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/6	(10.2)	(7.0)	3.1		a: 外底回転糸切 b: 赤色粒 海綿骨針 c: 表面褐灰色 内面被熱により 灰黄褐色に変色 f: 被熱 内面に溶解物付着 取瓶
15	89		土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	8.2	4.8	2.3		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨 針 泥岩粒 良土 c: 黄橙色 e: 良好
15	90		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.8)	(5.0)	2.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 黄橙色 e: 良好
15	91		土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	8.0	5.6	1.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 良土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 内底面に三条の溝
15	92		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.0)	(5.0)	1.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨 針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
15	93		磁器	青白磁 梅瓶	胴部小片	-	-	[1.9]		b: 灰白色 精良土 d: 青灰色 透明 釉層極薄い f: 渦文?
15	94		陶器	緑釉盤	口縁部小 片	-	-	[2.9]		b: 灰白色 砂粒 粗土 d: 残存部全体に緑釉施釉 f: 磁窯(泉州)
15	95		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[9.0]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 d: 縁帯～外面に黒褐色の自然 釉 e: 良好 f: 縁帯幅 4.0 cm 中野編年 7 型式か?
15	96		陶器	常滑 広口壺	口縁部片	-	-	[8.6]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 d: 内面上部および外面に茶 褐色～黄緑色の自然釉 e: 良好 f: 縁帯幅 2.3 cm 中野編年 6a 型式
15	98		骨製品	筭	-	長 [6.4]	幅 1.5	厚 0.3		f: 両端欠損
15	99		銅製品	釘	-	長 1.5	頂部幅 0.3	幅(胴) 0.2	0.2g	f: 円形に鍛造
15	100		銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.6	-	3.5g	f: 明道元寶(篆書) 北宋 1032年
15	101		土製品	ロクロ かわらけ(特 大)	1/6	(15.8)	(10.2)	3.7		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) b: 微砂 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
15	102		土製品	ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	14.2	9.0	3.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 やや粗 土 c: 橙色 e: 良好
15	103		土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/5	(13.4)	(9.0)	3.3		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 海綿骨針 泥 岩粒 粗土 c: 橙色 e: 良好
15	104		土製品	ロクロ かわらけ(中)	3/4	(12.6)	(7.6)	3.2		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 淡橙色 e: 良好
15	105		土製品	手づくね かわらけ(小)	1/2	(8.6)	-	1.9		a: 内底ナデ(横ナデ後回転状にナデ) 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 淡橙色 e: 良好
15	106	土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.6	5.3	1.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 淡橙色 e: 良好	
15	107	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.6)	(6.0)	1.4		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨 針 良土 c: 淡橙色 e: 良好	
15	108	土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	7.6	5.8	1.8		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
15	109	土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	(8.0)	(5.2)	1.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好	
15	110	土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	(7.6)	(5.0)	1.7		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨 針 礫粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好	
15	111	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.4)	(5.0)	2.1		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨 針 良土 c: 灰褐色～灰色 e: 良好 f: 二次焼成を受けたか? 内底付着 物有	
15	112	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.2)	(4.2)	2.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 黒色粒 赤色粒 海綿 骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 薄手	
15	113	土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	6.8	4.5	2.1		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 淡橙色 e: 良好	
15	114	磁器	青磁 蓮弁文碗	1/5	(16.0)	-	[5.0]		b: 灰白色 黒色粒 精良堅緻 d: 淡緑灰色 透明 釉層薄い 貫入わず かにあり f: 大宰府編年 椀Ⅲ-2c	
15	115	磁器	青磁 蓮弁文碗	口縁部片	-	-	[3.3]		b: 灰白色 d: 暗灰緑色 半透明 釉層やや厚い 気泡有り f: 大宰府編 年 椀Ⅲ-2c	
15	116	磁器	青磁 碗	口縁部小 片	-	-	[4.7]		b: 白色 黒色粒 精良堅緻 d: 淡緑色 半透明 釉層厚い 貫入有り f: 大宰府編年 椀Ⅲ-1a	
15	117	磁器	青磁 蓮弁文碗	底部完形	-	4.1	[2.4]		b: 灰白色 精良堅緻 d: 淡緑灰色 透明 釉層薄い f: 見込み印花文 f: 大宰府編年 椀Ⅱ-C	

図版	No.	出土 遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目 a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
						口径	底径	器高	重	
15	118	2面構 成土	磁器	青磁 双魚文皿	内底部小 片	-	-	[1.0]		b: 灰白色～橙色 精良堅緻 気泡わずかにあり d: 淡緑灰色 不透明 釉層厚い 貫入有り f: 見込み貼付双魚文
15	119		磁器	青磁 壺か	器形・傾 き不明	-	-	[3.0]		b: 灰白色 黒色粒 気孔わずかにあり d: 淡緑色 不透明 釉層厚い 貫入あり 内面は施釉していない箇所あり 傾き不明
15	120		磁器	青白磁 梅瓶	体部小片	-	-	[3.8]		b: 灰白色 d: 内面灰白色 半透明 釉層薄い 外面明緑灰色 半透明 釉層やや薄い 気泡あり
15	121		磁器	青白磁 梅瓶	体部小片	-	-	[3.7]		b: 灰白色 d: 内面灰白色 半透明 釉層薄い 外面明緑灰色 半透明 釉層やや薄い 気泡あり
15	122		磁器	青白磁 梅瓶	体部小片	-	-	[3.1]		b: 灰白色 d: 内面灰白色 半透明 釉層薄い 外面明緑灰色 半透明 釉層やや薄い 気泡あり
15	123		磁器	白磁 口元皿	口縁部片	-	-	[4.0]		b: 灰白色 d: 灰白色 半透明 釉層やや薄い ピンホール有 口縁部釉 掻き取り露胎 f: 大宰府編年 ⅢIX-1c
15	124		磁器	磁州窯 白地鉄絵瓶	肩部小片	-	-	[2.1]		b: 灰色 黒色粒 精良堅緻 気孔あり d: 灰色 透明 釉層薄い 内外 面施釉 f: 鉄絵
15	125		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[8.7]		a: 輪積み成形 b: 灰色 砂粒 小石粒 c: 暗赤褐色 d: 内外面に灰白色 の自然釉 f: 緑帯幅 1.4cm 中野編年 4～5 型式
15	126		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[6.6]		a: 輪積み成形 内面指頭痕 b: 黄灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 小石粒 c: 灰色 d: 外面に明灰緑色の自然釉 f: 緑帯幅 2.0cm 中野編年 5 型 式
15	127		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[8.7]		a: 輪積み成形 内面指頭痕 b: 灰色 砂粒 白色粒 赤色粒 やや良土 c: 黒色 f: 緑帯幅 1.8cm 中野編年 6a 型式
15	128		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[7.6]		a: 輪積み成形 内面指頭痕 b: 灰色 砂粒 白色粒 c: 内面赤褐色 外 面暗褐色 d: 外面に灰緑色の自然釉 f: 緑帯幅 2.0cm 中野編年 6a 型 式
15	129		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[8.5]		a: 輪積み成形 内面指頭痕横ナデ b: 灰色 砂粒 白色粒 小石粒 c: 赤褐色 d: 内外面に灰白色の自然釉 f: 緑帯幅 2.5cm 中野編年 6a 型 式
15	130		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[8.3]		a: 輪積み成形 内面横ナデ b: 灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 やや粗土 c: 暗赤褐色 d: 内外面降灰部灰緑色 f: 緑帯幅 3.1cm 中野編年 6b 型 式
15	131		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[8.4]		a: 輪積み成形 内面指頭痕 b: 灰黄色～灰色 砂粒 白色粒 c: 灰赤色 d: 内面上部降灰部灰白色 f: 緑帯幅 3.2cm 中野編年 6b 型式?
15	132		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[12.7]		a: 輪積み成形 内面指頭痕 横ナデ b: 灰色 砂粒 白色粒 c: 赤褐色 d: 内面に灰緑色の自然釉 f: 緑帯幅 3.6cm 中野編年 7 型式か?
15	133	陶器	常滑 甕	底部片	-	-	[9.8]		a: 輪積み成形 内面指頭痕 横ナデ b: 灰色 砂粒 長石 黒色粒 c: 橙色～褐灰色	
15	134	陶器	常滑 広口壺(大)	口縁部片	-	-	[4.7]		b: 灰色 砂粒 小石粒 やや粗土 c: 赤褐色 d: 内面に灰緑色の自然釉 f: 緑帯幅 1.2cm 中野編年 5 型式	
16	135	陶器	常滑 広口壺	口縁部片	(25.0)	-	[11.0]		a: 輪積み成形 b: 灰色 砂粒 長石 c: 暗赤褐色 f: 内外面に白緑色の 自然釉 緑帯幅 1.7cm 中野編年 5 型式	
16	136	陶器	常滑 壺	胴部片	-	-	[4.4]		a: 内面指頭痕 b: 灰黄色 白色粒 小石粒 良土 c: 内面褐色 外面褐 灰色	
16	137	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[4.0]		b: 灰色 白色粒 黒色粒 やや粗土 c: 灰色 d: 内面降灰	
16	138	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部片	-	-	[4.7]		a: 輪積み成形 外面底部回転へら削り 付け高台 b: 黄灰色 砂粒 小 石粒 やや粗土 c: 灰色 f: 内面摩耗	
16	139	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部片	-	-	[5.4]		a: 輪積み成形 外面底部回転へら削り 付け高台 b: 灰色 砂粒 黒色 粒 小石粒 粗土 c: 灰色 f: 内面摩耗	
16	140	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部片	-	-	[5.9]		a: 輪積み成形 外面底部回転へら削り 付け高台 b: 灰色 砂粒 白色 粒 黒色粒 小石粒 粗土 c: 灰色 f: 内面摩耗 外面緑色と茶色付着 物	
16	141	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[6.2]		b: 灰色 砂粒 白色粒 c: 赤褐色 d: 内面降灰部灰緑色 半透明	
16	142	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[5.2]		b: 褐灰色 砂粒 白色粒 やや粗土 c: 赤褐色 d: 降灰部明灰緑色	
16	143	陶器	瀬戸 折縁深皿	1/7	-	-	[7.0]		b: 灰白色 砂粒 やや粗土 d: 灰釉 ハケヌリ 薄い e: 良好 軟質 f: 古瀬戸中Ⅰ～Ⅱ期	
16	144	陶器	瀬戸 折縁深皿	口縁部小 片	-	-	[3.2]		b: 灰黄色 白色粒 精良土 d: 灰釉 ナガシガケ (内面ハケヌリ?) f: 古瀬戸中Ⅱ～後Ⅰ期	
16	145	陶器	瀬戸 筒型香炉(?)	下体部小 片	-	-	[3.0]		b: 灰白色 精良土 d: 灰釉(淡緑灰色)ナガシガケ 内面は体部のみハ ケヌリ? e: 良好 硬質 f: 外面印花文 古瀬戸中期後半以降	
16	146	陶器	瀬戸 入子	1/6	(6.9)	(3.8)	2.2		b: 灰色 e: 良好 硬質 d: 口縁部灰白色自然釉	
16	147	陶器	瀬戸 入子	底部	-	(4.3)	[2.5]		a: 底部回転糸切(右回転) b: 灰色 e: 良好 硬質	
16	148	土製品	瓦質 火鉢	口縁部片	-	-	[5.4]		b: にぶい黄橙色 砂粒 赤色粒 やや良土 c: 橙色 f: 河野分類ⅠC類	
16	149	土製品	瓦器質 輪花火鉢	胴部片	-	-	[5.6]		a: 内面指頭痕 b: 灰白色 砂粒 白色粒 黒色粒 c: 灰色 f: 外面押印 菊花文 河野分類Ⅲ類	
16	150	土製品	瓦質土器 器蓋	-	最大長 3.4	最大幅 [3.4]	残存厚 [2.5]		a: 外面磨き b: 黄灰色 微砂 c: 黒色	
16	151	土製品	磨りかわらけ	-	最大長 [3.05]	最大幅 [3.05]	最大厚 [0.7]		b: 微砂 雲母 c: 黄褐色 e: 良好 f: 側面を擦っている	
16	152	土製品	磨りかわらけ	-	最大長 [2.45]	最大幅 [3.05]	最大厚 [0.5]		b: 微砂 雲母 c: 橙色 e: 良好 f: 側面を擦っている	
16	153	土製品	磨りかわらけ	-	最大長 [2.3]	最大幅 [2.3]	最大厚 [0.5]		b: 微砂 雲母 c: 橙色 e: 良好 f: 側面を擦っている	

図版	No.	出土 遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
16	154	2面構成土	土製品	磨りかわらけ	-	最大長 [2.8]	最大幅 [3.4]	最大厚 [0.5]		b: 微砂 雲母 赤色粒 黒色粒 良土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 側面を擦っている
16	155		土製品	磨りかわらけ	-	最大長 [2.8]	最大幅 [3.0]	最大厚 [0.5]		b: 微砂 雲母 c: 黄橙色 e: 良好 f: 側面を擦っている
16	156		土製品	磨りかわらけ	-	最大長 [2.65]	最大幅 [3.5]	最大厚 [0.5]		b: 微砂 雲母 c: 黄橙色 e: 良好 f: 側面を擦っている
16	157		陶器	磨り常滑	-	最大長 [8.8]	最大幅 [7.0]	最大厚 [1.5]		b: 灰色 砂粒 白色粒 c: 褐色 f: 一面擦られている
16	158		陶器	磨り常滑	-	最大長 [7.8]	最大幅 [5.0]	最大厚 [1.0]		b: 淡黄色 砂粒 白色粒 赤色粒 小石粒 石粒 c: にぶい赤褐色 f: 2面擦っている
16	159		陶器	磨り常滑	-	最大長 [6.4]	最大幅 [4.3]	最大厚 [1.3]		b: 灰色 砂粒 長石 c: 裏面一部褐色 d: 一部灰緑色の釉 f: 表面及び側面を擦っている
16	160		石製品	硯	-	最大長 [4.4]	最大幅 [2.5]	最大厚 1.35		c: 黒色 f: 鳴滝産
16	161		石製品	砥石	-	最大長 [10.9]	最大幅 [9.6]	最大厚 [9.3]		c: 灰白色 一部黄橙色 赤色 灰色 f: 天草産? 上面3面加工 下面1面加工部分残存
16	162		石製品	砥石	-	最大長 [8.2]	最大幅 [6.4]	最大厚 [6.35]		c: 淡橙色 灰褐色 f: 天草産 中砥 3面を擦っている
16	163		石製品	砥石	-	最大長 [5.2]	最大幅 4.15	最大厚 1.45		c: 淡黄色 灰白色 黄橙色 褐色 f: 伊予産 中砥 3面擦る
16	164		石製品	砥石	-	最大長 [3.4]	最大幅 [2.9]	最大厚 [2.2]		c: 赤褐色 f: 天草産 中砥 3面を擦っている
16	165		石製品	砥石	-	最大長 [5.0]	最大幅 [3.3]	最大厚 [3.2]		c: 黄橙色 f: 出羽産 仕上砥 2面擦る
16	166		石製品	軽石 加工品	-	最大長 [10.6]	最大幅 [8.0]	最大厚 7.75		c: 黄灰色 f: 上下面に面加工有
16	167		骨製品	筭	小片	長 [3.5]	最大幅 [1.55]	最大厚 [0.3]		
16	168		骨製品	辻具?	小片	長 [3.0]	幅 [5.7]	厚 [0.5]		f: 刻線による模様
17	169		鉄製品	刀子	-	長 [7.1]	幅 1.8	厚 0.3	15.6g	f: 両端部欠損
17	170		鉄製品	釘	-	長 11.6	幅 0.4	厚 0.3	8.7g	f: 四角形状に鍛造
17	171		鉄製品	釘	-	長 9.6	幅 0.4	厚 0.3	7.1g	f: 四角形状に鍛造
17	172		鉄製品	釘	-	長 5.5	幅 0.6	厚 0.5	6.8g	f: 四角形状に鍛造
17	173	鉄製品	釘	-	長 5.0	幅 0.5	厚 0.25	3.0g	f: 四角形状に鍛造	
17	174	鉄製品	釘	-	長 5.0	幅 0.3	厚 0.3	3.0g	f: 四角形状に鍛造	
17	175	鉄製品	釘	-	長 [4.3]	幅 0.5	厚 0.2	2.3g	f: 四角形状に鍛造 先端部欠損	
17	176	鉄製品	不明	-	長 7.6	Φ 0.3	-	3.1g	f: 円柱状	
17	177	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.5	-	3.3g	f: 天禧通寶 北宋 1017年	
17	178	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.7	-	3.5g	f: 天聖元寶(篆書) 北宋 1023年	
17	179	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.7	-	3.0g	f: 皇宋通寶(篆書) 北宋 1038年	
17	180	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.6	-	3.0g	f: 皇宋通寶(真書) 北宋 1038年	
17	181	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	2.9g	f: 嘉祐通寶(真書) 北宋 1056年	
17	182	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.4g	f: 熙寧元寶(篆書) 北宋 1068年	
17	183	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	3.2g	f: 熙寧元寶(篆書) 北宋 1068年	
17	184	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.7	-	2.9g	f: 熙寧元寶(篆書) 北宋 1068年	
17	185	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.3g	f: 熙寧元寶(篆書) 北宋 1068年	
17	186	銅製品	銭	完形	直径 1.7	内孔 0.6	-	1.6g	f: 熙寧元寶(篆書) 北宋 1068年 外縁削り取り	
17	187	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.3g	f: 元豐通寶(篆書) 北宋 1078年	
17	188	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.9g	f: 元豐通寶(行書) 北宋 1078年	
17	189	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	3.9g	f: 元豐通寶(行書) 北宋 1078年	
17	190	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.6	-	3.8g	f: 元祐通寶(篆書) 北宋 1086年	

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
17	191	2面構成土	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.0g	f: 紹聖元寶(篆書) 北宋 1094年
17	192		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.3g	f: 聖宋元寶(行書) 北宋 1101年
17	193		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.9g	f: 聖宋元寶(篆書) 北宋 1101年
20	1	139	磁器	青白磁器種不明	脚部片	-	-	[2.0]		b: 白色 精良土 d: 青白色 不透明 釉層極薄い 高台内面露胎
20	2	139	石製品	砥石	-	最大長 [2.8]	最大幅 [3.2]	最大厚 0.7		c: 淡黄白色 f: 備水産 仕上砥 砥面二面
20	3	143	土製品	鏝釜	鏝部片	-	-	[2.5]		b: 灰色 長石 小石粒 c: 黄褐色 e: 良好 f: 内面煤付着
20	4	146	石製品	泥岩加工品	-	最大長 8.3	最大幅 5.4	最大厚 4.9		f: 表面に刃物痕あり
20	5	147	土製品	ロクロかわらけ(大)	1/4	(13.6)	(9.0)	2.8		a: 外底回転系切 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好
20	6	156	磁器	青磁連弁文碗	1/2	(12.2)	3.2	5.4		b: 灰白色 黒色粒 精良堅緻 d: 淡緑色 半透明 釉層厚い f: 大宰府編年 碗III-2c
20	7	158	鉄製品	釘	-	長 [4.7]	幅 0.4	厚 0.25	2.2g	f: 四角形状に鍛造 先端部欠損
20	8	159	土製品	ロクロかわらけ(小)	1/2	(7.8)	5.4	1.5		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや粗土 c: 黄褐色~灰色 e: 良好 f: 内面及び外面~底部 1/2 灰色に変色
20	9	159	陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[7.2]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 暗褐色 e: 良好 f: 緑帯幅 1.7 cm 中野編年? 型式
20	10	159	陶器	常滑甕	口縁部片	(26.6)	-	[5.7]		a: 輪積み成形 b: 橙色~灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 茶褐色 e: 良好 f: 緑帯幅 2.2 cm 中野編年? 型式
20	11	159	陶器	常滑甕	底部片	-	(14.0)	[9.8]		a: 輪積み成形 b: 橙色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 赤褐色 e: 良好
20	12	159	陶器	常滑片口鉢I類	口縁部片	(27.0)	-	[9.5]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 礫粒 c: 灰色 d: 内外面に自然釉 e: 良好
20	13	159	鉄製品	器種不明	-	長 [3.9]	幅 0.5	厚 0.4	1.1g	f: 先端部欠損 円柱状か
20	14	160	磁器	青磁花生か	頸部小片?	-	-	[3.2]		a: 文様貼付け b: 灰白色 黒色粒 気孔あり 精良堅緻 d: 淡緑色 不透明 釉層厚い 貫入あり f: 外面被熱か
20	15	160	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.4g	f: 太平通寶 北宋 976年
20	16	163	土製品	ロクロかわらけ(小)	ほぼ完形	8.0	5.5	1.8		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 黄褐色 e: 良好
20	17	163	土製品	ロクロかわらけ(小)	1/5	(7.8)	(5.4)	1.7		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 黄褐色 e: 良好
20	18	163	土製品	ロクロかわらけ(小)	ほぼ完形	8.0	6.5	1.8		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 良土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 口縁部に煤付着
20	19	163	土製品	ロクロかわらけ(極小)	1/4	(4.4)	(3.8)	0.7		a: 外底回転系切(右回転) b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好
20	20	163	陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[13.2]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 赤褐色 d: 口縁部と外面に灰釉 e: 良好 f: 緑帯幅 3.2 cm
20	21	163	陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[7.9]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 赤褐色~灰緑色 d: 外面に自然釉 e: 良好 f: 緑帯幅 2.9 cm
20	22	163	陶器	常滑甕	底部片	-	(15.6)	[10.0]		a: 輪積み成形 外面下部へラ調整 b: 暗灰色 長石 石英 c: 赤褐色 e: 良好
20	23	163	陶器	磨り常滑	-	最大長 8.1	最大幅 11.5	最大厚 1.2		b: 黄灰色 微砂 長石 c: 黄灰色 f: 断面一部にスリ痕あり
20	24	163	土製品	瓦質火鉢	口縁部片	-	-	[5.6]		b: 灰白色 微砂 黒色粒 c: 灰色 e: 良好
20	25	163	石製品	砥石		残存長 [8.5]	残存幅 [4.5]	残存厚 [0.9]		c: 淡黄灰色 f: 鳴滝産 仕上砥 頁岩 2面使用 両側面木口一カ所残る
20	26	163	石製品	砥石	-	最大長 [3.1]	最大幅 [2.5]	最大厚 3.0		c: 淡赤灰色~淡青灰色 f: 天草産 中砥 砥面三面
20	27	164	陶器	常滑甕	口縁部片	-	-	[9.7]		a: 輪積み成形 b: 灰褐色 微砂 長石 石英 c: 茶褐色 e: 良好 f: 緑帯幅 3.0 cm 中野編年? 型式
20	28	164	陶器	常滑広口壺(大)	口縁部片	(19.0)	-	[2.3]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 黒褐色 d: 内面に灰緑色の自然釉 e: 良好 f: 緑帯幅 1.3 cm 中野編年 6a 型式か
20	29	164	陶器	常滑片口鉢I類	口縁部片	-	-	[4.3]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 c: 灰色 d: 口縁頂部~内面に緑灰色の自然釉 e: 良好
20	30	164	陶器	常滑片口鉢I類	口縁部~底部片	(22.8)	(12.2)	9.1		a: 輪積み成形 外面下部へラ削り b: 灰色 長石 石英 礫粒 c: 灰色 d: 口縁~内面に自然釉 e: 良好
20	31	164	陶器	常滑片口鉢I類	底部片	-	(13.6)	[6.2]		a: 輪積み成形 外面下部へラ削り b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 灰色 e: 良好
20	32	164	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.6	-	3.1g	f: 咸平元寶(真書) 北宋 998年
20	33	164	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.7	-	2.0g	f: ■■通寶(真書) 北宋 1054年
22	34	3面遺構外	土製品	ロクロかわらけ(大)	3/4	13.6	7.8	3.8		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 良土 c: 橙色 e: 良好

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
22	35	3面遺構外	土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	(12.8)	(9.0)	3.3		a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
22	36		土製品	ロクロ かわらけ(中)	ほぼ完形	11.0	6.4	3.0		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 粗土 c: 橙色～黄橙色(被熱による色ムラ有) e: 良好(部分的に被熱)
22	37		土製品	ロクロ かわらけ(中)	3/4	10.9	6.5	3.1		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 良土 c: 橙色 e: 良好
22	38		土製品	内折れ かわらけ(極小)	1/2	5.0	4.4	0.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好
22	39		磁器	白磁 合子蓋	天井部～ 体部小片	-	-	[0.9]		a: 型押し b: 白色 精良堅緻 d: 外面無色 透明 釉層薄い 内面無釉
22	40		磁器	白磁 口元皿(紅付着)	1/8	(9.6)	-	[1.4]		b: 灰白色 黒色粒 精良堅緻 d: 灰白色 透明 口縁部釉剥ぎ取り f: 口縁露出部に紅付着(施釉部に付着したものは消えかけている) 大宰府編年 IIIIX-1c
22	41		磁器	白磁 鉄絵瓶	体部小片	-	-	[3.7]		b: 灰黄色 白色粒 精良堅緻 気孔あり 陶器質に近い d: 灰色 透明 釉層薄い 内面無釉 f: 鉄絵
22	42		陶器	褐釉 器種不明	底部片	-	(5.4)	1.4		a: 内外面横ナデ b: 灰褐色 精緻 d: 褐釉 外面体部ツケガケ(又はナガシカケ)
22	43		陶器	常滑 甕	口縁部小片	-	-	[2.1]		b: 黄灰色 砂 白色粒 c: 暗褐色 f: 緑帯部に磨ったような痕跡有 緑帯幅 1.0cm 中野編年 5 型式
22	44		陶器	常滑 甕	口縁～ 頸部小片	-	-	[11.0]		a: 輪積み成形 b: 灰色 砂 黒色粒 長石粒 c: 内面黒褐色 d: 外面降灰部緑灰色 f: 緑帯幅 2.6cm 中野編年 5 型式
22	45		陶器	常滑 甕	口縁部小片	-	-	[6.8]		b: 灰白色 長石粒 c: 内面暗褐色 d: 外面降灰部緑灰色 f: 緑帯幅 1.8cm 中野編年 6a 型式
22	46		陶器	常滑 甕	底部片	-	(19.2)	[4.7]		a: 内面横方向ナデ 外面底部脇へラナデ b: 黄灰色 砂 長石粒 c: 外面体部暗褐色 外面底部褐色 d: 内面降灰部暗褐色
22	47		陶器	常滑 広口壺	口縁部片	-	-	[2.6]		b: 黄灰色 砂 長石粒 c: 暗赤褐色 f: 緑帯幅 1.3cm 中野編年 4～5 型式
22	48		陶器	常滑 玉縁壺	口縁部小片	(8.8)	-	[3.3]		b: 黄灰色 白色粒 c: 内面褐色 外面黒褐色 d: 外面降灰部緑灰色
22	49		陶器	常滑 壺	底部片	-	-	[5.0]		a: 内面指頭調整後ナデ 外面体部指頭調整後縦方向ナデ 底部脇横ナデ b: 灰色 長石粒 c: 暗赤褐色
22	50		陶器	常滑 鳶口壺	底部片	-	(9.4)	[3.8]		b: 灰色 砂 長石粒 c: 黒褐色
22	51		陶器	常滑 片口鉢か	口縁部小片	-	-	[2.1]		a: 横ナデ b: 灰色 砂 白色粒 c: 褐色 d: 降灰付着
22	52		陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部小片	-	-	[5.2]		a: 外面縦方向の横ナデ b: にぶい橙色～黄灰色 長石粒 c: 内面褐釉 外面にぶい褐色 d: 内面降灰部灰色 f: 口縁以外Ⅱ類
22	53		陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部小片	-	-	[4.2]		a: 口縁部横ナデ b: 褐色 砂 長石粒 c: 内外面褐色 f: 口縁以外Ⅰ類
22	54	陶器	(常滑?) 山茶碗	口縁部片	-	-	[2.9]		b: 暗灰色 長石粒 c: 暗褐色 e: 良好	
22	55	陶器	瀬戸 水注	肩部小片	-	-	[1.8]		b: 灰白色 d 外面: 灰釉ハケヌリ 釉層薄い e: 良好 f: 押印 花文+条線文 前Ⅲ～中Ⅰ期	
22	56	陶器	瀬戸 御皿	底部小片	-	-	[1.1]		a: 外底系切痕 b: 灰白色 d: 緑灰色の灰釉 外面上体部・内面ツケガケ 釉層薄い e: 良好	
22	57	陶器	瀬戸 御皿	底部小片	-	-	[1.5]		a: 外底系切痕 b: にぶい黄橙色 d: 灰白色の灰釉 ハケヌリ 釉層薄い e: 良好 f: 前期～中期前半	
22	58	土製品	土器質火鉢	口縁部小片	-	-	[4.4]		a: 内面～口縁部横ナデ 外面胴部指頭調整後ナデ b: にぶい橙色 砂 赤色粒 e: 良好	
22	59	土製品	土器質火鉢	口縁部小片	-	-	[4.8]		a: 内面～口縁部横ナデ 外面胴部指頭調整後ナデ b: 明黄褐色～にぶい橙色 中心部分灰色 砂 f: 二次焼成による色ムラ有 河野分類ⅠC類	
22	60	土製品	瓦器質火鉢	口縁部小片	-	-	[5.7]		b: 浅黄橙～灰白色 砂 小石 e: 良好 f: 体部押印菊花文 河野分類Ⅲ類	
22	61	土製品	瓦器質火鉢	口縁部小片	-	-	[5.5]		b: 浅黄橙～灰色 砂 赤色粒 小石 e: 良好 f: 体部押印菊花文 河野分類Ⅲ類 イー83と同一個体の可能性有り	
22	62	土製品	瓦器質火鉢	口縁部小片	-	-	[7.1]		a: 内面～口縁部横方向ミガキ b: 灰色 砂 黒色粒 気泡が多い e: 良好 f: 押印菊花文 河野分類Ⅲ類	
22	63	土製品	軒丸瓦	瓦頭部小片	-	-	[5.4]		b: 灰白色 微砂 小石粒 c: 灰色 f: 瓦当部、蓮華文	
22	64	石製品	滑石製鍋 加工品		最大長 [7.0]	最大幅 [5.9]	最大厚 [2.2]		f: 滑石製鍋の銚から下体部にかけて直線的に工具で切断一カ所、他の断面は割れ	
22	65	石製品	砥石		最大長 [6.5]	最大幅 [4.7]	最大厚 [2.4]		c: 淡黒橙色 f: 天草産 中砥 4面使用 両木口欠損	
22	66	鉄製品	刀子	-	長 [4.6]	幅 1.0	厚 0.25	3.0g	f: 両端部欠損	
22	67	鉄製品	火箸	-	長 36.0	Φ 0.4	-	25.7g		
22	68	鉄製品	釘	-	長 9.4	幅 0.7	厚 0.4	21.3g	f: 四角形状に鍛造	
22	70	鉄製品	釘	-	長 6.6	幅 0.4	厚 0.3	7.3g	f: 四角形状に鍛造	
22	71	鉄製品	釘	-	長 [5.7]	幅 0.5	厚 0.3	8.9g	f: 四角形状に鍛造 先端部欠損	



図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
22	72	3面遺構外	鉄製品	釘	-	長 4.7	幅 0.3	厚 0.2	2.8g	f: 四角形状に鍛造
22	73		鉄製品	釘	-	長 6.1	幅 0.5	厚 0.3	3.8g	f: 四角形状に鍛造
22	69		鉄製品	器種不明	-	長 7.5	幅 0.4	厚 0.2	4.7g	f: 四角形状に鍛造
22	74		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.6g	f: 元祐通寶
22	75		銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.7	-	2.9g	f: 嘉祐通寶
22	76		銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.6	-	3.2g	f: 皇宋通寶
22	77		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.6g	f: 元豊通寶(行書)
22	78		銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.2g	f: 元豊通寶(篆書)
23	79	3面構成土	土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(11.8)	(6.2)	3.3		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 良土 c: 黄橙色 e: 良好
23	80		土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/4	(11.8)	(6.8)	3.2		a: 内底ナデ 外底回転系切 b: 微砂 雲母 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好
23	81		土製品	ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	12.3	8.5	3.3		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 口縁部に煤付着
23	82		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(8.6)	(6.4)	1.7		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 黄橙色 e: 良好
23	83		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(8.4)	(5.4)	1.6		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 良土 c: 黄橙色 e: 良好
23	84		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(8.6)	(6.4)	1.8		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨 針 良土 c: 黄橙色 e: 良好
23	85		土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	7.7	6.4	1.8		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
23	86		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(8.4)	(6.0)	1.8		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 黄橙色 e: 良好
23	87		土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	5.2	4.0	1.0		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 灰褐色 e: 良好
23	88		土製品	内折れ かわらけ(小)	2/3	(7.0)	(6.0)	1.2		a: 外底系切か? b: 微砂 雲母 赤色粒 橙色土 粗土 c: 淡褐色 e: 良好 f: 外底部ミガキ調整?
23	89		土製品	手づくね かわらけ(小)	1/2	(9.2)	-	1.8		a: 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗 土 c: 黄橙色 e: 良好
23	90		土製品	内折れ かわらけ(小)	1/2	(5.6)	-	[0.9]		a: 手捏ね 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 良土 c: 灰白色 e: 良好 硬質 f: 内底一部煤付着
23	91		磁器	青白磁 合子蓋	体部小片	-	-	[1.2]		a: 型押し b: 灰白色 精良堅緻 d: 水青色 透明 内面は釉層薄い f: イ-98と同一個体の可能性
23	92		磁器	青白磁 合子蓋	天井部小 片	-	-P662	[0.9]		a: 型押し b: 灰白色 精良堅緻 d: 水青色 透明 内面は釉層薄い
23	93		磁器	青白磁 袴腰形香炉か	口縁~ 脚部小片	-	-	[5.9]		b: 白色 精良堅緻 d: 水青色 不透明 釉層薄い f: 被熱か
23	94		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[4.1]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 茶褐色 e: 良好 f: 緑帯幅 1.7 cm 中野編年 5 型式
23	95		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[10.0]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 黒褐色 d: 口縁部 および外面に灰緑色の自然釉 e: 良好 f: 緑帯幅 2.1 cm 中野編年 5 型 式
23	96		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[10.5]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 c: 黒褐色 d: 口縁部および 外面に灰緑色の自然釉 e: 良好 f: 緑帯幅 2.0 cm 中野編年 5 型式
23	97		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[10.5]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 茶褐色 d: 口縁~ 外面に灰緑色の自然釉 外面やや厚め e: 良好 f: 緑帯幅 1.9 cm 中野 編年 5 型式
23	98		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[10.5]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 茶褐色 d: 緑帯~ 外面に灰緑色の自然釉 やや厚め e: 良好 f: 緑帯幅 1.9 cm 中野編年 5 型式
23	99	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[9.2]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 c: 茶褐色 d: 口縁内面上部 に黄緑茶色の自然釉やや厚い 外面薄い e: 良好 f: 緑帯幅 2.6 cm 緑 帯上部に何かを押しつけた痕跡 中野編年 6a 型式	
23	100	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[4.4]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 黒灰色 e: 良好 f: 緑帯幅 2.0 cm 中野編年 6a 型式	
23	101	陶器	常滑 広口壺	口縁部片	(22.6)	-	[6.0]		a: 輪積み成形 b: 灰茶色 微砂 長石 礫粒 c: 赤褐色 e: 良好 f: 緑 帯幅 1.0 cm 中野編年 5 型式	
23	102	陶器	常滑 広口壺	口縁部片	-	-	[6.7]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 暗褐色 d: 緑帯~ 外面に緑灰色~褐色の自然釉 e: 良好 f: 緑帯幅 1.8 cm 口縁部 1 cm代 付着物 中野編年 6a 型式	
23	103	陶器	常滑 広口壺	口縁部片	-	-	[5.7]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 灰茶色 d: 外面に 緑灰色の自然釉 e: 良好 f: 緑帯幅 1.7 cm 中野編年 5 型式	
23	104	陶器	常滑 片口碗	口縁部片	-	-	[3.5]		b: 灰色 微砂 長石 石英 c: 茶褐色 e: 良好 f: 中野編年 4 型式?	

図版	No.	出土 遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
23	105	3面構 成土	陶器	常滑 器種不明	底部片	-	(8.8)	[3.1]		a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
23	106		陶器	尾張型山皿	1/4	(8.2)	(5.6)	1.4		a: 外底回転糸切(右回転) b: 灰色 微砂 白色粒 c: 暗灰色 d: 内面 灰緑色自然釉 e: 良好
23	107		陶器	渥美湖西 山茶碗	底部片	-	-	[3.4]		a: 付け高台 b: 微砂 白色粒 c: 灰色 e: 良好
23	108		陶器	瀬戸 天目茶碗	底部 約2/3	-	5.0	[4.9]		a: 外底糸切痕 b: 灰白色 やや粗 d: 鉄釉ツケガケ又はナガシガケ、無釉 部分は鉄化粒 e: 良好 軟質 f: 古瀬戸中II期か
23	109		陶器	瀬戸 卸皿	口縁部～ 底部小片	-	-	3.4		a: 外底糸切痕 b: 灰白色 精良土 d: 内面全体～外面上部に灰釉を施 釉 ハケヌリ 釉層薄い e: 良好 軟質 f: 古瀬戸前期後半か
23	110		陶器	瀬戸 入子	ほぼ完形	3.1	2.1	0.7		a: 外底ケズリ b: 灰白色 精良 d: 内面降灰部淡緑灰色 e: 良好 硬質
23	111		土製品	土器質 火鉢	口縁部片	-	-	[4.5]		b: 灰黒色 粗砂 礫粒 c: 灰白色 e: 良好 f: 河野分類 I A 類
23	112		土製品	土器質 火鉢	口縁部片	-	-	[3.6]		b: 灰黒色 粗砂 c: 灰白色 e: 良好 f: 河野分類 I C 類
23	113		土製品	瓦質 火鉢	胴部片	-	-	[4.7]		b: 灰白色 粗砂 黒色粒 c: 暗灰色 e: 良好 f: 黒色処理 押印菊花文 河野分類 III 類
23	114		土製品	瓦器質 黒縁皿	口縁部片	-	-	[2.5]		b: 灰色 微砂 c: 灰色 e: 良好 f: 口縁頂部～外面上部灰黒色
23	115		土製品	伊勢系土鍋	口縁部片	-	-	[1.5]		b: 灰白色 微砂 白色粒 c: 灰白色 e: 良好
23	116		土製品	伊勢系土鍋	口縁部片	-	-	[2.2]		b: 暗灰色 微砂 雲母 長石 c: 灰白色 e: 良好
23	117		石製品	滑石 温石か	-	最大長 [6.3]	最大幅 8.0	最大厚 1.5		f: 加工痕有
23	118		石製品	滑石製品	完形	長 5.2	幅 3.3	厚 1.6		c: 灰色 f: 上部中央に穿孔あり
23	119		石製品	基石	完形	直径 1.8	-	厚 0.45		c: 黒色
23	120		石製品	基石	完形	直径 1.9	-	厚 0.5		c: 黒色
23	121		石製品	砥石	-	最大長 [6.3]	最大幅 4.1	最大厚 [0.9]		c: 橙色 f: 産地不明 仕上砥 両側面に加工痕あり 砥面一面
23	122		石製品	砥石	-	最大長 [9.2]	最大幅 3.3	最大厚 1.6		c: 淡黄灰色 f: 鳴滝産 仕上砥 両側面に加工痕 砥面一面
23	123		骨製品	器種不明	-	最大長 [1.8]	最大幅 [2.0]	最大厚 [0.4]		f: 刻みによる模様
23	124	鉄製品	火打金	-	最大長 [3.0]	最大幅 [8.8]	最大厚 [0.3]	32.0g	f: 剥離している	
23	125	鉄製品	釘	-	長 8.0	幅 0.4	厚 0.2	2.9g	f: 四角形状に鍛造	
23	126	鉄製品	釘	-	長 7.1	幅 0.3	厚 0.2	3.2g	f: 四角形状に鍛造	
23	127	鉄製品	釘	-	長 7.0	幅 0.3	厚 0.2	2.1g	f: 四角形状に鍛造	
23	128	鉄製品	釘	-	長 6.7	幅 0.5	厚 0.4	7.1g	f: 四角形状に鍛造	
23	129	鉄製品	釘か	-	長 [4.7]	Φ 0.6	-	3.9g	f: 円柱状	
23	130	鉄製品	釘	-	長 [3.0]	幅 0.6	厚 0.7	3.6g	f: 四角形状に鍛造 先端部欠損	
23	131	鉄製品	不明	-	長 3.9	幅 [3.1]	厚 0.2	9.1g		
23	133	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	2.7g	f: 開元通寶 唐	
23	134	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.9g	f: 祥符通寶 北宋 1008 年	
23	135	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.7	-	3.6g	f: 皇宋通寶 北宋 1038 年	
23	136	銅製品	銭	完形	直径 2.3	内孔 0.7	-	2.6g	f: 乾元重寶 唐 758 年	
23	137	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.3g	f: 紹聖元寶(行書) 北宋 1094 年	
23	138	銅製品	銭	一部欠損	直径 2.5	-	-	2.1g	f: 紹聖元寶(篆書) 北宋 1094 年	
23	132	銅製品	不明	-	長 2.6	幅 2.5	高 0.6	3.0g		
26	1	231	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(8.2)	(5.8)	1.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切 b: 微砂 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや 粗土 c: 橙色 e: 良好
26	2	231	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.8)	(5.2)	1.3		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海 綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
26	3	231	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.8)	4.8	1.8		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 雲母 赤色粒 海綿 骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
26	4	231	土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	(7.2)	5.0	1.65		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海 綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 窪み有

図版	No.	出土 遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
26	5	231	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(8.2)	(5.6)	1.7		a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
26	6	231	土製品	ロクロ かわらけ(極 小)	1/5	(4.4)	(2.0)	0.8		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
26	7	231	土製品	手づくね かわらけ(小)	ほぼ完形	9.3	-	1.9		a: 内底ナデ 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや良土 c: 黄橙色 e: 良好
26	8	231	土製品	手づくね かわらけ(小)	1/3	(9.0)	-	[1.5]		a: 内底ナデ 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好
26	9	231	磁器	青磁 劃花文碗	口縁部片	-	-	[2.4]		a: 内面劃花文 b: 灰色 精良堅緻 d: 灰緑色 半透明 釉層やや薄い f: 大宰府編年 碗 I -2(b?)
26	10	231	磁器	青磁 柳掻文皿	底部片	-	-	[1.0]		b: 灰色 黒色粒 精良堅緻 d: 緑灰色 半透明 釉層薄い 気泡あり f: 内底に柳掻文 f: 大宰府編年 同安窯系皿 I -1b
26	11	231	磁器	青磁 劃花文碗	胴部片	-	-	[2.2]		b: 灰色 白色粒 黒色粒 緻密 d: 灰緑色 半透明 釉層やや薄い f: 大宰府編年 碗 I -2(b?)
26	12	231	磁器	青白磁 合子蓋	天井部片	-	-	[9.9]		a: 型押し b: 明灰色 黒色粒 精良堅緻 d: 緑灰色 釉層薄い 不透明 貫入 気泡あり
26	13	231	磁器	青白磁 合子	身の破片	(9.0)	-	[1.9]		a: 型押し b: 灰白色 黒色粒 精良堅緻 d: 明緑灰色 半透明 釉層やや薄め
26	14	231	磁器	白磁 椀	底部片	-	(5.6)	[2.3]		b: 白色 緻密 d: 灰白色 釉層極薄い 高台無釉
26	15	231	磁器	白磁 鉄絵の小壺	肩部片	-	-	[3.3]		b: 灰色 黒色粒 精良堅緻 d: 灰白色 釉層やや薄め 不透明 f: 鉄絵で文様の一部を残す
26	16	231	陶器	常滑 甕	口縁部 ~頸部	-	-	[13.5]		b: 灰褐色 黒色粒 白色粒 c: 暗赤褐色 d: 外面降灰部黄灰色 f: 緑帯幅 1.6cm 中野編年 5 型式
26	17	231	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[8.9]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 礫粒 c: 黒褐色 d: 緑帯~外面に緑灰色の自然釉 e: 良好 f: 緑帯幅 2.2 cm 中野編年 6a 型式
26	18	231	陶器	常滑 甕	口縁 ~肩部片	-	-	[14.9]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 小礫粒 c: 赤褐色 d: 口縁上部~外面に茶褐色~緑灰色の自然釉 e: 良好 f: 緑帯幅 2.7 cm 中野編年 6a 型式
26	19	231	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[10.0]		a: 輪積み成形 b: 微砂 雲母 長石 石英 c: 赤褐色 d: 口縁内外面に自然釉 e: 良好 f: 緑帯幅 2.9 cm 中野編年 6a 型式
26	20	231	陶器	常滑 甕	底部片	-	-	[5.7]		b: 灰色~黄灰色 微砂 長石 c: 赤褐色 d: 内面に淡茶色~緑灰色の自然釉 e: 良好
26	21	231	陶器	常滑 甕	底部片	-	-	[4.7]		a: 輪積み成形 b: 灰色 長石 小礫粒 c: 赤褐色 d: 内面~内底面に茶褐色~緑灰色の自然釉 内底面降灰 e: 良好 f: 窯道具か? 外底に付着物有
26	22	231	陶器	常滑 甕	底部片	-	15.0	[6.9]		a: 輪積み成形 外底部脇へラケズリ b: 灰色 微砂 長石 小礫粒 c: 暗灰色~赤褐色 d: 内面降灰部暗灰色~緑灰色 e: 良好
26	23	231	陶器	常滑 広口壺	口縁部片	-	-	[3.3]		b: 浅黄色 微砂 白色粒 黒色粒 小石粒 c: 褐色 f: 緑帯幅 1.0cm 中野編年 5 型式
26	24	231	陶器	常滑 壺	口縁部片	-	-	[3.7]		b: 灰色 微砂 長石 c: 灰褐色 e: 良好
26	25	231	陶器	常滑 小壺	胴 ~底部片	-	(6.1)	[6.5]		b: 灰色 微砂 長石 c: 黒褐色 d: 肩外部・内底部に自然釉 e: 良好
26	26	231	陶器	常滑 片口鉢 I 類	底部片	-	-	[5.2]		a: 輪積み 外面下部にへラケズリ調整 b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 灰色 d: 内面下部に緑灰色の自然釉 e: 良好
26	27	231	陶器	常滑 片口鉢 II 類	口縁部片	-	-	[5.5]		a: 輪積み成形 b: 暗灰色 微砂 長石 c: 赤褐色 e: 良好
26	28	231	陶器	磨り常滑	-	最大長 9.1	最大幅 5.8	最大厚 1.0		b: 灰色 微砂 雲母 長石 c: 赤褐色 e: 良好 f: 割れ口一側面にスリ痕有
26	29	231	陶器	渥美 片口鉢	口縁部片	-	-	[3.0]		b: 灰白色 微砂 白色粒 黒色粒 c: 黄灰色
26	30	231	陶器	東遠 山皿か	底部片	-	(6.4)	[2.9]		a: 外底回転糸切(右回転) b: 灰色 微砂 長石 c: 灰色 e: 良好
26	31	231	陶器	瀬戸 卸皿	底部片	-	-	[1.1]		b: 灰色 良土 c: 緑灰色 d: 灰緑色施釉 外底部露胎 e: 良好
26	32	231	土製品	平瓦	小片	最大長 [7.6]	最大幅 [4.5]	最大厚 2.2		a: 凸面縄目痕 離れ砂付着 凹面糸切り痕? ナデ? b 灰色 微砂 小礫粒 c: 灰色 e: 良好
26	33	231	土製品	土錘	完形	長 5.6	最大幅 2.7	孔径 0.8	内孔 1.0	b: 雲母 海綿骨針 良土 c: 黒褐色 f: 表面全てが黒色なのは被熱か?
26	34	231	石製品	砥石	-	最大長 [2.3]	最大幅 [2.4]	最大厚 [1.2]		c: 黄灰色 f: 鳴滝産 仕上砥(砥面)表裏と両側面の4面使用 両端は破損による断面 裏面に半月状に窪む 表面はなめらかだが砥面ではなく加工痕と考えられる。
26	35	231	石製品	泥岩加工品	-	最大長 5.1	最大幅 4.5	最大厚 1.8		c: 淡黄色 f: 全側面にノコ痕有
26	36	231	鉄製品	火鑽板	-	長 12.1	幅 3.7	厚 0.4	47.9	
26	37	231	鉄製品	釘	-	長 [4.2]	幅 0.5	厚 0.4	2.9g	f: 四角形状に鍛造 先端部欠損
26	38	231	鉄製品	釘	-	長 [6.3]	幅 0.6	厚 0.5	5.5g	f: 四角形状に鍛造 先端部欠損
26	39	231	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.7	-	3.3g	f: 元祐通寶(行書) 北宋 1086 年

図版	No.	出土 遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目 a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
						口径	底径	器高	重	
26	40	231	銅製品	銭	完形	直径 2.5	内孔 0.6	-	3.3g	f: 元祐通寶(行書) 北宋 1086年
26	41	231	銅製品	銭	完形	直径 2.3	内孔 0.6	-	3.6g	f: 紹聖元寶(篆書) 北宋 1094年
26	42	231	銅製品	銭	1/2	直径 2.3	内孔 0.7	-	1.5g	f: 天漢元寶? 917年
26	43	231	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(8.2)	(6.0)	1.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
26	44	231	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(8.2)	(6.8)	1.6		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 内外面一部灰茶色
26	45	231	磁器	青白磁 壺	口縁部片	(5.8)	-	[2.7]		b: 灰白色 白色粒 黒色粒 精良堅緻 d: 明緑灰色 半透明
26	46	231	鉄製品	釘塊	-	長 6.8	幅 2.9	厚 3.0	32.3g	
27	47	232- 235	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(9.2)	(6.0)	1.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや粗土 c: 橙 色 e: 良好
27	48	232- 235	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.8)	(5.2)	1.6		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) b: 微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好
27	49	232- 235	土製品	内折れ 白かわらけ	1/4	(5.8)	-	0.7		a: 手捏ね 外面下半指頭痕 b: 灰白色 微砂 良土 c: 灰白色 e: 良好 f: 底部~口縁部が灰黒色に変色
27	50	232- 235	土製品	手づくね かわらけ(極 小)	1/3	(5.0)	(4.0)	0.7		a: 底面指頭痕 b: 微砂 雲母 やや粗土 c: 暗灰色 e: 良好 f: 被熱
27	51	232- 235	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[9.9]		a: 輪積み成形 b: 灰色~暗灰色 微砂 小礫粒 c: 褐色 d: 口縁頂部・ 肩部に灰緑色の自然釉 e: 良好 f: 緑帯幅3.0cm 中野編年 6a 型式
27	52	232- 235	陶器	常滑 玉緑壺か	口縁部片	-	-	[4.6]		a: 輪積み成形 b: 灰色 長石 石英 礫粒 c: 赤褐色 d: 口縁頂部・肩 部に灰緑色の自然釉 e: 良好 f: 中野編年 6a 型式
27	53	233	陶器	常滑 小壺	底部片	-	(8.4)	3.4		a: 輪積み成形 外底脇へラケズリ b: 灰色 微砂 小礫粒 c: 赤褐色 e: 良好
27	54	233	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[7.7]		a: 輪積み成形 b: 黄灰色 微砂 白色粒 礫粒 c: 灰色 d: 口縁部~内 面に黄灰色の自然釉 e: 良好
27	55	233	石製品	硯	-	最長 [4.1]	幅 [2.4]	[0.35]		c: 黄灰色 f: 鳴滝産 底部剥離
27	56	233	骨製品	器種不明	-	長 3.75	幅 1.7	厚 0.6		c: 黄橙色
27	57	234	磁器	青磁 碗	口縁部片	-	-	[4.0]		b: 灰色 黒色粒 精良堅緻 d: 青灰色 半透明 釉層やや薄い f: 大宰 府編年 碗Ⅰ-1a
27	58	234	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[8.9]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 礫粒 c: 暗灰色 d: 緑帯~外面に 白灰色の自然釉 e: 良好 f: 緑帯幅: 1.7cm 中野編年 6a 型式
27	59	235	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(9.4)	(7.0)	2.0		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 赤色 粒 泥岩粒 やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好 f: 口縁部歪み激しい
27	60	235	陶器	常滑 甕	底部片	-	(13.2)	[3.8]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 礫粒 c: 赤褐色 d: 内面に灰緑色 の自然釉 e: 良好
27	61	181	土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(12.4)	8.6	3.0		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 泥岩 粗土 c: 橙色 e: 良好
27	62	184	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[6.3]		b: 灰色 砂 長石粒 c: 灰色 d: 内面降灰部淡緑灰色
27	63	184	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[4.8]		b: 灰色 砂 長石粒 c: 灰色
27	64	201	陶器	常滑 壺	口縁部片	-	-	[7.0]		a: 輪積み成形 b: 灰白色 白色粒 黒色粒 c: 内面褐色 d: 外面~内面 口縁の降灰部緑灰色 f: 緑帯幅1.1cm 中野編年 6 型式
27	65	201	陶器	常滑 甕	底部片	-	(16.2)	[7.8]		a: 輪積み成形 外面縦方向のヘラナデ b: 灰白色 小石粒 c: 外面褐色 d: 内面降灰部緑灰色 f: 内底面付着物有
27	66	201	土製品	瓦器 碗	底部小片	-	(4.8)	[0.6]		b: 灰白色 黒色粒 c: 外面黒色 f: 見込みに菊花の暗文 f: 大宰府編年 ⅢⅨ-1
27	67	206	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[6.9]		a: 外面ハケナデ b: にぶい黄橙 砂粒 c: にぶい黄橙 d: 内面降灰部淡 緑灰色 f: 口縁部以外Ⅱ類
27	68	207	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.2)	5.0	2.0		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) b: 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩 粒 粗土 c: 橙色 e: 良好
27	69	210	陶器	常滑 壺	底部片	-	(7.5)	[6.4]		a: 内面指頭調整 横ナデ b: 黄灰色 白色粒 c: 内面暗褐色 外面黒褐 色 d: 内面降灰部緑灰色
27	70	211	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.6)	(5.4)	1.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 赤色粒 泥岩粒 粗土 砂質 c: 黄橙色 e: 良好
27	71	212	土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	8.0	6.5	1.2		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 砂 雲母 赤色粒 良土 c: 黄灰色 e: やや甘い
27	72	214	磁器	白磁 口元皿	1/8	(10.6)	(7.4)	2.3		b: 灰白色 精良堅緻 d: 灰白色 不透明 f: 口唇部は釉剥ぎ取り 大宰 府編年 ⅢⅨ-2
27	74	214	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[8.4]		b: 灰緑色 砂粒 長石 小石粒 c: 外面黒褐色 d: 外面降灰部灰緑色 f: 緑帯幅1.7cm 中野編年 6a 型式
27	75	214	陶器	常滑 甕	肩部片	-	-	[8.3]		b: 明黄褐色 白色粒 黒色粒 小石粒 c: 外面赤褐色 内面黄褐色 d: 降灰部灰緑色 f: 外面押印 単一円形意匠菊花文(16弁)
27	76	214	陶器	常滑 甕	底部片	-	(20.0)	[8.0]		b: 黒褐色 砂粒 長石 小石粒 c: 外面黒褐色 底面橙色
27	77	214	陶器	常滑 甕	底部片	-	-	[5.5]		a: 外底部脇から胴部ヘラナデ b: 灰黄色 砂粒 長石 小石粒 c: 内面 灰緑色 外面赤褐色

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
27	73	214	陶器	常滑 広口壺	口縁部片	-	-	[9.1]		a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考 b: 灰色 砂粒 長石 c: 内面褐色 外面黒褐色 f: 緑帯幅 2.0cm 中野編年 6a 型式 f: 一部被熱
27	78	214	土製品	土器質 火鉢	口縁部片	-	-	[7.1]		b: 灰褐色 砂粒 白色粒 c: 黒褐色 f: 河野分類 1 a 類
30	79	228	陶器	常滑 片口鉢 1 類	底部片	-	(13.2)	[3.3]		a: 外底部脇回転削り 高台貼付け b: 灰色 砂粒 白色粒 c: 灰色 f: 内面摩耗 高台・内面立ち上がり部煤付着 内面下部に煤痕有
30	80	228	土製品	瓦器 碗	口縁部	-	-	[2.8]		b: 灰黄色 黒色粒 c: 外面黒色 f: 内面平行線による暗文
30	81	229	銅製品	錢	完形	直径 2.5	内孔 0.7	-	3.4g	f: 皇宋通寶
30	82	230	陶器	渥美 山茶碗か	口縁部片	-	-	[3.6]		b: 灰色 微砂 長石 白色粒 黒色粒 c: 外面灰色
30	83	230	石製品	不明		最大長 [6.9]	最大幅 [5.4]	最大厚 0.9		c: 暗灰色 f: 1 側面は切断痕か? 他の側面・表・裏は研磨
30	84	4 面遺構外	土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/4	(13.0)	(8.5)	3.4		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 砂 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 粗土 c: 橙色 e: 良好
30	85		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.6)	(5.4)	1.8		a: 内底ナデ 外底回転糸切 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 粗土 砂質 c: 黄橙色 e: 良好
30	86		磁器	白磁 合子蓋	蓋小片	-	-	[0.7]		a: 型押し(草花文) b: 明灰色 黒色粒 精良堅緻 c: 灰緑色 半透明
30	88		陶器	常滑 甕	胴部片	残存長 [8.5]	残存幅 [5.3]	残存厚 [1.1]		b: 灰白色 黒色粒 小石粒 c: 外面褐色 f: 外面押印 単一円形意匠菊花文(14 弁)
30	87		陶器	常滑 広口壺	口縁部片	-	-	[10.4]		a: 輪積み成形 外面縦方向ハケナデ b: 黄灰色 白色粒 砂粒 c: 内面暗褐色 外面褐色 f: 緑帯幅 1.85cm 中野編年 6b 型式
30	89		陶器	常滑 片口鉢 1 類	底部片	-	(16.6)	[6.2]		a: 外底部脇回転削り 高台貼付け b: 灰~灰褐色 白色粒 c: 灰~灰褐色
30	90		陶器	磨り常滑	-	最大長 [5.25]	最大幅 7.4	厚 0.9		a: 中心部弱い研磨 甕の外表面と思われる部分は極丁寧な研磨 b: 微砂 c: 黒褐色 f: 常滑甕片を加工したものか
30	91		銅製品	錢	一部欠損	直径 2.4	内孔 0.7	-	3.3g	f: 元祐通寶 北宋 1086 年
30	92		銅製品	錢	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.8g	f: 咸平元寶 北宋 998 年
30	93		銅製品	錢	完形	直径 2.4	内孔 0.6	-	4.4g	f: 熙寧元寶
33	1	243	土製品	ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	12.7	8.2	3.1		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 橙色 微砂 雲母 赤色粒 黒色粒 泥岩粒 やや粗土 c: 赤褐色 e: 良好 f: 被熱 内外半円状に黒色化 口縁歪み有
33	2	243	土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	8.0	5.6	1.7		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 口縁部煤付着
33	3	243	磁器	白磁 口元皿	口縁部片	(11.6)	-	[3.1]		b: 灰白色 緻密 d: 灰白色 半透明 釉層極薄い 口縁頂部無釉 f: 大宰府編年 ⅢIX-1c
33	4	243	磁器	白磁 口元皿	底部片	-	(6.0)	[1.5]		b: 灰色 緻密 d: 灰緑色 半透明 f: 大宰府編年 ⅢIX-1
33	5	243	陶器	磁甕窯 二彩盤	4/5	32.4	27.0	8.6		a: 外面下部へラ削り b: 灰色 赤色粒 黒色粒 白色粒 d: 緑色 黄色 内低~外面下部まで施釉 e: 良好 f: 被熱 内面下部に極浅く二条の沈線
33	6	243	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[10.2]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 小礫粒 c: 赤褐色 e: 良好 f: 緑帯幅 2.6 cm 中野編年 6a 型式
33	7	243	陶器	常滑 甕	口縁部 ~肩部片	(49.8)	-	[12.0]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 c: 灰色 d: 口縁内外面に灰~灰白色の自然釉 e: 良好 f: 緑帯幅 2.1 cm 中野編年 6a 型式
33	8	243	陶器	常滑 広口壺	口縁部 ~肩部片	(32.4)	-	[16.3]		a: 輪積み成形 b: 暗灰色 微砂 長石 小礫粒 c: 黒褐色 d: 口縁内外面に灰緑色の自然釉 e: 良好 f: 緑帯幅 2.2 cm 内面人工的に剥離 中野編年 6a 型式
33	9	243	陶器	常滑 広口壺か	口縁部片	-	-	[5.0]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 黒褐色 d: 口縁頂部~内面に自然釉 e: 良好 f: 緑帯幅 2.1 cm 中野編年 5 型式
33	10	243	陶器	常滑 盤か	口縁 ~底部片	-	-	3.55		b: 灰色 微砂 長石 石英 礫粒 c: 灰褐色 e: 良好
33	11	243	陶器	瀬戸 卸皿	口縁部 ~底部片	(15.5)	(12.1)	3.4		a: 外面斜めに溝状のへら痕 b: 灰白色 砂粒 良土 d: 内面淡灰緑色の灰釉 薄い刷毛塗り 外面黄褐色
33	12	243	陶器	瀬戸 卸皿	口縁部 ~底部片	(15.4)	(12.4)	3.4		a: 外面斜めに溝状のへら痕 b: 灰白色 砂粒 良土 d: 内面淡灰緑色の灰釉 薄い刷毛塗り 塗リムラが多い 外面黄褐色
33	13	243	鉄製品	釘	-	長 7.4	幅 0.4	厚 0.4	6.1g	f: 四角形状に鍛造
33	14	243	銅製品	錢	一部欠損	直径 2.5	内孔 -	-	1.5g	f: 至道元寶(行書) 北宋 995 年
33	15	243	銅製品	錢	完形	直径 2.5	内孔 0.65	-	3.5g	f: 紹聖元寶(篆書) 北宋 1094 年
33	16	243	銅製品	器種不明	-	長辺 1.9	短辺 1.1	幅 0.1	厚 0.1	重さ 1.0g
33	17	243	銅製品	器種不明	-	長辺 1.9	短辺 1.4	幅 0.6	厚 0.05	重さ 1.2g
33	18	243	銅製品	器種不明	-	長 [4.6]	幅 1.1	高 0.5	厚 0.1	重さ 3.7g

図版	No.	出土 遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
34	19	244	陶器	瀬戸 御皿	口縁部片	(15.2)	-	[2.9]		a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考 b: 灰白色 砂粒 白色粒 黒色粒 良土 d: 灰緑色 釉層薄い e: 良好
34	20	244	鉄製品	釘	-	長 6.9	幅 0.5	厚 0.4	4.9g	f: 四角形状に鍛造
34	21	244	銅製品	銭	完形	直径 2.4	内孔 0.65	-	2.9g	f: ■■元寶 腐食激しい
34	22	244	土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(12.4)	(7.4)	3.2		a: 内底ナデ 外底回転糸切 b: 微砂 赤色粒 白色粒 黒色粒 海綿骨 針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
34	23	244	土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.6	5.0	1.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 赤色粒 白色 粒 黒色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
34	24	244	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(8.4)	(6.2)	1.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 c: 橙色 e: 良好
34	25	244	磁器	青磁 蓮弁文鉢	底部片	-	-	[2.9]		b: 灰白色 黒色微砂 精良堅緻 d: 灰緑色 不透明 釉層厚め 畳付露 胎 内底印花文
34	26	244	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[7.6]		b: 灰黄色 白色粒 黒色粒 小石粒 c: 灰緑色 f: 緑帯幅 2.2cm 中野 編年 5～6a 型式
34	27	244	陶器	常滑 甕	胴部片	残存長 [5.0]	残存幅 [4.5]	残存厚 [1.1]		b: 黄灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 小石粒 c: 内面黄灰色 外面灰黄褐 色 f: 外面押印 菊花文(13弁)
34	28	244	陶器	常滑 甕	底部片	-	(12.0)	[3.2]		b: 灰褐色 白色粒 黒色粒 小石粒 c: 外側暗赤褐色 d: 内面降灰部灰 緑色
34	29	244	陶器	常滑 片口碗	胴部 ～底部	-	-	[8.2]		b: 黒褐色 白色粒 小石粒 c: 外面暗赤褐色
34	30	244	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[6.5]		b: 灰褐色 砂粒 長石 白色粒 小石粒 c: 灰褐色
34	31	244	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[4.7]		b: 灰色 砂粒 白色粒 c: 外面灰色 d: 内面降灰部灰緑色
34	32	244	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部片	-	-	[3.8]		b: 灰褐色 長石 石英 白色粒 黒色粒 c: 暗褐色
34	33	244	石製品	滑石鍋	口縁部片	-	-	[5.7]		a: 外面ノミによる削り加工 c: 灰白色 f: 内面擦痕有
34	34	244	土製品	縄文 深鉢	口縁部片	-	-	[7.5]		a: 沈線1本あり 横ミガキ痕 b: 灰色 微砂 黒雲母 白色粒 黒色粒 泥岩粒 良土 c: 外面淡橙色～黒色 f: 縄文時代後期か
34	35	244	木製品	箸	-	長 20.3	幅(系) 0.7			f: 中央で2つに折れる
34	36	244	木製品	板状製品 部材	-	長 (14.7) [14.6]	幅 2.2 [2.1]	厚 0.2～0.5	最大厚 0.6	f: 柾目材
34	37	244	木製品	部材か 部材	-	縦 5.2 長12.4	横 12.2 幅5.3	厚 1.6	最大幅 1.7	
34	38	244	木製品	部材か 部材	-	縦 8.3 長8.6	横 8.9 [9.6]	厚 2.0 1.8		f: 板目材
34	39	244	木製品	部材か	-	縦 9.5	横 11.5	厚 4.0		f: 板目材 腐食激しい
34	40	241	土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	8.7	6.9	1.65		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨 針 良土 c: 橙色 e: 良好 f: 楕円形に歪む
34	41	241	陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[11.3]		a: 輪積み成形 b: 微砂 長石 石英 小礫 c: 黄灰色 d: 外面に灰白色 の自然釉 e: 良好 f: 緑帯幅 1.9 cm 中野編年 6a 型式
34	42	241	陶器	常滑 甕	底部片	-	17.4	[9.0]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 小礫粒 c: 灰茶色 e: 良好
34	43	242	陶器	常滑 甕	底部片	-	(15.0)	[5.3]		a: 輪積み成形 外面下部へ調整 b: 灰色 微砂 長石 小礫粒 c: 茶 褐色 e: 良好
34	44	242	石製品	泥岩加工品	-	最大長 4.3	最大幅 4.2	最大厚 1.5		f: 全体にスリ痕あり
35	45	5面遺 構外	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(8.4)	(7.0)	1.6		a: 外底回転糸切(右回転) b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
35	46		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.6)	(5.0)	1.5		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
35	47		土製品	手づくね かわらけ(小)	1/3	(8.6)	-	2.0		a: 内底ナデ 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 良土 c: 灰黄色 e: 良好
35	48		土製品	手づくね かわらけ(小)	1/3	(8.8)	-	1.7		a: 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 橙 色 e: 良好
35	49		土製品	手づくね 白かわらけ (小)	2/3	6.6	-	1.2		a: 外面下半指頭痕 b: 微砂 やや良土 c: 灰白色 e: 良好
35	50		磁器	青磁 蓮弁文碗	口縁部片	-	-	[3.3]		b: 灰白色 緻密 d: 緑灰色 半透明 気泡あり f: 大宰府編年 椀Ⅲ -2c
35	51		磁器	青磁 蓮弁文碗	口縁部片	-	-	[3.1]		b: 灰白色 緻密 d: 緑灰色 半透明 f: 大宰府編年 椀Ⅲ -2c
35	52		磁器	青磁 折縁鉢	口縁部 ～胴部片	(9.2)	-	[3.0]		b: 灰白色 黒色粒 精良堅緻 口唇部褐色 d: 灰緑色 不透明 釉層厚 め f: 大宰府編年 坏Ⅲ -1a

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
35	53	5面遺構外	磁器	白磁 口元皿	口縁部片	-	-	[3.2]		a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
35	54		磁器	白磁 口元皿	底部片	-	-	[1.0]		b: 灰白色 緻密 d: 灰白色 半透明 釉層やや薄い 貫入あり 口縁頂部無釉 f: 大宰府編年 IIIIX-1c
35	55		磁器	白磁 口元皿	底部片	-	-	[0.8]		b: 灰白色 緻密 d: 灰白色 半透明 釉層やや薄い f: 大宰府編年 IIIIX-1
35	56		陶器	常滑 甕	口縁 ~肩部片	-	-	[9.9]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 小礫 c: 暗褐色 e: 良好 f: 緑帯幅 2.9 cm 中野編年 6b 型式
35	57		陶器	常滑 甕	肩部片	残存長 [7.2]	残存幅 [14.0]	残存厚 [1.0]		b: 灰褐色 砂粒 長石 石英 小石粒 c: 外面灰黄褐色 f: 外面押印 円形意匠菊花文 (16 弁)
35	58		陶器	常滑 甕	肩部片	残存長 [9.5]	残存幅 [10.0]	残存厚 [1.0]		b: 褐灰色 砂粒 石英 白色粒 黒色粒 小石粒 c: 外面灰黄褐色 f: 外面押印 円形意匠菊花文 (16 弁)+へら描き線 (5)
35	59		陶器	常滑 甕	胴部片	残存長 [6.4]	残存幅 [6.0]	残存厚 [1.3]		b: 黄褐色 砂粒 長石 石英 c: 外面赤褐色 f: 外面押印 円形意匠菊花文 (12 弁)
35	60		陶器	常滑 壺	口縁部片	(17.8)	-	[7.4]		a: 輪積み成形 b: 灰色 微砂 長石 礫粒 c: 黒褐色 d: 外面降灰部灰緑色 e: 良好 f: 緑帯幅 0.5cm
35	61		石製品	滑石鍋	口縁 ~胴部片	-	-	[9.5]		c: 灰白色 f: 外面にケズリ調整痕有
35	62		骨製品	器種不明	-	径 2.05	-	厚 0.5		f: 中央にΦ 0.3 cmの孔あり
35	63		鉄製品	刀子	-	長 [3.4]	幅 2.3	厚 0.6	9.9g	f: 両端部欠損 全体に錆付着
35	64		銅製品	銭	一部欠損	直径 2.3	内孔 0.65	-	2.4g	f: 開元通寶 唐 621 年
35	65		銅製品	銭	完形	直径 2.45	内孔 0.7	-	3.9g	f: 元豐通寶 (行書) 北宋 1078 年
35	66		銅製品	銭	完形	直径 2.25	内孔 0.65	-	2.2g	f: 元豐通寶 (篆書) 北宋 1078 年
35	67		銅製品	模鑄銭	一部欠損	直径 2.4	内孔 0.6	-	3.1g	f: 元豐通寶 (篆書) 北宋 1078 年 湯道残存
35	68		銅製品	銭	一部欠損	直径 [2.0]	-	-	1.2g	f: 政和通寶 (篆書) 北宋 1111 年
35	69	銅製品	器種不明	-	長 1.3	幅 1.3	厚 0.9	1.6g	f: 金メッキ加工	
35	70	5面構成土	土製品	ロクロ かわらけ (大)	1/3	12.2	7.0	3.1		a: 内底ナデ 外底回転糸切 (右回転) 板状圧痕 b: 微砂 赤色粒 海綿骨針 良土 c: 黄灰色 e: 良好 f: 内外面煤付着
35	71		土製品	ロクロ かわらけ (小)	ほぼ完形	9.35	7.9	1.85		a: 内底ナデ 外底回転糸切 (右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや良土 c: 橙色 e: 良好 f: 焼きムラ有 口縁楕円形
35	72		土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/5	(9.8)	(7.4)	1.9		a: 内底ナデ 外底回転糸切 (右回転) 板状圧痕 b: 微砂 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好
35	73		土製品	ロクロ かわらけ (小)	ほぼ完形	8.45	6.7	1.55		a: 内底ナデ 外底回転糸切 (右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 外面口縁一部煤付着
35	74		土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形品	7.8	5.7	1.45		a: 内底ナデ 外底回転糸切 (右回転) 板状圧痕 b: 微砂 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄灰色 e: 良好
35	75		土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/2	(7.9)	(6.8)	1.7		a: 内底ナデ 外底回転糸切 板状圧痕 b: 微砂 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 灰黄色 e: やや甘い
35	76		土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/3	(7.3)	(5.2)	1.7		a: 内底ナデ 外底回転糸切 (右回転) 板状圧痕 b: 微砂 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好
35	77		土製品	手づくね かわらけ (小)	3/4	8.55	-	2.45		a: 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや粗土 c: 黄灰色 e: 良好 f: 内外面薄く煤付着 口縁歪み有
35	78		土製品	手づくね かわらけ (小)	ほぼ完形	8.9	-	1.65		a: 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや良土 c: 灰黄色 e: やや甘い
35	79		土製品	手づくね かわらけ (小)	1/4	(8.8)	-	1.4		a: 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや良土 c: 黄褐色 e: 良好
35	80		土製品	手づくね かわらけ (小)	1/5	(9.2)	-	1.6		a: 外面下半指頭痕 b: 微砂 赤色粒 海綿骨針 やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好
35	81		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[13.9]		a: 輪積み成形 内面指頭痕 b: 灰色 微砂 小石 c: 赤褐色 d: 口縁内側降灰部降灰 f: 緑帯幅 2.0cm 中野編年 5 型式
35	82		陶器	常滑 広口壺か	口縁部片	-	-	[7.3]		a: 輪積み成形 内面指頭痕 b: 黄灰色 微砂 長石 c: 灰色 d: 口縁内側降灰部降灰 f: 緑帯幅 1.6cm 中野編年 6a 型式
35	83	陶器	常滑 広口壺	口縁部片	-	-	[9.1]		a: 輪積み成形 内面指頭痕 b: 褐灰色 微砂 長石 小石粒 c: 褐灰色 d: 口縁降灰部灰白色 f: 緑帯幅 1.2cm 中野編年 5 型式	
35	84	陶器	常滑 玉縁壺か	口縁部片	(16.2)	-	[8.0]		b: 灰色 微砂 長石 c: 赤褐色 d: 内外面降灰部灰緑色 f: 緑帯幅 1.5cm	
35	85	陶器	常滑 壺	底部片	-	-	[2.9]		b: 暗灰色 微砂 c: 外面灰褐色 内面暗灰色	
35	86	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部片	-	-	[4.75]		a: 輪積み成形 外底部回転へラケズリ 張り付け高台 b: 灰色 微砂 雲母 白色粒 c: 灰色 f: 内面摩耗 黒色付着物	
35	87	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[3.4]		b: 灰色 白色粒 c: 褐灰色 d: 内面降灰部灰緑色	
35	88	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[3.8]		b: 褐色 白色粒 黒色粒 c: 暗褐色 d: 内面降灰部灰白色	
35	89	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[3.8]		b: 黒褐色 白色粒 c: 褐灰色 d: 口縁部降灰部灰緑色	

図版	No.	出土 遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
35	90	5面構 成土	陶器	瀬戸 四耳壺	底部片	-	(7.2)	[4.8]		b: 灰色 c: 灰色 d: 内底部付近に明緑灰色降灰 f: 古瀬戸前期2~3
35	91		骨製品	装飾品	小片	残存長 [1.1]	残存幅 [1.4]	最大厚 [0.4]		c: 灰白色
35	92		鉄製品	火箸か	-	長 6.5	幅 0.3	厚 0.35	5.2g	
35	93		銅製品	錢	完形	直径 2.4	内孔 0.65	-	1.6g	f: ■元寶、嘉祐元寶か?(篆書) 北宋1056年
37	1	255	陶器	常滑 甕	口縁部片	(30.4)	-	[9.9]		a: 輪積み成形 内面指頭痕 b: 褐灰色 微砂 長石 小石粒 c: 褐色 d: 口縁部及び外面に灰緑色の自然釉 f: 縁帯幅2.2cm 中野編年6a型式
37	2	256	磁器	白磁 合子	身部	(4.6)	(4.4)	1.9		b: 灰白色 砂粒 良土 d: 灰白色 灰釉を漬け掛け 口縁部は釉をかき とり
37	3	256	陶器	常滑 甕	胴部片	残存長 [13.5]	残存幅 [9.0]	残存厚 [0.9]		b: 灰色 白色粒 黒色粒 小石粒 やや粗土 c: 外面黄褐色 外面押印 単一円形意匠菊花文(15弁)
37	4	256	陶器	常滑 片口碗	口縁部~ 胴部片	(11.4)	-	[5.6]		b: 灰色 砂粒 黒色粒 小石粒 やや粗土 d: 口縁降灰部灰緑色 f: 中 野編年6a型式
37	5	257	土製品	手づくね かわらけ(小)	1/2	(9.0)	-	1.5		a: 内底ナデ 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや良土 c: 黄橙色 e: 良好
37	6	257	土製品	土器質 火鉢	1/4	(37.4)	(27.7)	9.35		a: 内縁・内側面に横方向ナデ 外側面底部付近削り 口唇に3本と1本 の刻線有 b: 褐灰色 微砂 雲母 c: 灰色 f: 河野分類I B類
37	7	257	鉄製品	釘	-	長 [5.4]	幅 0.6	厚 0.4	6.6g	f: 四角形状に鍛造 先端部欠損
37	8	6面遺 構外	土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	12.8	8.3	3.3		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨 針 やや良土 c: 橙色 e: 良好
37	9		土製品	手づくね かわらけ(小)	ほぼ完形	9.3	-	2.2		a: 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや良土 c: 橙色 e: 良 好 f: 口縁歪み有
37	10		土製品	手づくね かわらけ(小)	ほぼ完形	9.2	-	1.8		a: 外面下半指頭痕 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや良土 c: 黄灰色 焼きムラで一部橙色 e: 良好
37	11	6面構 成土	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(8.8)	(6.8)	1.75		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨 針 良土 c: 橙色 e: 良好
37	12		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(8.0)	(6.8)	1.8		a: 内底ナデ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 泥岩 粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
37	13		土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	7.4	6.0	1.35		a: 内底ナデ 外底回転系切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 海綿骨針 や や粗土 c: 黄橙色 e: 良好
37	14		土製品	手づくね かわらけ(大)	1/5	(13.7)	(12.5)	2.9		a 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
37	15		土製品	手づくね かわらけ(小)	ほぼ完形	9.5	-	2.35		a: 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや良土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 口縁楕円形
37	16		土製品	手づくね かわらけ(小)	1/3	(9.2)	(8.2)	1.7		a: 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好
37	17		土製品	手づくね かわらけ(小)	4/5	(9.2)	-	2.15		a: 内底ナデ 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 良土 c: 橙 色 e: 良好
37	18		土製品	手づくね かわらけ(小)	1/3	(9.8)	(8.8)	2.3		a: 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや良土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 内外面煤付着 灯明皿
37	19		土製品	手づくね かわらけ(小)	1/3	(8.8)	(7.3)	1.7		a: 外面下半指頭痕 b: 微砂 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好
37	20		磁器	青磁 蓮弁文碗	口縁部片	-	-	[4.2]		b: 灰色 精良堅緻 d: 緑灰色 半透明 釉層やや厚い 気泡あり f: 大 宰府編年 碗III-2c
37	21		磁器	白磁 碗	口縁部~ 胴部片	(9.5)	-	[3.6]		b: 灰白色 黒色粒 精良堅緻 d: 灰白色 不透明 f: 大宰府編年 皿IX -1
37	22		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[10.7]		a: 輪積み成形 内側指頭痕 b: 黄灰色 白色粒 c: 赤褐色 d: 口縁部~ 外面に灰緑色の自然釉 f: 縁帯幅1.4cm 中野編年5型式 口縁内側に付 着物有
37	23		陶器	常滑 甕	胴部片	-	-	[5.8]		b: 明黄褐色 砂粒 石英 白色粒 小石粒 c: 明黄褐色 f: 外面押印 円形意匠菊花文(13弁)
37	24		陶器	常滑 壺か	口縁部片	(20.4)	-	[5.5]		a: 輪積み成形 b: 黄灰色 長石 c: 内面暗灰色 外面灰色
37	25	石製品	用途不明		残存長 [5.7]	残存幅 [4.6]	残存厚 [1.5]		c: 淡黄色 f: 平面に擦り痕有 全面擦っているが、平面中央部付近の擦 り跡が激しい 中央に炭付着	
37	26	鉄製品	釘	-	長 [3.7]	幅 0.6	厚 0.3	2.5g	f: 四角形状に鍛造 先端部欠損	
37	27	銅製品	錢		直径 2.5	内孔 0.5	-	3.3g	f: 淳化元寶(草書) 北宋990年	
39	1	260	陶器	渥美 甕	口縁部片	-	-	[6.0]		b: 灰色 微砂 黒色粒 c: 暗灰色 d: 内面頸部~外面に茶緑色の灰釉施 釉 e: 良好
39	2	260	銅製品	錢	一部欠損	直径 (2.4)	-	-	2.4g	f: 熙寧元寶、熙寧元寶か 北宋1068年
39	3	280	磁器	青白磁 小型華瓶	-	-	-	[2.6]		a: 飾環貼付け b: 灰白色 黒色粒 精良堅緻 d: 明青灰色 半透明
39	4	280	磁器	白磁 口元皿	1/2	(10.6)	5.6	3.3		b: 灰白色 黒色粒 精良堅緻 d: 灰白色 気孔あり 口唇部釉剥ぎ取り f: 大宰府編年 皿IX-1d



図版	No.	出土 遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
39	5	280	陶器	常滑 甕	胴部片	-	-	[7.8]		a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
39	6	280	土製品	平瓦	-	最大長 [9.8]	最大幅 [7.4]	最大厚 1.9		a: 凸面離れ砂付着 凹面離れ砂付着 側面をへラケズリ後に上部ナデ b 灰白色 粗砂 白色粒 黒色粒 礫粒 c: 灰~暗灰色 e: 良好
39	7	280	鉄製品	釘	-	長 8.8	幅 0.8	厚 0.4	18.8g	f: 四角形状に鍛造
39	8	282	銅製品	錢	一部欠損	直径 2.4	内孔 0.7	-	2.0g	f: 開元通寶 唐 621年
39	9	282	銅製品	錢	完形	直径 2.4	-	-	3.5g	f: 元豐通寶 北宋 1078年
39	10	283	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片	-	-	[7.5]		a: 輪積み成形 b: 暗灰色 微砂 長石 c: 赤褐色 d: 口縁頂部~内面に 自然釉
39	11	283	石製品	礫石加工品	-	最大長 9.0	最大幅 3.2	最大厚 2.6		f: 凝灰岩 切断痕有 楕円硯の可能性有
39	12	283	土製品	平瓦	-	最大長 [16.2]	最大幅 18.8	最大厚 2.2		a: 凸面タテ位縄目タタキ目 凹面離れ砂系切痕 狭端部ヨコ位の細い縄 目 b 灰色 微砂 白色粒 やや粗土 c: 灰色 e: 良好 f: 女瓦A類?
39	13	284	土製品	かわらけ質 土製品	底部小片	-	-	[1.8]		a: 回転糸切(右回転) b: 暗灰色 微砂 雲母 海綿骨針 良土 c: 茶 色 e: 良好
39	14	285	陶器	渥美 甕	肩部小片	-	-	[2.9]		b: 灰色~灰白色 微砂 c: 黒褐色 d: 外面に黒褐色の施釉 e: 良好
39	15	285	陶器	尾張型 山茶碗	底部片	-	8.0	[2.3]		a: 内面にコテ痕あり 貼り付け高台(少し押し潰されている) b: 灰色 微砂 長石 小礫粒 c: 灰色 e: 良好
39	16	287	土製品	手づくね かわらけ(小)	1/3	(9.4)	-	1.9		a: 内底ナデ 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや 良土 c: 橙色 e: 良好 f: 内面煤付着
39	17	287	土製品	手づくね かわらけ(小)	1/5	(8.8)	-	[2.7]		a: 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好
39	18	289	鉄製品	釘	-	長 5.0	幅 0.3	厚 0.3	4.0g	f: 四角形状に鍛造
39	19	289	鉄製品	釘	-	長 6.8	幅 0.4	厚 0.4	4.7g	f: 四角形状に鍛造
39	20	7面遺 構外	土製品	ロクロ かわらけ(小)	底部片	-	-	[1.6]		a: 静止糸切 b: 微砂 雲母 海綿骨針 c: 黄褐色 e: やや甘い
39	21		土製品	手づくね かわらけ(小)	3/4	(9.4)	-	2.3		a: 内底ナデ 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや良土 c: 黄褐色 e: 良好
39	22		鉄製品	不明	-	長 7.1	幅 1.4	厚 0.25	5.2g	
39	23		鉄製品	釘	-	長 7.6	幅 0.4	厚 0.3	6.8g	f: 四角形状に鍛造
41	1	296	土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(9.0)	(6.6)	2.2		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 雲母 海綿骨 針 やや良土 c: 灰黄色 e: 良好
41	2	307	鉄製品	釘	-	長 5.4	幅 0.2	厚 0.2	1.9g	f: 四角形状に鍛造
41	3	310	土製品	手づくね かわらけ(大)	1/2	(12.6)	-	[3.4]		a: 内底ナデ 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 やや良土 c: 黄灰色 e: やや甘い
41	4	310	土製品	手づくね かわらけ(大)	1/4	(13.2)	-	3.5		a: 内底ナデ 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 良土 c: 黄橙 色 e: 良好
41	5	310	陶器	渥美 小壺	底部片	-	-	[7.9]		b: 灰色~灰白色 微砂 雲母 c: 暗灰色 e: 良好 f: 外面下部に二条の 沈線あり
41	6	8面遺 構外	土製品	ロクロ かわらけ(小)	底部片	-	(6.6)	[2.0]		a: 内底ナデ 外底静止糸切り b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや 粗土 c: 橙色 e: 良好
41	7		土製品	手づくね かわらけ(大)	1/3	(12.6)	-	[4.2]		a: 内底ナデ 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 良土 c: 黄灰色 e: やや 甘い
41	8		土製品	手づくね かわらけ(大)	1/3	(12.0)	-	3.1		a: 内底ナデ 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 良土 c: 灰黄 色 e: 良好
41	9		土製品	手づくね かわらけ(小)	1/4	(8.6)	-	1.6		a: 内底ナデ 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 海綿骨針 良土 c: 橙色 e: 良好
41	10		土製品	手づくね かわらけ(小)	1/2	7.3	-	[2.7]		a: 外面下半指頭痕 b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 やや良土 c: 灰 黄色 e: 良好
41	11		磁器	青磁 櫛搔文皿	1/4	(9.8)	(5.0)	2.3		a: 内底面に櫛搔文 b: 灰色 黒色粒 白色粒 緻密 d: 灰緑色 不透明 気泡あり f: 大宰府編年 同安窯系ⅢI-1b
41	12		磁器	白磁 器種不明	口縁部片	-	-	[1.3]		b: 灰白色 黒色粒 精良堅緻 d: 灰白色 半透明 釉層薄い
41	13		陶器	常滑 甕	口縁部片	-	-	[8.3]		a: 輪積み成形 b: 灰色 長石 小礫粒 c: 赤褐色 e: 良好 f: 縁帯幅 2.9 cm 中野編年 6a 型式
41	14	鉄製品	釘	-	長 9.0	幅 0.6	厚 0.4	8.4g	f: 四角形状に鍛造	
42	1	廃土 他	土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	7.2	4.6	2.0		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) b: 微砂 雲母 赤色粒 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好
42	2		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(6.8)	(4.4)	1.7		a: 内底ナデ 外底回転糸切(右回転) 板状圧痕 b: 微砂 赤色粒 海綿 骨針 泥岩粒 やや粗土 c: 橙色 e: 良好
42	3		土製品	手づくね 白かわらけ (小)	1/3	(8.1)	-	1.9		a: 外面下半指頭痕 b: 微砂 黒色粒 赤色粒 c: 灰白色

図版	No.	出土遺構	材質	種別	遺存度	寸法 (cm)				観察項目
						口径	底径	器高	重	
42	4	廃土 他	土製品	手づくね 白かわらけ	口縁部片	-	-	[2.4]		a: 成形・整形 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 備考
42	5		磁器	白磁皿	底部片	-	(6.6)	[2.2]		b: 灰白色 黒色粒 精良堅緻 d: 灰白色 半透明 気泡あり
42	6		陶器	瀬戸 折縁深皿	口縁部片	-	-	[3.4]		b: 灰色 精良土 d: 灰緑色 灰釉 e: 良好
42	7		陶器	瀬戸 袴形香炉	口縁部片	(10.6)	-	[5.1]		b: 灰白色 微砂 良土 d: 鉄釉 黒褐色 e: 良好 f: スタンプによる渦 巻文と草花文 連珠(2個)貼り付けを残す
42	8		陶器	常滑 甗	肩部片	-	-	[7.3]		a: 輪積み成形 b: 灰色 長石 白色粒 小石粒 c: 茶色 d: 外面に灰黄 緑色の自然釉 e: 良好 f: 外面押印 縦線文+横線(3)
42	9		陶器	常滑 甗	胴部片	最大長 [6.8]	最大幅 [5.1]	最大厚 1.2		a: 輪積み成形 b: 灰色 長石 石英 黒色粒 c: 灰褐色 d: 外面に灰白 緑色の自然釉 e: 良好 f: 外面押印 縦線文+横線(1)
42	10		陶器	常滑 甗	胴部片	最大長 [7.2]	最大幅 [5.8]	最大厚 1.0		a: 輪積み成形 b: 灰褐色 長石 石英 礫粒 c: 灰褐色 e: 良好 f: 外面 押印 縦線文+横線(3)
42	11		陶器	常滑 甗	肩部片	-	-	[4.6]		a: 輪積み成形 b: 暗灰色 長石 石英 白色粒 小石粒 礫粒 c: 茶色 d: 外面に灰白色の自然釉 e: 良好 f: 外面押印 縦線文+横線(5)
42	12		陶器	常滑 甗	胴部片	最大長 [6.6]	最大幅 [3.3]	最大厚 0.8		a: 輪積み成形 b: 灰色 長石 石英 黒色粒 小石粒 c: 内面暗灰色 外面暗褐色 e: 良好 f: 外面押印 縦線文+横線(1)
42	13		陶器	常滑 甗	胴部片	最大長 [5.3]	最大幅 [5.2]	最大厚 1.2		a: 輪積み成形 b: 灰色 長石 白色粒 礫粒 c: 灰色 e: 良好 f: 外面 押印 中野分類 A0?
42	14		陶器	常滑 甗	胴部片	最大長 [5.4]	最大幅 [3.9]	厚 1.0~1.1		a: 輪積み成形 b: 暗灰色 長石 石英 黒色粒 小石粒 c: 内面灰色 外面黄褐色 e: 良好 f: 外面押印 単×(バツ)+縦線文
42	15		陶器	常滑 甗	肩部片	最大長 [6.2]	最大幅 [5.0]	最大厚 1.2		a: 輪積み成形 b: 灰褐色 長石 黒色粒 c: 褐色 d: 外面に灰緑色の自然 釉 e: 良好 f: 外面押印 縦線文+横線(2)
42	16		陶器	常滑 甗	胴部片	最大長 [7.6]	最大幅 [5.5]	最大厚 1.0		a: 輪積み成形 b: 橙色 長石 石英 黒色粒 小石粒 c: 内面灰黄色 外面赤褐色 e: 良好 f: 外面押印 縦線文+横線(3)
42	17		陶器	常滑 甗	胴部片	最大長 [11.5]	最大幅 [6.7]	最大厚 1.2		a: 輪積み成形 b: 褐色 長石 黒色粒 小石粒 c: 茶色 e: 良好 f: 外面 押印 単×+縦線文
42	18		陶器	常滑 甗	胴部片	最大長 [7.4]	最大幅 [7.3]	最大厚 1.3		a: 輪積み成形 b: 暗灰色 長石 白色粒 礫粒 c: 暗灰色 d: 外面に灰 黄緑色の自然釉 e: 良好 f: 外面押印 縦線文+横線(1)
42	19		陶器	常滑 甗	胴部片	最大長 [7.0]	最大幅 [3.7]	最大厚 0.9		a: 輪積み成形 b: 灰色 長石 黒色粒 小石粒 c: 灰橙色 e: 良好 f: 外面 押印 中野分類 CA0'
42	20		鉄製品	釘	-	長 [8.1]	幅 0.7	厚 0.6	26.7g	f: 四角形状に鍛造 先端部欠損
42	21		鉄製品	釘	-	長 [7.2]	幅 0.8	厚 0.5	11.9g	f: 四角形状に鍛造 先端部欠損
42	22		鉄製品	釘	-	長 [6.2]	幅 0.6	厚 0.5	8.8g	f: 四角形状に鍛造 先端部欠損
42	23		銅製品	銭	一部欠損	直径 2.3	内孔 0.5	-	2.3g	f: 開元通寶(楷書)
42	24	銅製品	銭	一部欠損	直径 2.4	内孔 0.6	-	2.2g	f: 開元通寶(楷書)	
42	25	銅製品	銭	完形	直径 2.3	内孔 0.6	-	3.7g	f: 聖宋元寶(篆書) 北宋 1101年	

表 2 出土遺物集計表

出土面 種別	第1面				第2面					第3面						第4面										
	ビット	土坑	構成土	合計	ビット	礎石掘方	土坑	遺構外	構成土	合計	ビット	土坑	礎石掘方	溝状遺構	直上	構成土	合計	ビット	土坑	礎石掘方	溝状遺構	溝状遺構	方形竪穴	方形竪穴	方形竪穴	
遺構番号														175							229	230	231	232	233	
かわらけ	大	35	29	307	371	88	5	70	39	281	483	52	82	13	5	91	356	599	37	44	4	9	4	163	29	
	中	1		7	8	2		2			4				4		4		1							
	小	11	11	128	150	31	3	54	18	86	192	20	23	1	1	16	118	179	9	23		1		42	9	
	小片	55	44	74	173	88	7	96	32	69	292	28	36	8		56		128	33	60	6	2		64	29	
	大					3		1	1		5	2	1					3							3	
	小																1	1							1	
	白かわらけ					1		1		3	5	1	1			1	12	15						4	1	
	特殊					1		2		6	9		1					1						1	1	
	取瓶		3	3	6			3	1	1	5															
	国産陶磁器	常滑	35	47	606	688	205	41	346	200	1055	1847	114	290	16	9	270	803	1502	99	195	11	28	6	349	85
壺				3	3	8	2	5		2	17	3	6			11	21	41	4	1		4		6		
I類			3	13	16	5	3	30	1	60	99	17	18	3		20	105	163	17	16	3			27	4	
II類		4		7	11	1	1	4		9	15						7	7		2		1				
磨り常滑						1				4	5						1	1	1					1		
無類壺																										
瀬戸		6	1	9	16	12		8	2	12	34	2	2	3		9	16	32	1	0	1			7		
渥美						1					1					2	2	4						16	5	
備前				2	2	1		1			2															
山茶碗				1	1	1			1	7	9	3	2			6	2	13	1	3			1	1		
山皿								1			1															
不明								1			1															
舶載陶磁器		青磁	3	3	18	24	9	2	31	8	36	86	7	15	2	1	16	42	83	3	2		3		23	4
		白磁		1	12	13	1		7		21	29	1	5		1	11	22	40	1	2		2		6	4
	青白磁	1	1	4	6	5	1	5		12	23	1	1			5	6	13		1	1			9		
	緑釉			1	1																					
	褐釉			1	1										1		1	1						1		
	不明			1	1	1		1			2						1	1								
土製品	火鉢	3	2	3	8	6	1	8	2	2	19	1	1			1		3						1		
	罏釜			2	2					3	3	1	2				5	8	1	1		1				
	羽口								1		1															
	その他	1		1	2	1				1	2														1	
	吉備系			1	1			1	2		3															
	土鍾								1		1														1	
瓦質製品	瓦器					1	1	3		5	1							1	2		1					
	火鉢	2		17	19	3		8		13	24		4			6	10	20		8				6		
	瓦									2	2					1		1	1					1		
	その他	1			1					1	1															
金属製品	銭	1		17	18	7		13	1	22	43	3	3		1	7	7	21				3		5		
	釘		1	25	26	16	3	18	5	34	76	5	28	4	6	43	39	125	3	1	1	3		27	5	
	火打金																1	1								
	鉄滓					2				1	3					4	1	5						1		
	不明	1	1	3	5			2	1	1	4					2	3	5						1		
石製品	砥石			8	8	1		2		8	11	4	4	1		4	6	19		1				4	1	
	硯									1	1															
	滑石			7	7			1	2	6	9	1	2			5	2	10						5		
	軽石																3	4						2		
	玉石							15			15						7	7								
	碁石			1	1					1	1	2						2								
	その他	1		2	3	2		4		2	8								1				1	1		
	雲母												1					1								
木製品	部材																									
	不明																								2	
自然遺物	加工品			1	1	1		1	2	4							1	1								
	獣骨	3	3	30	36	6		8	4	35	53	5	25	1	1	17	66	115	11		1			46	3	
	人骨									3	3															
	魚骨・鱗			1	1					2	2		1					1								
	貝								1		1													1		
炭化物	2	1	3	12				11	23	4	2		1		3	10							26	1		
近代遺物	2	1	4	7				1		1																
中世以前							1			1																
不明	1		1	2	2		1		5	8	3				1		4	2					6			
その他																										
合計	167	153	1322	1642	525	70	753	326	1820	3494	282	557	52	26	610	1669	3196	215	360	29	57	12	856	185	2	

出土面		第4面					第5面					第6面					第7面									
種別		方形 竪穴	方形 竪穴	遺構 外	構成 土	合計	ピット	土坑	井戸 裏込	井戸 木枠内	溝状 遺構	遺構 外	構成 土	合計	ピット	土坑	遺構 外	構成 土	合計	ピット	土坑	溝状 遺構	遺構 外	構成 土	合計	
遺構番号		234	235						244	244	245											290				
かわらけ	大		7	17	6	320	1	40	38		3	104	114	300	7	8	1	79	95	11	35	3	40	4	93	
	中					1																				
	小	1	5	8	2	100	1	10	8			21	38	78		2		28	30	3	10		2		15	
	小片	3	9	11	10	227	3	16	43	1	3	57	48	171	6	9	1	39	55	24	36		42	2	104	
	大	2	2	2		9	2	1	5			5	3	16	2	1		17	20	3	11				1	15
	小				1	2			3	3		1	6	9	22			2	11	13	2	8		10	1	21
	白かわらけ	1	1			7				1		1	10	4	16				3	3						
	特殊					2															1					1
	取瓶											1		1												
	国産陶磁器	常滑	9	15	107	8	912	7	85	129	5	10	198	210	644	3	27		86	116	6	41		23		70
壺			1	3		19		6	4			5	16	31				1	1		1				1	
I類				10		77	2	8	24	1	1	27	21	84	1	3		16	20		7		9		16	
II類				3		6		2	1			4	8	15				4	4		1				1	
磨り常滑						2																				
無類壺																										
瀬戸						9		2		1			1	4		3		1	4							
渥美					3	24		1	1				12	8	22				6	6	4	3		6		13
備前																										
山		北部				1																				
茶碗	南部				1	7		4	1			6	6	17				1	1		1				1	
山皿																										
不明													1	1												
舶載陶磁器	青磁	1	1	5	1	43	1	3	7	1		10	7	29	1			5	6		3				3	
	白磁			2	1	18		5	5			6	4	20				1	1		2		1		3	
	青白磁				1	12		1	2	1		4		8				1	1		4		1		5	
	緑釉																									
	褐釉					2																				
	不明							1		1			1	3												
土製品	火鉢					1			2				5	7										1	1	
	罌釜					3						1	3	4							14				14	
	羽口																									
	その他			1		2		2						2												
	吉備系																									
	土錘					1																				
瓦質製品	瓦器					3																				
	火鉢			4		18						1		1					1		1				1	
	瓦					2															2				2	
	その他			1		1																				
金属製品	銭			7	1	16		5	6	1		5	1	18				1	1	1	8				9	
	釘			2		42		20	8	6		7	12	53	1	3		4	8		8		4		12	
	火打金																									
	鉄滓					1						1	1	2								1			1	
	不明					1		7				1		8												
石製品	砥石					6																				
	硯																									
	滑石					5		1	2			1		4												
	軽石					2																				
	玉石																									
	碁石																									
	その他					3													1	1	1	1			2	
雲母																										
木製品	部材								3					3												
	箸								2					2												
	不明					2			2					2												
自然遺物	加工品							2				1	1	4												
	獣骨		1	5		67		5	4			18	23	50	1			1	2	1			2		3	
	人骨																									
	魚骨・鱗																									
	貝					1																				
炭化物			7		34			2				8	10							13				13		
近代遺物																							1	1		
中世以前								1					1													
不明			2		10		1	1				3	5													
その他																										
合計	1	42	190	42	1991	17	232	305	18	19	512	556	1659	22	57	4	306	389	57	211	3	142	8	421		

出土面		第8面				試掘	廃土	表土	攪乱	総計
種別	ビット	土坑	遺構外	合計						
遺構番号										
かわらけ	大	7	2	13	22	21	17	36	4	2361
	中									17
	小	3		5	8	3	8	21	2	786
	小片	15	43	39	97	10	6	23	29	1315
	大	10	10	32	52					120
	小	3	3	12	18					77
	白かわらけ						1			47
	特殊			2	2					15
	取瓶									12
	国産陶磁器	常滑	3	6	16	25	62	45	193	2
壺		1	1	1	3	1	2			119
I類		1	1	1	3	1	4			483
II類						1				60
磨り常滑										8
無類壺										0
瀬戸						1	2	12		114
渥美				2	2	1				73
備前										4
山		北部								2
茶		南部					1			50
碗										
山皿										1
不明									2	
舶載陶磁器	青磁					1	6	24	1	306
	白磁					1	6	6		137
	青白磁	1			1		2	3		74
	緑釉									1
	褐釉							2		6
	不明									7
土製品	火鉢					2		3	2	46
	鍔釜						1			35
	羽口								1	2
	その他							1		9
	吉備系									4
	土錘									2
瓦質製品	瓦器								1	10
	火鉢						1	4		89
	瓦									7
	その他							1		4
金属製品	銭						2	4		132
	釘		1	1	2		2	3		349
	火打金									1
	鉄滓							1		13
	不明							1		24
石製品	砥石							3	1	48
	硯									1
	滑石					1		2	1	39
	軽石						1	3		10
	玉石							79		101
	碁石									4
	その他									17
	雲母									1
	不明									4
木製品	部材									3
	箸						2			4
	不明									4
	加工品									10
	自然遺物		2		2		5	3		336
獣骨									3	
人骨									5	
魚骨・鱗			1	1						
貝								12	14	
炭化物						1	5		99	
近代遺物						12	145	44	210	
中世以前									2	
不明						2			31	
その他										
合計	44	69	125	238	106	129	590	88	13943	

表3 遺構計測表 (単位 = m)

遺構 NO	上端 レベル	上端 最大径	底面レベル
1面			
1	8.22 ~ 8.20	0.62	8.04 ~ 8.03
2	8.22 ~ 8.21	0.42	8.13
3	不明	不明	
4	8.28 ~ 8.26	0.56	8.07
5	8.30	0.57	8.02
6	8.30 ~ 8.29	0.47	8.15
7	8.28 ~ 8.22	0.40	8.11 ~ 8.09
8	8.32 ~ 8.28	0.54	8.08
9	8.32	0.31	8.1
10	8.31 ~ 8.30	0.67	8.16 ~ 8.14
11	8.32 ~ 8.31	0.63	8.03 ~ 8.02
12	8.34 ~ 8.31	0.55	8.05
13	8.34 ~ 8.31	0.65	8.15 ~ 8.14
14	8.33 ~ 8.30	0.45	8.16
15	8.31 ~ 8.28	0.44	8.2
16	8.34 ~ 8.32	0.32	8.26
17	8.34 ~ 8.31	0.30	8.12
18	8.32 ~ 8.31	0.26	8.15
19	8.34	0.51	8.11 ~ 8.10
20	8.35 ~ 8.33	0.62	8.11 ~ 8.10
21	8.34	0.45	8.21
22	8.35 ~ 8.33	0.50	8.12 ~ 8.08
23	8.30	0.58	8.02
24	8.34 ~ 8.30	0.57	8.09 ~ 8.08
25	8.36 ~ 8.22	0.60	8.08
26	8.33 ~ 8.25	0.51	8.09
27	8.36	0.49	8.12
28	8.32 ~ 8.31	0.70	8.04 ~ 8.03
29	8.25 ~ 8.23	0.61	8.18
30	8.27 ~ 8.25	0.77	8.00
31	8.28 ~ 8.24	1.27	8.13 ~ 8.07
32	8.28 ~ 8.24	1.11	8.10 ~ 8.08
33	8.32 ~ 8.29	0.92	8.22 ~ 8.20
34	8.31 ~ 8.22	1.08	8.09 ~ 7.96
35	8.33 ~ 8.24	1.28	8.07 ~ 7.94
36	8.34 ~ 8.32	1.05	8.28 ~ 8.27
2面			
37	8.07 ~ 8.04	0.43	7.72
38	8.09 ~ 8.04	0.55	7.85
39	8.09	0.29	7.73
40	8.02 ~ 8.00	0.50	7.40
41	8.07 ~ 8.05	0.50	7.80
42	8.06 ~ 8.04	0.55	7.81
43	8.08 ~ 8.04	0.62	7.80
44	8.08 ~ 8.06	0.62	7.92
45	8.07 ~ 8.03	0.45	7.70
46	8.03 ~ 8.01	0.50	7.74
47	8.06 ~ 8.03	0.67	7.81
48	8.09 ~ 8.04	0.87	7.76
49	8.10 ~ 8.07	0.56	7.71
50	8.07 ~ 8.01	0.70	7.75 ~ 7.71
51	8.01	0.25	7.51
52	8.03 ~ 7.98	0.62	7.61
53	8.07	0.38	7.82
54	8.10 ~ 8.07	0.64	7.77
55	8.10 ~ 8.08	0.54	7.78
56	8.10 ~ 8.09	0.60	7.82
57	8.09 ~ 8.05	0.40	8.02
58	8.07 ~ 8.04	0.58	7.96 ~ 7.94
59	8.07 ~ 8.01	1.15	7.89 ~ 7.81
60	8.05 ~ 8.00	0.67	7.69
61	8.07 ~ 8.02	0.47	7.69
62	8.07 ~ 8.04	0.40	7.99
63	8.05	0.47	7.98
64	8.05 ~ 8.04	0.50	7.88

遺構 NO	上端 レベル	上端 最大径	底面 レベル
2面			
65	8.05 ~ 8.04	0.32	7.87
66	8.13 ~ 8.06	0.47	7.73
67	8.08 ~ 8.04	0.50	7.83
68	8.07 ~ 8.05	0.60	7.86
69	8.07 ~ 8.04	0.48	7.97
70	8.08 ~ 8.06	0.30	7.95
71	8.08 ~ 8.06	0.58	7.94
72	8.07 ~ 8.05	0.50	7.92
73	8.08 ~ 8.05	0.60	7.85
74	8.01	0.70	7.70 ~ 7.66
75	8.02 ~ 8.00	0.33	7.87
76	8.11 ~ 8.06	0.53	7.90
77	8.11 ~ 8.08	0.45	7.92
78	8.07 ~ 8.06	0.33	8.00
79	8.11 ~ 8.08	0.40	7.92
80	8.09 ~ 8.06	0.80	7.91 ~ 7.84
81	8.09 ~ 8.07	0.50	7.88
82	8.14 ~ 8.11	0.49	7.75
83	8.08 ~ 8.06	0.52	7.78
84	8.10 ~ 8.05	0.31	7.95
85	8.05 ~ 8.04	0.35	7.57
86	8.08 ~ 8.05	0.58	7.56
87	8.10 ~ 8.06	0.59	7.83
88	8.10 ~ 8.06	0.33	7.89
89	8.10 ~ 8.09	0.40	7.78
90	8.09 ~ 8.06	0.28	8.11
91	8.07 ~ 8.06	0.35	7.82
92	8.07 ~ 8.05	0.48	7.92
93	8.07 ~ 8.05	0.58	7.88
94	8.09 ~ 8.03	0.35	7.88
95	8.08 ~ 8.04	0.67	7.80
96	8.06 ~ 8.01	0.66	7.83
97	8.03 ~ 7.99	0.60	7.60
98	8.06 ~ 7.94	0.55	7.67
99	8.06 ~ 7.99	0.55	7.13
100	8.04 ~ 8.02	0.70	7.93
101	8.02 ~ 8.01	0.55	7.88
102	8.05 ~ 8.03	0.40	7.60
103	8.05 ~ 8.02	0.48	7.73
104	8.05 ~ 8.04	0.75	7.94 ~ 7.91
105	8.03 ~ 8.00	0.77	7.90 ~ 7.87
106	8.06 ~ 7.98	0.69	7.92 ~ 7.90
107	8.02 ~ 8.01	0.40	7.89
108	8.04 ~ 8.02	0.58	7.92 ~ 7.88
109	8.04 ~ 8.02	0.71	7.88
110	8.08 ~ 8.04	0.65	7.99 ~ 7.96
111	8.06 ~ 8.01	0.54	7.94 ~ 7.89
112	8.05 ~ 8.02	0.74	7.96 ~ 7.91
113	8.04 ~ 7.99	0.55	7.94
114	8.06 ~ 8.03	0.80	7.85 ~ 7.83
115	8.07 ~ 8.01	1.27	7.51 ~ 7.43
116	8.10 ~ 8.06	1.06	7.90 ~ 7.87
117	8.09 ~ 8.01	1.23	7.79 ~ 7.72
118	8.06 ~ 8.01	1.12	7.79 ~ 7.74
119	8.07 ~ 8.05	0.78	7.90 ~ 7.86
120	8.06	0.87	7.96
121	8.08 ~ 8.01	1.42	7.91 ~ 7.85
122	8.10 ~ 8.06	1.83	7.60 ~ 7.54
123	8.08 ~ 8.01	1.60	7.71 ~ 7.67
124	8.10 ~ 8.05	1.00	7.81 ~ 7.80
125	8.09 ~ 8.01	2.30	7.79 ~ 7.74
126	-	-	7.60 ~ 7.53
127	8.07 ~ 8.00	0.82	7.97 ~ 7.95
128	-	-	-
129	-	-	-

遺構 NO	上端 レベル	上端 最大径	底面レベル
3面			
130	7.70 ~ 7.67	0.50	7.57
131	7.74 ~ 7.70	0.54	7.31
132	7.70 ~ 7.67	0.51	7.55
133	7.67 ~ 7.65	0.55	7.54
134	7.73 ~ 7.72	0.69	7.37
135	7.71 ~ 7.68	0.52	7.53
136	7.68	0.43	7.42
137	7.68 ~ 7.66	0.38	7.48
138	7.68 ~ 7.67	0.48	7.37
139	7.71 ~ 7.69	0.54	7.26
140	7.70 ~ 7.68	0.58	7.53
141	7.73 ~ 7.69	0.52	7.56
142	7.71 ~ 7.69	0.50	7.55
143	7.72 ~ 7.70	0.63	7.44
144	7.74 ~ 7.69	0.47	7.55
145	7.72 ~ 7.71	0.48	7.55
146	7.73 ~ 7.72	0.44	7.53
147	7.73 ~ 7.69	0.77	7.41
148	7.72 ~ 7.69	0.44	7.54
149	7.70 ~ 7.65	0.69	7.50
150	7.72	0.53	7.47
151	7.70 ~ 7.65	7.01	7.25
152	7.68 ~ 7.65	0.47	7.28
153	7.71 ~ 7.69	0.37	7.50
154	7.73 ~ 7.69	0.47	7.37
155	7.70 ~ 7.67	0.60	7.50
156	7.68 ~ 7.61	0.64	7.27
157	7.76 ~ 7.73	1.30	7.45 ~ 7.40
158	7.74 ~ 7.71	0.78	7.49 ~ 7.51
159	7.70 ~ 7.65	1.85	7.50 ~ 7.38
160	7.72 ~ 7.69	0.82	7.45 ~ 7.41
161	7.70 ~ 7.68	1.08	7.55 ~ 7.51
162	7.70 ~ 7.68	0.86	7.42
163	7.72 ~ 7.67	1.89	7.26 ~ 7.24
164	7.70 ~ 7.64	1.30	7.01 ~ 6.97
165	7.69 ~ 7.67	-	7.65 ~ 7.61
166	7.69 ~ 7.68	-	7.67
167	7.65 ~ 7.63	0.88	7.58 ~ 7.55
168	7.67 ~ 7.66	0.85	7.56 ~ 7.55
169	7.68 ~ 7.66	0.77	7.56 ~ 7.54
170	7.70 ~ 7.66	0.80	7.59 ~ 7.56
171	7.71 ~ 7.66	1.72	7.65 ~ 7.61
172	7.73 ~ 7.67	1.23	7.67 ~ 7.62
173	7.72 ~ 7.67	0.95	7.61 ~ 7.58
174	7.67 ~ 7.61	0.82	7.58
175	7.73 ~ 7.69	5.30	7.66 ~ 7.55
176	-	-	-
4面			
177	7.44 ~ 7.41	0.45	7.27
178	7.46 ~ 7.44	0.55	7.31
179	7.45 ~ 7.44	0.37	7.28
180	7.45 ~ 7.43	0.50	7.25
181	7.41 ~ 7.40	0.65	7.06
182	7.49 ~ 7.48	0.45	7.19
183	7.48	0.47	7.27
184	7.48 ~ 7.44	0.60	6.88
185	7.45 ~ 7.42	0.53	7.23
186	7.43 ~ 7.39	0.50	6.89
187	7.42 ~ 7.40	0.38	7.15
188	7.44 ~ 7.42	0.35	7.19
189	7.42 ~ 7.39	0.60	7.31
190	7.46 ~ 7.42	0.46	7.29
191	7.50 ~ 7.47	0.49	7.40
192	7.46 ~ 7.45	0.65	7.32 ~ 7.30
193	7.42 ~ 7.39	0.63	7.25

遺構 NO	上端 レベル	上端 最大径	底面レベル
4面			
194	7.47 ~ 7.41	0.50	7.37
195	7.50 ~ 7.46	0.58	7.23
196	7.51 ~ 7.48	0.61	7.18
197	7.48 ~ 7.45	0.65	7.42
198	7.53 ~ 7.45	0.60	7.39 ~ 7.34
199	7.51 ~ 7.47	0.78	7.38
200	7.53 ~ 7.47	0.50	7.35
201	7.50 ~ 7.45	0.52	7.21
202	7.49 ~ 7.46	0.43	7.31
203	7.47 ~ 7.44	0.55	7.07
204	7.47 ~ 7.44	0.50	7.37 ~ 7.34
205	7.47 ~ 7.45	0.80	7.18
206	-	0.59	7.1
207	7.47	0.42	7.09
208	7.49 ~ 7.45	0.47	7.19
209	7.48 ~ 7.46	0.41	7.32
210	7.41 ~ 7.40	0.87	7.21
211	7.42 ~ 7.37	0.75	7.21
212	7.45 ~ 7.43	0.78	7.02
213	7.44 ~ 7.41	0.82	7.31 ~ 7.29
214	7.50 ~ 7.42	1.82	7.11 ~ 7.09
215	7.45 ~ 7.42	0.76	6.89
216	7.51 ~ 7.47	0.96	7.47 ~ 7.36
217	7.49 ~ 7.44	0.95	7.16
218	7.46	0.60	7.22
219	7.47	0.82	7.20
220	7.50 ~ 7.43	0.74	7.39 ~ 7.35
221	-	-	-
222	-	-	7.56 ~ 7.53
223	7.51 ~ 7.48	0.72	7.36 ~ 7.34
224	7.49 ~ 7.41	0.68	7.36
225	7.52 ~ 7.48	0.70	7.46 ~ 7.43
226	7.56 ~ 7.53	0.68	7.49 ~ 7.47
227	7.48 ~ 7.45	0.54	7.34
229	7.49 ~ 7.43	4.92	7.44 ~ 7.35
230	7.51 ~ 7.46	4.72	7.46 ~ 7.41
231	7.47 ~ 7.40	3.59	7.03 ~ 6.93
231	7.49 ~ 7.42	4.50	7.00 ~ 6.92
232	6.96 ~ 6.88	3.50	6.72 ~ 6.66
233	6.71 ~ 6.66	3.04	6.53 ~ 6.48
234	6.56 ~ 6.41	5.69	6.37 ~ 6.32
235	7.33 ~ 7.29	2.25	6.77 ~ 6.57
235	7.17 ~ 7.10	1.72	6.57 ~ 6.52
235-1	6.51 ~ 6.45	0.29	6.07
235-2	6.52 ~ 6.47	0.28	6.2
235-3	6.58 ~ 6.53	0.24	6.12
235-4	6.54 ~ 6.52	0.21	6.35
5面			
236	7.29 ~ 7.28	0.30	7.16
237	7.37 ~ 7.33	0.40	7.30
238	7.43 ~ 7.37	0.62	7.17
239	7.29 ~ 7.26	1.43	6.63 ~ 6.50
240	7.32 ~ 7.27	1.18	6.60 ~ 6.52
241	7.40 ~ 7.35	1.04	6.94 ~ 6.90
242	7.47 ~ 7.37	0.80	7.18
243	-	1.27	7.14 ~ 7.09
244	-	-	(6.41)
245	7.38 ~ 7.32	3.08	7.35 ~ 7.24
246	7.48 ~ 7.45	0.68	7.21 ~ 7.16
6面			
247	7.23	0.35	7.02
248	7.24 ~ 7.23	0.29	7.15
249	7.26 ~ 7.23	0.56	7.16
250	7.26 ~ 7.24	0.45	7.09
251	7.29 ~ 7.23	0.50	7.09
252	7.10 ~ 7.07	0.47	6.91
253	7.28 ~ 7.25	0.25	7.19

遺構 NO	上端 レベル	上端 最大径	底面 レベル
6面			
254	7.30 ~ 7.28	0.52	7.22
255	7.20 ~ 7.19	0.88	6.92 ~ 6.85
256	7.22 ~ 7.21	0.73	7.08
257	7.26 ~ 7.23	1.67	7.13 ~ 7.05
7面			
258	7.02 ~ 7.01	0.45	6.90
259	7.01 ~ 7.00	0.65	6.84
260	7.02 ~ 7.01	0.49	6.89
261	7.03 ~ 7.00	0.45	6.94
262	7.08 ~ 7.02	0.57	7.00 ~ 7.02
263	7.07 ~ 7.05	0.47	6.86
264	7.13 ~ 7.11	0.42	6.92
265	7.05 ~ 7.02	0.31	6.92
266	7.05 ~ 7.04	0.36	6.79
267	7.05 ~ 7.04	0.38	6.77
268	7.11 ~ 7.09	0.38	6.88
269	7.08 ~ 7.07	0.34	6.78
270	7.08 ~ 7.06	0.55	6.91
271	7.08 ~ 7.07	0.50	6.92
272	7.12 ~ 7.05	0.58	6.98 ~ 6.94
273	7.15 ~ 7.11	0.68	6.76
274	7.14 ~ 7.12	0.58	6.83
275	7.13 ~ 7.12	0.47	6.81
276	7.16 ~ 7.15	0.39	6.87
277	7.15 ~ 7.13	0.33	7.05
278	7.15 ~ 7.14	0.37	6.98 ?
279	7.15 ~ 7.13	0.32	6.94
280	7.01 ~ 7.00	0.87	6.75 ~ 6.67
281	7.07	0.70	7.04 ~ 7.02
282	7.08 ~ 7.05	1.02	6.90 ~ 6.87
283	7.13 ~ 7.02	0.92	6.79 ~ 6.70
284	7.14 ~ 7.11	0.93	7.07 ~ 7.03
285	7.15 ~ 7.06	1.13	6.96 ~ 6.90
286	7.08 ~ 7.04	0.59	6.94 ~ 6.93
287	7.16 ~ 7.13	0.75	6.97 ~ 6.93
288	7.18 ~ 7.13	0.90	6.94 ~ 6.93
289	7.21 ~ 7.12	1.26	6.88 ~ 6.81
290	7.15 ~ 7.11	1.20	7.10 ~ 7.09
8面			
292	6.85	0.43	6.61
293	6.84 ~ 6.83	0.43	6.54
294	6.85 ~ 6.83	0.37	6.45
295	6.84 ~ 6.83	0.45	6.75 ~ 6.72
296	6.83 ~ 6.82	0.50	6.65
297	6.89 ~ 6.85	0.60	6.67 ~ 6.65
298	6.90 ~ 6.88	0.36	6.46
299	6.90 ~ 6.87	0.67	6.51
300	6.87 ~ 6.84	0.50	6.65
301	6.92 ~ 6.87	0.38	6.60
302	6.93	0.28	6.72
303	6.92	0.47	6.65 ~ 6.62
304	6.94 ~ 6.91	0.35	6.76
305	6.94 ~ 6.92	0.50	6.51
306	6.88 ~ 6.71	1	6.57 ~ 6.52
307	6.88 ~ 6.76	1.24	6.40 ~ 6.37
308	6.85 ~ 6.76	0.98	6.72 ~ 6.70
309	6.84	0.66	6.72 ~ 6.68
310	6.95 ~ 6.93	1.02	6.78 ~ 6.70
311	6.92	0.94	6.82 ~ 6.74

表4 自然遺物集計表

No.	面	遺構	数量	部位等	備考
1		表土	1	中足骨	ウマか
2		表土	1	中足骨片	
3		表土	15	肋骨片	
4		表土	3	骨片	被熱
5		表土	17	小片	
6		表土	2	下顎骨	イルカ
7		表土	10	不明	
8		表土	4	鳥類	
9		表土	1	椎骨	カツオ
10		表土	1	尾椎骨か	
11		表土	1	下顎骨内歯	マダイ
12		表土	1	前上顎骨	クロダイ
13		表土	1	主鰓蓋骨片	
14		表土	1		メガイアワビ
15		表土	2		サザエ(有棘)
16		表土	1		シャコカキ
17		表土	1		ツメタガイ
18		表土	1		アサリ
19		表土	1		ハマグリ
37		表土	1	不明	
38		表土	1		サザエ(有棘)
20		廃土	1	椎骨	イヌか
21		廃土	1	肩甲骨	イヌか
22		廃土	3	不明	
23	1	18	1	不明	
24	1	28	1	肋骨片	
25	1	35	1	歯骨	イシダイ
26	1	36	1	不明	
27	1	36	1	肋骨	被熱
28	1	遺構外	1	胸椎	イルカ
29	1	遺構外	1	不明	
30	1	遺構外	1	不明	
31	1	遺構外	1		シジミか
32	1	構成土	1	肩甲骨	ノウサギか
33	1	構成土	6	肋骨片	
34	1	構成土	1	主鰓蓋骨	マダイか
35	1	構成土	1	椎骨	魚類
36	1	構成土	5	不明	
39	2	54	1	肋骨	切断痕
40	2	58	1	鳥類	
41	2	79	1	不明	切断痕
42	2	85	1	不明	
43	2	95	1	下顎骨	イルカ
44	2	98	1	椎骨	サメ
45	2	115	1	加工骨片	
46	2	115	1	肋骨片	
47	2	115	1	不明	
48	2	117	1	不明	
49	2	121	1	肋骨片	
50	2	123	1	不明	
51	2	123	1	椎骨	魚類
52	2	126	2	肋骨片	
53	2	126	1	加工骨	
54	2	126	1	不明	
55	2	127	1	背鰭棘	チダイか
56	2	遺構外	1	犬歯	イヌ
57	2	遺構外	2	肋骨片	
58	2	遺構外	1	加工骨片	
59	2	遺構外	1	不明	
60	2	遺構外	1		サザエ(有棘)
61	2	構成土	8	肋骨片	
62	2	構成土	2	加工骨片	
63	2	構成土	12	不明	
64	2	構成土	1	不明	被熱
65	2	構成土	1	腰椎	イルカ
66	2	構成土	1	橈骨か	鳥類
67	2	構成土	1	不明	鳥類
68	2	構成土	1	終尾椎	魚類
69	2	構成土	1	椎骨	サメ
70	2	構成土	1	歯骨	クロダイ
71	2	構成土	1	上顎骨	マダイ・チダイ
72	2	構成土	1	歯骨	ハタ
73	2	構成土	1	主上顎骨	不明
74	3	134	1	肋骨片	

No.	面	遺構	数量	部位等	備考
75	3	138	1	肋骨片	
76	3	141	1	不明	
77	3	142	1	肋骨片	
78	3	143	1	不明	
79	3	158	1	不明	
80	3	159	2	肋骨	
81	3	159	3	不明	
82	3	159	1	胸椎	イルカ
83	3	159	1	背鰭棘	チダイか
84	3	160	1	鱗	
85	3	161	12	不明	
86	3	162	2	不明	
87	3	163	1	肋骨片	
88	3	175	1	肋骨片	
89	3	遺構外	1	脛骨	シカ
90	3	遺構外	8	不明	
91	3	遺構外	6	肋骨片	
92	3	遺構外	1	前鰓蓋骨	タイ類
93	3	遺構外	1	鰭棘	カツオか
94	3	構成土	2	下顎骨	イルカ
95	3	構成土	1	歯	イルカ
96	3	構成土	1	背鰭棘	チダイか
97	4	183	9	不明	
98	4	184	1	肋骨片	
99	4	198	1	下顎骨	ヒト
100	4	205	1	不明	
101	4	231	1	大腿骨	ノウサギ
102	4	231	6	肋骨片	
103	4	231	6	加工骨	
104	4	231	20	不明	
105	4	231	5	不明	魚骨
106	4	231	1		トコブシ
107	4	232	1	脛骨	ノウサギ
108	4	232	2	不明	
109	4	233	1	不明	
110	4	235	1	不明	
111	4	遺構外	1	寛骨か	
112	4	遺構外	1	不明	
113	4	遺構外	1	前上顎骨	コブダイ
114	4	遺構外	1	歯骨	コブダイ
115	5	243	2	角加工品	シカ
116	5	243	2	肋骨片	
117	5	243	4	不明	
118	5	244	2	加工骨	
119	5	244	1	寛骨	
120	5	244	1	不明	
121	5	遺構外	1	上腕骨	ノウサギか
122	5	遺構外	14	不明	
123	5	構成土	1	中足骨	ウマ
124	5	構成土	1	尺骨	
125	5	構成土	1	肋骨片	
126	5	構成土	3	不明	
127	5	構成土	1	不明	鳥類
128	5	構成土	1	背鰭棘	チダイか
129	6	構成土	1	肋骨片	
130	7	250	1	不明	被熱
131	7	262	1	不明	
132	7	遺構外	1	不明	
133	8	310	1	不明	
134	8		1	不明	
135	8	遺構外	1	魚骨不明	

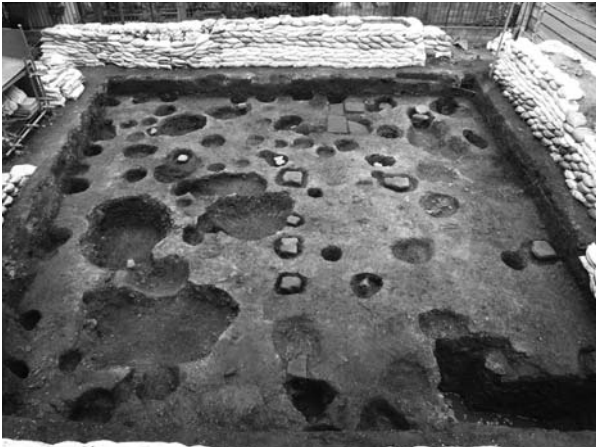




1. 第1面全景 (南から)



2. 第1面遺構 33 (南から)



3. 第2面全景 (南から)



4. 第2面礎石建物 (南から)



5. 第2面遺構 115 (北から)



6. 第2面遺構 123 (東から)



7. 第2面遺構 126 (北から)



8. 第2面遺構 127 (東から)



1. 第3面全景 (南から)



2. 第3面礎石建物 (北から)



4. 第3面遺構 175 (西から)



4. 第3面遺構 159 (西から)



5. 第4面全景 (南から)



6. 第4面礎石建物 (西から)



7. 第4面遺構 214 (西から)



8. 第4面遺構 229・230 (南から)



1. 第4面遺構 231 (西から)



2. 第4面遺構 231 (西から)



3. 第4面遺構 231 (北から)



4. 第4面遺構 232・233 (南から)



5. 第4面遺構 232・233 (北から)



6. 第4面遺構 235 (北から)



7. 第4面遺構 235 (東から)



8. 第4面遺構 235 (北から)



1. 第4面遺構 234 (南から)



2. 第4面遺構 234 (東から)



3. 第5面全景 (南から)



4. 第5面遺構 242 (南から)



6. 第5面遺構 241 (北から)



6. 第4面遺構 245 (東から)



7. 第5面遺構 243 (東から)



8. 第4面遺構 243 下層 (東から)



1. 第5面遺構 244 (東から)



2. 第5面遺構 244 井戸枠検出 (東から)



3. 第5面遺構 244 完掘 (東から)



4. 第5面遺構 244 壁面土層 (北から)



5. 第6面全景 (南から)



6. 第6面遺構 255 (東から)



7. 第7面全景 (南から)



8. 第8面全景 (北から)



1. 調査区南壁セクション（北から）



2. 調査区西壁セクション（東から）



6-1  
遺構 1

6-2



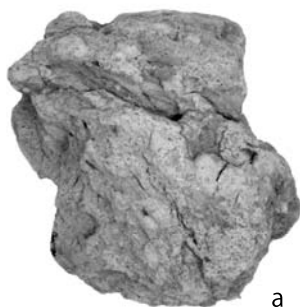
6-3



|



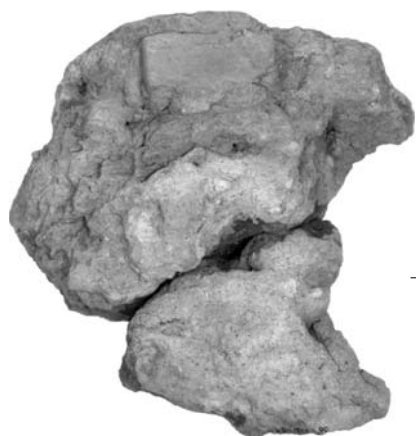
|



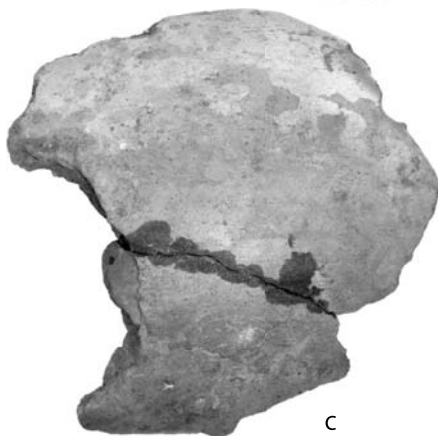
a



b

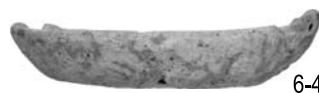


—



c

遺構 3



6-4



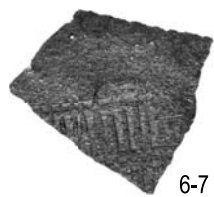
6-5

遺構 7



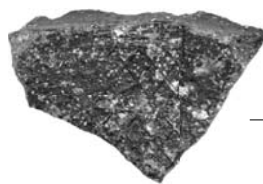
6-6

遺構 10

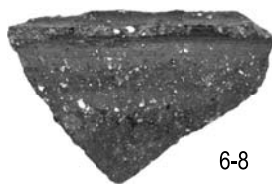


6-7

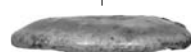
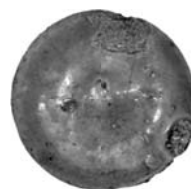
遺構 12



遺構 14



6-8



6-12

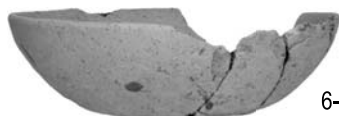


6-13

遺構 25



6-14



6-9

遺構 20



6-16

遺構 28



6-17



6-18



遺構 30



6-15

遺構 26



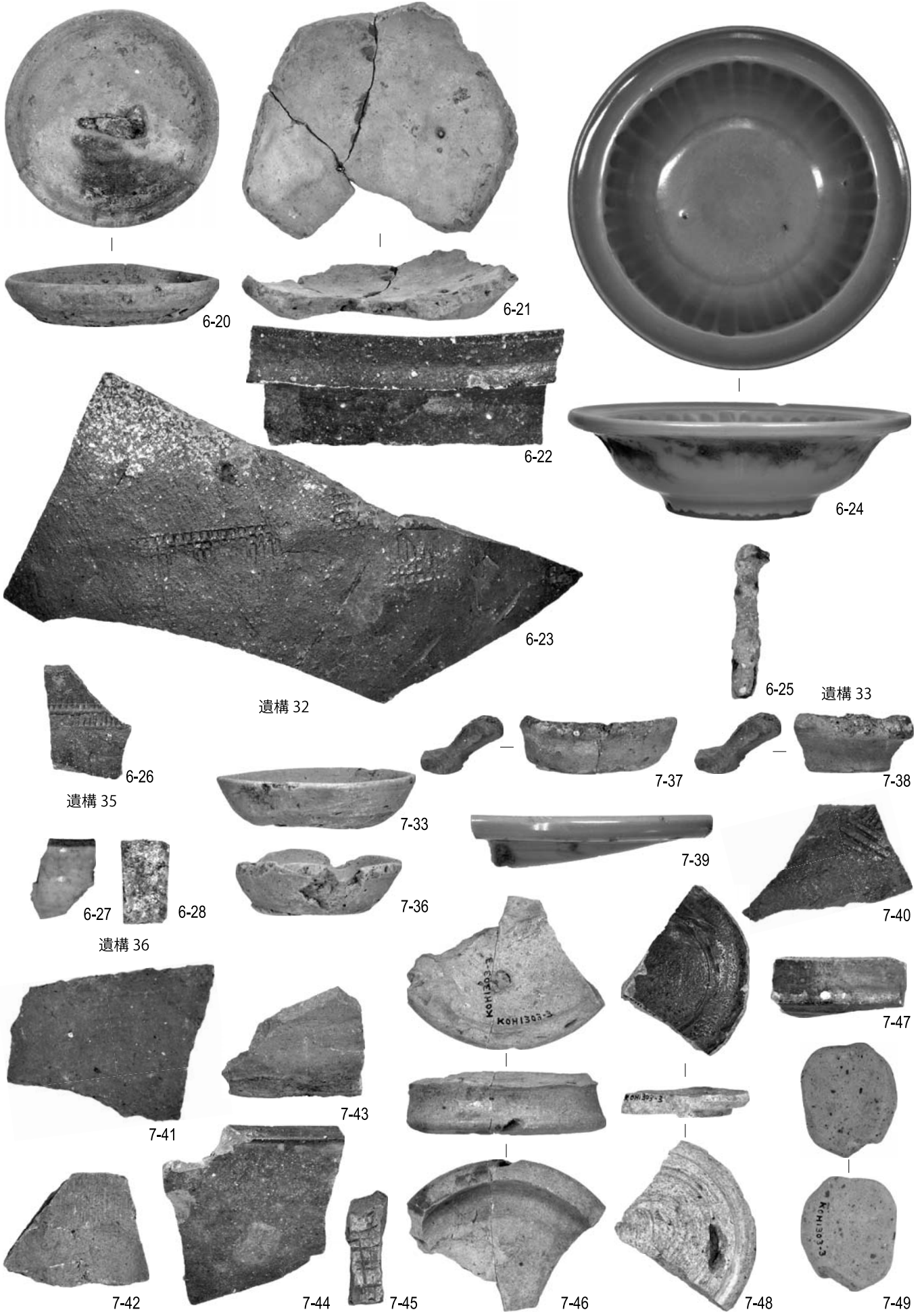
6-17



6-18



6-19



遺構 32

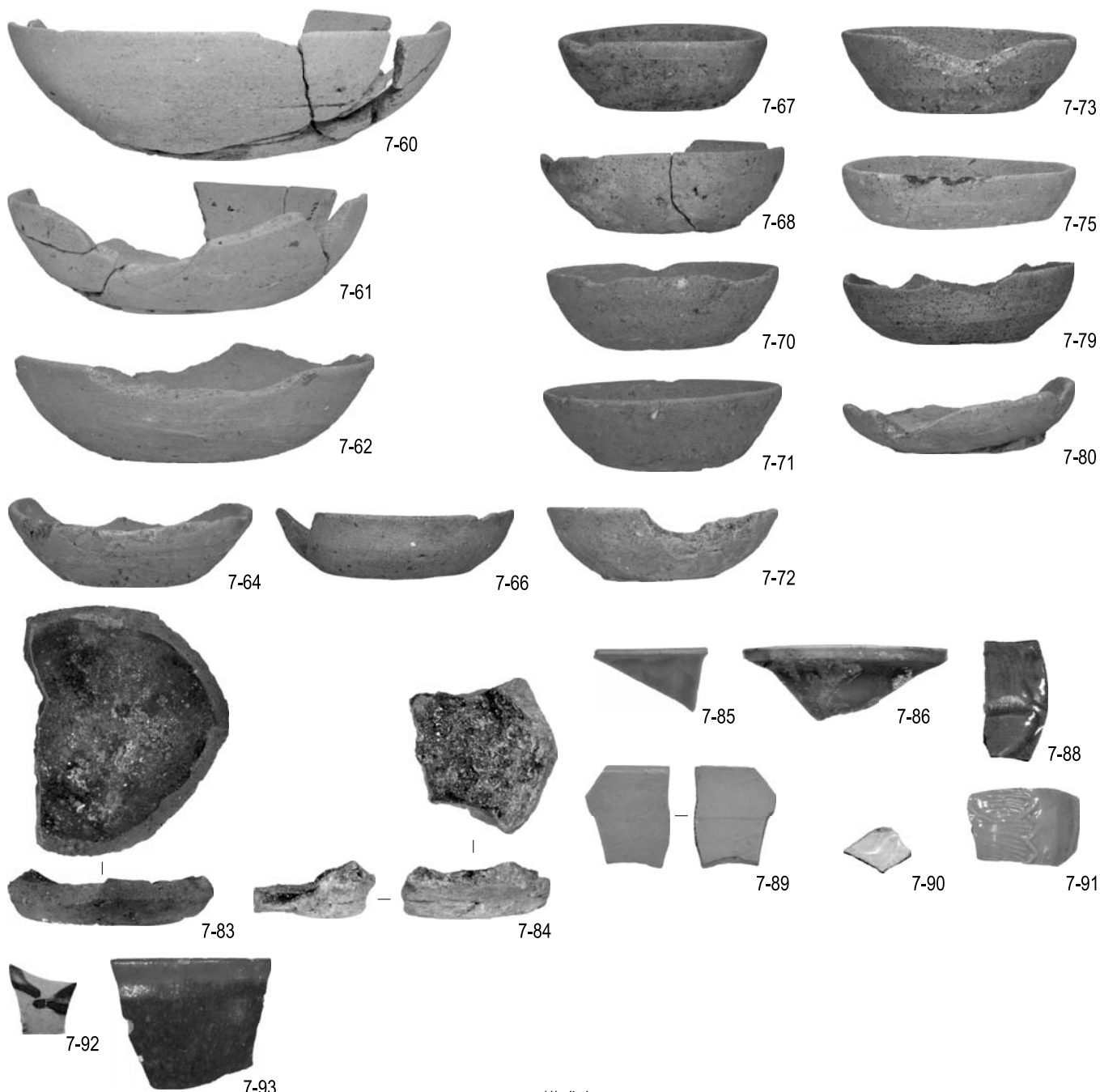
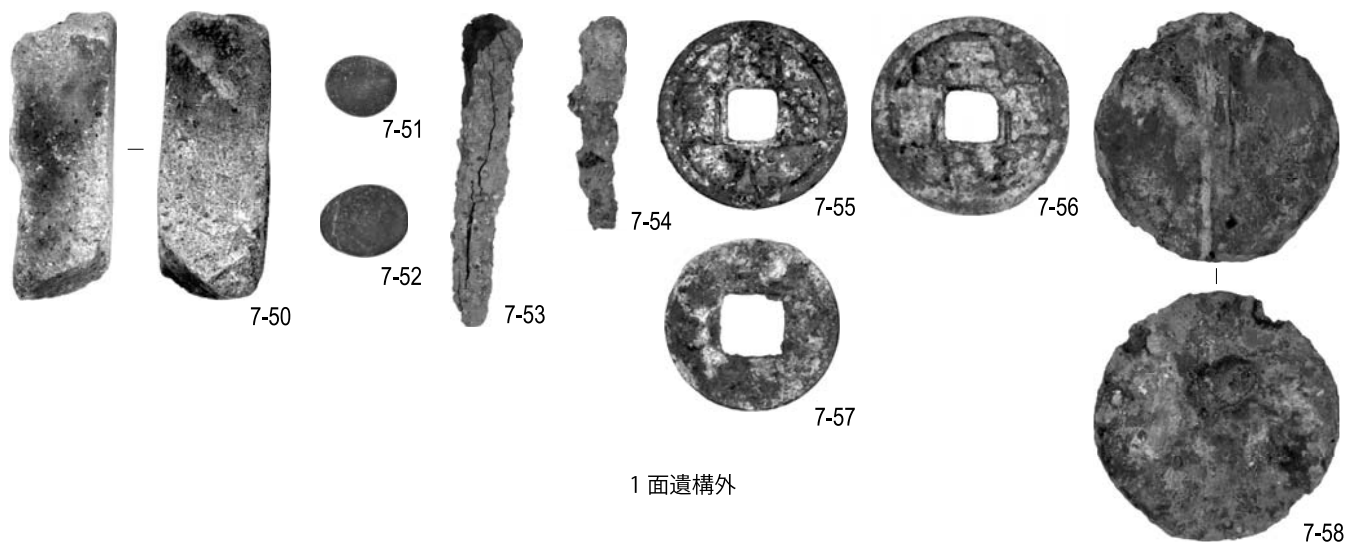
遺構 33

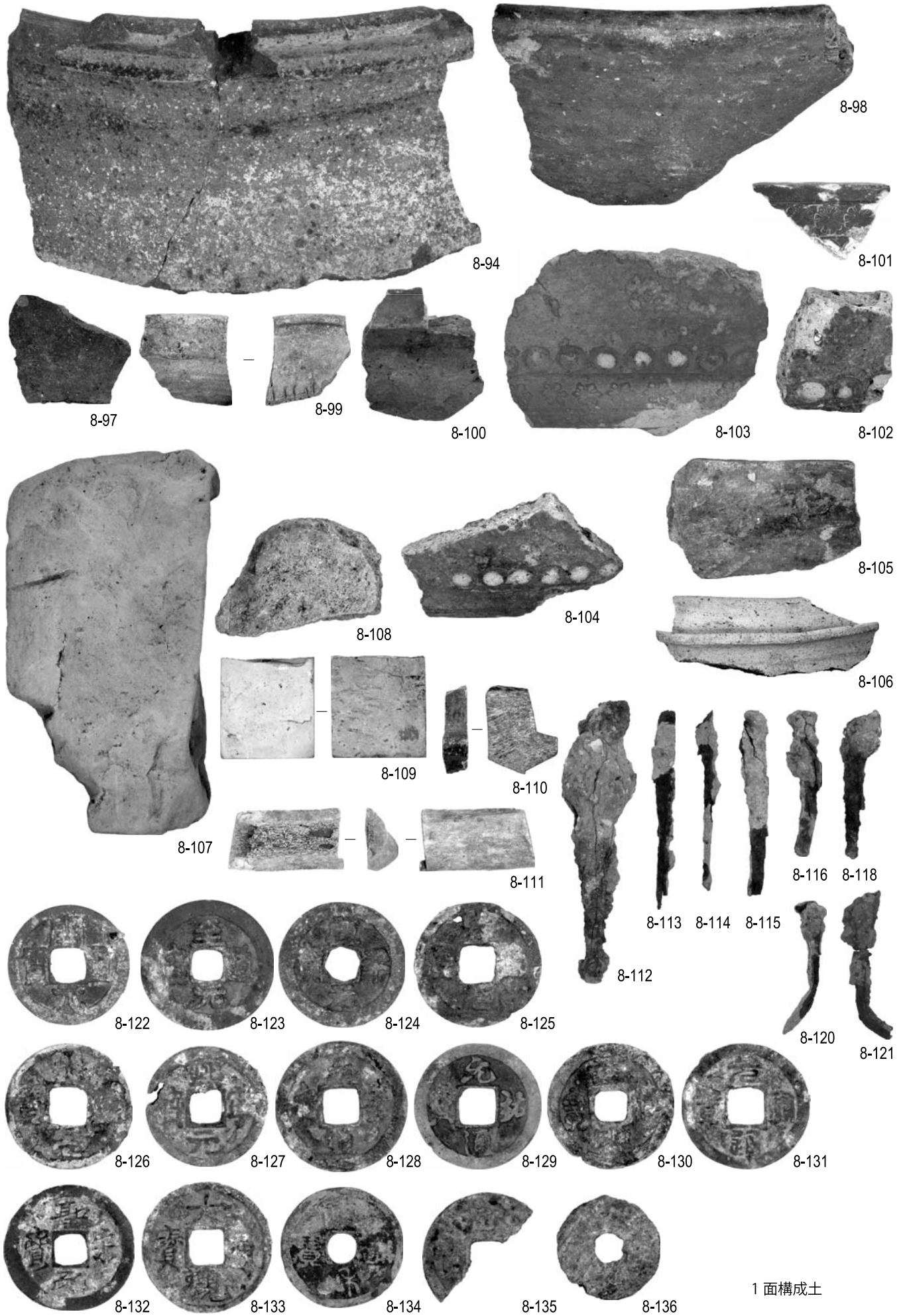
遺構 35

遺構 36

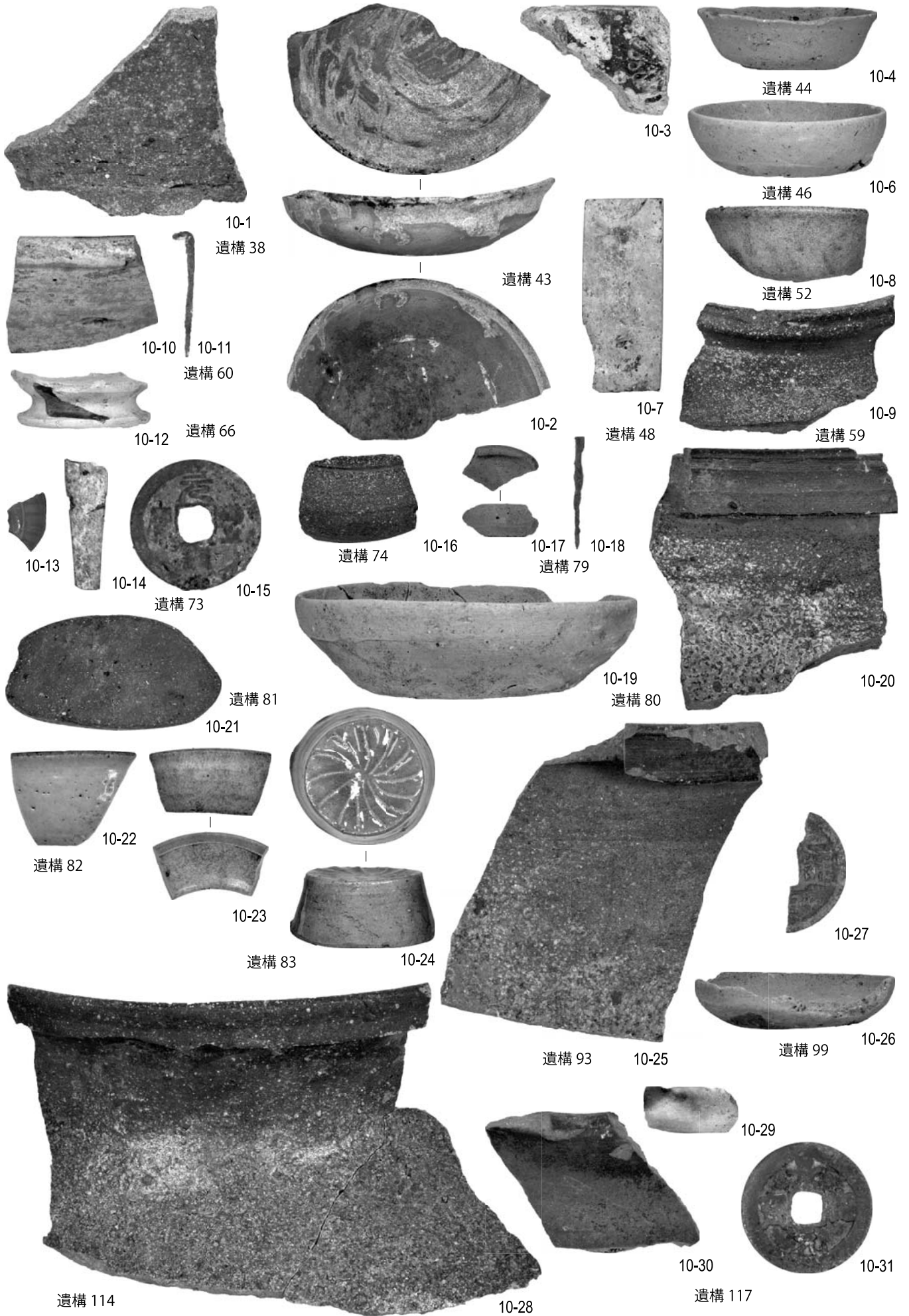
1面遺構外

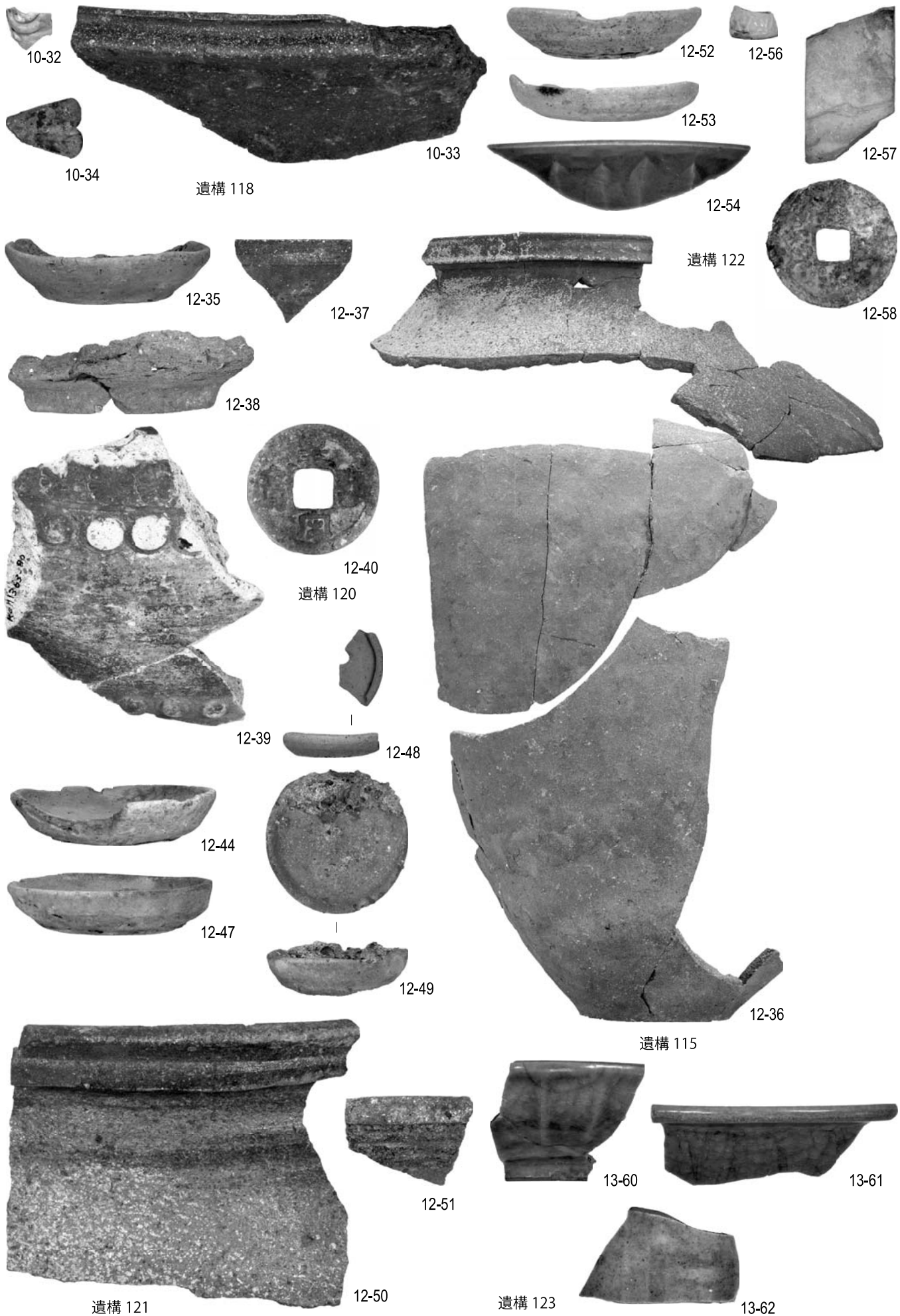


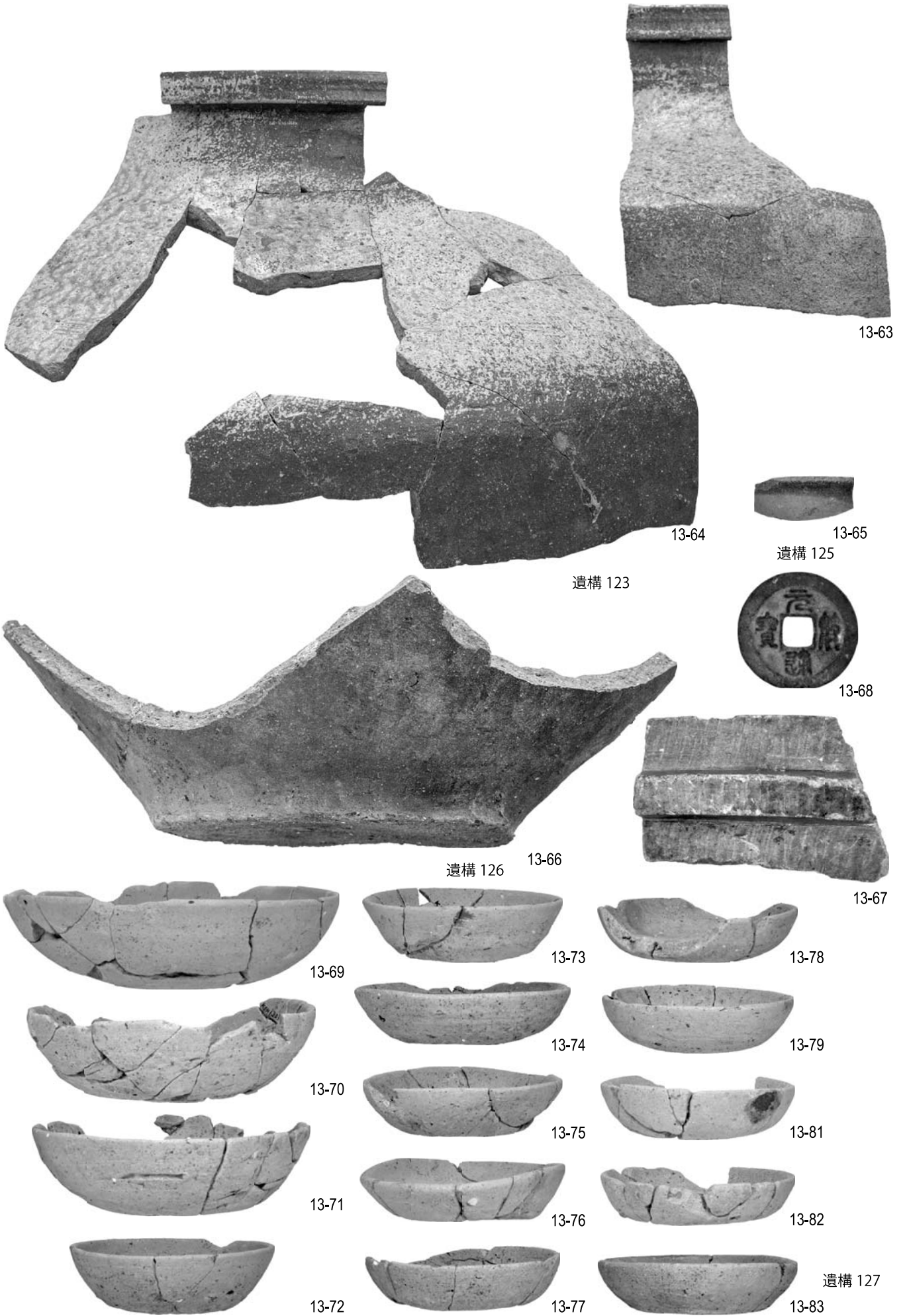


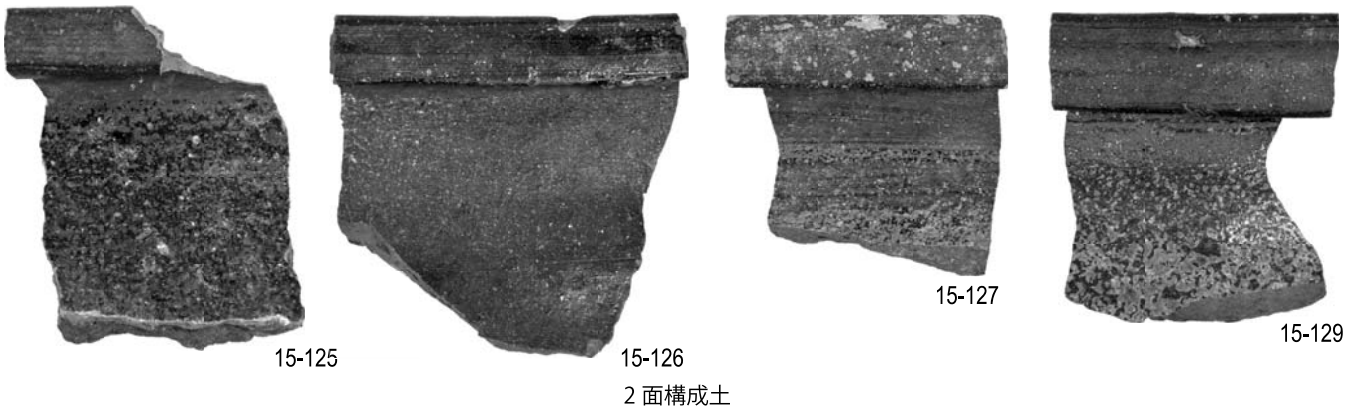
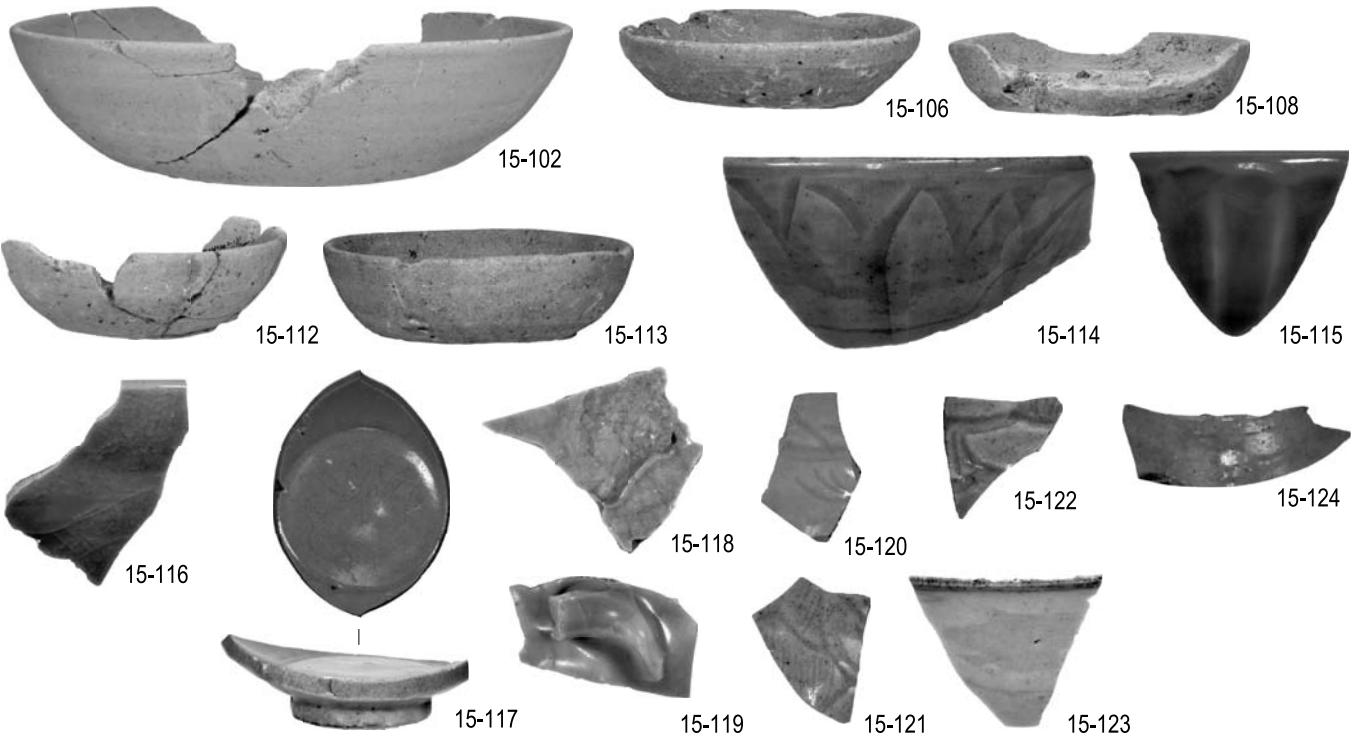
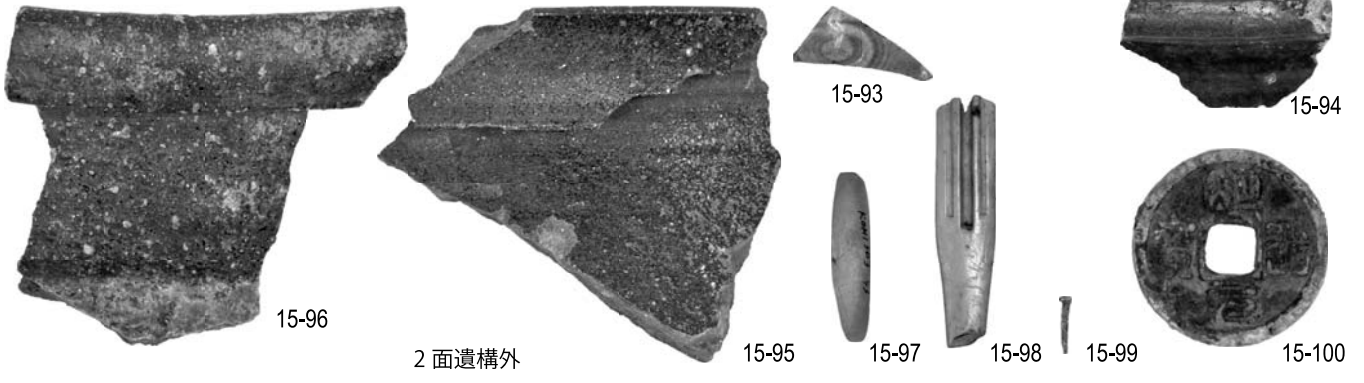
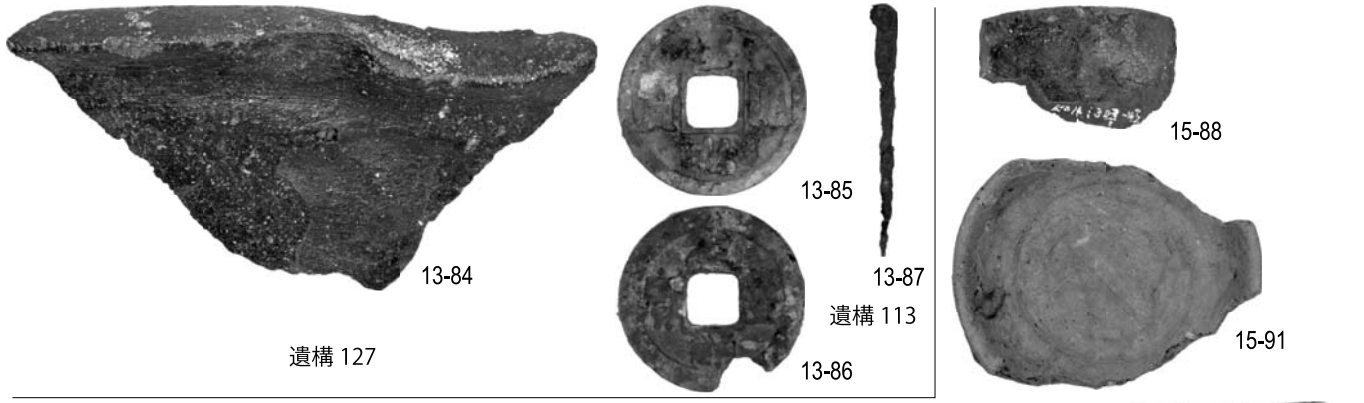


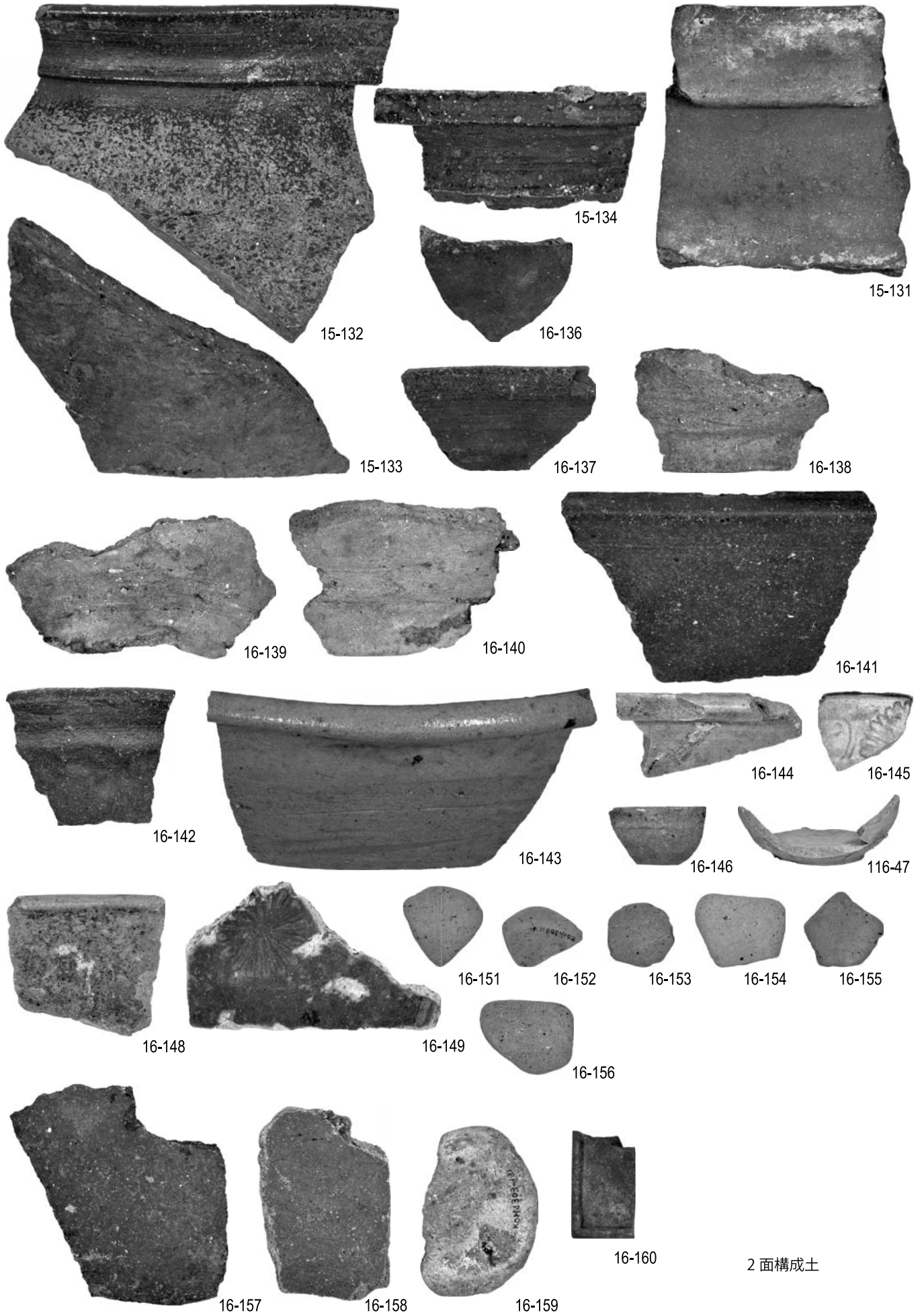
1面構成土

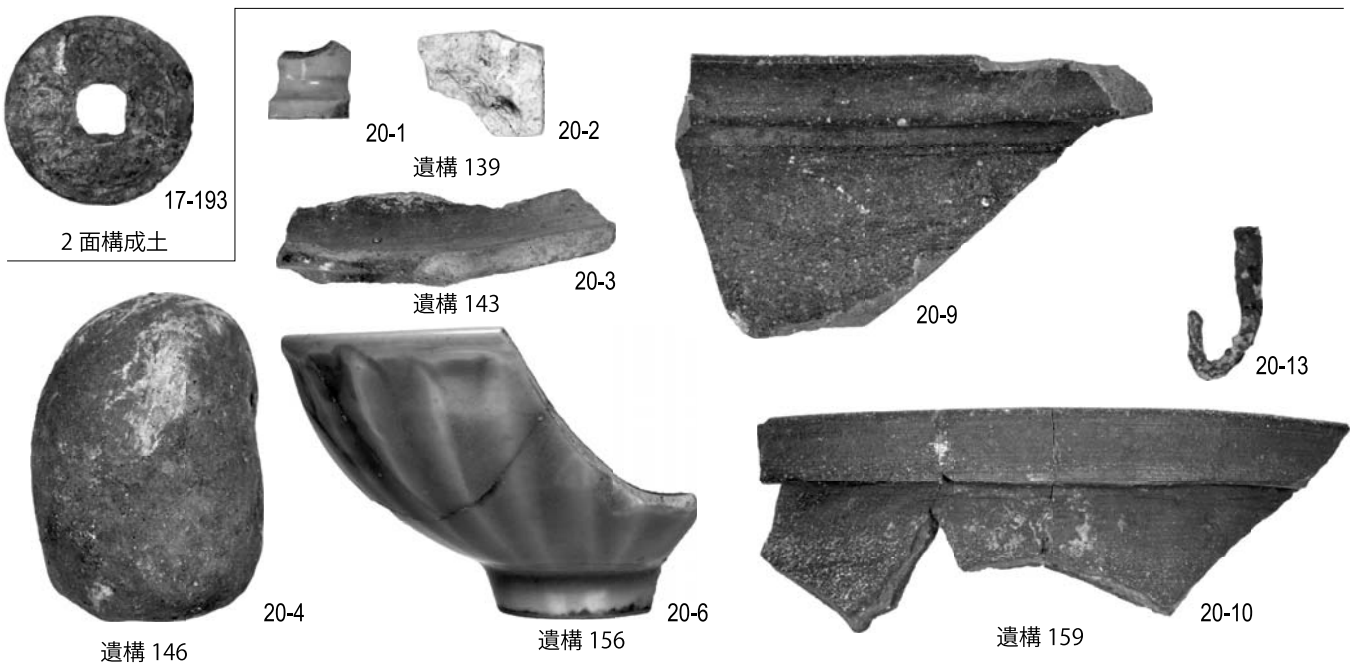
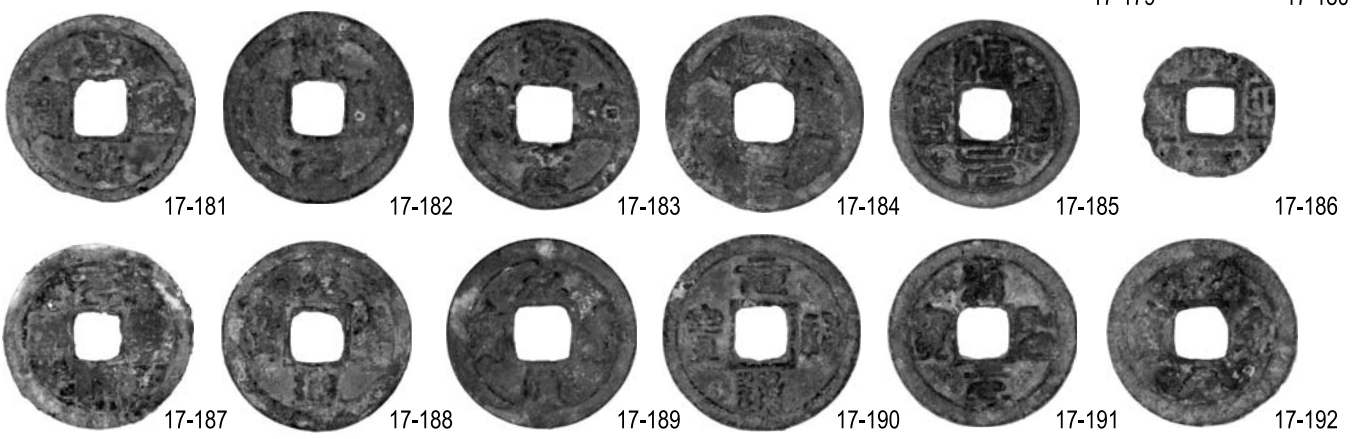




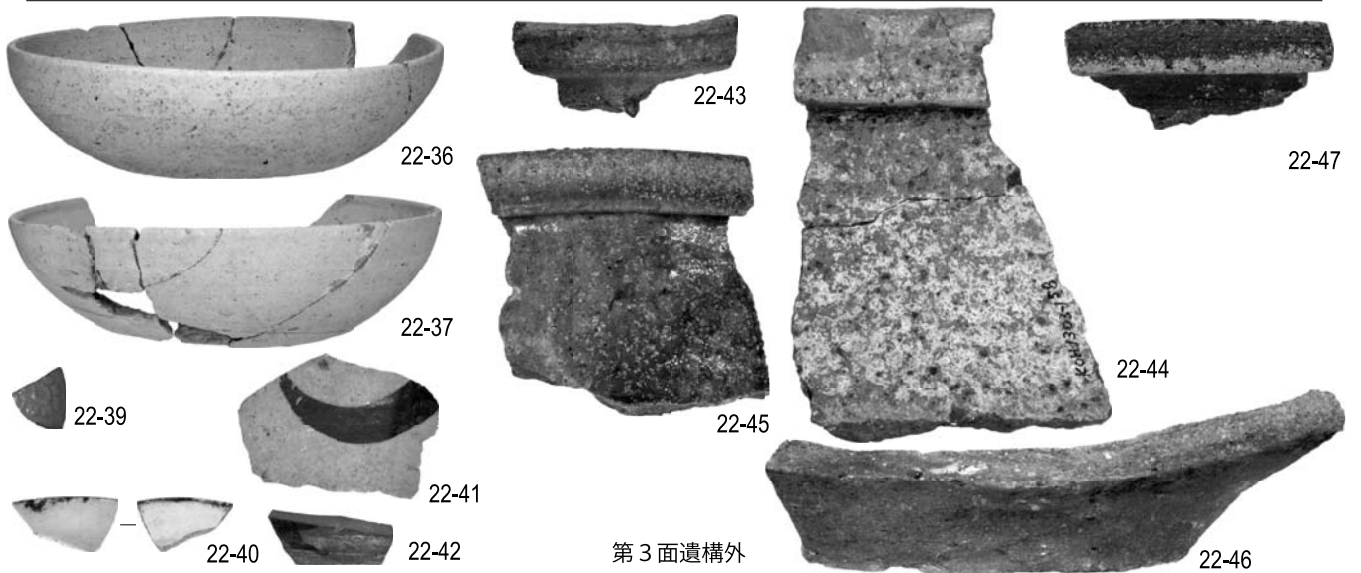
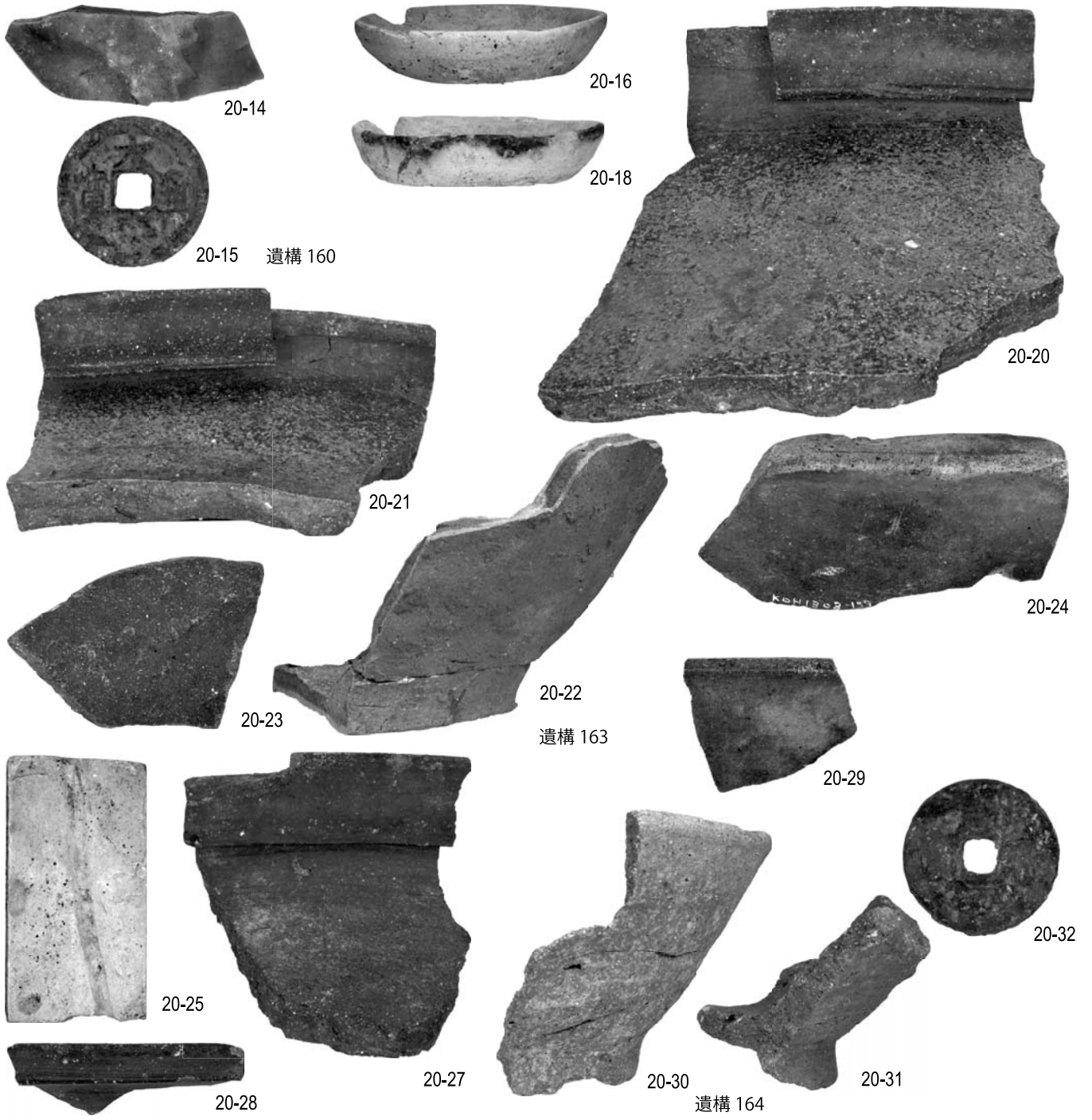


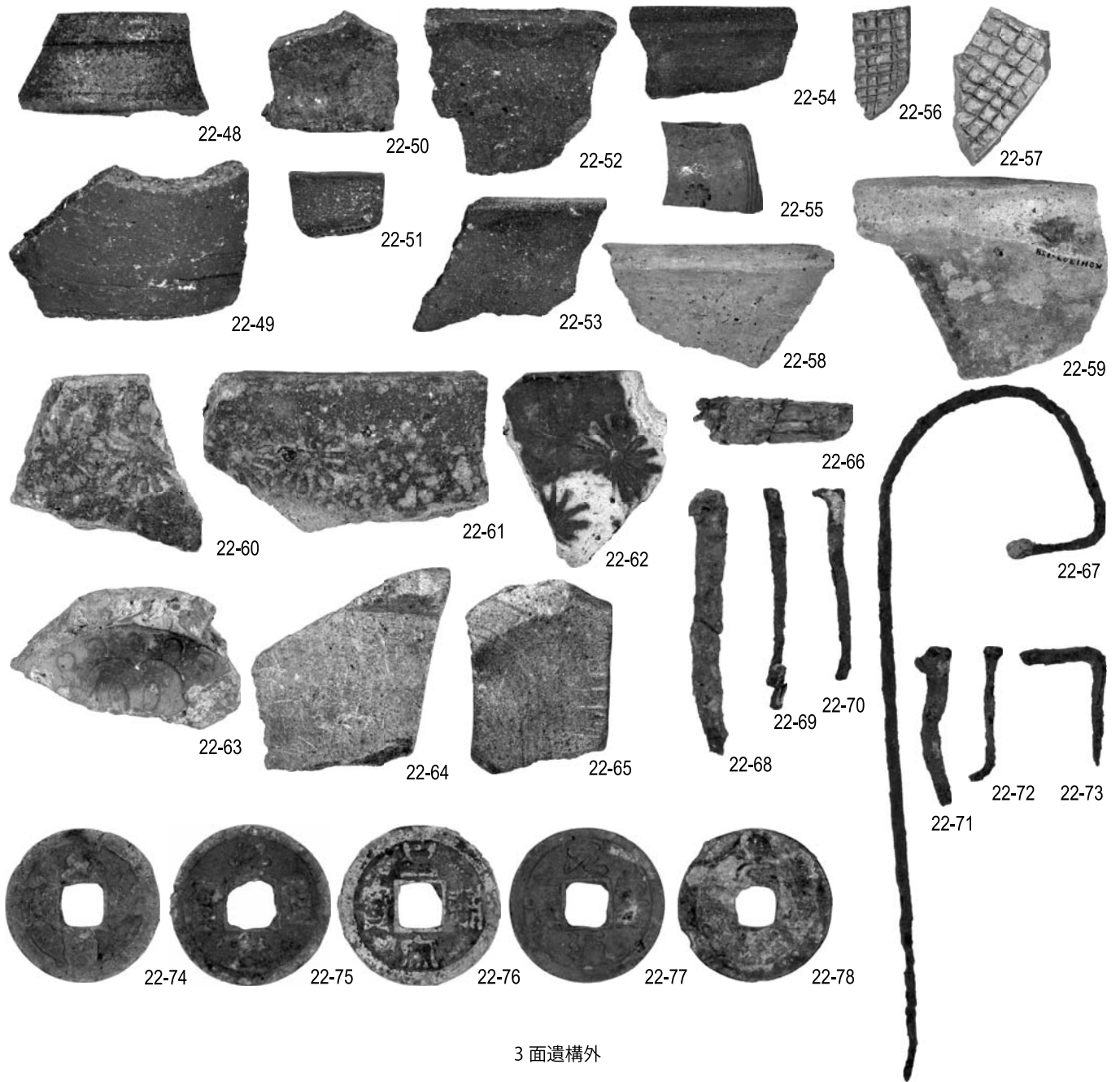




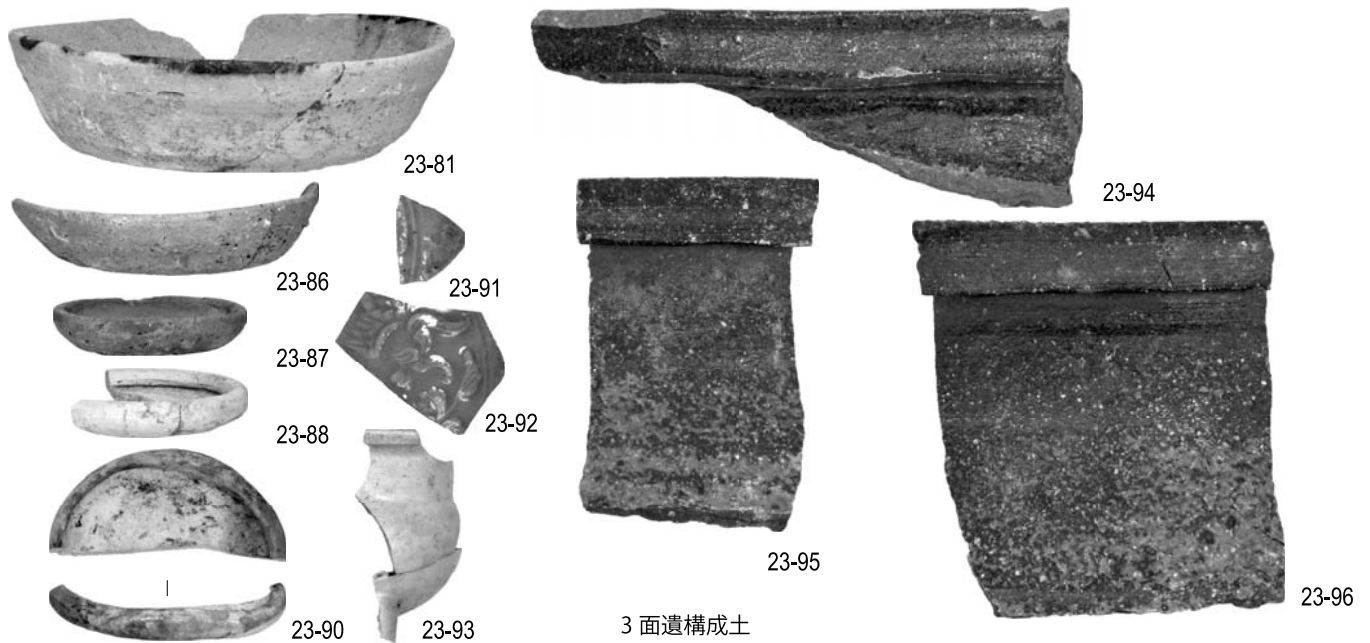




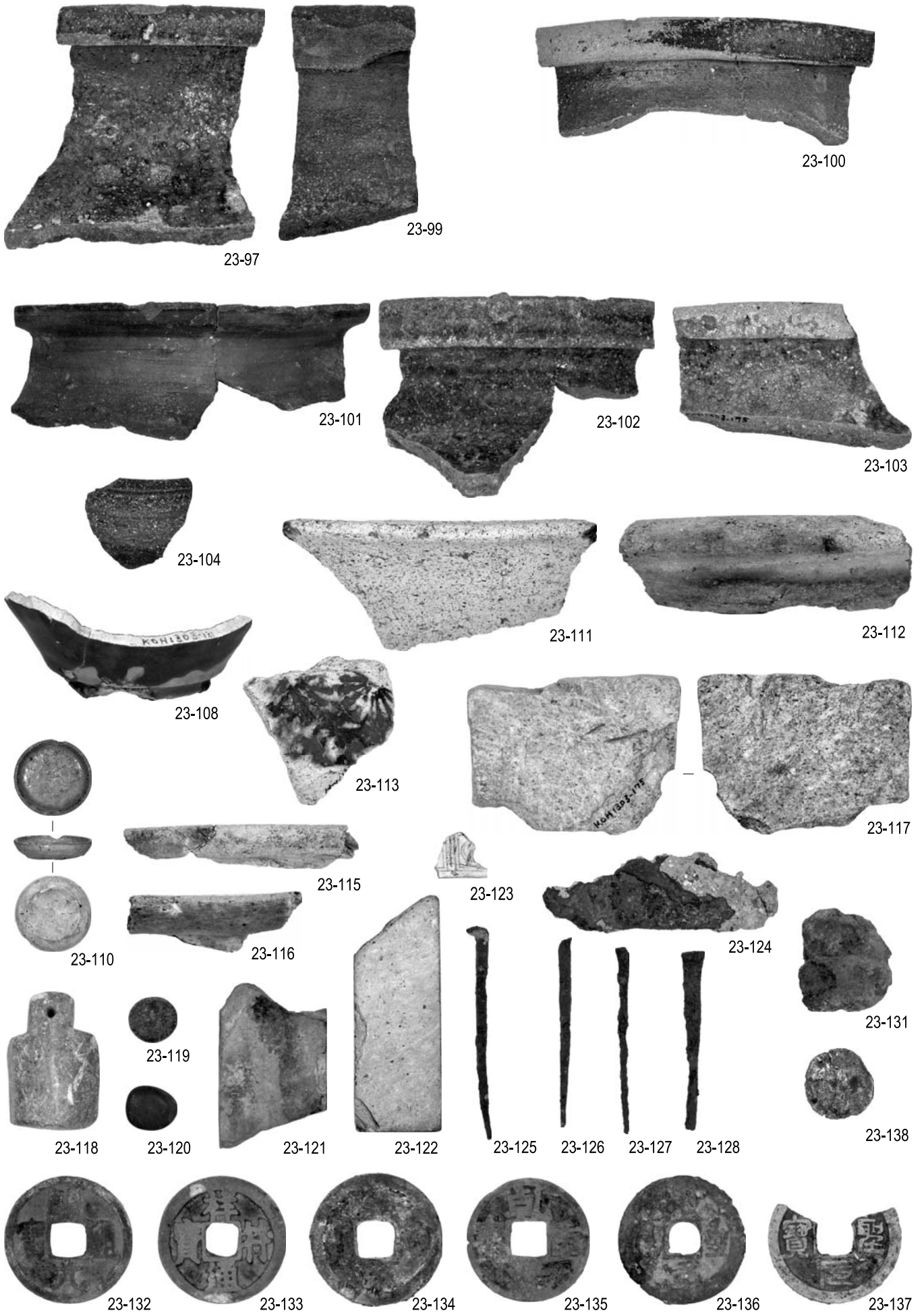




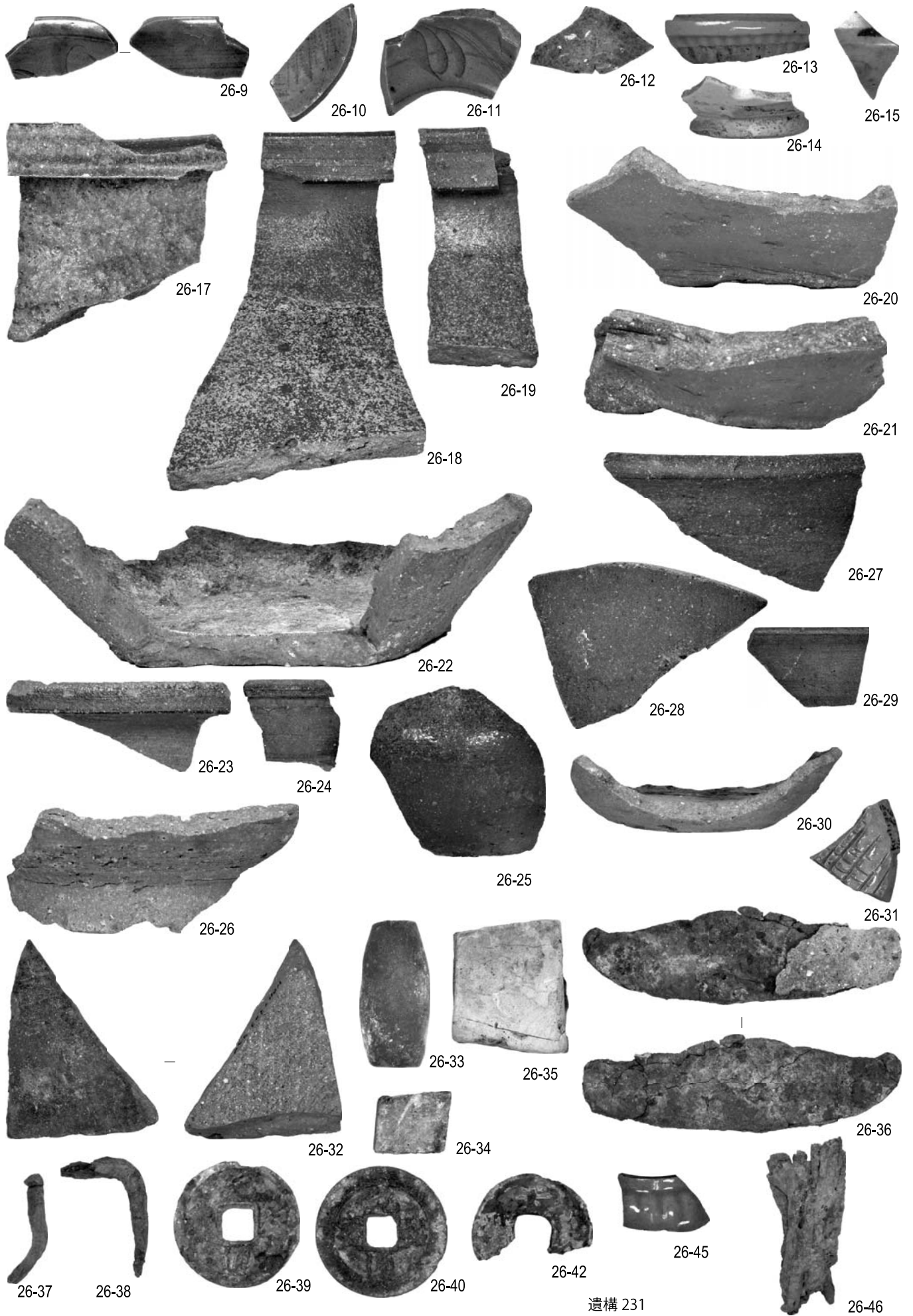
3面遺構外



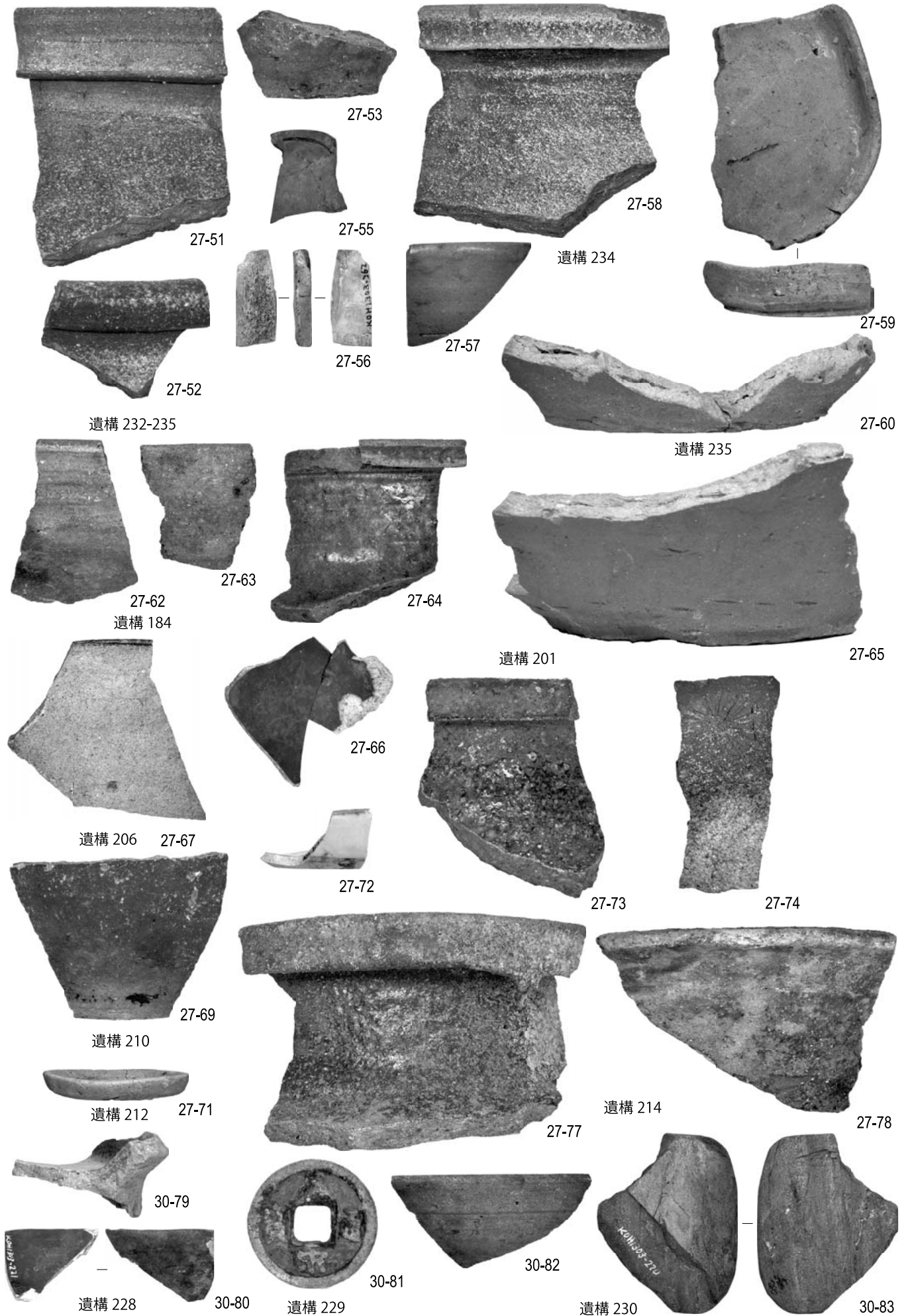
3面遺構成土



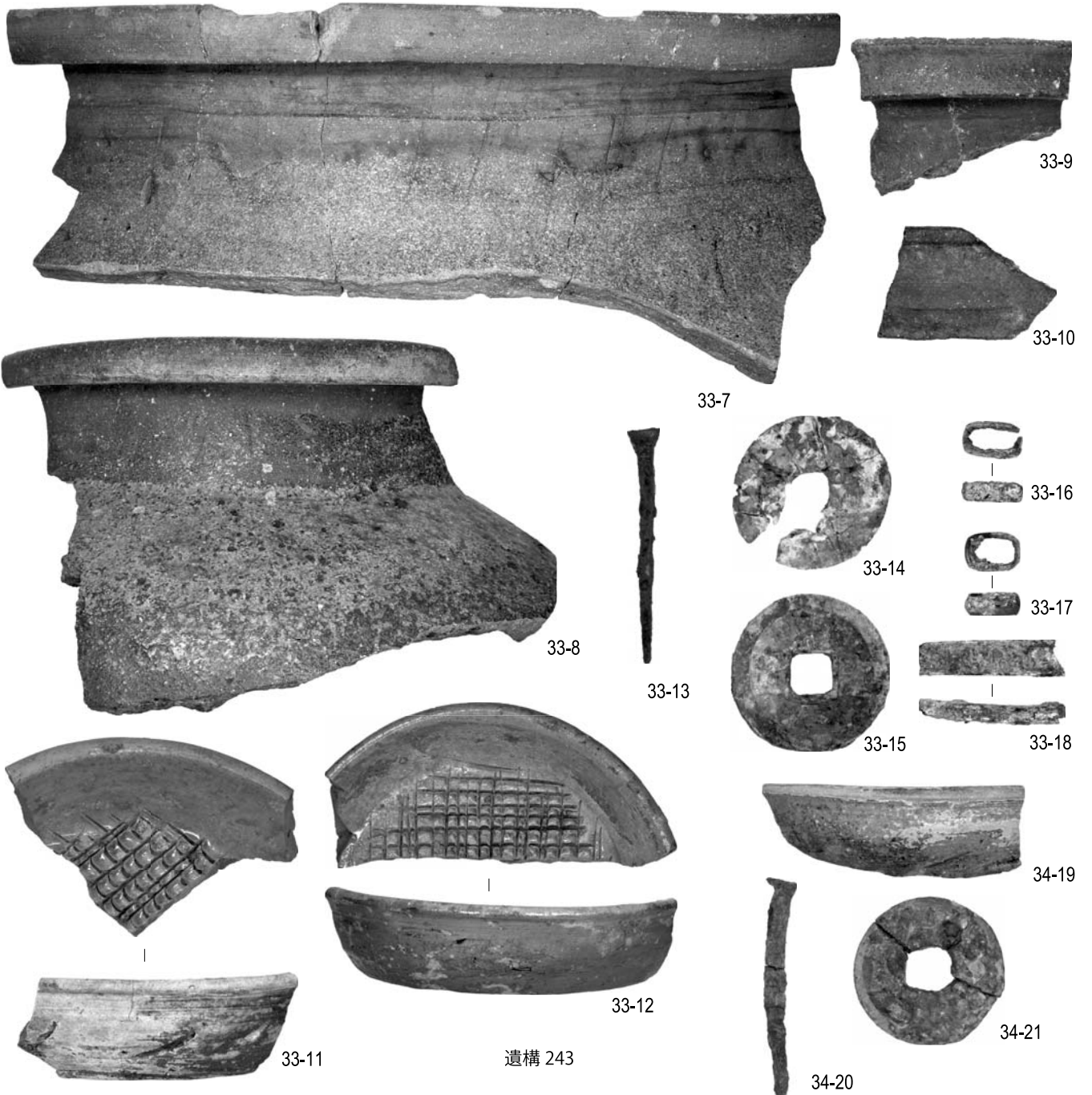
3面遺構成土



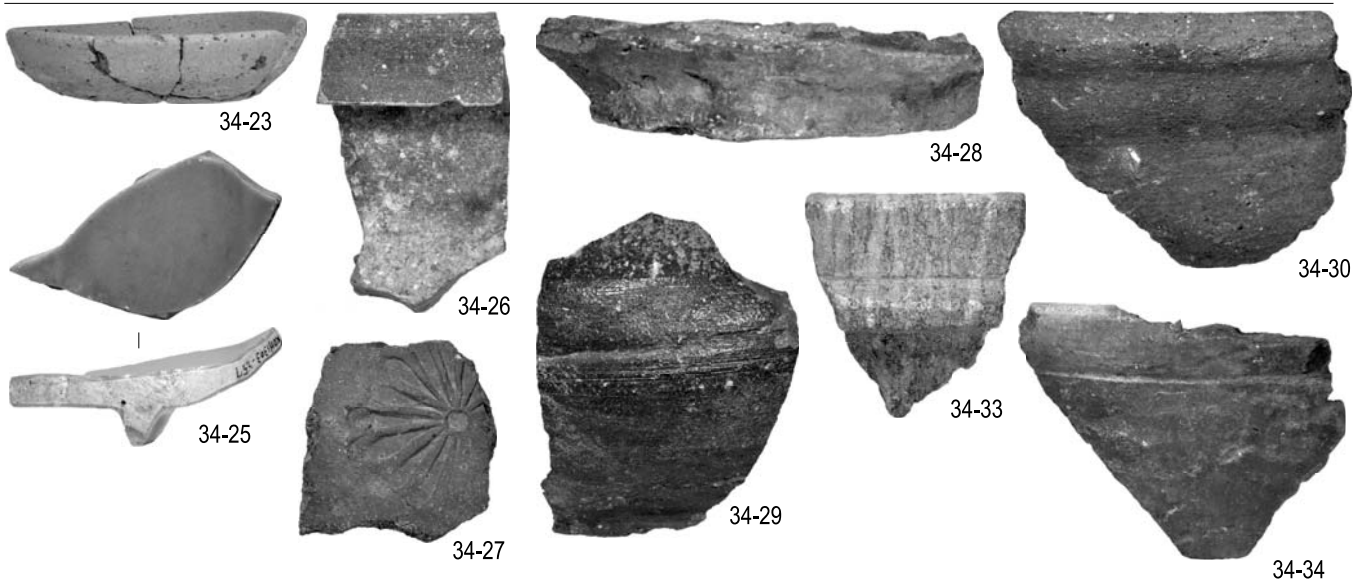
遺構 231



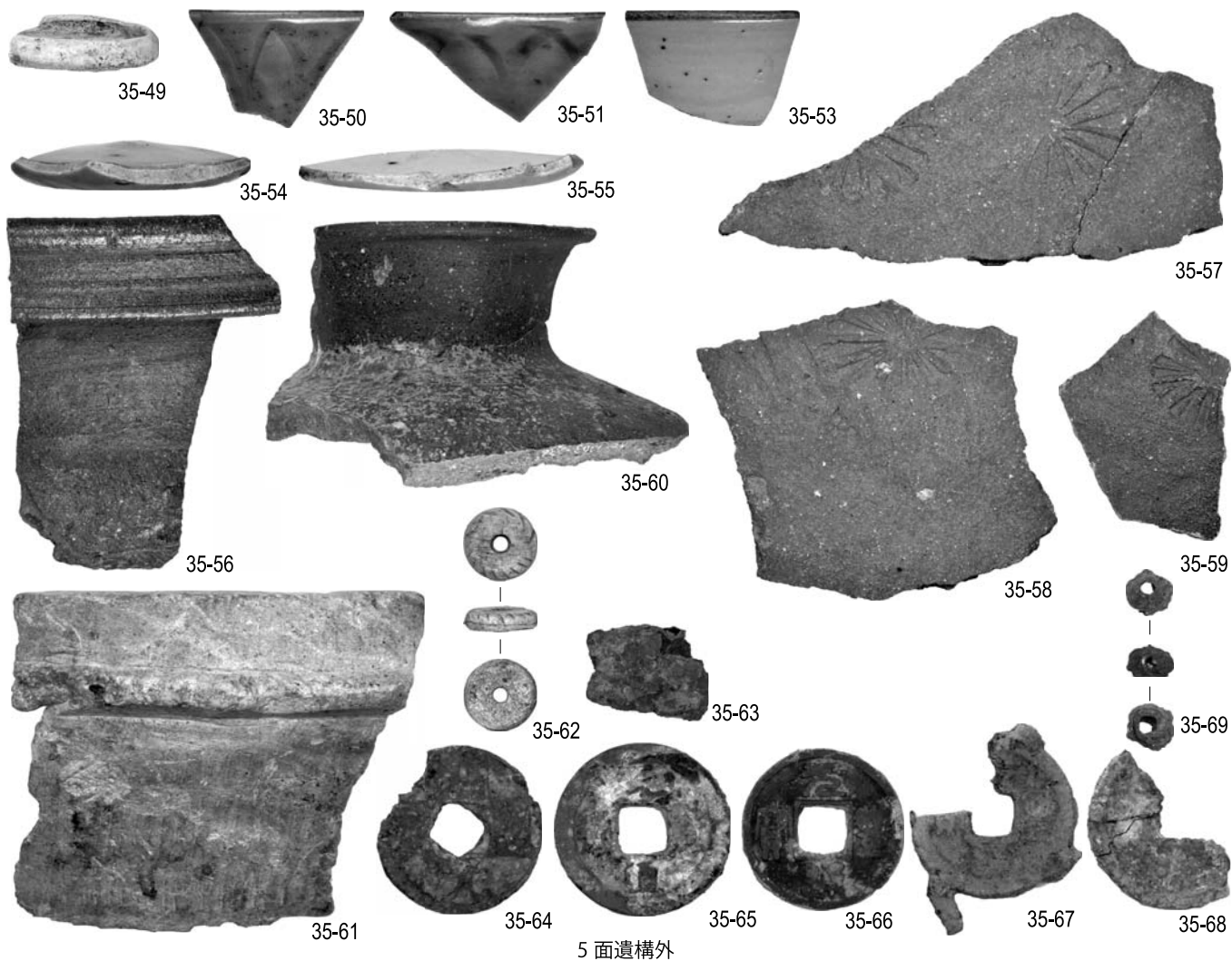
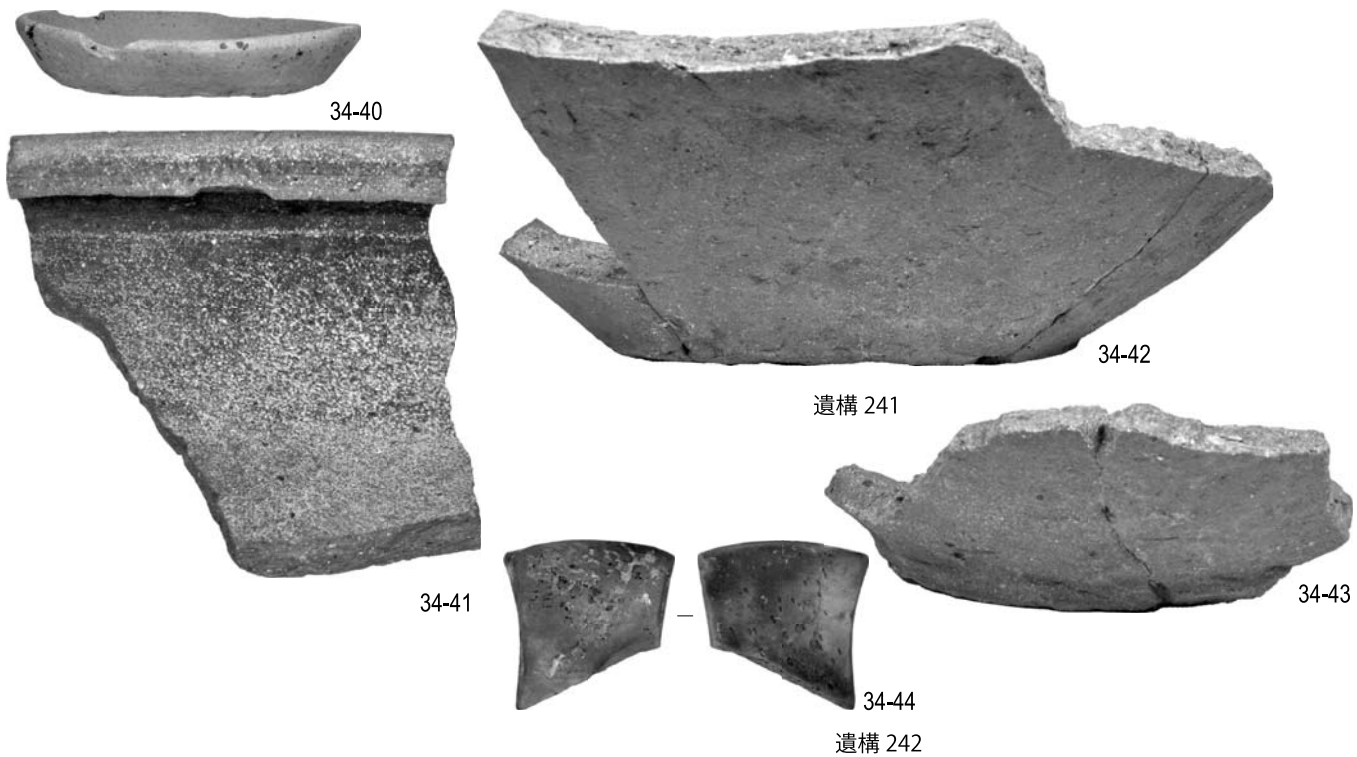




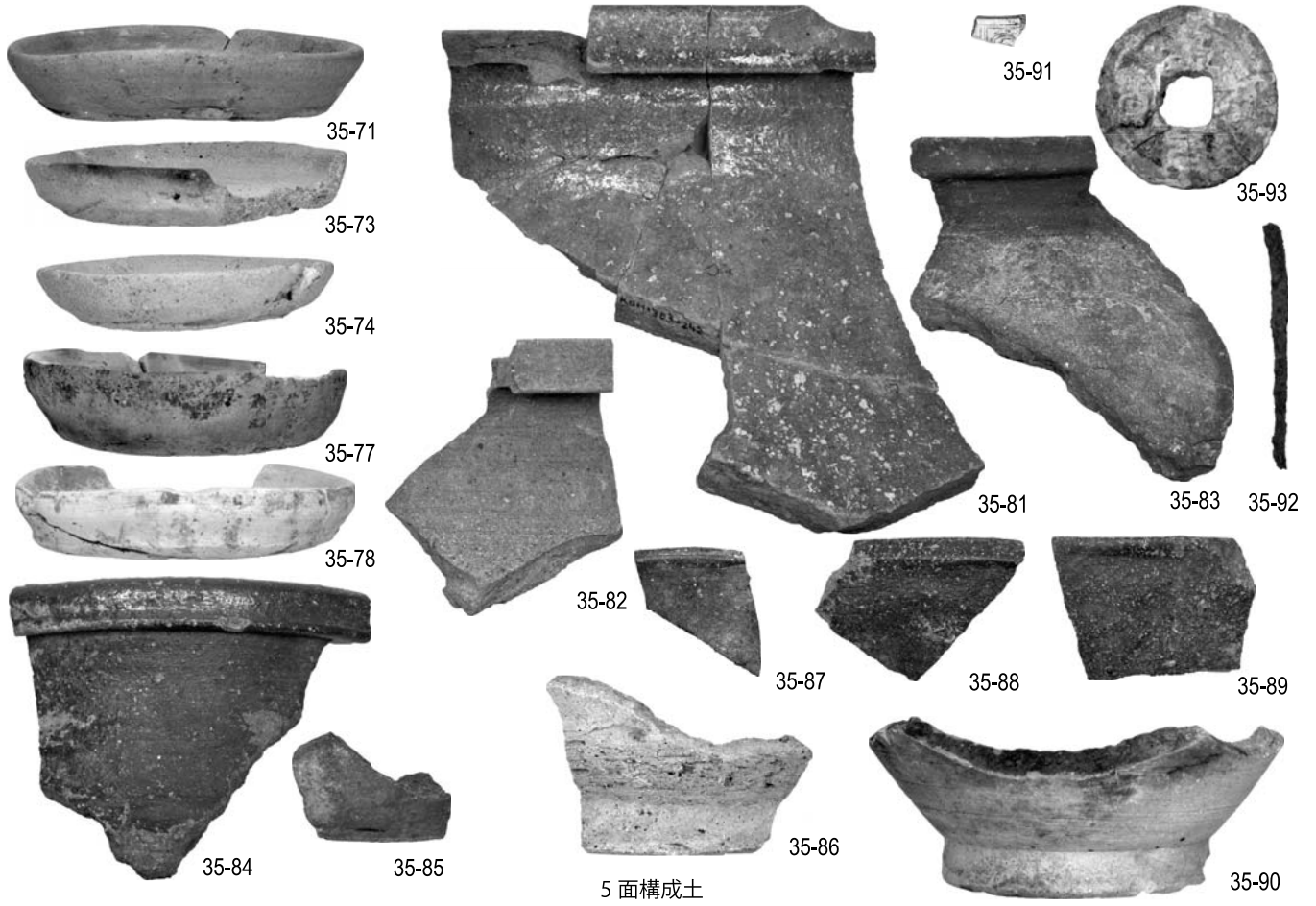
遺構 243

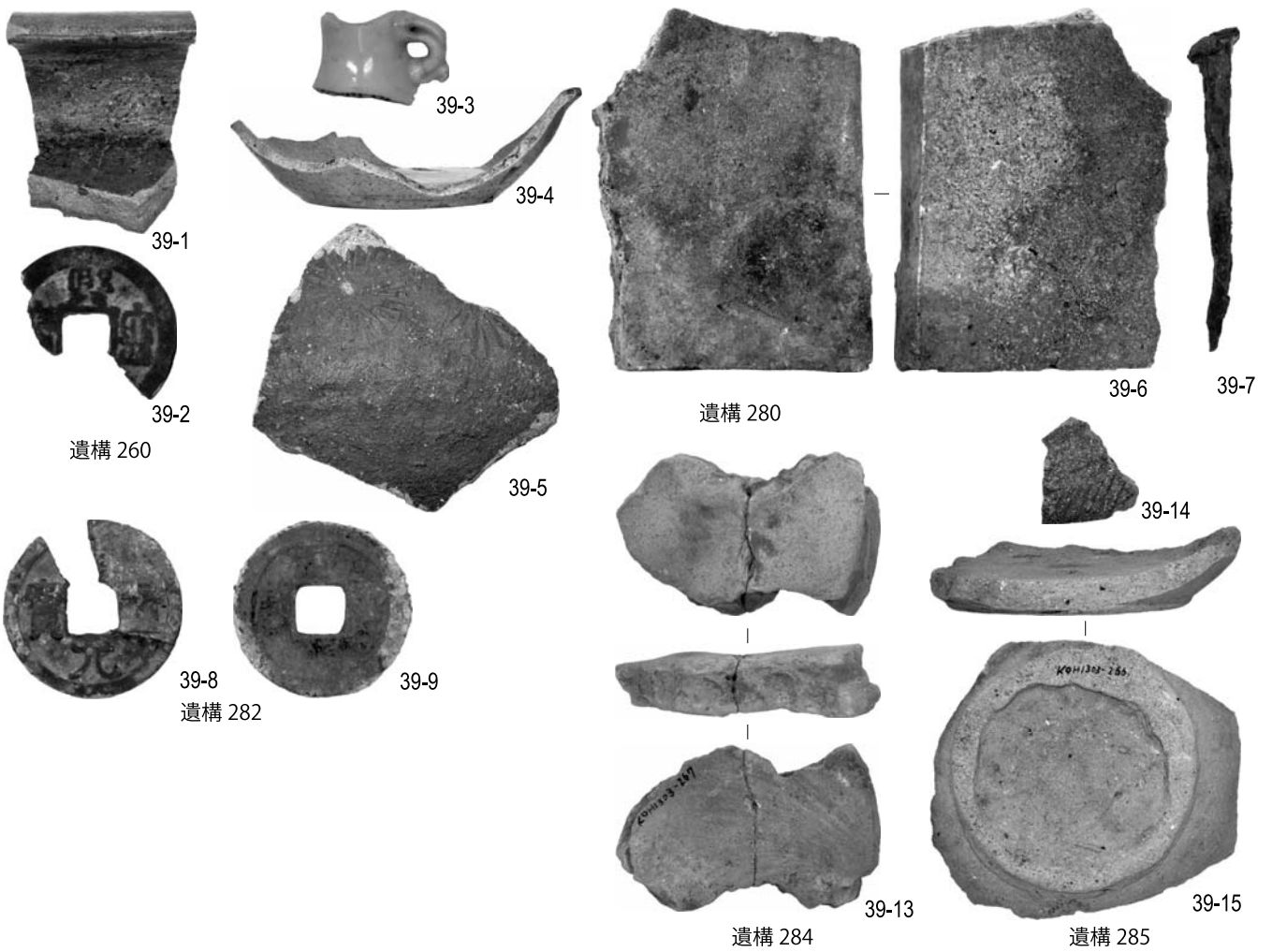
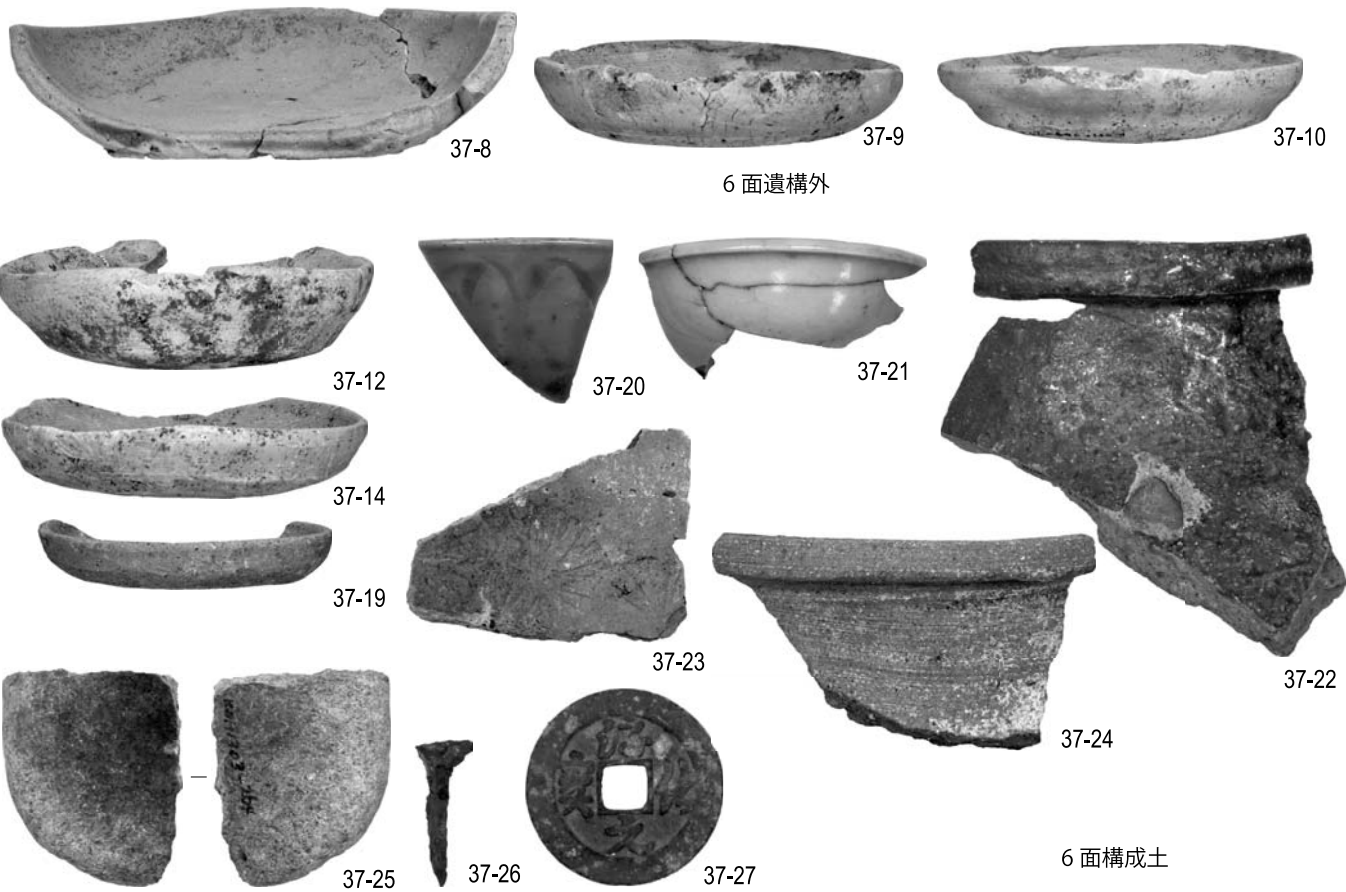


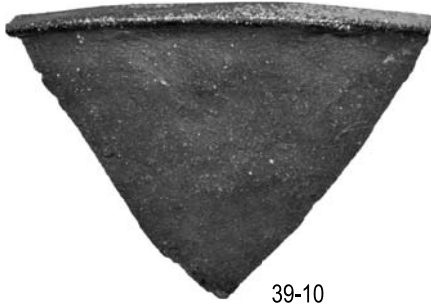
遺構 244







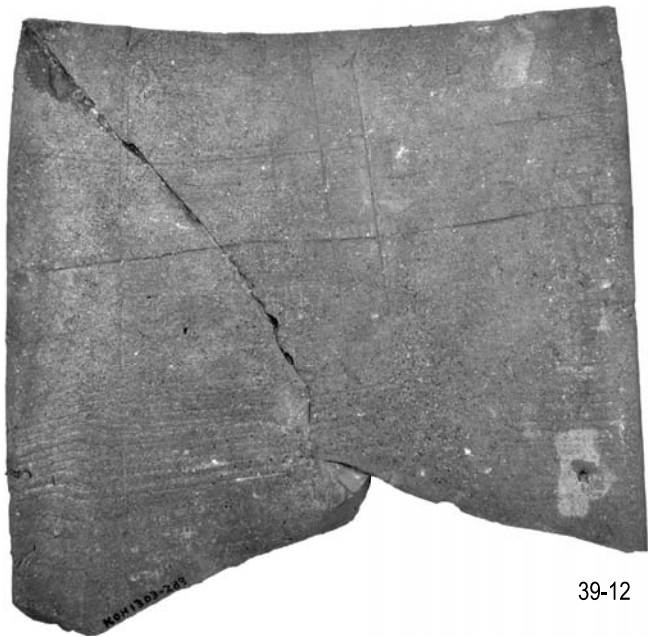




39-10



39-11



39-12

遺構 283



39-16

遺構 287



39-18

遺構 289



39-19



39-20



39-21



39-22



39-23

7面遺構外

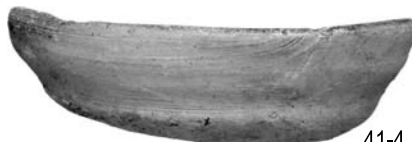


遺構 296

41-1



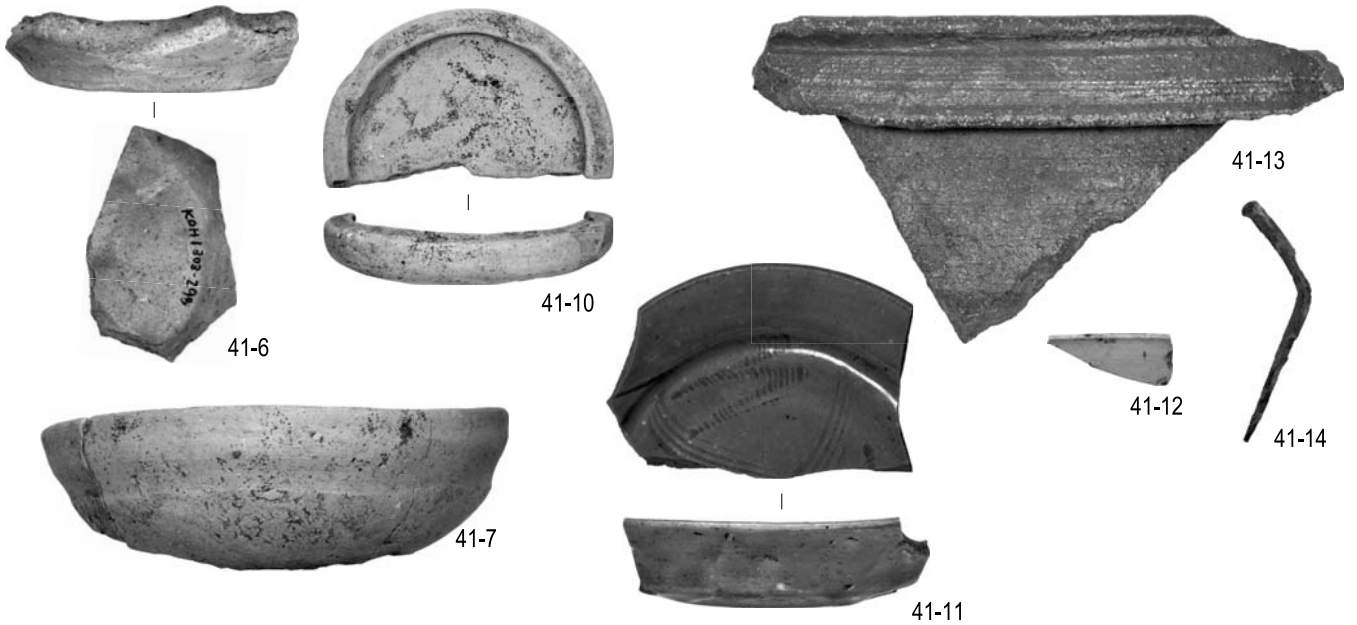
41-3



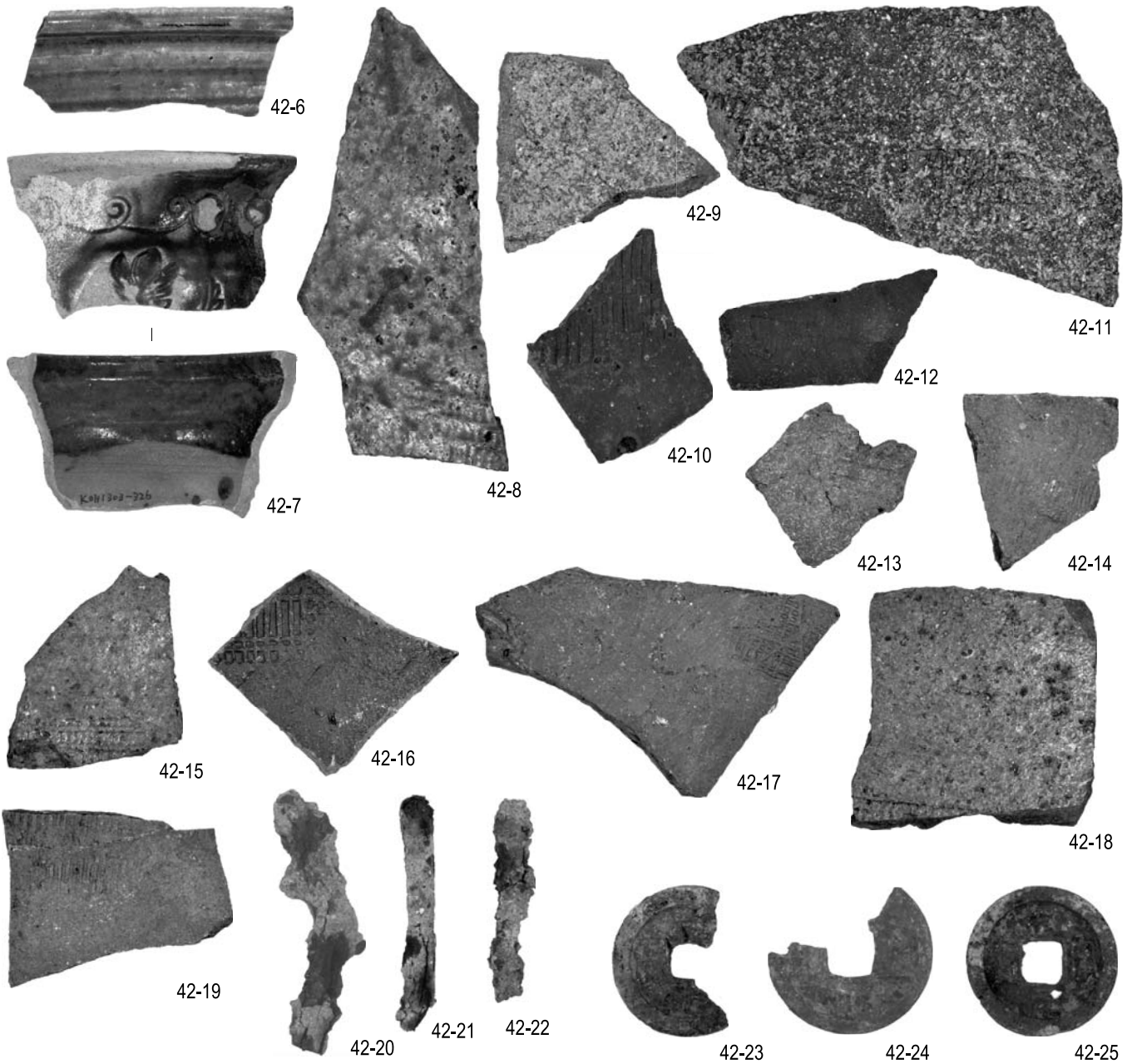
41-4  
遺構 310



41-5



8面遺構外



廃土山・試掘坑



